

SC-T5150M / SC-T3150M
SC-T5150 / SC-T3150
SC-T5150N / SC-T3150N
SC-T2150

ユーザーズガイド

本製品の基本的な操作方法、日常お使いいただく上で必要な事項などを説明しています。

商標

Apple、Mac、macOS、OS X、Bonjour、ColorSync、Safari、AirPrint、iBeacon、iPad、iPhone、および iPod touch は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。“iPhone”の商標は日本国内においてアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Microsoft、Windows、Windows Vista は、マイクロソフト グループの企業の商標です。

Chrome、Chrome OS、Android は Google LLC. の商標です。

Adobe、Illustrator、Lightroom、Photoshop、Reader は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

インクカートリッジは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものでご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

もくじ

ご使用の前に 7

マニュアルの見方 7

- マークの意味 7
- 掲載イラスト 7
- 掲載画面 7
- マニュアルの構成 7
- PDF マニュアルの見方 8

各部の名称と働き 9

- 正面 9
- スキャナー部(SC-T5150M/SC-T3150M のみ) 10
- 内部 11
- 背面 12
- 操作パネル 14

画面の見方と操作 14

- ホーム画面 14
- お気に入り設定の使い方 16

本機の特徴 18

- 高画質を実現 18
- 使いやすさへのこだわり 18

使用・保管時のご注意 19

- 設置スペース 19
- 使用時のご注意 19
- 使用しないときのご注意 20
- 操作パネル使用時のご注意 20
- インクカートリッジ取り扱い上のご注意 20
- 用紙取り扱い上のご注意 21

省電力の設定 23

ソフトウェアの紹介 24

提供ソフトウェア 24

内蔵ソフトウェア 24

Web Config の使い方 25

- 起動方法 25
- 終了方法 25
- 機能概要 25

ソフトウェアのアップデートまたは追加インストール 26

- 更新されたか確認してアップデート 26
- アップデートの通知を受け取る 26

ソフトウェアの削除 27

Windows 27

Mac 27

用紙のセットと設定 28

用紙セット時のご注意 28

用紙のセット位置 28

ロール紙のセットと取り外し 29

- ロール紙のセット方法 29
- ロール紙のカット 31
- ロール紙の取り外し方 32

オートシートフィーダーへの用紙のセットと取り外し 34

- 排紙スタッカー（普通紙用）の取り付けと取り外し 34
- オートシートフィーダーへの用紙のセット方法 34
- オートシートフィーダーからの用紙の取り外し方 36

単票紙（1枚）のセットと取り外し 37

- 単票紙（1枚）のセット方法 37
- 単票紙（1枚）の取り外し方 38

セットした用紙の設定 39

- ロール紙の場合 39
- オートシートフィーダー/単票紙（1枚）の場合 40

用紙設定の最適化（用紙調整） 43

- 調整を実施する際の注意 43
- 調整の手順 43

コンピューターからプリンタードライバで印刷 45

基本の使い方(Windows) 45

- 印刷手順 45
- 印刷の中止方法 47
- プリンタードライバーのカスタマイズ 48

基本の使い方（Mac） 51

- 印刷手順 51
- 印刷の中止方法 53
- プリンタードライバーのカスタマイズ 54

CAD 図面の印刷 56

拡大/横断幕/垂れ幕印刷	58
ロール紙の幅に合わせて印刷	58
出力サイズに合わせて印刷	60
サイズを指定して印刷	61
定形外サイズの印刷	63
色補正して印刷	65
カラーマネージメント印刷	69
カラーマネージメントについて	69
カラーマネージメント印刷の設定	69
アプリケーションソフトでカラーマネージメント設定を行う	70
プリンタードライバでカラーマネージメント設定を行う	72
割り付け印刷	76
手動両面印刷（Windows のみ）	77
両面印刷時のご注意	77
印刷の設定手順	77
折り返し両面印刷（Windows のみ）	78
分割印刷（Windows のみ）	79
まとめて印刷（ポスターレイアウトに配置）（Windows のみ）	83
印刷の設定手順	84
設定の保存と呼び出し	85

コンピューターから HP-GL/2 または HP RTL モードで印刷 86

本機の設定	86
基本の印刷設定	86
HP-GL/2 固有印刷設定	86
CAD アプリケーションソフトの設定	87

ネットワークの接続方法の変更 88

有線 LAN に変更する	88
無線 LAN に変更する	88
無線で直接接続する（Wi-Fi Direct）	89

AirPrint を使う 90

プリンタードライバを使用しない印刷（SC-T5150M/SC-T3150M のみ） .. 91

Web 経由のダイレクト印刷（アップロード印刷）	91
機能概要	91
アップロード印刷の手順	91
共有フォルダー内のファイルを印刷（フォルダー印刷）	92
機能概要	92
共有フォルダーの事前準備	92
フォルダー印刷の手順	93
USB フラッシュメモリー内のファイルを直接印刷	93

コピー（SC-T5150M/SC-T3150M のみ） 95

原稿セット時のご注意	95
セットできる原稿のサイズ	95
セットできる原稿の用紙種類	95
セットできない原稿	95
薄い、破れやすい、傷つけたくない原稿をセットするとき	96
原稿のセット方法	97
コピーの手順	97

スキャン（SC-T5150M/SC-T3150M のみ） 99

機能概要	99
スキャン前の準備	99
スキャンの手順	100
スキャンして画像を共有フォルダーまたは FTP サーバーに保存	100
スキャンして画像をメールに添付	101
スキャンして画像を外部メモリーに保存	102

A3,A4 スキャナーを使った拡大コピー (SC-T5150M/SC-T3150M 以外) ... 103

スキャナーの接続	103
拡大コピーの手順	103
原稿セット時のご注意	104

メニューの使い方 105

メニュー一覧	105
用紙設定メニュー	122
ロール紙メニュー	122
オートシートフィーダーメニュー	124
単票紙 (1 枚) メニュー	125
プリンター状態メニュー	126
設定メニュー	127
本体設定	127
プリンターのお手入れ	145
情報確認/印刷	146
拡大コピーメニュー (SC-T5150M/SC-T3150M 以外)	146
外部メモリーから印刷メニュー (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)	147
コピーメニュー (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)	150
スキャンメニュー (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)	153
フォルダーから印刷メニュー (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)	160

メンテナンス 162

プリントヘッドの目詰まり解消	162
プリントヘッドの目詰まりチェックとクリーニング	162
強力ヘッドクリーニング	163
消耗品の交換	163
使用済み消耗品の処分	163
インクカートリッジの交換	163
メンテナンスボックスの交換	166
カッターの交換	167

困ったときは 169

メッセージが表示されたとき	169
メンテナンスコール/プリンターエラーが発生したときは	170
トラブルシューティング	171
印刷できない (プリンターが動かない)	171
プリンターは動くが印刷されない	172
印刷品質/印刷結果のトラブル	174
給紙ミス/排紙のトラブル	178
その他	181
コピー/スキャン時のトラブル (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)	182
お問い合わせいただく前に	186
エプソンのウェブサイトの Q&A	186
プリンタードライバーのバージョンアップ	186
ファームウェアのバージョンアップ	186
トラブルが解消されないときは	186

付録 187

消耗品とオプション	187
エプソン製専用紙	187
インクカートリッジ	187
その他	187
使用可能な用紙	189
エプソン製専用紙一覧	189
使用可能な市販用紙	192
印刷可能領域	194
ロール紙	194
単票紙 (オートシートフィーダー)	195
単票紙 (1 枚)	195
本機の移動・輸送	196
同じ建物内の別の場所に移動する	196
輸送するとき	197
室内や輸送時の環境が-10℃以下になるときの対応	197
システム条件	199
プリンタードライバー	199
Web Config	200
仕様一覧	201
サービス・サポートのご案内	204
各種サービス・サポートについて	204
保守サービスのご案内	204
お問い合わせ先	206

もくじ

製品に関する諸注意と適合規格	207
----------------------	-----

ご使用の前に

マニュアルの見方

マークの意味

安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
 参考	補足説明や参考情報を記載しています。
	関連する内容の参照先を示しています。
[プリンター設定]	操作パネルやコンピューターの画面に表示される文字列は[]で囲んで示します。

掲載イラスト

本書に掲載しているイラストは、特に指定がない限り SC-T3150 です。

各マニュアルに掲載しているイラストが、お使いの機種と若干異なる場合がございます。ご了承ください。

掲載画面

- 各マニュアルに掲載している画面は実際の画面と多少異なることがあります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となることがありますので、ご注意ください。
- 各マニュアルに掲載している Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 10 の画面を使用しています。
- 各マニュアルに掲載している Mac の画面は、特に指定がない限り macOS Sierra の画面を使用しています。

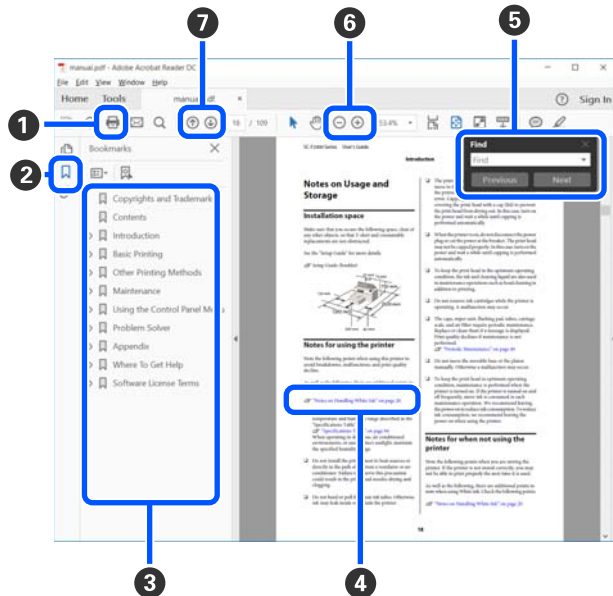
マニュアルの構成

本製品のマニュアルは、以下の構成で提供しています。PDF マニュアルは、Adobe Acrobat Reader やプレビュー (Mac) などでご覧ください。

セットアップガイド (冊子)	本機を箱から取り出した以降から、本機を使用可能にするまでの作業を説明しています。作業を安全に行うために、必ずご覧ください。
操作ガイド (冊子)	本機の使い方やよく使われる機能を抜粋して説明しています。
一般情報 (PDF)	製品の仕様や連絡先などを記載しています。
オンラインマニュアル	
ユーザーズガイド (本書)	プリンターの使い方全般やトラブルへの対処方法を説明しています。
システム管理者ガイド (PDF)	システム管理者向けに管理の仕方やプリンターの設定方法を説明しています。

PDF マニュアルの見方

Adobe Acrobat Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Acrobat Reader DC で表示したときを例に説明します。



- ① PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
- ② クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。
- ③ タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。
[+] をクリックすると、下の階層のタイトルが表示されます。
- ④ 参照先が青字で記載されているときは、青字の部分ををクリックすると該当のページが表示されます。
元のページに戻るときは、以下のように行います。
Windows の場合
Alt キーを押したまま ← キーを押します。
Mac の場合
command キーを押したまま ← キーを押します。
- ⑤ 確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで「簡易検索」を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

Mac の場合

「編集」メニューで「簡易検索」を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

- ⑥ 表示中の文字が小さくて見えにくいときは ⊕ をクリックすると拡大します。⊖ をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで「マーキーズーム」を選択します。ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。

Mac の場合

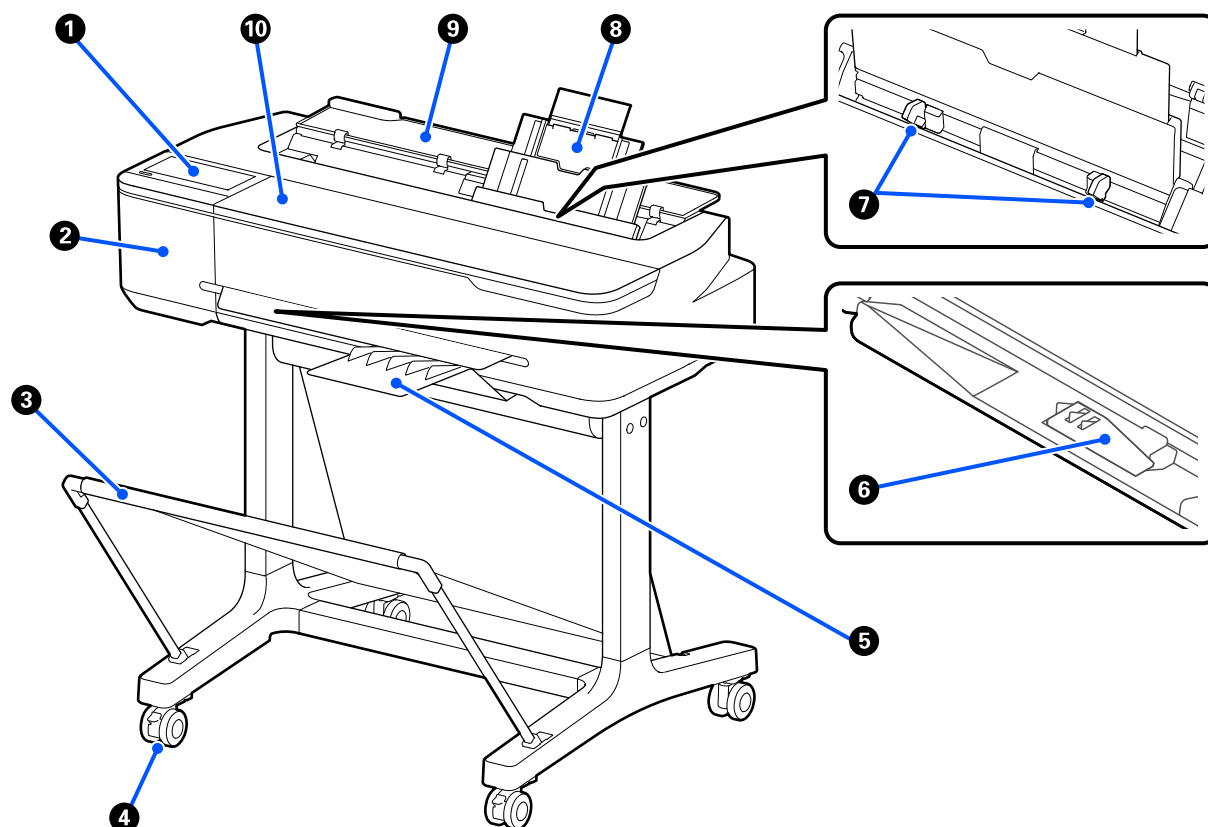
「表示」メニュー - 「ズーム」 - 「マーキーズーム」の順にクリックすると、ポインターが虫眼鏡に変わります。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい箇所を範囲指定します。

- ⑦ 前ページ/次ページを表示します。

各部の名称と働き

正面

SC-T3150（24 インチスタンド付きモデル）のイラストで説明します。



① 操作パネル

☞ [「操作パネル」 14 ページ](#)

② カッターカバー

カッター交換時に開けます。

☞ [「カッターの交換」 167 ページ](#)

③ 排紙バスケット

排紙された用紙を収容し、汚れや折れを防ぎます。

SC-T5150N/SC-T3150M/SC-T3150N/SC-T2150 は、オプションで排紙バスケットが付属した専用スタンドをご用意しています。

☞ [「消耗品とオプション」 187 ページ](#)

④ キャスター

左右のスタンドに 2 つずつ付いています。本機を設置後はキャスターを常にロックした状態でお使いください。

⑤ 排紙スタッカー（普通紙用）

オートシートフィーダーから普通紙を連続して複数枚印刷をするときに、本機前面にこのように取り付けます。印刷された用紙が、排紙後このトレイに集積されます。ロール紙や単票紙（1 枚）に印刷するときは取り外します。

排紙スタッカーは SC-T2150 には付属していません。オプションとしてご用意しています。

☞ [「排紙スタッカー（普通紙用）の取り付けと取り外し」 34 ページ](#)

⑥ B1 幅排紙サポート (SC-T5150M/SC-T5150/SC-T5150N のみ)

B1 幅相当 (718 ~ 738 mm) のロール紙/ 単票紙 (1 枚) に限り、印刷面にこすれ汚れが生じるのを防ぐため、B1 幅排紙サポートを立てて印刷します

☞ 「ロール紙のセット方法」 29 ページ

☞ 「単票紙 (1 枚) のセット方法」 37 ページ

⑦ エッジガイド

オートシートフィーダーにセットした用紙の左右の端に合わせます。用紙が斜めに給紙されるのを防ぎます。

⑧ オートシートフィーダー

A4~A3 の単票紙を複数枚セットできます。セットした用紙は自動的に給紙され連続して印刷できます。

☞ 「オートシートフィーダーへの用紙のセット方法」 34 ページ

⑨ 単票紙カバー

オートシートフィーダーを使用するとき、または単票紙をセットするときに開けます。

☞ 「単票紙 (1 枚) のセット方法」 37 ページ

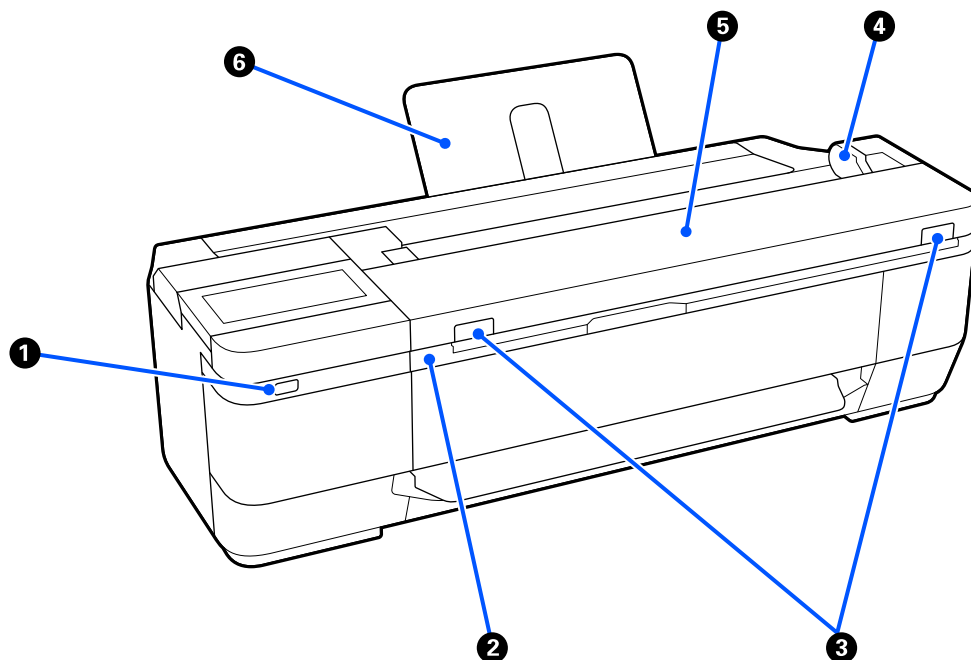
ロール紙をセットするときは、このカバーを開けてからロール紙カバーを開けます。

本機の内部にホコリがたまるのを防ぐため、オートシートフィーダーを使用しないとき、単票紙をセットしないときは閉めてお使いください。

⑩ 前面カバー

インクカートリッジの交換や紙詰まり時などに開けます。

スキャナー部(SC-T5150M/SC-T3150M のみ)



① USB ポート (USB フラッシュメモリ用)

USB フラッシュメモリを装着して直接印刷したり、スキャンデータを保存したりできます。

☞ 「USB フラッシュメモリ内のファイルを直接印刷」 93 ページ

☞ 「スキャンして画像を外部メモリに保存」 102 ページ

② スキャナーユニット

インクカートリッジの交換や紙詰まり時などに開けます。

③ ロックレバー

左右のロックレバーを押しながら、スキャナーカバーを開けます。

④ 原稿ガイド

原稿をまっすぐ給紙させるためのガイドです。

⑤ スキャナーカバー

スキャナーの清掃、原稿詰まり時に開けます。

！重要

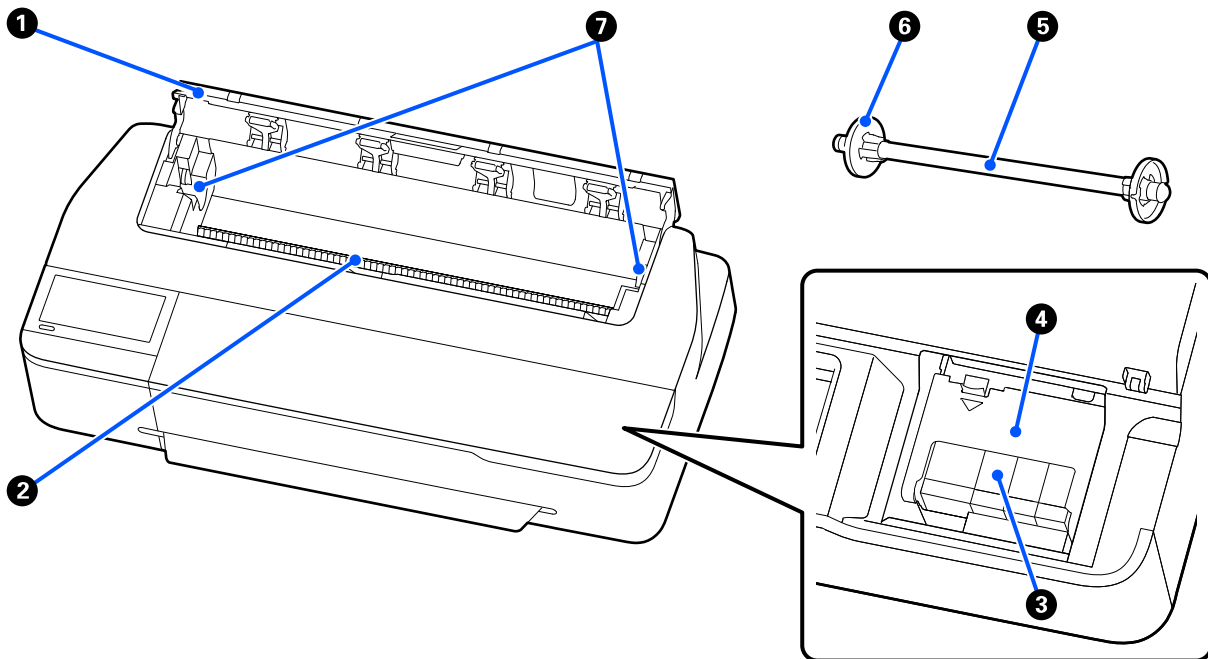
スキャナカバーを上から押ししたり、上に物を載せた状態でスキャンしないでください。
スキャン結果にゆがみが生じたり、原稿が詰まるおそれがあります。

⑥ 原稿サポート

原稿が背面に落下するのを防ぎます。また、長尺の原稿をロール状に巻いて置くこともできます。

📖 「原稿のセット方法」 97 ページ

内部



① ロール紙カバー

セットしたロール紙の保護と本機内部へのホコリの侵入を防止するカバーです。ロール紙のセットと取り外しを除いて閉めた状態でお使いください。

📖 「ロール紙のセット方法」 29 ページ

② 給紙口

ロール紙または単票紙 1 枚を印刷するときの給紙口です。単票紙は手差しで 1 枚ずつ挿入します。

③ インクカートリッジ

全スロットに装着してください。

📖 「インクカートリッジの交換」 163 ページ

④ カートリッジカバー

インクカートリッジ交換時に開けます。

⑤ スピンドル

本機にロール紙をセットするときに、ロール紙に差し込んで使います。

⑥ 可動フランジ (透明)

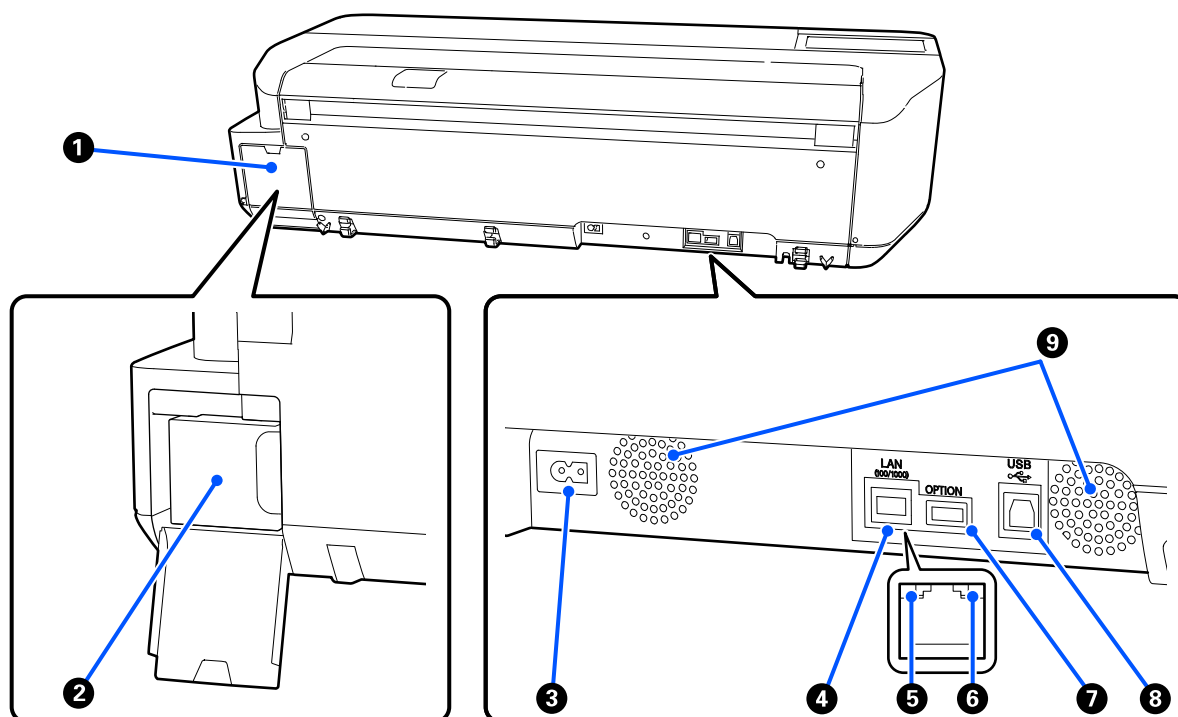
スピンドルにセットしたロール紙を固定します。ロール紙をスピンドルにセット、取り外す際に脱着します。

⑦ スピンドルホルダー

ロール紙をセットしたスピンドルをセットします。左右両側にあります。

📖 「ロール紙のセット方法」 29 ページ

背面



① メンテナンスボックスカバー

メンテナンスボックスを交換するときに開けます。

② メンテナンスボックス

廃インクを溜める容器です。

📖 「メンテナンスボックスの交換」 166 ページ

③ 電源コネクター

付属の電源コードを接続します。

④ LAN ポート

LAN ケーブルを接続します。

⑤ ステータスランプ (緑、オレンジ)

ネットワークの通信速度が色で示されます。

消灯: 10BASE-T

オレンジ色: 100BASE-TX

緑色: 1000BASE-T

⑥ データランプ (黄)

ネットワークの接続状態またはデータの受信状態が点灯/ 点滅で示されます。

点灯: 接続状態です。

点滅: データ受信中です。

⑦ OPTION ポート (SC-T5150M/SC-T3150M 以外)

拡大コピーを行うためのスキャナーを接続します。

 [「A3,A4 スキャナーを使った拡大コピー\(SC-T5150M/SC-T3150M 以外\)」 103 ページ](#)

⑧ USB ポート

USB ケーブルを接続します。

⑨ 通風口

通風口を塞がないでください。

 [「設置スペース」 19 ページ](#)

操作パネル



① ホームボタン

メニュー表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。
給紙などの動作中でホームボタンが使えないときは、
消灯します。

② 点ランプ（電源ランプ）

点灯：電源が入っています。

点滅：起動中、電源オフ処理中、データ受信中、
プリントヘッドのクリーニングなどの処理
中です。点滅が終わるまでそのままお待ち
ください。電源コードを抜いたりしないで
ください。

消灯：電源が入っていません。

③ 点ボタン（電源ボタン）

本機の電源を入れたり、切ったりします。

④ 画面

本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどを表
示するタッチパネルです。画面に表示されたメニュー
項目や選択肢を指で軽く押して（タップして）選択
したり、押したまま指を動かして画面をスクロール
したりすることができます。

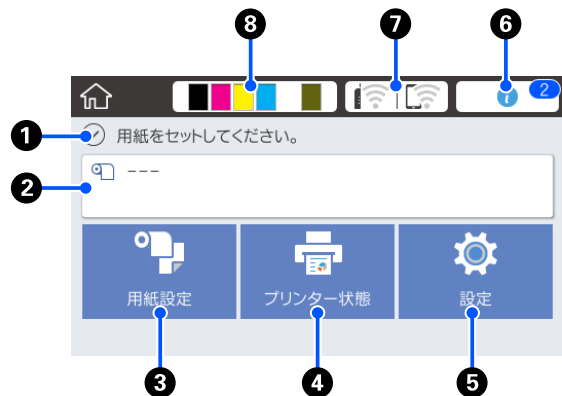
画面の見方と操作

ホーム画面

ホーム画面は、お使いの機種や条件により表示内容が異
なります。

全機種共通

ここでは全機種で共通の表示と操作について説明します。



ホーム画面の操作の概要 『操作ガイド（冊子）』

① 情報表示欄

本機の状態やエラーメッセージなどを表示します。

② ロール紙情報欄

• ロール紙セット時

セットしたロール紙の情報を表示します。残量管
理設定をオンにしていると、おおよその残量（残
りの長さ）も表示されます。

このエリアを押すと、ロール紙の設定や調整など
をするメニューが表示されます。

[「ロール紙メニュー」122 ページ](#)

• ロール紙未セット時

「---」と表示されます。押すと、ロール紙をセッ
トするための手順が表示されます。

③ 用紙設定メニューボタン

用紙のセットや、取り外し、設定、または調整をするときに押します。

- ロール紙は以下をご覧ください。
[🔗 「ロール紙のセットと取り外し」 29 ページ](#)
 メニューの説明 [🔗 「ロール紙メニュー」 122 ページ](#)
- オートシートフィーダーは以下をご覧ください。
[🔗 「オートシートフィーダーへの用紙のセットと取り外し」 34 ページ](#)
 メニューの説明 [🔗 「オートシートフィーダーメニュー」 124 ページ](#)
- 単票紙（1 枚）は以下をご覧ください。
[🔗 「単票紙（1 枚）のセットと取り外し」 37 ページ](#)
 メニューの説明 [🔗 「単票紙（1 枚）メニュー」 125 ページ](#)

④ プリンター状態メニューボタン

消耗品の状態や通知されたお知らせの内容を確認したいときに押します。

[🔗 「プリンター状態メニュー」 126 ページ](#)

⑤ 設定メニューボタン

メンテナンスやプリンターの動作設定、ネットワーク設定などが行えます。詳細は以下をご覧ください。

[🔗 「設定メニュー」 127 ページ](#)

⑥ インフォメーションアイコン

消耗品の残量が少なくなったときなど、お知らせ事項があるときにアイコン右上にバッジでお知らせ件数を表示します。バッジが表示されているときに押すと、未対応のお知らせが一覧で表示されます。各項目を押すと対応方法が表示されます。対応しないとバッジは消えません。

⑦ ネットワークアイコン

ネットワークの接続状態を以下の通りアイコンで示しています。

押すと、ネットワークの接続状態の切り替えができます。

[🔗 「ネットワークの接続方法の変更」 88 ページ](#)

	有線 LAN 非接続、有線 LAN/無線 LAN 未設定
	有線 LAN 接続中
	無線 LAN (Wi-Fi) が無効に設定されている
	SSID 検索中、IP アドレス未設定、電波強度が 0 または悪い

	無線 LAN (Wi-Fi) 接続中 線の本数は電波の状態を示します。線の本数が多いほど、電波の状態は良好です。
	Wi-Fi Direct (シンプル AP) 接続無効
	Wi-Fi Direct (シンプル AP) 接続有効

⑧ 消耗品情報アイコン

インクカートリッジの残量と、メンテナンスボックスの空き容量の目安をバーの長さで示しています。バーが短いほど、残量や空き容量が少ないことを示します。

⚠️ が表示されたときは、その色のインクカートリッジ、またはメンテナンスボックスの空き容量が残り少なくなっています。アイコンを押すと消耗品の状態表示画面になり、インクカートリッジとメンテナンスボックスの型番を確認できます。[プリンター状態] メニューの [消耗品情報] のショートカットボタンです。

[🔗 「プリンター状態メニュー」 126 ページ](#)

SC-T5150M/SC-T3150M 以外

本機にエプソン製 A3、A4 スキャナーを接続すると、[拡大コピー] が表示され、簡単に拡大コピーができます。



[🔗 「A3,A4 スキャナーを使った拡大コピー\(SC-T5150M/SC-T3150M 以外\)」 103 ページ](#)

SC-T5150M/SC-T3150M のみ

画面に [コピー]、[スキャン]、[フォルダーから印刷] のボタンが表示されます。



- 🔗 「コピー(SC-T5150M/SC-T3150M のみ)」 95 ページ
- 🔗 「スキャン(SC-T5150M/SC-T3150M のみ)」 99 ページ
- 🔗 「共有フォルダー内のファイルを印刷 (フォルダー印刷)」 92 ページ

本機に USB フラッシュメモリーを装着すると、画面に [外部メモリーから印刷] のボタンも表示されます。



- 🔗 「USB フラッシュメモリー内のファイルを直接印刷」 93 ページ

お気に入り設定の使い方

以下の画面には、画面右上に [お気に入り] ボタンがあります。(下図は [コピー] 画面の表示例です。)

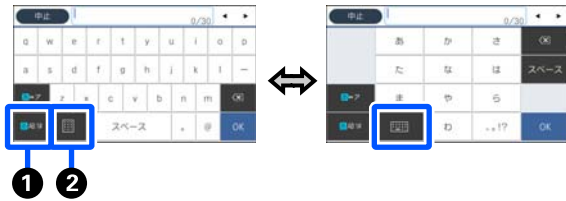
- [拡大コピー] 画面 (SC-T5150M/SC-T3150M 以外)
- [コピー]・[スキャン]・[外部メモリーから印刷] 画面 (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)



- [お気に入り] ボタンを押し、[ユーザー設定に登録] を押すと、次回以降も毎回現在の設定で使用し続けることができます。
- [お気に入り] ボタンを押し、[お気に入りに登録] を押し、登録名称を入力して [OK] を押すと現在の設定がお気に入り設定として登録されます。

登録名称の入力方法

お気に入り設定の名称は、キーボードで入力できます。



① 文字種切り替えボタン

ボタンを押すたびに入力できる文字が以下のように切り替わります。

あ:ローマ字入力/ひらがな入力

AB:アルファベット入力

1#:数字、記号入力

② 入力方法切り替えボタン

ボタンを押すたびにキーボードのレイアウトが図のように切り替わります。

保存したお気に入り設定の削除方法

「お気に入り」ボタンを押し、お気に入り設定の右側にある「>」の部分を押し、次画面で🗑️（ゴミ箱）ボタンを押すと、削除できます。



【コピー】 / 【スキャン】 の初回設定をメーカー設定値に戻すとき

〔本体設定〕 - 〔管理者用設定〕 - 〔初期設定に戻す〕の順に選択し、〔コピー設定〕または〔スキャン設定〕を選択します。

この手順を行っても、保存したお気に入り設定は削除されません。

本機の特徴

高画質を実現

くっきり鮮明かつ屋外でも安心して使える CAD 図面

新開発の Epson UltraChrome XD2 インクにより、モノクロでもカラーでも非常に見やすい図面印刷を実現しました。

付属のプリンタードライバーには、簡単に最適な図面印刷ができる線画モードを搭載しており、線のつながりや斜線・曲線などの線画や細線の出力に優れた、図面に最適な印刷ができます。

また、耐水性に優れたインクを使用しているため、屋外へも安心して持ち出せます。

📖 [「CAD 図面の印刷」56 ページ](#)

鮮やかでかつ短期屋外掲示もできるポスター/ 掲示物

付属のプリンタードライバーの印刷目的で [ポスター(写真)/ パース図] などを選択するだけで、鮮やかな色合いのポスター印刷ができます。

耐光性にも優れたインクを使用しているため、屋内掲示で長期間色あせることはありません。

ラミネート加工をすればさらに長持ちします。

用紙によっては効果が異なります。

使いやすさへのこだわり

省スペースの大判プリンター

従来の弊社の大判プリンターに比べ小型・軽量で置き場所に困りません。スタンド無しモデルは、キャビネットや図面保管庫の上に設置することもできます。本機の外形サイズについては以下をご覧ください。

📖 [「仕様一覧」201 ページ](#)

オートシートフィーダー（単票紙）とロール紙自動切り替え

ロール紙をセットして、同時にオートシートフィーダーにも A3 サイズ以下の用紙を複数枚セットしておくことができます。プリンタードライバーの [給紙方法] の設定でいずれかを選ぶと、自動的に用紙が切り替わり簡単に印刷できます。

画面の操作手順を見ながら円滑に作業できる

直感的に操作できる画面デザインに加えて、用紙のセット方法などの操作方法がイラスト入りで確認できます。

📖 [「操作ガイド（冊子）」](#)

簡単でわかりやすい操作のプリンタードライバー

用途や目的を選択するだけで、最適な印刷設定で印刷できます。個々に面倒な印刷設定をする必要はありません。給紙方法を選択すると、本機にセットされている用紙のサイズや種類が自動で反映されるため、用紙のセットミスによる印刷の失敗を軽減できます。

設定した状態がプリンタードライバー上のイラストで確認できるほか、印刷前のプレビュー画面でさらに詳細な印刷イメージの確認ができます。

無線 LAN 接続に対応

コンピューターと無線 LAN で接続して印刷できるため、ケーブルの引き回しを考慮せず自由に配置できます。もちろん有線 LAN 接続にも対応しています。

また、お手持ちのデバイスが LAN に接続されていなくても、Wi-Fi Direct で本機と直接接続して印刷することもできます。

📖 [「無線 LAN に変更する」88 ページ](#)

📖 [「無線で直接接続する \(Wi-Fi Direct\)」89 ページ](#)

使用・保管時のご注意

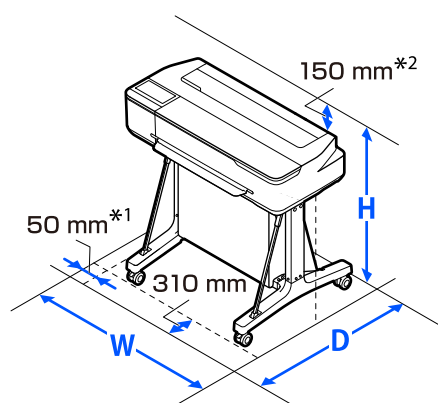
設置スペース

排紙や消耗品の交換を支障なく行うために、最小限、以下のスペースを確保して物などを置かないでください。本機の外形寸法は、「仕様一覧」をご覧ください。

🔗 [「仕様一覧」 201 ページ](#)

SC-T5150M/SC-T5150/SC-T3150/ SC-T3150M

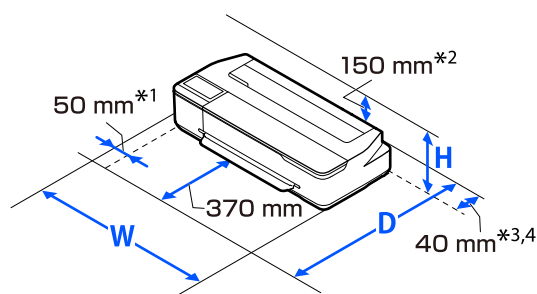
SC-T3150M は、オプションの専用スタンド (24) を装着する場合。



	W	D	H
SC-T5150M	1373 mm	1270 mm	1203 mm
SC-T5150	1318 mm	1270 mm	1063 mm
SC-T3150	1020 mm	1270 mm	1063 mm
SC-T3150M	1075 mm	1270 mm	1203 mm

SC-T3150M/SC-T5150N/SC-T3150N/ SC-T2150/SC-T5150M

SC-T5150M は、付属のスタンドを装着しない場合。



	W	D	H
SC-T3150M	1075 mm	915 mm	520 mm
SC-T5150N	1318 mm	915 mm	380 mm
SC-T3150N SC-T2150	1020 mm	915 mm	380 mm
SC-T5150M	1373 mm	915 mm	520 mm

*1 SC-T5150M/SC-T3150M のとき : 105 mm

*2 SC-T5150M/SC-T3150M のとき : 228 mm

*3 SC-T5150M/SC-T3150M で、原稿サポートを使用するときは、137mm の後方スペースが必要です。

*4 メンテナンスボックスを交換するときは、130 mm 以上の後方スペースが必要です。

使用時のご注意

本機を使用する際は、故障や誤動作、印刷品質低下の原因となりますので、以下の点に注意してください。

• 「仕様一覧」に記載の温度・湿度範囲を守って使用してください。

🔗 [「仕様一覧」 201 ページ](#)

ただし、上記の条件を満たしていても使用する用紙の環境条件を満たしていないと、正しく印刷できないことがあります。必ず用紙の環境条件も満たした場所で使用してください。詳しくは、用紙のマニュアルをご覧ください。

また、乾燥する地域やエアコンが稼動している環境、直射日光が当たる場所で使用するときは、乾燥に注意して条件範囲内の湿度を保つようにしてください。

• 送風機やエアコンなどの風が直接当たる場所、熱源のある場所での使用は避けてください。プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりが発生することがあります。

• エラーが起こったまま電源を切るとキャッピングされない（プリントヘッドが右端に位置しない）ことがあります。キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために自動的にプリントヘッドにキャップ（ふた）をする機能です。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。

• 本機の電源が入っている状態で、電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカーを落としたりしないでください。プリントヘッドがキャッピングされないことがあります。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。

- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもインクカートリッジ交換時・プリントヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
- 良好な印刷品質を保つために、自動でプリントヘッドのクリーニングが実施されることがあります。クリーニングが終了するまで、カバー類を開けたり、電源を落としたりせずにお待ちください。

使用しないときのご注意

本機を使用しないときは、以下の点に注意して保管してください。保管状態が適切でないと、印刷再開時に正しく印刷できないことがあります。

- 本機を保管するときは、インクカートリッジを取り付けたまま、水平な状態で保管してください。本機を傾けたり、立てたり、逆さまにしたりしないでください。
- 印刷しない期間が長くなると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。プリントヘッドの目詰まりを防ぐために、1週間に1度は印刷することをお勧めします。
- 用紙を本機にセットしたまま放置すると、表面にローラーの跡が付くことがあります。また、用紙が波打ったり、反ったりして給紙不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。保管時は用紙を取り外してください。
- プリントヘッドがキャッピングされている（プリントヘッドが右端に位置している）ことを確認してから本機を保管してください。キャッピングせずに長時間放置すると、印刷不良の原因となります。

参考

キャッピングされていないときは、本機の電源を入れ、再度切ってください。

- ホコリが入らないようカバーなどを全て閉めて保管してください。
また、長期間使用しないときは、静電気の発生しにくい布やシートなどを掛けておくことをお勧めします。
本機のノズルは大変小さいものです。そのため、目に見えない小さなホコリがプリントヘッドに付着すると、目詰まりして正しく印刷できないことがあります。
- 環境温度が-10℃以下になるとプリントヘッドが故障するおそれがあります。室内または輸送時の環境温度が-10℃以下になると想定される場合は、必ず事前にインク排出をしてください。

☞「室内や輸送時の環境が-10℃以下になるときの対応」197ページ

操作パネル使用時のご注意

- パネルは指でタッチしてください。指で触れたときのみ動作します。
- 指以外で操作したとき、濡れた指や手袋をした手で操作したとき、パネル上に保護シートやシールが貼られた状態で操作したときは、動作しないことがあります。
- ボールペンやシャープペンシルなどの先のとがったもので操作しないでください。パネルを傷付けるおそれがあります。
- パネルが汚れたら柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は使わないでください。パネルの表面を傷めることがあります。
- 急激に温度、湿度が変化する環境で使用しないでください。パネル内部に結露が発生し、性能が劣化する原因になります。
- 画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

インクカートリッジ取り扱い上のご注意

インクカートリッジは、良好な印刷品質を保つために、以下の点に注意して取り扱ってください。

- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は2回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。
- インクカートリッジは直射日光を避けて常温で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。
- 良好な印刷品質を得るために、パック開封後6カ月以内に使い切ることをお勧めします。
- インクカートリッジの袋は、本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3時間以上室温で放置してからお使いください。

- テープ（黄色）を必ず剥がしてからセットしてください。剥がさないまま無理にセットすると、正常に印刷できなくなるおそれがあります。なお、その他のフィルムやラベルは絶対に剥がさないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- インクカートリッジ上の IC チップは触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
🔗 [「インクカートリッジの交換」163 ページ](#)
- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- インクカートリッジを取り外した状態で本機を放置しないでください。プリントヘッドノズルが乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、本機から取り外しても再装着して使用できます。ただし、再装着の際は、本機の信頼性を確保するためにインクが消費されるため、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。
- 使用途中で取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、本製品と同じ環境で、インク供給孔部を下にするか横にして保管してください。なお、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- 本機はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内にインクが残ります。
- インクカートリッジに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。
- プrintヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもインクカートリッジ交換時・プリントヘッドのクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
- モノクロやグレースケール印刷の場合でも、用紙種類や印刷品質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で印刷します。

用紙取り扱い上のご注意

用紙の取り扱いや保管の際は、以下の点にご注意ください。用紙の状態が悪いと、良好な印刷結果が得られません。

必ず各用紙のマニュアルも併せてご覧ください。

取り扱い上のご注意

- エプソン製の専用紙は一般室温環境下（温度 15～25℃、湿度 40～60%）でお使いください。
- 用紙を折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないでください。
- 用紙の印刷面には触れないでください。手の皮脂や水分が印刷品質に影響します。
- 用紙の端を持って取り扱ってください。また綿製の手袋を着用することをお勧めします。
- 用紙は、温度や湿度などの環境の変化により、波打ったり、反ったりすることがあります。以下の点を守ってください。
 - 用紙は、印刷直前にセットする。
 - 波打ったり反ったりした用紙を使用しない。
ロール紙は、波打ったり反ったりしている部分を切り取って、セットし直してください。
単票紙は、新しい用紙をお使いください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 個装箱や個装袋は、用紙の保管時に使用しますので、捨てないでください。
- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 開封後の単票紙を保管する際は、個装袋に戻して個装箱に入れて水平な状態で保管してください。
- 使用しないロール紙は、本機から取り外し、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。長期間セットしたまま放置すると、用紙品質が低下するおそれがあります。

出力紙取り扱い上のご注意

印刷後は、良好な印刷結果を長期間保持するために以下の点に注意して適切に取り扱ってください。

- 印刷物をこすったり引っかいたりしないでください。こすったり引っかいたりするとインクが剥がれることがあります。
- 印刷物の表面は触らないでください。インクが剥がれることがあります。

- 印刷後の用紙は、重ねたり折り曲げたりせずに十分に乾燥させてください。乾燥させずに重ねると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。この跡はすぐに用紙を剥がして乾燥させればなくりますが、そのまま放置すると跡が消えなくなります。
- 十分乾燥させずにアルバムなどに保存すると、にじむことがあります。
- ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
- 直射日光に当てないでください。
- 印刷後は、変色を防ぐために用紙のマニュアルの指示に従って展示/保存してください。

参考

一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）していきます。エプソン製の専用紙も同様ですが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができます。

- 各エプソン製専用紙の詳しい印刷後の取り扱い方法は、専用紙のマニュアルをご覧ください。
- 写真やポスターなどの印刷物は照明（光源*）の違いなどによって、色の見え方が異なります。本機の印刷物も光源の種類によって色が異なって見えることがあります。
*光源には太陽光、蛍光灯、白熱灯などの種類があります。

省電力の設定

本機には、以下の2種類の省電力設定が装備されています。

スリープモード

エラーが発生していない状態で印刷ジョブの受信や操作パネルなどの操作が何も行われない状態が続いたときは、スリープモードに移行します。スリープモードになると操作パネルの画面表示が消え、内部のモーター等がオフになり消費電力が抑えられます。

印刷ジョブを受信したり、操作パネルの画面を押すと解除されます。

スリープモード移行時間を設定できます。メーカー設定値は、何も操作しない状態が15分続くとスリープモードになります。スリープモードに移行するまでの時間は[基本設定]メニューで変更できます。

 [「本体設定 - 基本設定」127 ページ](#)

参考

スリープモードになると、本機の電源を切ったときのように操作パネルの画面表示が消えますがウランプは点灯しています。

自動電源オフ

エラーが発生していない状態で、設定した時間を越えて印刷ジョブの受信や操作パネルなどの操作が何も行われない状態が続いたときに、自動で本機の電源を切る機能です。

本機購入時は、[設定しない]になっており、自動電源オフは機能しません。自動電源オフの設定は、基本設定メニューで変更できます。

 [「本体設定 - 基本設定」127 ページ](#)

ソフトウェアの紹介

提供ソフトウェア

提供ソフトウェアは下表の通りです。

Windows 用は付属のソフトウェアディスクに収録されています。Mac やディスクドライブ非搭載のコンピューターをお使いのときは <http://epson.sn> からインストールしてください。

各ソフトウェアの詳細は、各ソフトウェアのオンラインヘルプ、または『システム管理者ガイド』（オンラインマニュアル）を参照してください。



エプソンのウェブサイトで、本機対応の便利なソフトウェアを紹介しています。以下からご確認ください。
<https://www.epson.jp>

ソフトウェア名称	機能
プリンタードライバー	本機の機能を十分に発揮して印刷するためには、プリンタードライバーをインストールしてください。 📄 「コンピューターからプリンタードライバーで印刷」 45 ページ
EPSON Software Updater	本機に対応したソフトウェアの更新情報があるか確認して通知とインストールをするソフトウェアです。本機のファームウェアやインストール済みのソフトウェアのアップデートもできます。 📄 「ソフトウェアのアップデートまたは追加インストール」 26 ページ
LFP Print Plug-In for Office (Windows のみ)	Microsoft Office アプリケーション（Word、Excel、PowerPoint）用のプラグインソフトウェアです。インストールすると、Office アプリケーションの画面上にリボンが表示され、簡単な操作で横断幕や垂れ幕、拡大印刷ができます。 ソフトウェアをインストールするときに、追加インストール画面で選択してインストールします。後から EPSON Software Updater でインストールすることもできます。 対応する Microsoft Office のバージョンは、以下の通りです。 Office 2003/Office 2007/Office 2010/Office 2013/Office 2016
EpsonNet Config	エプソン製のプリンターやスキャナーの導入時や移設時にネットワークの初期設定や設定変更を一括して行うソフトウェアです。 EpsonNet Config は、自動ではインストールされません。必要に応じてエプソンのウェブサイトからダウンロードしてインストールしてください。 https://www.epson.jp Windows 用は、付属のソフトウェアディスクの以下のフォルダーからインストールすることもできます。 ¥ ¥ Network ¥ EpsonNetConfig 📄 「システム管理者ガイド」

内蔵ソフトウェア

本機にあらかじめ内蔵されているソフトウェアです。ネットワーク経由で Web ブラウザーから起動して使用します。

ソフトウェア名称	機能
Web Config	ネットワークセキュリティの設定は Web Config から行います。本機のエラーなどをお知らせするメール通知機能もあります。 📄 「Web Config の使い方」 25 ページ

Web Config の使い方

起動方法や機能の概要を説明します。

起動方法

本機と同一のネットワークに接続しているコンピューターやスマートデバイスのブラウザで起動します。

1 本機の IP アドレスを確認します。

ホーム画面で  を押して接続済みのネットワークを選択し、IP アドレスを確認します。

参考

IP アドレスはネットワーク接続診断レポートを印刷することでも確認できます。レポートは、ホーム画面から以下の順に押して印刷します。
 [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [接続診断]

2 本機とネットワークで接続されているコンピューターやスマートデバイスで **Web** ブラウザーを起動します。

3 Web ブラウザーのアドレスバーに本機の IP アドレスを入力して、【Enter】または【Return】キーを押します。

書式：

IPv4：http://本機の IP アドレス/

IPv6：http://[本機の IP アドレス]/

例：

IPv4：http://192.168.100.201/

IPv6：http://[2001:db8::1000:1]/

終了方法

Web ブラウザーを終了します。

機能概要

Web Config の主な機能を紹介します。詳細については『システム管理者ガイド』をご覧ください。



主な機能

- インク残量などの本機の状態を確認できます。
- 本機のファームウェアのバージョン確認とアップデートをすることができます。
- 本機のネットワーク設定や、本機単体ではできない SSL/TLS 通信、IPsec/IP フィルタリング、IEEE802.1X などの高度なセキュリティ設定ができます。
- ユーザー用紙設定の編集や、設定のエクスポート、インポートができます。
 本機の [設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [ユーザー用紙設定] で登録したユーザー用紙設定を変更したり、ファイルに書き出して別の本機に書き込む（登録する）ことができます。本機を複数台導入していて共通のユーザー用紙設定を使いたいときに便利です。
- 印刷したいファイルを選択して本機にアップロードするだけで印刷できます。（SC-T5150M/SC-T3150M のみ）
[🔗「Web 経由のダイレクト印刷（アップロード印刷）」](#)
[91 ページ](#)

ソフトウェアのアップデートまたは追加インストール

『セットアップガイド』に従ってセットアップ時にインストールを行うと Epson Software Updater がインストールされます。Epson Software Updater では、本機のファームウェアとインストール済みのソフトウェアのアップデートや本機対応のソフトウェアの追加インストールができます。

参考

ソフトウェアは、随時バージョンアップを行い利便性の向上や機能強化をしています。Epson Software Updater でアップデートの通知を受ける設定にして、通知があったら速やかにアップデートすることをお勧めします。

更新されたか確認してアップデート

1 以下の状態になっていることを確認します。

- コンピューターがインターネットに接続されている。
- 本機とコンピューターが通信できている。

2 Epson Software Updater を起動します。

- Windows
すべてのプログラムの一覧を表示し、Epson Software フォルダーにある Epson Software Updater をクリックして起動します。

参考

- キーボードの Windows キー（Windows ロゴマークのキー）を押し、表示されたウィンドウ内の検索ボックスにソフトウェア名称を入れて検索するとすぐに表示されます。
- デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、[ソフトウェアアップデート] を選択して起動することもできます。

• Mac

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

3 アップデートするソフトウェアやマニュアルを選んで更新します。

以降は画面の指示に従ってください。

!重要

更新中は、コンピューターや本機の電源を切らないでください。

参考

一覧に表示されないソフトウェアは EPSON Software Updater では更新できません。エプソンのウェブサイトでも最新のソフトウェアを確認してください。また、Windows Server OS をお使いの場合、Epson Software Updater ではインストールができません。エプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。
<https://www.epson.jp>

アップデートの通知を受け取る

Windows

1 Epson Software Updater を起動します。

2 [確認の間隔設定] をクリックします。

3 本機の [間隔] の欄で更新の確認を行う間隔を選択して [OK] をクリックします。

Mac

メーカー設定で、30 日毎にアップデートがあるかどうかを確認して通知する設定になっています。

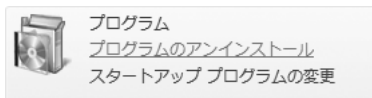
ソフトウェアの削除

Windows

！重要

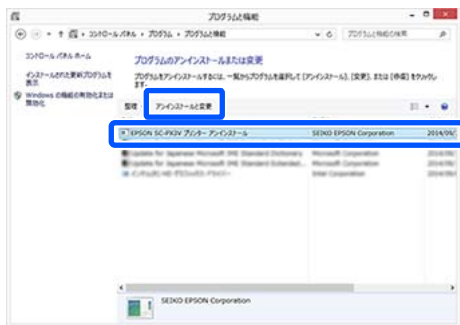
- 管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。
- 管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

- 1 本機の電源を切り、インターフェイスクーブルを外します。
- 2 お使いのコンピュータで起動している全てのアプリケーションソフトを終了させます。
- 3 【コントロールパネル】の【プログラム】 - 【プログラムのアンインストール】をクリックします。

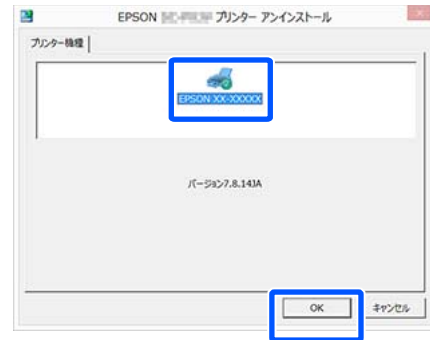


- 4 削除するソフトウェアを選択して【アンインストールと変更】（または【変更と削除】 / 【追加と削除】）をクリックします。

【EPSON SC-XXXXX プリンターアンインストール】を選択すると、プリンタードライバーと EPSON プリンターウィンドウ3 を削除できます。



- 5 本機のアイコンをクリックして、【OK】をクリックします。



- 6 この後は、画面の指示に従ってください。
削除を確認するメッセージが表示されたら【はい】をクリックします。

プリンタードライバーを再インストールするときは、コンピュータを再起動してください。

Mac

プリンタードライバーやその他のソフトウェアを再インストールしたりバージョンアップするときは、以下の手順で対象のソフトウェアを削除してから行います。

プリンタードライバー

「Uninstaller」を使います。

入手方法

「Uninstaller」をエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。

<https://www.epson.jp>

操作手順

「Uninstaller」を入手時に手順も確認いただき、その手順に従ってください。

その他のソフトウェア

【アプリケーション】フォルダー内のソフトウェア名称が付いたフォルダーごと、【ゴミ箱】にドラッグ&ドロップして削除します。

用紙のセットと設定

用紙セット時のご注意

⚠ 注意

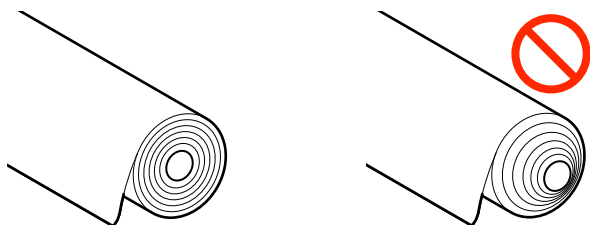
用紙の端を手でこすらないでください。用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

用紙をセットしたまま放置しない

用紙を本機にセットしたまま放置すると、表面にローラーの跡が付くことがあります。また、用紙が波打ったり（湿気を含んで表面や端に凹凸がある状態）、反ったりして用紙送り不良や紙詰まり、印刷汚れの原因となります。開封後の用紙は個装袋に戻して水平な状態で保管し、印刷時に袋から取り出して使うことをお勧めします。

左右端が不ぞろいなロール紙はセットしない

左右の端が不ぞろいなロール紙をセットすると、用紙送り不良が生じ印刷中に用紙が蛇行する原因となります。端がそろるように巻き直してから使用するか、問題のないロール紙を使用してください。



反りがある用紙はセットしない

反りがある用紙をセットすると、紙詰まりや印刷汚れの原因になります。反りと反対に丸めるなどして平らにしてから使用するか、問題のない用紙を使用してください。

使用できない用紙

波打っている（湿気を含んで表面や端に凹凸がある状態）、破れている、切れている、折りがある、湿っている、厚過ぎる、薄過ぎる、シールなどが貼ってある用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。本機で対応可能な用紙については以下をご覧ください。

☞ [「エプソン製専用紙一覧」 189 ページ](#)

☞ [「使用可能な市販用紙」 192 ページ](#)

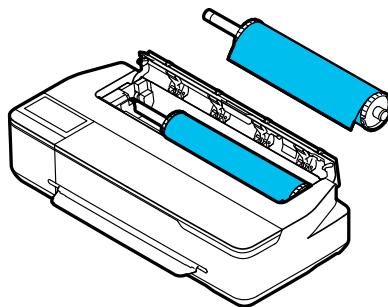
用紙のセット位置

セットする用紙の形状やサイズに応じてセットする位置が異なります。本機で使用可能な用紙の詳細については以下をご覧ください。

☞ [「使用可能な用紙」 189 ページ](#)

ロール紙

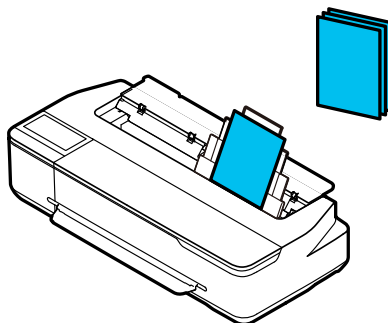
297 mm～最大印字幅のロール紙をセットできます。



オートシートフィーダー

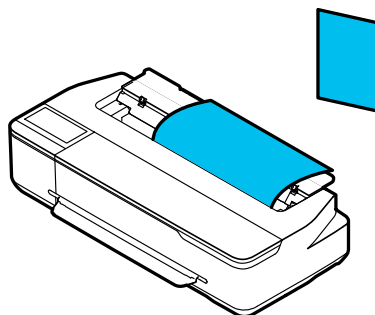
A4～A3 の用紙を複数枚セットできます。1 度にセットできる枚数は用紙により異なります。詳しくは以下をご覧ください。

☞ [「単票紙」 190 ページ](#)



単票紙（1 枚）

A4～最大印字幅の単票紙を 1 枚セットできます。



参考

- ロール紙と単票紙（1枚）の給紙口は同じです。どちらか一方を給紙口に入れてセットします。
- ロール紙をセットしたまま、オートシートフィーダーに用紙をセットしておくことができます。プリンタードライバーで目的の給紙方法に切り替えて印刷できます。

ロール紙のセットと取り外し

ロール紙は付属のスピンダルに取り付けてから本機にセットします。

用紙を交換するときは、セットしてある用紙を先に取り外してください。

🔗 [「ロール紙の取り外し方」 32 ページ](#)

🔗 [「単票紙（1枚）の取り外し方」 38 ページ](#)

オートシートフィーダーに用紙がセットされているときは、いったん用紙を取り除き、ロール紙のセットまたは取り外しが終わったらまたセットしてください。ロール紙に印刷するときは排紙スタッカーを取り外してください。

🔗 [「オートシートフィーダーからの用紙の取り外し方」 36 ページ](#)

🔗 [「排紙スタッカー（普通紙用）の取り付けと取り外し」 34 ページ](#)

ロール紙のセット方法

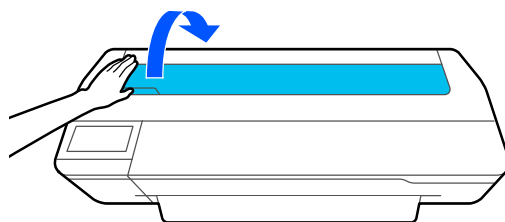
⚠ 注意

ロール紙をセットするときは、フランジを持ってセットしてください。他の部分を持ってセットすると手や指を挟んでけがをするおそれがあります。

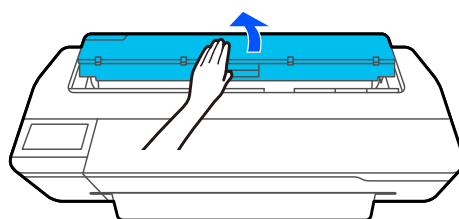
参考

画面でセット方法の手順を見ながらセットできます。画面で手順を見るには、ホーム画面のロール紙情報欄を押します。

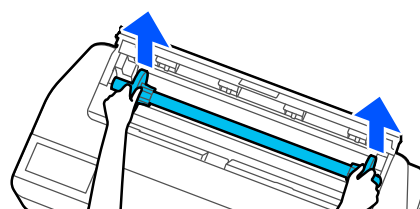
- 1 ホーム画面に「用紙をセットしてください。」と表示されていることを確認して、単票紙カバーを開けます。



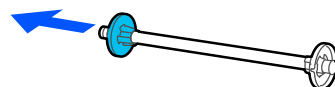
- 2 中央のロックを解除してロール紙カバーを開けます。



- 3 セットされているスピンダルを取り出します。

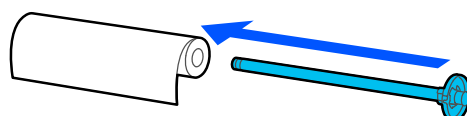


- 4 スピンダルから透明のフランジを抜き取ります。

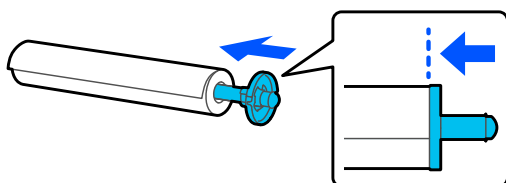


- 5 ロール紙を水平な場所に置き、スピンドルを差し込みます。

黒いフランジが向かって右にあるときに、用紙先端が下図の向きになるようにします。

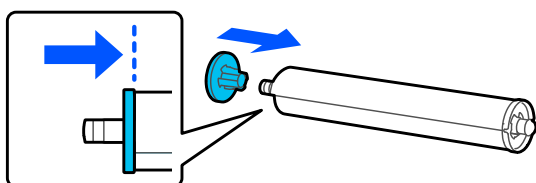


- 6** フランジとロール紙の間に隙間がなくなるまでフランジをロール紙に押し込みます。

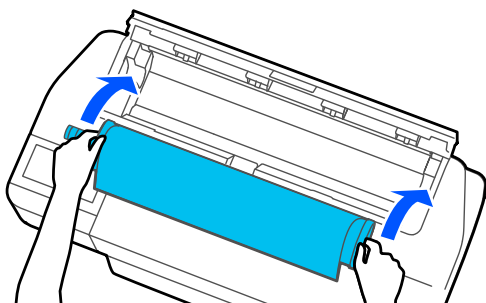


- 7** 透明のフランジを取り付け、ロール紙との隙間がなくなるまで押し込みます。

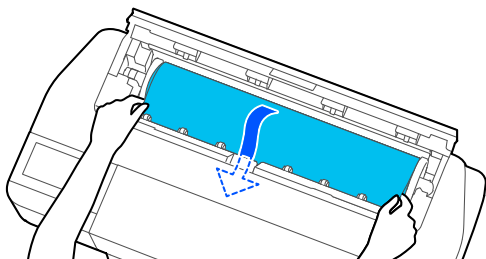
両端のフランジとロール紙の間に隙間があると、用紙が斜めに給紙されてエラーになることがあります。



- 8** スピンドルの黒いフランジを右側にして、スピンドルホルダーの左右のくぼみにスピンドルの軸をセットします。



- 9** ロール紙の先端が折れていないことを確認して、音が鳴るまでロール紙の先端を給紙口に挿入します。



！重要

用紙端を持って、給紙口にまっすぐに挿入してください。斜めに挿入すると、斜行エラーや紙詰まりの原因になります。

参考

ロール紙の先端が水平になっていないときやきれいにカットされていないときは、セット完了後に自動で先端がカットされます。ただし、[自動カット]が[オフ]に設定されているときはカットされません。

- 10** ロール紙カバーと単票紙カバーを閉めます。

- 11** 表示された画面で、セットした用紙に合った用紙種類を設定し、必要に応じて残量管理の設定をします。

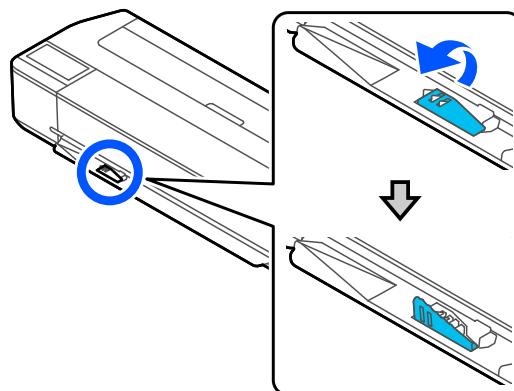
適切な用紙種類を設定しないと、印刷品質トラブルの原因になります。用紙種類と残量管理設定については以下をご覧ください。

📄 [「ロール紙の場合」 39 ページ](#)

！重要

SC-T5150M/SC-T5150/SC-T5150N に B1 幅相当の用紙をセットしたとき

B1 幅相当（718～738 mm）の用紙をセットしたときに限り、図のように B1 幅排紙サポートを立ててください。B1 幅排紙サポートを立てた状態で印刷しないと印刷面にこすれ汚れが発生することがあります。



B1 幅相当以外のサイズに印刷するときは倒したままにしてください。

12 出力用紙がスムーズに排出されるように準備します。

本機にスタンドを装着しているとき

スタンドに付いている排紙バスケットが開いていることを確認します。

参考

長尺印刷など、排紙バスケットに収容しきれないようなサイズの印刷をするときは、排紙バスケットを閉じた状態で印刷します。排紙された用紙が床と接触する前に、排紙口付近で用紙両端を手で持ち、そのまま軽く持ち上げた状態で印刷が終了するまで保持することをお勧めします。

本機にスタンドを装着していないとき

排紙された用紙が引っ掛からないように排紙口の前を平らな状態にします。

参考

長尺印刷など印刷物が長くなるときは、排紙された用紙が床面に接触する前に排紙口付近で用紙両端を手で持ち、そのまま軽く持ち上げた状態で印刷が終了するまで保持することをお勧めします。

ロール紙のカット

自動カット

本機は、メーカー設定で自動カットがオンに設定されています。オンに設定されていると、以下のときに自動でロール紙をカットします。

- 先端が水平でないと検知されたとき
ロール紙を給紙した際に、先端部分をカットして整えます。
- 1 ページの印刷が終了したとき
次ページの印刷開始前にカットします。

ページごとにカットしたくないときや好きな位置でカットするときは、以降をご覧ください。

最終ページ印刷後または任意の位置でカットする

プリンタードライバーで自動カットをしない設定にして印刷し、印刷終了後に本機の「用紙送り/カット」メニューでカットします。

1 プリンタードライバーの「拡張設定」 - 「ロール紙オプション」 - 「オートカット」で「カットなし」を選択して印刷します。

本機の自動カットの設定はオンのままにしてください。

参考

- 自動カットの設定は、本機の設定よりプリンタードライバーの設定が優先されます。プリンタードライバーの自動カットの設定は、アプリケーションソフトを閉じるとメーカー設定の「カットあり」にリセットされます。
- HP-GL/2 モード印刷や拡大コピーのときに自動カットをしないようにするには、本機の自動カットの設定をオフにします。ホーム画面のロール紙情報欄 - 「用紙の詳細設定」 - 「自動カット」 - 「オフ」の順に押して設定します。変更した設定は、現在選択されている用紙種類の設定として保存されます。

2 印刷終了後に本機のホーム画面からロール紙情報欄 - 「用紙送り/カット」の順に押します。

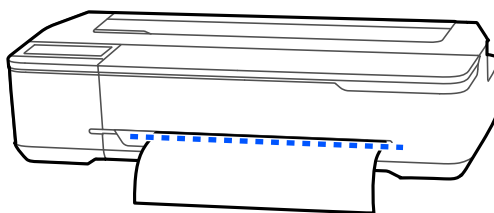
画面に表示されたボタンを使ってカットや用紙送りをします。

本機既定のカット位置（後端余白の直後）でカットするとき

✂（カット）ボタンを押します。用紙がカットされ、用紙先端が印刷待機位置に戻ります。

任意の位置でカットするとき

- ① カットしたい位置が図の点線の位置にくるまで
↓（送る）または ↑（戻す）ボタンを押し続けます。
後端余白より内側にカット位置を設定できません。

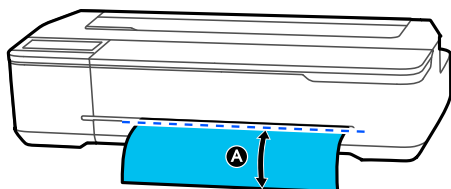


- ② ✂（カット）ボタンを押します。
用紙がカットされます。

参考

図の **A** の長さが以下の長さに満たないときは、カット時に自動で必要な長さまで用紙が送られます。

- 普通紙やトレーシングペーパー : 100 mm
- 写真用紙やコート紙 : 80 mm
- 合成紙などの厚めの用紙 : 60 mm



市販の合成紙やクロス系の用紙をはさみでカットする

本機のカッターできれいにカットできない市販用紙をお使いのときは、切り取り線を印刷してお手持ちのはさみでカットします。

！重要

- 市販の合成紙やクロス系の用紙を内蔵カッターでカットすると、カッターを傷めたり、カッターの寿命を縮めたりするおそれがあります。これらの用紙を使用するときは、以下の手順に従ってお手持ちのはさみでカットしてください。
- お手持ちのカッターは使用しないでください。本機を傷つけるおそれがあります。

1 自動カットをしない設定にして印刷します。

切り取り線印刷をするためには、本機の自動カットの設定をオフにします。プリンタードライバーを介して印刷するときは、プリンタードライバーの設定もオフにします。

- 本機の設定
ホーム画面のロール紙情報欄 - [用紙の詳細設定] - [自動カット] - [オフ]
- プリンタードライバーの設定
[拡張設定] - [ロール紙オプション] - [オートカット] - [カットなし]

2 印刷終了後に本機のホーム画面からロール紙情報欄 - [用紙送り/カット] の順に押します。

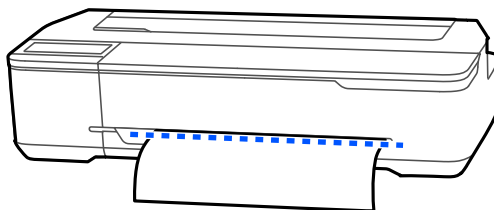
3 画面に表示されたボタンを操作します。

本機既定の位置（後端余白の直後）に切り取り線を印刷するとき

✂ (カット) ボタンを押します。カットまたは切り取り線印刷の選択画面が表示されます。

任意の位置に切り取り線を印刷するとき

切り取り線を印刷したい位置が図の点線の位置にくるまで (送る) または (戻す) ボタンを押し続けます。



後端余白より内側に切り取り線の印刷をすることはできません。用紙の移動が終わったら (カット) を押します。カットまたは切り取り線印刷の選択画面が表示されます。

4 [切り取り線印刷] を押します。

切り取り線が印刷され、ハサミでカットしやすい位置まで自動で用紙が排出されます。

5 切り取り線に沿ってお手持ちのはさみでカットし、[確認] を押します。

用紙が巻き戻り、用紙先端が印刷待機位置に戻ります。

ロール紙の取り外し方

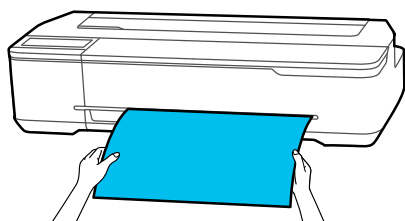
印刷終了後、ロール紙を本機から取り外して保管する手順を説明します。ロール紙をセットしたまま放置すると、表面にローラーの跡が付くことがあります。

参考

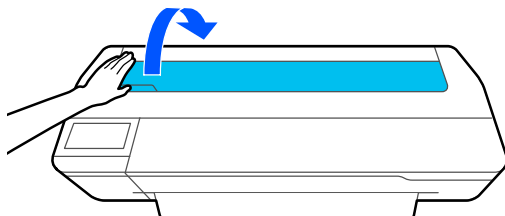
画面でロール紙の取り外し手順を見ながら取り外せます。画面で手順を見るには、ホーム画面のロール紙情報欄 - [取り外し] の順に押します。

- 1** 印刷済み用紙の後端が本機に保持されているときは、用紙両端を持ち手前に引っ張って取り外します。

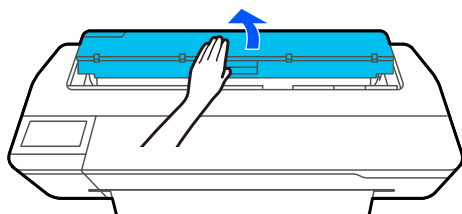
印刷済みの用紙は、次の印刷を開始すると自動で落下します。



- 2** 単票紙カバーを開けます。



- 3** 中央のロックを解除してロール紙カバーを開けます。

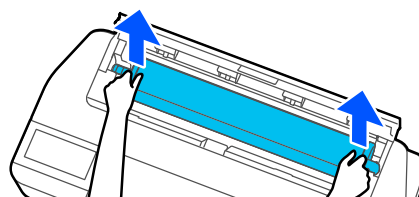


- 4** 「取り外す」を押します。
用紙が巻き戻って排紙されます。

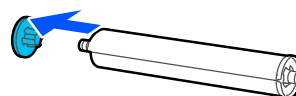
参考

印刷済みの用紙がカットされずに残っているときは、確認画面が表示されます。
 「カット」を押すと既定のカット位置でカットされ、
 「切り取り線印刷」を押すと規定の位置に切り取り線が印刷されます。
 カット位置や切り取り線印刷位置を任意の位置に変更したいときは、「閉じる」を押し、「用紙送り/カット」メニューで変更してください。
 詳細は、以下をご覧ください。
 ☞ [「ロール紙のカット」 31 ページ](#)

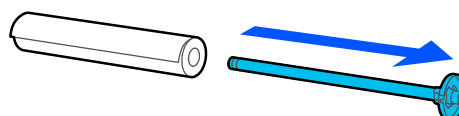
- 5** スピンドル両端のフランジを持ちスピンドルホルダーから取り外します。



- 6** 透明のフランジをスピンドルから取り外します。



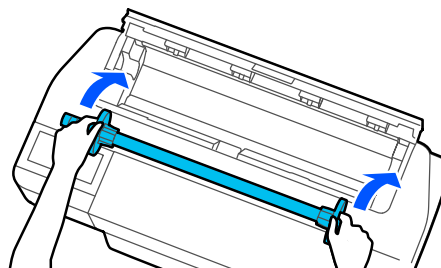
- 7** ロール紙からスピンドルを外します。



！重要

ロール紙はきちんと巻き直してから購入時に梱包されていた個装袋に包み、個装箱に入れ保管してください。

- 8** スピンドルに透明のフランジを取り付けて、本機の中に戻します。



- 9** ロール紙カバーと単票紙カバーを閉めます。

オートシートフィーダーへの用紙のセットと取り外し

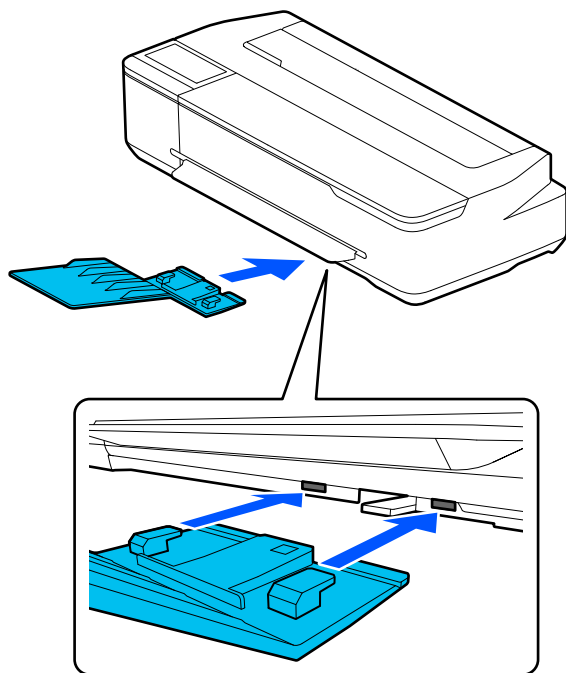
排紙スタッカー（普通紙用）の取り付けと取り外し

オートシートフィーダーから普通紙を連続して複数枚印刷をするときは、付属の排紙スタッカーを取り付けます。スタッカーに排紙できる枚数は約 20 枚です。

ただし、ロール紙や単票紙（1 枚）の印刷時には、排紙がスムーズに行われるように排紙スタッカーを取り外します。

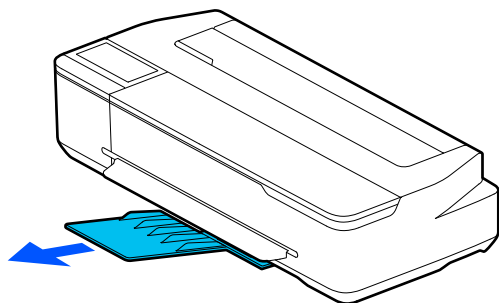
取り付け方

排紙スタッカーのフックを本機前面の穴にまっすぐに挿入して装着します。



取り外し方

排紙スタッカーを手前に引いて取り外します。



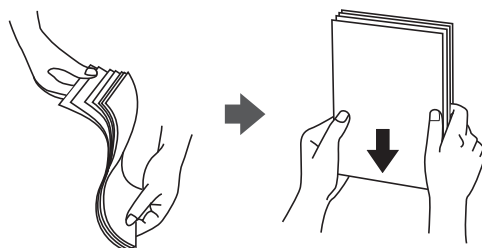
オートシートフィーダーへの用紙のセット方法

参考

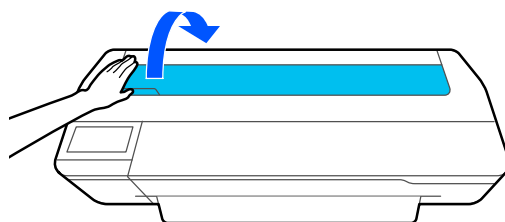
- オートシートフィーダーにセットできる枚数は用紙種類によって異なります。詳しくは以下をご覧ください。
[☞ 「単票紙」 190 ページ](#)
[☞ 「使用可能な市販用紙」 192 ページ](#)
- 画面でセット方法の手順を見ながらセットできます。画面で手順を見るには、ホーム画面から【用紙設定】 - 【オートシートフィーダー】の順に押します。

！重要

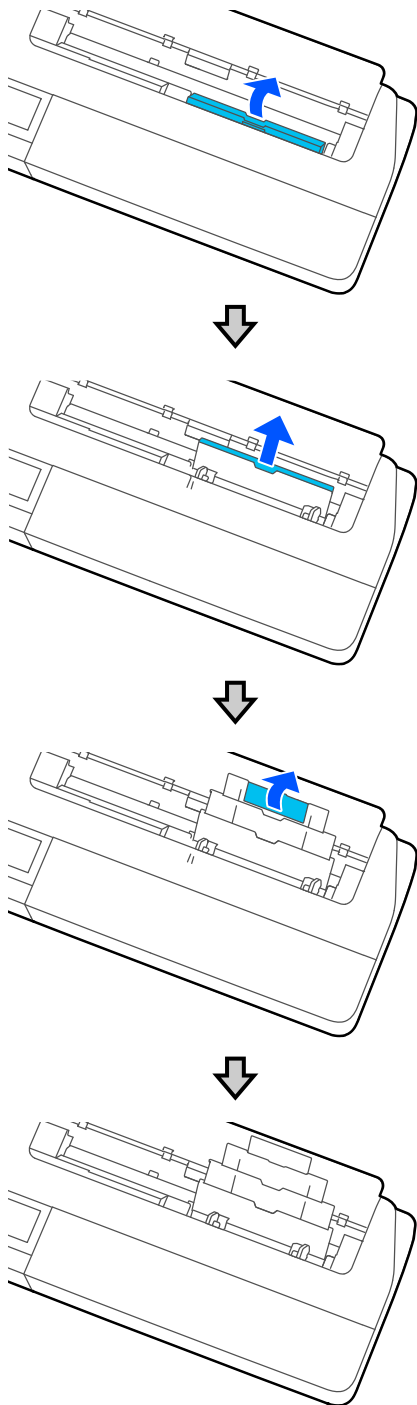
印刷用紙を複数枚セットするときは、よくさばいて紙粉を落とし、側面を整えてください。ただし、写真用紙はさばいたり、反らせたりしないでください。印刷面に傷が付くおそれがあります。



- 1 ホーム画面に【用紙をセットしてください。】または【印刷可能】と表示されていることを確認して、単票紙カバーを開けます。

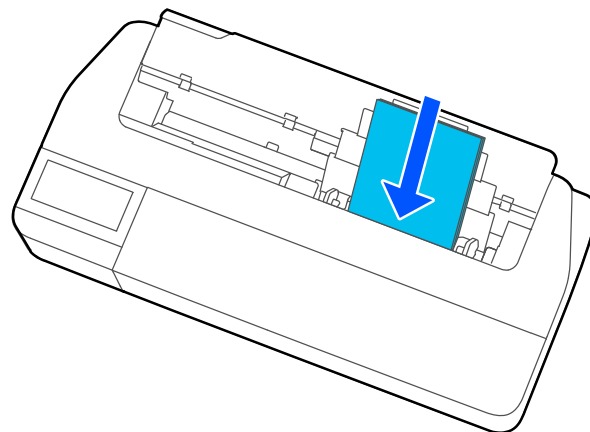


- 2** オートシートフィーダーを後ろ側に倒してから、上に引き出します。



- 3** 印刷する面を手前にして、オートシートフィーダーに用紙をセットします。

用紙端をそろえてからセットしてください。

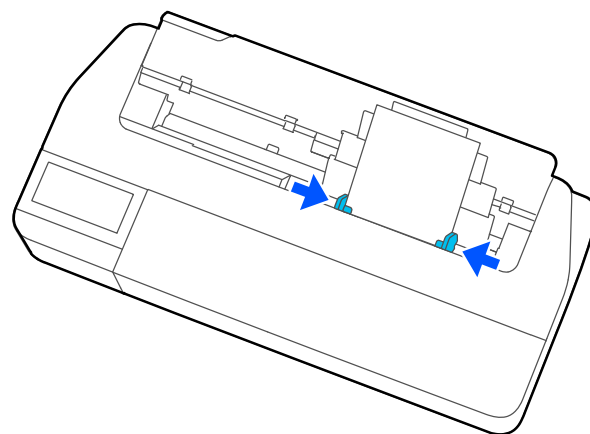


！重要

用紙は必ず縦長にセットしてください。横長にセットすると印刷品質が低下することがあります。

- 4** エッジガイドを用紙端に合わせます。

エッジガイドが用紙端から離れていると、用紙が斜めに給紙されて斜行エラーや紙詰まりの原因になります。



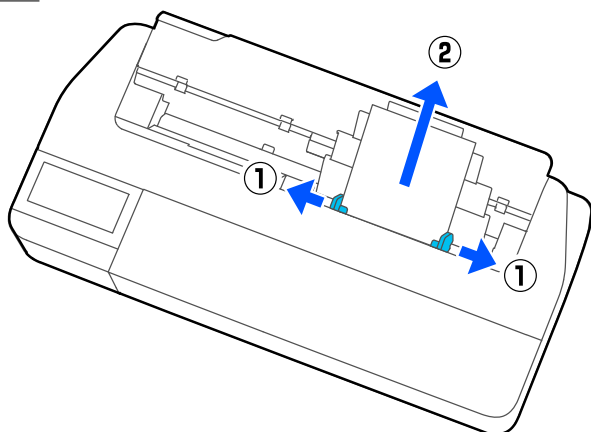
- 5** 表示された画面で、セットした用紙に合った用紙種類とサイズを設定します。

適切な用紙種類を設定しないと、印刷品質トラブルの原因になります。用紙種類とサイズ設定については以下をご覧ください。

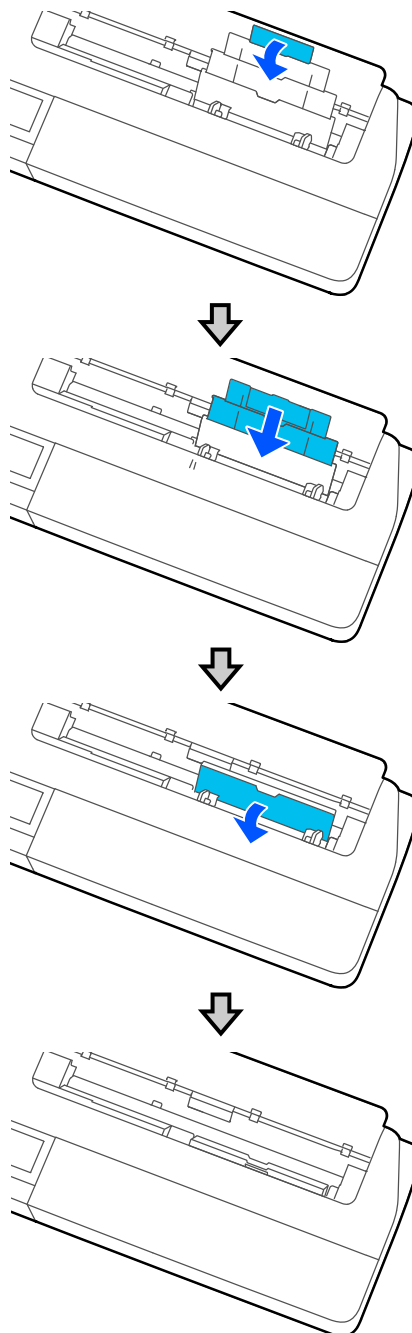
 「オートシートフィーダー/単票紙（1枚）の場合」 40 ページ

オートシートフィーダーからの 用紙の取り外し方

- 1** エッジガイドを広げて用紙を取り除きます。



- 2** オートシートフィーダーをたたんで手前に倒します。



- 3** 単票紙カバーを閉めます。

単票紙（１枚）のセットと取り外し

単票紙（１枚）のセット方法

ロール紙がセットされているときは、ロール紙を取り外してください。

☞「ロール紙の取り外し方」32 ページ

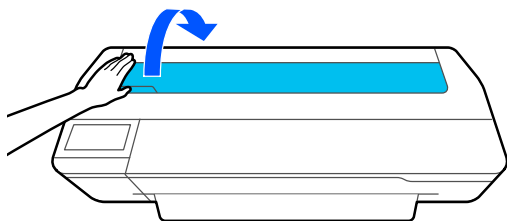
オートシートフィーダーに用紙がセットされているときは、用紙を取り外してオートシートフィーダーをたたんでください。また排紙スタッカーを取り付けているときは取り外してください。

☞「オートシートフィーダーからの用紙の取り外し方」36 ページ

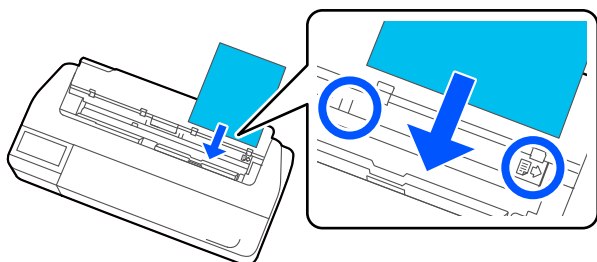
☞「排紙スタッカー（普通紙用）の取り付けと取り外し」34 ページ

- 1 ホーム画面に「用紙をセットしてください。」と表示されていることを確認して、[用紙設定] - [単票紙（１枚）]の順に押します。

- 2 単票紙カバーを開けます。



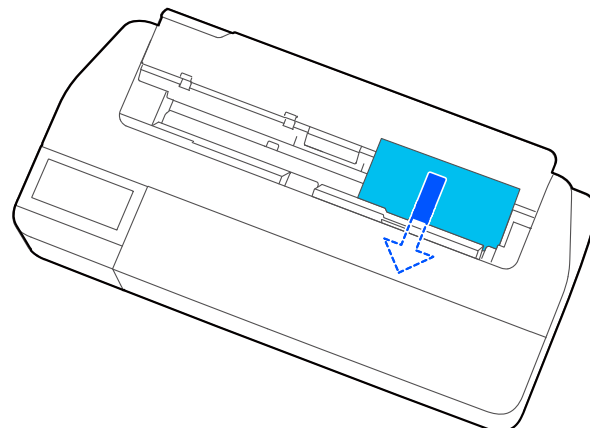
- 3 用紙の印刷する面を手前にして、用紙右端を右端の刻印線に、左端を用紙サイズの刻印線に合わせます。



！重要

用紙は必ず縦長にセットしてください。横長にセットすると印刷品質が低下することがあります。

- 4 音が鳴るまで用紙の先端をまっすぐ給紙口に挿入します。



！重要

用紙端を持って、給紙口にまっすぐに挿入してください。斜めに挿入すると、斜行エラーや紙詰まりの原因になります。

- 5 表示された画面で、セットした用紙に合った用紙種類とサイズを設定します。

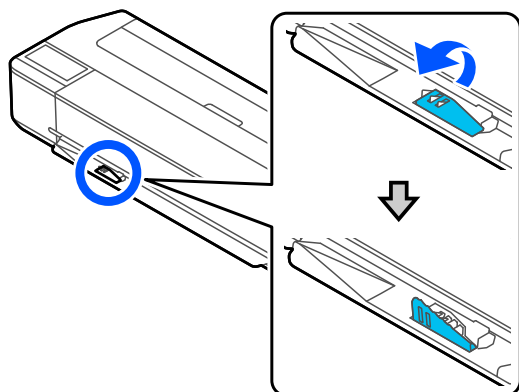
適切な用紙種類を設定しないと、印刷品質トラブルの原因になります。用紙種類とサイズ設定については以下をご覧ください。

☞「オートシートフィーダー/単票紙（１枚）の場合」40 ページ

！重要

SC-T5150M/SC-T5150/SC-T5150N に B1 サイズの用紙をセットしたとき

B1 幅相当（718 ～ 738 mm）の用紙をセットしたときに限り、図のように B1 幅排紙サポートを立ててください。B1 幅排紙サポートを立てた状態で印刷しないと印刷面にこすれ汚れが発生することがあります。



B1 幅相当以外のサイズに印刷するときは倒したままにしてください。

6 出力用紙がスムーズに排出されるように準備します。

本機にスタンドを装着しているとき

スタンドに付いている排紙バスケットが開いていることを確認します。

本機にスタンドを装着していないとき

排紙された用紙が引っ掛からないように排紙口の前を平らな状態にします。

参考

長尺印刷など印刷物が長くなるときは、排紙された用紙が床面に接触する前に排紙口付近で用紙両端を手で持ち、そのまま軽く持ち上げた状態で印刷が終了するまで保持することをお勧めします。

単票紙（1枚）の取り外し方

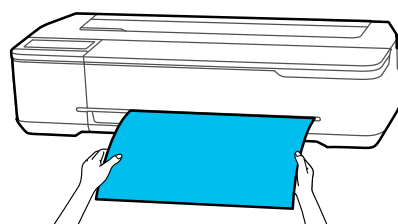
印刷していない単票紙を取り外すとき

ホーム画面から【用紙設定】 - 【単票紙（1枚）】 - 【取り外し】の順に押します。

用紙が排紙されます。

印刷済みの単票紙を取り外すとき

用紙端を手で持ち手前に引っ張って取り外します。



印刷後の用紙は後端が本機に保持された状態で止まります。手で取り外す前に次の印刷を開始すると自動で落下します。

セットした用紙の設定

ロール紙の場合

ロール紙セット後は以下の設定を行います。

用紙種類の設定

最適な印刷結果を得るために最も重要な設定です。セットした用紙に合った用紙種類に設定しないと、しわ・こすれ、色ムラなどのトラブルの原因になります。

残量管理設定

残量管理設定をオンにしてセットしたロール紙の全長を入力すると、本機のホーム画面やプリンタードライバーの画面にロール紙残量の目安が表示されます。また、残量が少なくなったときお知らせを表示させることもできます。

残量値は、上記で選択した用紙種類に付随して保存されます。例えば、普通紙とトレーシングペーパーで別々に残量管理できます。

参考

同じ用紙種類で幅の異なるロール紙を各幅ごと残量管理して使いたいときは、片方の幅をユーザー用紙設定で登録します。ユーザー用紙設定の登録とは、新たな用紙種類設定を追加することです。[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [ユーザー用紙設定]で行います。ユーザー用紙設定の詳細は以下のユーザー用紙設定メニューをご覧ください。

🔗 [「本体設定 - プリンター設定」129 ページ](#)

設定方法

- 1 ロール紙セット後に表示される画面に現在設定されている用紙種類が表示されます。



用紙種類を変更するとき

手順 2 に進みます。

用紙種類は変更せず用紙残量の設定をするとき

手順 5 に進みます。

どちらも変更しないとき

[OK] を押します。画面に [印刷可能] と表示されたら印刷を開始できます。

参考

上記画面は、何も操作しない状態が 90 秒続くと設定が確定されます。後から変更するときは、ホーム画面のロール紙情報欄 - [用紙種類の変更] の順に押して設定を行います。

2

「用紙種類」を押します。

以下の用紙種類選択画面が表示されます。



参考

[その他] 以外の 3 つの選択肢には、最近選択した用紙種類が表示されます。

3

セットしたロール紙に合った用紙種類を選択します。

エプソン製専用紙

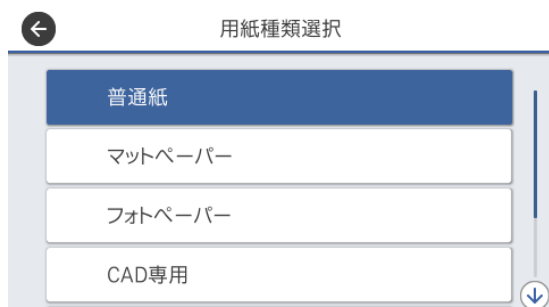
用紙のパッケージに記載されている商品名と同じものを選択してください。

エプソン製以外の市販用紙

以下の市販用紙用の用紙種類から選択してください。

- 普通紙
- コート紙<その他>
- フォトペーパー<その他>
- トレーシングペーパー
- トレーシングペーパー<薄手>
- マットフィルム
- 青写真用紙

画面に表示されていない用紙種類を選択するときは、[その他]を押します。



カテゴリーを選択して該当の用紙種類を選択します。

参考

カテゴリー選択画面で下スクロールすると、[ユーザー用紙]が表示されます。登録済みのユーザー用紙を選択するときは[ユーザー用紙]を押します。

4 用紙種類を選択すると、手順 1 の画面に戻ります。

残量管理設定をしないときは [OK] を押します。

5 [用紙残量] を押します。

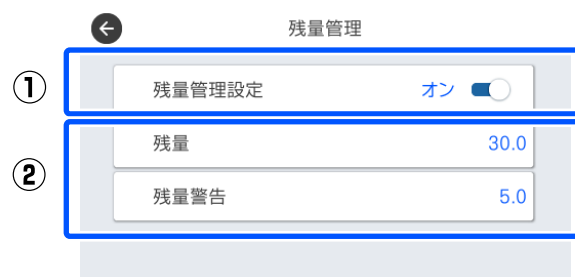


6 [残量管理設定] を押します。

設定が [オン] に変わり、[残量] と [残量警告] が有効になります。それぞれを押して以下の通り値を入力します。

- 残量：セットしたロール紙の全長（ロール紙に付属のマニュアルを参照）

- 残量警告：残量警告のお知らせを表示させるタイミングとなる残量値



参考

数値を入力するテンキー画面では、小数点第一位の値まで入力します。例えば 5 m と入力したいときは、[5][0] と押します。

7 画面左上の ◀ を押して手順 5 の画面に戻り、[OK] を押します。

画面に [印刷可能] と表示されたら印刷を開始できます。

参考

残量表示が 0 m になった、または用紙が実際になくなった後に用紙を交換すると、[残量] はメーカー設定値の 30 m に戻ります。

オートシートフィーダー/単票紙（1 枚）の場合

オートシートフィーダーに用紙をセットした後、または単票紙（1 枚）をセットした後は以下の設定を行います。

用紙種類の設定

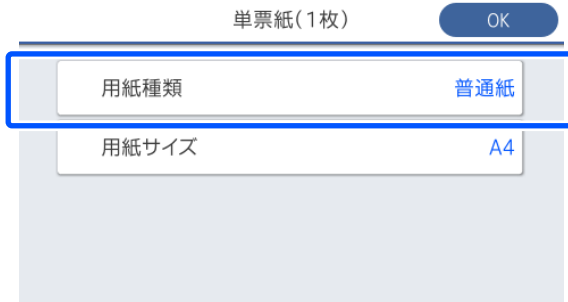
最適な印刷結果を得るために最も重要な設定です。セットした用紙に合った用紙種類に設定しないと、しわ・こすれ、色ムラなどのトラブルの原因になります。

用紙サイズの設定

オートシートフィーダーにセットされた用紙または単票紙（1 枚）の用紙サイズは自動検知されません。セットした用紙のサイズを設定します。

設定方法

- 1 単票紙セット後に表示される画面に現在設定されている用紙種類が表示されます。



用紙種類を変更するとき

手順 2 に進みます。

用紙種類は変更せず用紙サイズを変更するとき

手順 4 に進みます。

どちらも変更しないとき

[OK] を押します。画面に [印刷可能] と表示されたら印刷を開始できます。

参考

上記画面は、何も操作しない状態が 90 秒続くと設定が確定されます。後から変更するときは、ホーム画面から以下の順に押して設定を行います。

- オートシートフィーダーのとき
[用紙設定] - [オートシートフィーダー] - [用紙種類・用紙サイズの変更]
- 単票紙 (1 枚) のとき
[用紙設定] - [単票紙 (1 枚)] - [用紙種類・用紙サイズの変更]

- 2 [用紙種類] を押します。
以下の用紙種類選択画面が表示されます。



参考

[その他] 以外の 3 つの選択肢には、最近選択した用紙種類が表示されます。

- 3 セットした用紙に合った用紙種類を選択します。

エプソン製専用紙

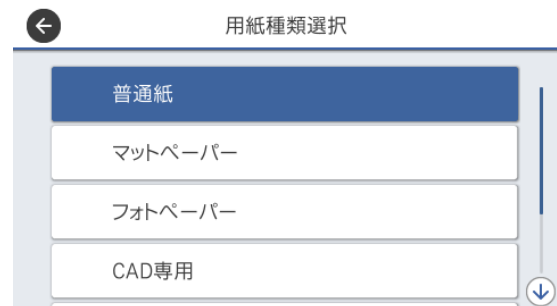
用紙のパッケージに記載されている商品名と同じものを選択してください。

エプソン製以外の市販用紙

以下の市販用紙用の用紙種類から選択してください。

- 普通紙
- コート紙<その他>
- フォトペーパー<その他>
- トレーシングペーパー
- トレーシングペーパー<薄手>
- マットフィルム
- 青写真用紙

画面に表示されていない用紙種類を選択するときは、[その他] を押します。



カテゴリーを選択して該当の用紙種類を選択します。用紙種類が確定して手順 1 の画面に戻ります。

参考

カテゴリー選択画面で下スクロールすると、[ユーザー用紙] が表示されます。登録済みのユーザー用紙を選択するときは [ユーザー用紙] を押します。

4 [用紙サイズ] を押します。

用紙サイズを変更しないときは [OK] を押します。

オートシートフィーダーのとき



単票紙（1枚）のとき



カテゴリーを選択して該当の用紙サイズを選択します。

参考

定形外サイズの設定

定形外サイズは、リスト末尾の [ユーザー定義サイズ] を押して用紙幅と用紙長を入力します。
数値を入力するテンキー画面では、小数点第一位の値まで入力します。例えば 5 m と入力したいときは、[5][0] と押します。

5 手順 1 の画面に戻ったら [OK] を押します。

画面に [印刷可能] と表示されたら印刷を開始できます。

用紙設定の最適化（用紙調整）

用紙調整は、以下の場合に行います。ウィザード形式で簡単にお使いの用紙に適切な印刷がされるように調整できます。

- 印刷結果にスジが入ったり、罫線が二重になる、文字がゆがむとき
- ユーザー用紙設定の登録をしたとき

調整結果は、次回調整を実施するまで保持されます。調整完了後は、その用紙種類を選択するだけで適切に印刷されます。

参考

ユーザー用紙設定で登録した用紙の調整

ロール紙と単票紙では、全く同じ用紙種類でも最適な印刷のための用紙設定が異なります。同じ用紙種類のロール紙と単票紙を両方使用するときは、ユーザー用紙の登録を別々にして、調整も別々に行ってください。

ユーザー用紙設定の登録とは、新たな用紙種類設定を追加することです。[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [ユーザー用紙設定]で行います。

ユーザー用紙設定の詳細は以下のユーザー用紙設定メニューをご覧ください。

🔗 [「本体設定 - プリンター設定」129 ページ](#)

調整を実施する際の注意

- 実際に調整が必要な用紙を正しくセットして、セットした用紙に合った用紙種類を選択してください。
- カールやしわ、波打ち、折れ、曲がりが見られる用紙を使用すると、正しく調整できないことがあります。カールやしわ、波打ち、折れ曲がった部分をカットして取り除いてください。

調整の手順

調整は、ウィザード形式で進みます。画面の表示に従って操作を進めると、調整パターンが2回印刷されます。

1 回目、2 回目ともパターンを目視で確認して最適なパターンを指定することで調整が行われます。

調整パターンの印刷で使用する用紙の長さや枚数は、以下の通りです。

ロール紙：約 420 mm

オートシートフィーダー：A4 または A3 で 2 枚

単票紙：A2 以上は 1 枚、A2 未満は 2 枚

1 ホーム画面から以下の順に押します。

- ロール紙
ロール紙情報欄 - [用紙調整]
- オートシートフィーダー
[用紙設定] - [オートシートフィーダー] - [用紙調整]
- 単票紙（1 枚）
[用紙設定] - [単票紙（1 枚）] - [用紙調整]

2 [開始] を押します。

1 回目の調整パターンの印刷が始まります。

！重要

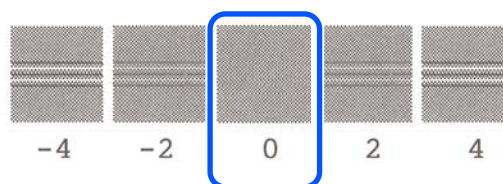
A2 サイズ以上の単票紙もしくはロール紙で自動カットをオフにしているときは、2 回目の印刷のために 1 回目の印刷が済んでも用紙は取り外せません。印刷された用紙を引っ張らないようにしてください。

参考

調整パターンの印刷前に、自動でプリントヘッドのノズルの目詰まりチェックが行われます。目詰まりしていると判断されたときはクリーニングが開始され、クリーニング終了後に調整パターンが印刷されます。

3 印刷された#1 の調整パターンで、最もスジが少ないパターンの数値を画面に入力し、[調整項目(#2)] を押します。

下の例では、「0」のパターンが最もスジが少ないため、「0」と入力します。

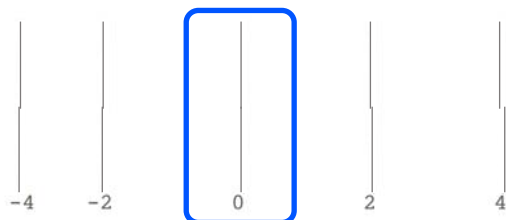


隣り合った2つのパターンに違いがなく、どちらを選んでもいいか迷うときは中間の数値を入力します。例えば0と2のパターンで迷うときは、「1」と入力します。

4 #2 の調整パターンで、#1 と同様に最もスジが少ないパターンの数値を画面に入力し、[調整項目(#3)] を押します。

- 5** #3 の調整パターンで、最も直線に見えるパターンの数値を画面に入力し、[調整項目(#4)] を押します。

下の例では、「0」のパターンが最も直線に見えるため、「0」と入力します。



隣り合った2つのパターンに違いがなく、どちらを選んでもいいか迷うときは中間の数値を入力します。例えば0と2のパターンで迷うときは、「1」と入力します。

- 6** #4 の調整パターンで、#3 と同様に最も直線に見えるパターンの数値を画面に入力します。

- 7** [OK] を押します。

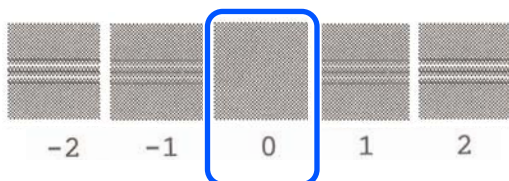
2 回目の調整パターンの印刷が始まります。A2 サイズ未満の単票紙のときは、2 枚目の用紙をセットしてください。

！重要

A2 サイズ以上の単票紙、もしくはロール紙で自動カットをオフにしているときは、2 回目の印刷のために 1 回目で印刷された部分がいったん内部に引き込まれます。用紙に手を触れないようにしてください。

- 8** 印刷された#1 の調整パターンで、最もスジが少ないパターンの数値を画面に入力し、[調整項目(#2)] を押します。

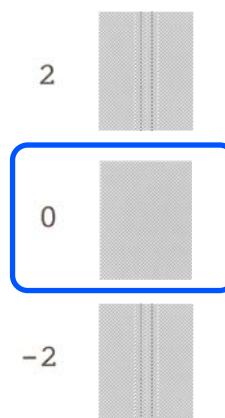
下の例では、「0」のパターンが最もスジが少ないため、「0」と入力します。



- 9** #2 の調整パターンで、#1 と同様に最もスジが少ないパターンの数値を画面に入力し、[調整項目(#3)] を押します。

- 10** #3 の調整パターンで、最もスジが少ないパターンの数値を画面に入力し、[OK] を押します。

下の例では、「0」のパターンが最もスジが少ないため、「0」と入力します。



隣り合った2つのパターンに違いがなく、どちらを選んでもいいか迷うときは中間の数値を入力します。例えば0と2のパターンで迷うときは、「1」と入力します。

調整結果が、現在選択している用紙種類の設定として保存されます。次回からはその用紙種類を選択するだけで最適な印刷結果が得られます。

コンピューターからプリンタードライバーで印刷

基本の使い方(Windows)

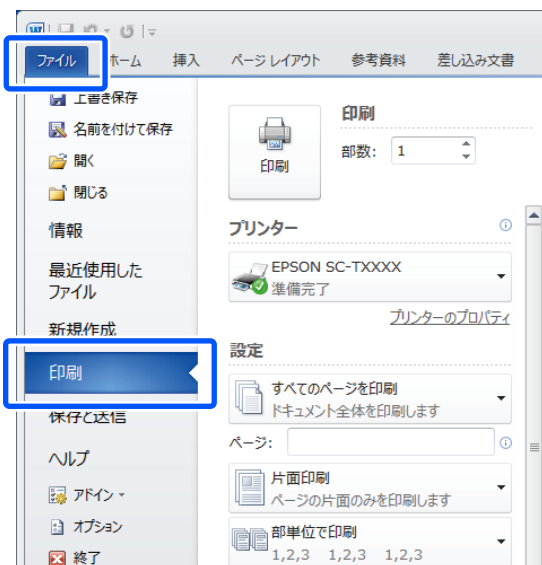
印刷手順

Microsoft Office のワード、エクセル、パワーポイントや、Adobe Acrobat の PDF などの様々なデータを、コンピューターからプリンタードライバーを使って印刷する基本の手順を説明します。

1 本機の電源を入れて、印刷する用紙をセットします。

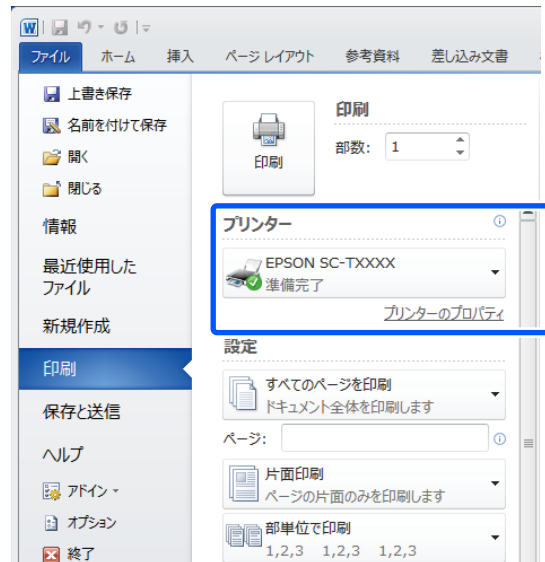
- 🔗 [「ロール紙のセット方法」 29 ページ](#)
- 🔗 [「オートシートフィーダーへの用紙のセット方法」 34 ページ](#)
- 🔗 [「単票紙（1 枚）のセット方法」 37 ページ](#)

2 アプリケーションソフトでデータを作成したら、[ファイル] メニューの [印刷]（または [プリント]）をクリックします。



3 [プリンター] で本機を選択して [プリンターのプロパティ] をクリックします。

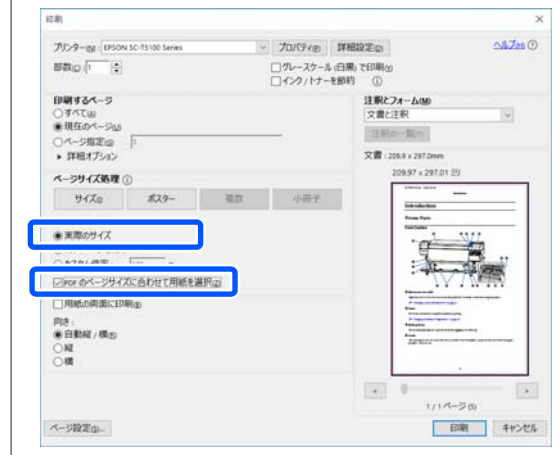
プリンタードライバーの画面が表示されます。



参考

PDF ファイルのとき

Adobe Acrobat の印刷画面で、[実際のサイズ]（または [拡大・縮小をしない]）と、[PDF のページサイズに合わせて用紙を選択] にチェックを入れてください。拡大・縮小をするときは、プリンタードライバーの設定画面で設定します。

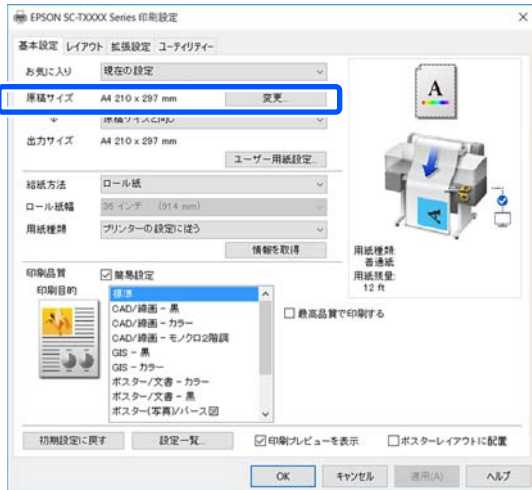


4 プリンタードライバーの基本設定画面で、[原稿サイズ]を確認します。

アプリケーションソフトで設定している用紙サイズが自動で表示されます。ただし、パワーポイントなど一部のアプリケーションソフトの用紙サイズ（ページサイズ）は正しく表示されないことがあります。その場合は [変更...] をクリックし、表示された原稿サイズ変更画面でサイズを指定します。

原稿サイズ変更画面のプルダウンメニューに目的のサイズがないときは、[ユーザー用紙設定...]で独自のサイズを設定して保存できます。

🔗「[定形外サイズの印刷](#)」63 ページ



5 「[出力サイズ]」を設定します。

拡大・縮小をするときは、原稿サイズの下のプルダウンメニューから選択します。



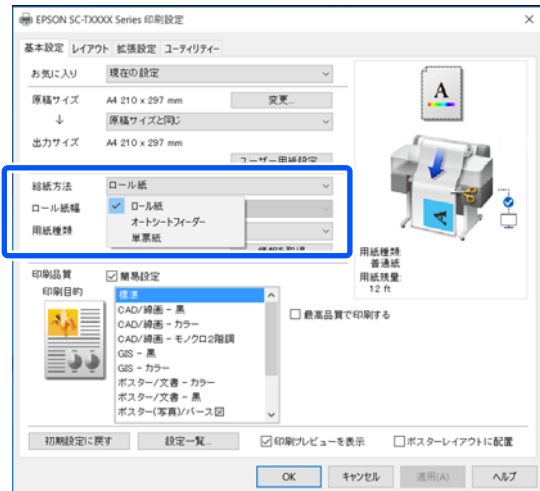
拡大設定の詳細については以下をご覧ください。

🔗「[拡大/横断幕/垂れ幕印刷](#)」58 ページ

6 「[給紙方法]」を選択し、ロール紙幅と用紙種類を確認します。

ロール紙、オートシートフィーダー、単票紙から選択します。本機に用紙がセットされていない給紙方法を選択すると、⚠️が表示されます。

ロール紙幅（単票紙のときは用紙サイズ）と用紙種類は、本機の操作パネルで設定されているものが自動で反映されます。

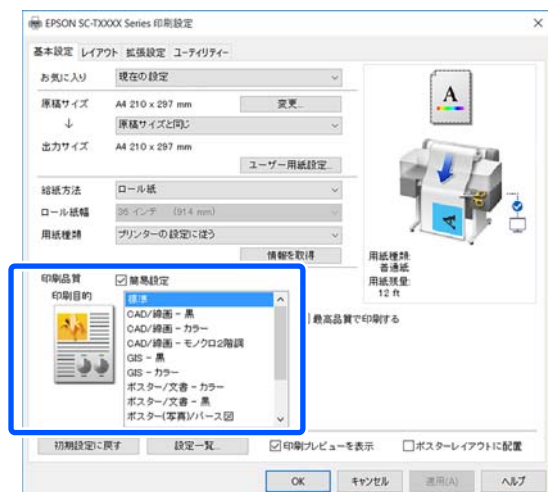


参考

プリンタードライバーの画面を開いてから、用紙のセットや交換をしたときは、本機で設定されている用紙サイズや用紙種類の設定が反映されません。その場合は「[情報を取得]」ボタンをクリックして反映させます。

7 「[印刷品質]」で「[印刷目的]」を選択します。

印刷物の用途や目的に応じてリストから目的を選択します。

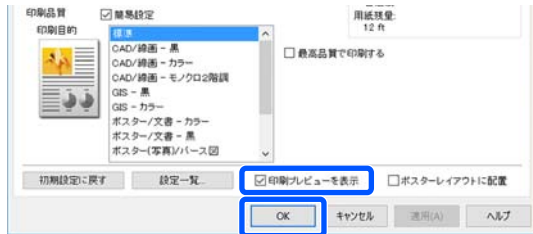


色補正の方法やカラーバランスをお好みに応じて詳細に設定するときは、[簡易設定]のチェックを外します。詳しくは以下をご覧ください。

🔗「[色補正して印刷](#)」65 ページ

- 8 【印刷プレビューを表示】のチェックボックスにチェックが入っていることを確認して【OK】をクリックします。

プレビューが不要なときは、チェックを外して【OK】をクリックします。



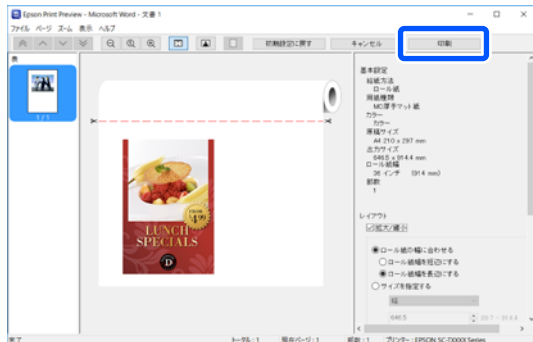
参考

印刷プレビューでは、実際に印刷するイメージを見ながら印刷設定の確認や変更ができます。特にロール紙や大判サイズの用紙に印刷するときは、プレビューで確認してから印刷することをお勧めします。

- 9 アプリケーションソフトの印刷画面で【印刷】をクリックします。

印刷プレビュー画面が表示されます。

- 10 印刷プレビュー画面で印刷設定を確認し、問題なければ【印刷】をクリックして印刷を開始します。



画面上部に、プレビューイメージの表示の設定をするアイコンやメニューがあります。画面右側に印刷設定の確認や変更をするメニューがあります。詳しくはヘルプをご覧ください。

参考

設定項目の詳細についてはプリンタードライバーのヘルプをご覧ください。ヘルプは以下の2通りの方法で表示できます。

- 画面右下の【ヘルプ】をクリックする。
- 確認したい項目上で右クリックして【ヘルプ】をクリックする。(印刷プレビュー画面ではできません)

印刷の中止方法

印刷を中止するには、状況に応じて以下の手順で行います。コンピューターから本機へのデータ転送が終了しているときは、コンピューターから印刷を中止することはできません。本機で中止してください。

コンピューターから中止

プログレスバーが表示されているとき
【印刷中止】をクリックします。



プログレスバーが表示されていないとき

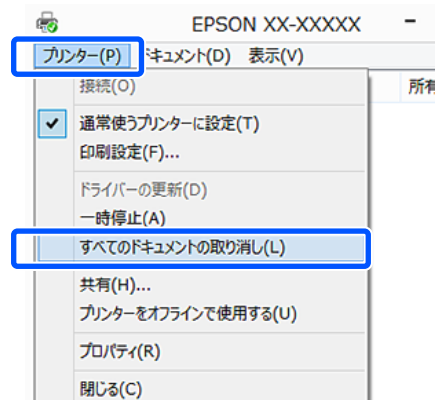
- 1 タスクバーにある本機のアイコンをクリックします。



アイコンが表示される、されないは Windows での設定によります。

- 2 中止したい印刷データを選択し、【ドキュメント】メニューの【キャンセル】をクリックします。

全ての印刷データを中止するときは、【プリンター】メニューの【すべてのドキュメントの取り消し】をクリックします。



本機へのデータ転送が終了していると、上記画面に印刷データは表示されません。

本機から中止

印刷中は、操作パネルの画面上に「中止」ボタンが表示されています。「中止」ボタンを押してください。印刷途中であっても、印刷をキャンセルします。印刷可能状態になるまでに時間が掛かることがあります。
ただし、コンピューターの印刷待ちデータは削除できません。印刷待ちデータを削除するときは「コンピューターから中止」の手順で削除します。

プリンタードライバーのカスタマイズ

印刷目的や使い勝手に合わせて、設定を保存したり各設定の表示項目を変更したりできます。

よく使う設定にして保存

コントロールパネルからプリンタードライバーを起動して、よく使う設定に変更して保存すると、どのアプリケーションソフトから表示しても保存した設定で表示されるようになります。

- 1 【デバイスとプリンターの表示】または【デバイスとプリンター】を開きます。

Windows 10/8.1/8/7

【ハードウェアとサウンド】（または【ハードウェア】）の【デバイスとプリンターの表示】（または【デバイスとプリンター】）の順にクリックします。

Windows Vista

【ハードウェアとサウンド】 - 【プリンタ】の順にクリックします。

Windows XP

【プリンタとその他のハードウェア】 - 【プリンタとFAX】の順にクリックします。

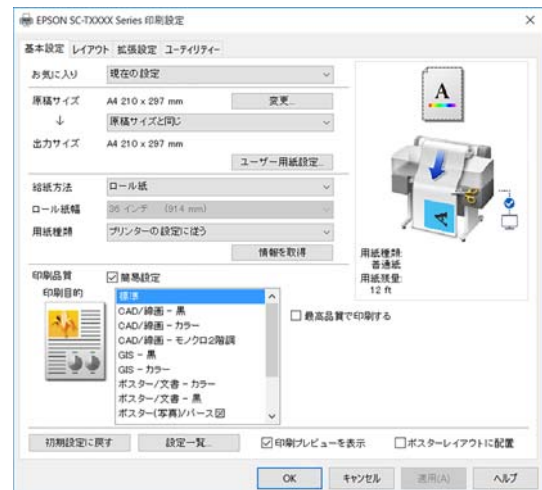
参考

Windows XP のコントロールパネルの表示を「クラシック表示」にしているときは、【スタート】 - 【コントロールパネル】 - 【プリンタとFAX】の順にクリックします。

- 2 本機のプリンターアイコンを右クリックして、【印刷設定】をクリックします。



- 3 プリンタードライバーの設定画面が表示されます。



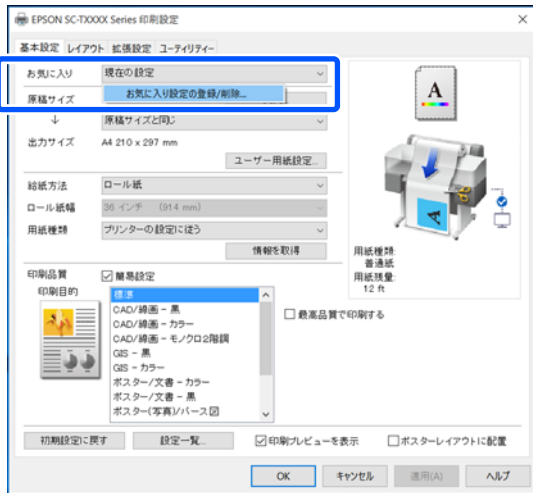
この後、各項目を設定します。ここでの設定が、アプリケーションソフトからプリンタードライバーを表示したときの初期設定になります。

各種設定をお気に入りとして保存

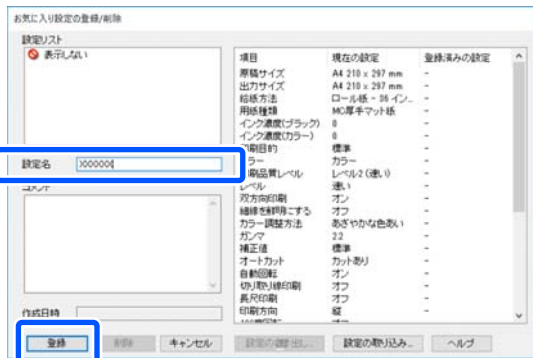
プリンタードライバーの全ての印刷設定値をお気に入りの項目として保存できます。お気に入りの保存した設定を呼び出すことで効率良く、繰り返し同じ設定で印刷できます。

- 1 基本設定画面、レイアウト画面、拡張設定画面の各項目を、お気に入りの保存したい内容に設定します。

2 「お気に入り設定の登録/削除」をクリックします。



3 「設定名」にお好きな名称を入力し、「登録」をクリックします。



最大 100 件まで保存できます。保存した設定は「お気に入り」から呼び出すことができます。

参考

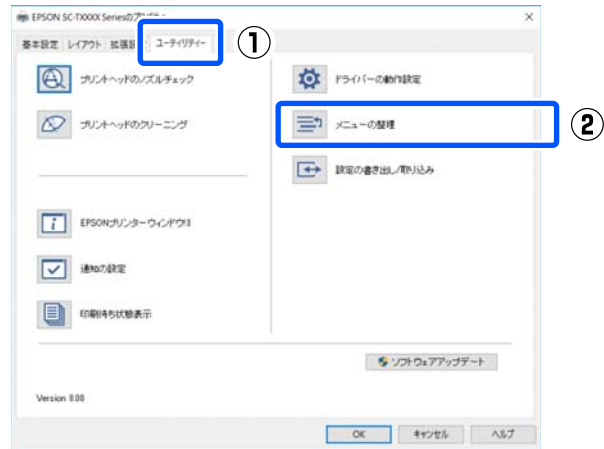
【お気に入り】設定を複数のコンピューターで共有する方法
共有したい設定を選択し、【設定の書き出し...】をクリックして設定内容をファイルに書き出します。別のコンピューターでプリンタードライバーの同じ画面を表示し、【設定の取り込み...】をクリックして取り込みます。

表示項目の整理

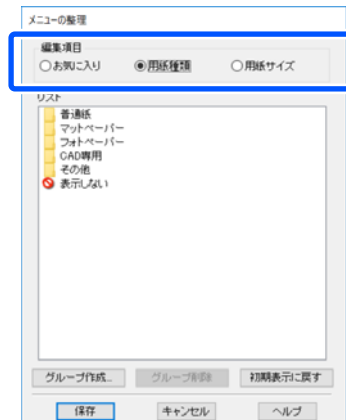
【お気に入り】、【用紙種類】、【用紙サイズ】の表示項目について、普段使うものがすぐに表示されるように以下のように整理できます。

- 不要な項目を非表示にする。
- よく使う順に並べ替える。
- グループ（フォルダー）にまとめる。

1 「ユーティリティ」タブ-「メニューの整理」をクリックします。

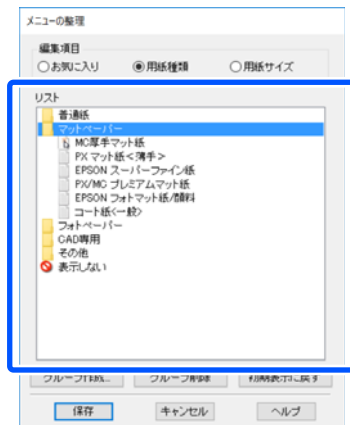


2 「編集項目」を選択します。



3 「リスト」の中で、表示順やグループ分けを変更します。

- 項目の移動や表示順を変更するには、選択してドラッグ&ドロップします。
- 新規のグループ（フォルダー）を作成するには、[グループ作成...] をクリックします。
- グループ（フォルダー）を削除するには、[グループ削除] をクリックします。
- 使用しない項目は [表示しない] にドラッグ&ドロップします。



参考

「グループ削除」を実行すると、グループ（フォルダー）は削除されますが、グループ（フォルダー）内の各設定は残ります。保存先の「設定リスト」から個別に削除してください。

4 「保存」をクリックします。

基本の使い方 (Mac)

印刷手順

コンピューターからプリンタードライバーを使って印刷する基本の手順を説明します。

基本の印刷手順

- 1 本機の電源を入れて、印刷する用紙をセットします。
[「ロール紙のセット方法」 29 ページ](#)
[「オートシートフィーダーへの用紙のセット方法」 34 ページ](#)
[「単票紙（1 枚）のセット方法」 37 ページ](#)
- 2 アプリケーションソフトでデータを作成したら、
 [ファイル] メニューの [プリント] (または [印刷] など) をクリックします。



- 3 画面下の [詳細を表示] (または ) をクリックします。



参考

プリント画面にページ設定画面の項目が表示されないときは、アプリケーションソフトで、[ファイル] メニュー [ページ設定] などをクリックします。



- 4 本機が選択されていることを確認し、用紙サイズの設定をします。



用紙サイズにはそれぞれ3つの選択肢があります。例えば、A2 サイズをクリックすると以下の3つの選択肢が表示されます。

- A2
- A2 (縮尺保持)
- A2 (ロール紙-長尺)

通常は () がついていないもの (上の例だと A2) を選択します。他の2つのオプションは以下のときに選択します。

縮尺保持

PDF や画像データは、次の手順で出力サイズを [用紙サイズと同じ] にしても若干縮小されて印刷されることがあります。本機に必須の余白 (左右 3 mm ずつ) を確保するためです。縮小せずに原寸で印刷したいときに選択します。

ロール紙-長尺

長尺印刷専用アプリケーションソフトを使ってロール紙に長尺の印刷をするときに選択します。

5 一覧から、[基本設定] を選択し、[出力サイズ] を設定します。

一覧に「基本設定」が表示されないときは、本機専用のプリンタードライバーが追加されていません。以下をご覧になりプリンタードライバーの追加を行ってください。

🔗「本機専用プリンタードライバーの選択方法」
53 ページ

拡大・縮小をするときは、用紙サイズの下ブルダウンメニューから選択します。



拡大設定の詳細については以下をご覧ください。

🔗「拡大/横断幕/垂れ幕印刷」58 ページ

6 給紙方法を選択し、ロール紙幅（単票紙のときは用紙サイズ）と用紙種類を確認します。

ロール紙、単票紙、オートシートフィーダーから選択します。本機に用紙がセットされていない給紙方法を選択すると、⚠️が表示されます。

ロール紙幅（単票紙のときは用紙サイズ）と用紙種類は、本機の操作パネルで設定されているものが自動で反映されます。

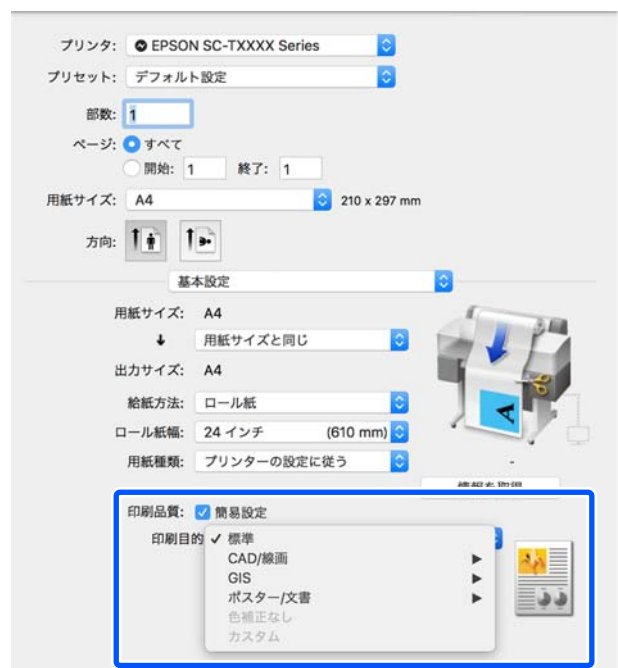


参考

プリンタードライバーの画面を開いてから、用紙のセットや交換をしたときは、本機で設定された用紙サイズや用紙種類の設定が反映されません。その場合は「情報を取得」ボタンをクリックして反映させます。

7 「印刷品質」で印刷目的を選択します。

印刷物の用途や目的に応じてリストから目的を選択します。



色補正の方法やカラーバランスをお好みに応じて詳細に設定するときは、[簡易設定] のチェックを外します。詳しくは以下をご覧ください。

🔗 [「色補正して印刷」 65 ページ](#)

- 8** [印刷プレビューを表示] のチェックボックスにチェックが入っていることを確認して [プリント] をクリックします。

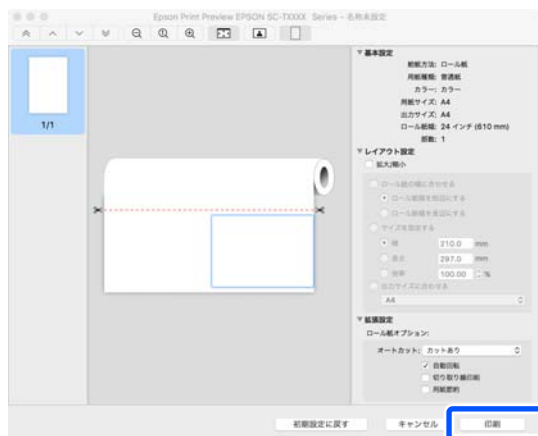
プレビューが不要なときは、チェックを外し [プリント] をクリックして印刷を開始します。



参考

印刷プレビューでは、実際に印刷するイメージを見ながら印刷設定の確認や変更ができます。特にロール紙や大判サイズの用紙に印刷するときは、プレビューで確認してから印刷することをお勧めします。

- 9** 印刷プレビュー画面で印刷設定を確認し、問題なければ [印刷] をクリックして印刷を開始します。



画面上部に、プレビューイメージの表示の設定をするアイコンやメニューがあります。画面右側に印刷設定の確認や変更をするメニューがあります。詳しくはヘルプをご覧ください。

参考

設定項目の詳細についてはプリンタードライバーのヘルプをご覧ください。ヘルプは、プリンタードライバーの設定画面の ? をクリックすると表示されます。

本機専用プリンタードライバーの選択方法

前項の「基本の印刷手順」で説明しているメニューが表示されないときは、[プリンタ] で本機専用のプリンタードライバーを選択してください。本機専用プリンタードライバーは以下のように表示されます。

- USB 接続のとき EPSON SC-TXXXX
- ネットワーク接続のとき
EPSON TXXXX または EPSON TXXXX-YYYYYY
*: XXXX は製品型番です。YYYYYY は MAC アドレス下 6 桁です。

本機専用プリンタードライバーがリストに表示されないときは以下の手順で追加してください。

- 1 アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順にクリックします。
- 2 [+] をクリックし、[プリンタまたはスキャナを追加...] を選択します。
- 3 デバイスのリストが表示されたら、本機専用プリンタードライバーを選択して [追加] をクリックします。

印刷の中止方法

印刷を中止するには、状況に応じて以下の手順で行います。コンピューターから本機へのデータ転送が終了しているときは、コンピューターから印刷を中止することはできません。本機で中止してください。

コンピューターから中止

- 1 Dock 内の本機のアイコンをクリックします。



- 2 中止したい印刷データをクリックして、[削除] をクリックします。



本機へのデータ転送が終了していると、上記画面に印刷データは表示されません。

本機から中止

印刷中は、操作パネルの画面上に [中止] ボタンが表示されています。[中止] ボタンを押してください。印刷途中であっても、印刷をキャンセルします。印刷可能状態になるまでに時間が掛かることがあります。ただし、コンピューターの印刷待ちデータは削除できません。印刷待ちデータを削除するときは「コンピューターから中止」の手順で削除します。

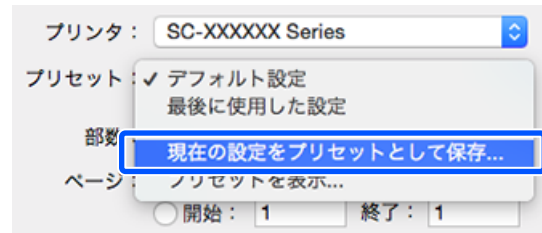
プリンタードライバーのカスタマイズ

よく使う設定情報（用紙サイズや基本設定の各項目）は、[プリセット] に名称を付けて保存できます。保存した設定を選択することで効率良く、繰り返し同じ設定で印刷できます。

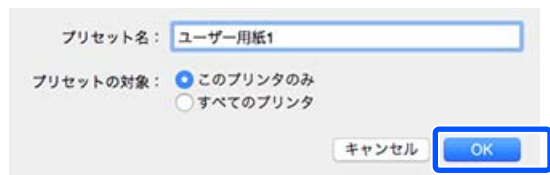
よく使う設定をプリセットに保存

- 1 用紙サイズや基本設定の各項目を、プリセットに保存したい内容に設定します。

- 2 [プリセット] で [現在の設定をプリセットとして保存...] をクリックします。



- 3 お好きな名称を入力して [OK] をクリックします。



参考

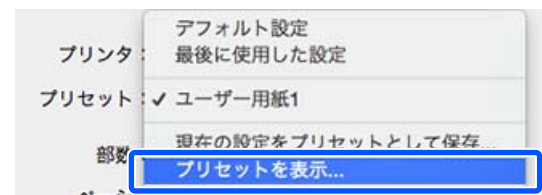
[プリセットの対象] で [すべてのプリンタ] を選択すると、お使いのコンピューターにインストールしている全てのプリンタードライバーから保存した [プリセット] を選択できます。

[プリセット] に設定が保存されます。以降は、[プリセット] で保存した設定を選択できます。

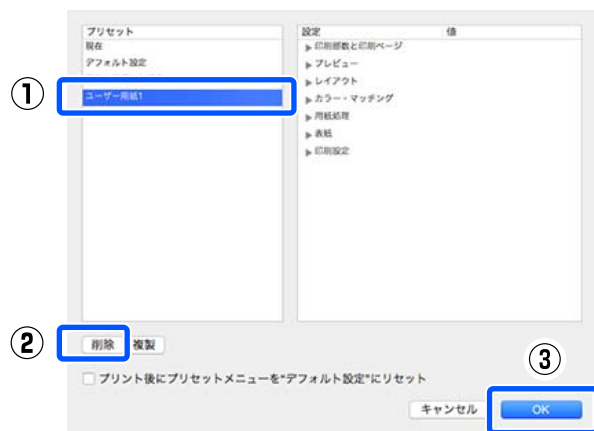


プリセットから削除

- 1 プリント画面の [プリセット] で [プリセットを表示...] をクリックします。



- 2** 削除する設定を選択して【削除】をクリックして、【OK】をクリックします。



CAD 図面の印刷

CAD 図面の印刷方法は以下の 2 通りあります。

プリンタードライバーで印刷

建物の外観図などの CAD 図面を高画質で印刷したいときに適しています。本項では AutoCAD2018 からプリンタードライバーを使って印刷する手順を説明します。

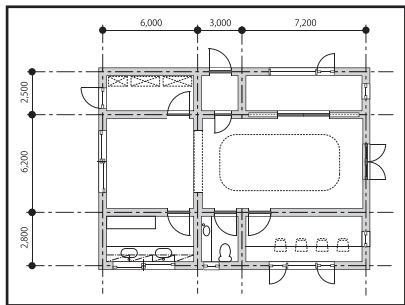


！重要

線や部品が正しく印刷されないときは、HP-GL/2 または HP RTL で印刷してください。

HP-GL/2 または HP RTL で印刷

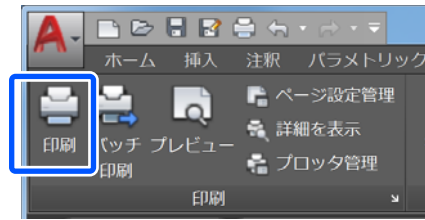
地図や設計図などの CAD 図面や GIS 図面を印刷したいときに適しています。



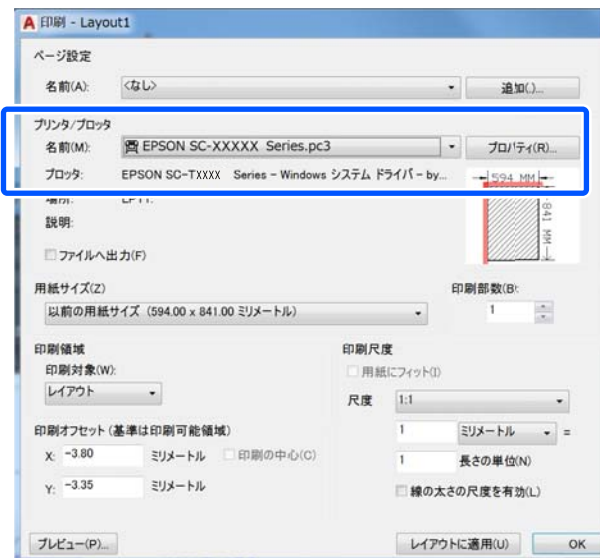
本機は HP-GL/2（HP Designjet 750C 基準）と HP RTL に対応したアプリケーションソフトで印刷できます。詳しくは以下をご覧ください。

🔗 [「コンピューターから HP-GL/2 または HP RTL モードで印刷」86 ページ](#)

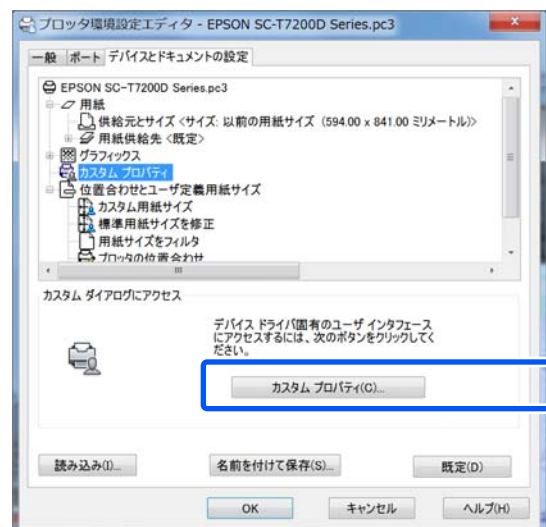
- 1 印刷するデータを開き、[印刷] をクリックします。



- 2 [プリンタ/プロット] で本機を選択して [プロパティ] をクリックします。



- 3 [カスタムプロパティ] をクリックします。



本機のプリンタードライバー画面が表示されます。

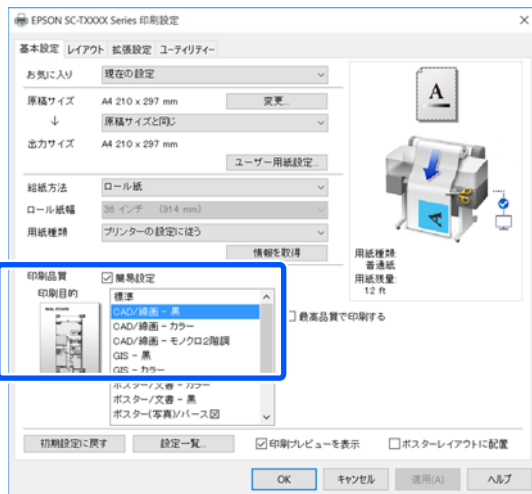
4 プリンタードライバーで、出力サイズや給紙方法を設定します。

🔗 「基本の使い方(Windows)」 45 ページ

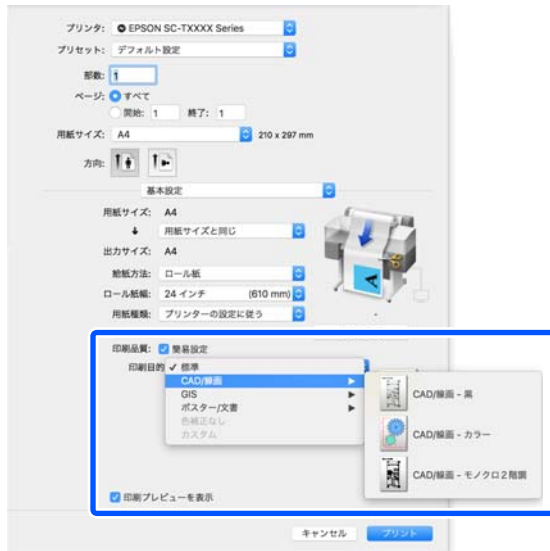
🔗 「基本の使い方 (Mac)」 51 ページ

5 [印刷目的] リストから [CAD/線画 - 黒] または [CAD/線画 - カラー]、[CAD/線画 - モノクロ2階調] を選択します。

Windows



Mac



6 その他の設定を確認して印刷を行います。

参考

出力サイズが縦長の場合、縦の幅がロール紙の幅より小さいときは、用紙節約のため印刷イメージを 90 度回転させて印刷します。この機能は、[拡張設定] タブの [ロール紙オプション] で [自動回転] にチェックが入っていると有効になります。

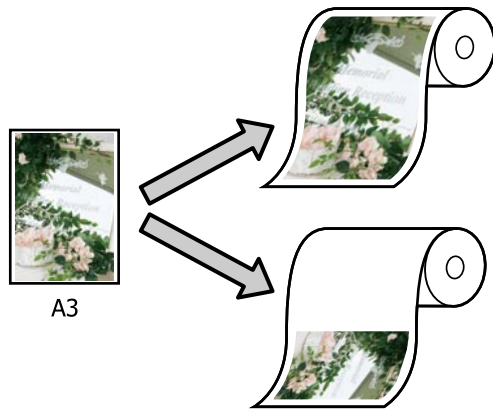
拡大/横断幕/垂れ幕印刷

原稿の用紙サイズをプリンタードライバーで拡大または縮小して印刷します。設定方法には以下の3通りの方法があります。

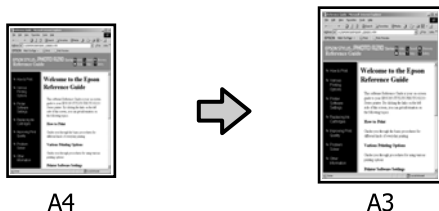
横断幕や垂れ幕、あるいは正方形などの定形外サイズの印刷をするときは、あらかじめ原稿の用紙サイズをプリンタードライバーに登録してください。

☞「定形外サイズの印刷」63 ページ

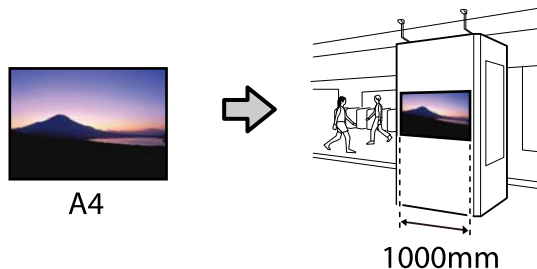
- ロール紙の幅に合わせる
印刷するロール紙の幅に合わせて自動的に拡大/縮小して印刷します。



- 出力サイズに合わせる
印刷する用紙サイズに合わせて自動的に拡大/縮小して印刷します。

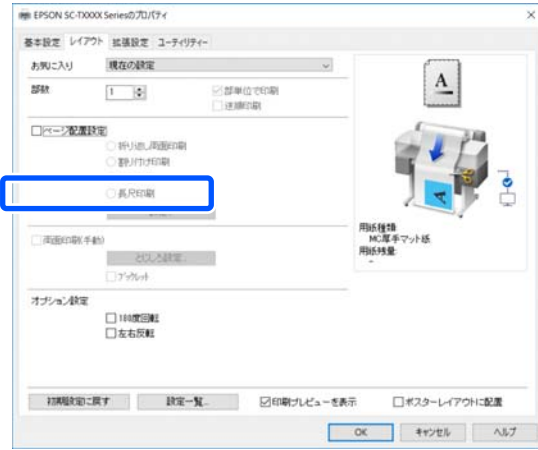


- サイズを指定する
拡大/縮小率を任意に設定して印刷します。定形外の用紙サイズのと きなどに設定します。



参考

- 横断幕や垂れ幕などを制作するための長尺印刷専用のアプリケーションソフトで印刷するときは、長尺印刷専用アプリケーションソフトのマニュアルに従ってプリンタードライバーを設定してください。
- Windows 版のレイアウト画面にある「長尺印刷」は、長尺印刷専用アプリケーションソフトの使用時に必要に応じてチェックします。

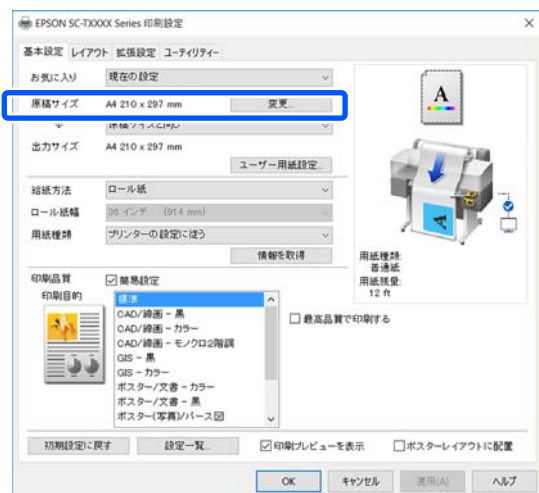


ロール紙の幅に合わせて印刷

- 1 プリンタードライバーの基本設定画面で、原稿サイズ（または用紙サイズ）の設定を確認します。

Windows

アプリケーションソフトからプリンタードライバーの基本設定画面を表示し、原稿サイズがアプリケーションソフトの設定と同じになっているか確認します。



違っているときは「変更...」をクリックし、原稿サイズ変更画面で正しいサイズを指定します。

☞「基本の使い方(Windows)」45 ページ

Mac

アプリケーションソフトのページ設定画面を開き、
「プリンタ」に本機が選択されていることを確認して、
用紙サイズを確認します。

（縮尺保持）や（ロール紙-長尺）がついていない用紙サイズを選択してください。



違っているときはプルダウンメニューから正しいサイズを選択してください。

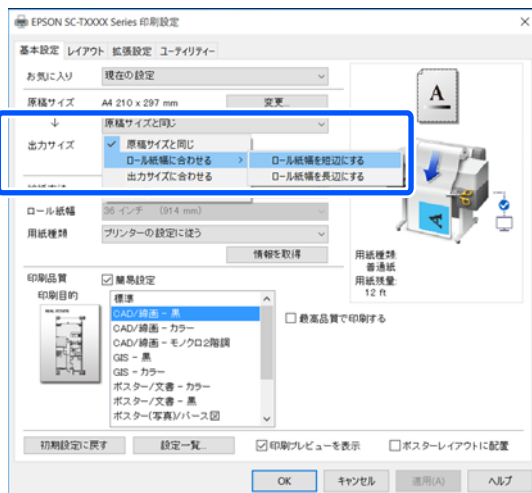
🔗「基本の使い方 (Mac)」51 ページ

参考

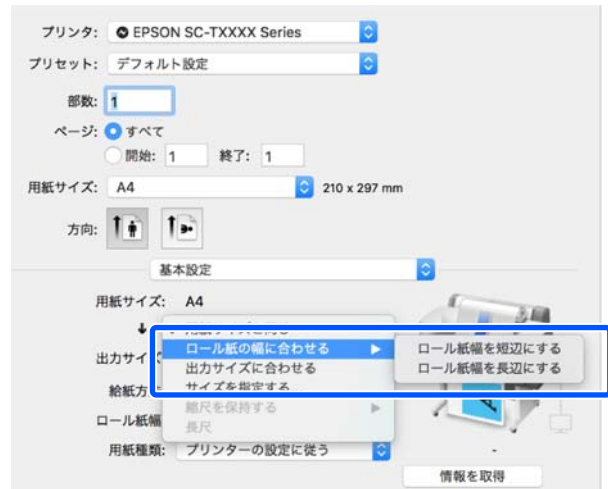
ページ設定メニューがないアプリケーションソフトの場合は、
「プリント」メニューでプリント画面を開くと用紙サイズの設定ができます。

- 2 プリンタードライバーの基本設定画面で、
「ロール紙の幅に合わせる」をクリックし、
「ロール紙幅を短辺にする」か「ロール紙幅を長辺にする」
のいずれかを選択します。

Windows

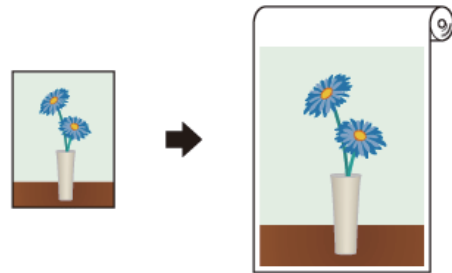


Mac



ロール紙幅を短辺にする

セットされたロール紙で、最大に拡大して印刷したいときはこちらを選択します。



ロール紙幅を長辺にする

用紙を無駄にしない範囲で、できるだけ拡大して印刷したいときはこちらを選択します。



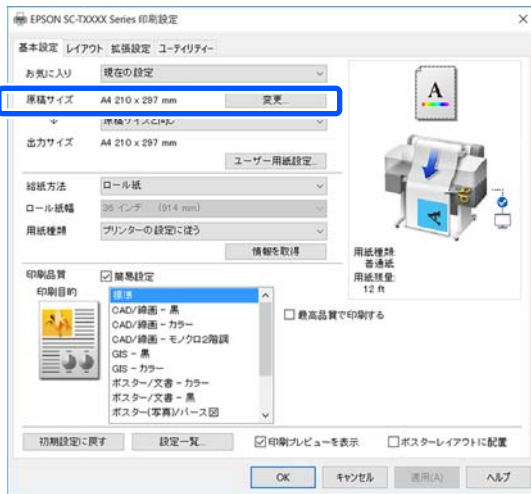
- 3 その他の設定を確認して印刷を行います。

出力サイズに合わせて印刷

- 1 プリンタードライバーの基本設定画面で、原稿サイズ（または用紙サイズ）の設定を確認します。

Windows

アプリケーションソフトからプリンタードライバーの基本設定画面を表示し、原稿サイズがアプリケーションソフトの設定と同じになっているか確認します。



違っているときは「変更...」をクリックし、原稿サイズ変更画面で正しいサイズを指定します。

🔗 [「基本の使い方\(Windows\)」 45 ページ](#)

Mac

アプリケーションソフトのページ設定画面を開き、[プリンタ] に本機が選択されていることを確認して、用紙サイズを確認します。

(縮尺保持) や (ロール紙-長尺) がついていない用紙サイズを選択してください。

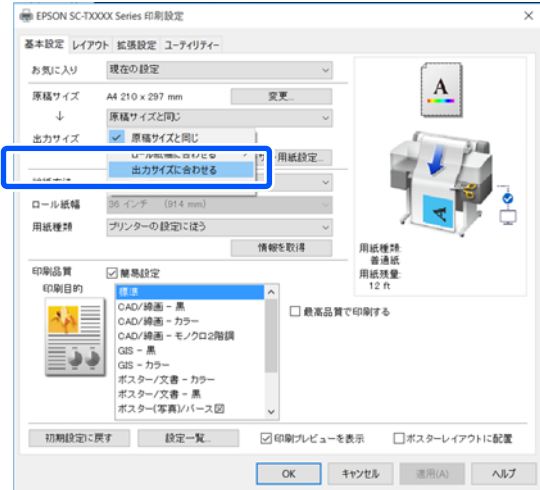


違っているときはプルダウンメニューから正しいサイズを選択してください。

🔗 [「基本の使い方 \(Mac\)」 51 ページ](#)

- 2 プリンタードライバーの基本設定画面で、[出力サイズに合わせて] を選択します。

Windows

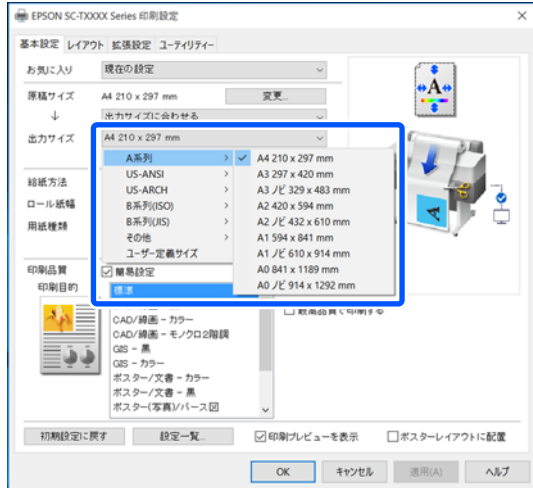


Mac



- 3 [出力サイズ] のプルダウンメニューから目的のサイズを選択します。

Windows



Mac



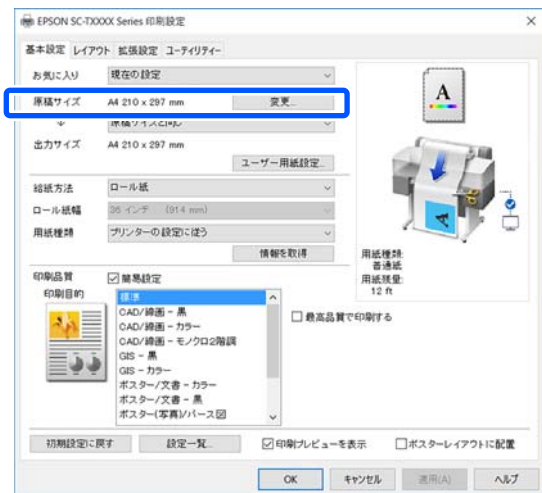
- 4 その他の設定を確認して印刷を行います。

サイズを指定して印刷

- 1 プリンタードライバーの基本設定画面で、原稿サイズ（または用紙サイズ）の設定を確認します。

Windows

アプリケーションソフトからプリンタードライバーの基本設定画面を表示し、原稿サイズがアプリケーションソフトの設定と同じになっているか確認します。



違っているときは[変更...]をクリックし、原稿サイズ変更画面で正しいサイズを指定します。

☞「基本の使い方(Windows)」45 ページ

Mac

アプリケーションソフトのページ設定画面を開き、[プリンタ] に本機が選択されていることを確認して、用紙サイズを確認します。

(縮尺保持) や (ロール紙・長尺) がついていない用紙サイズを選択してください。



違っているときはプルダウンメニューから正しいサイズを選択してください。

☞「基本の使い方 (Mac)」51 ページ

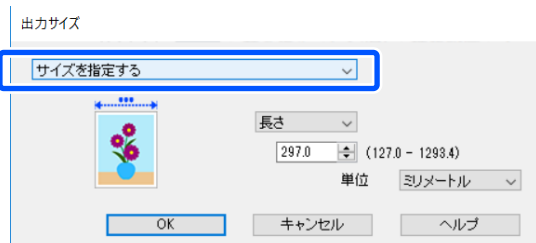
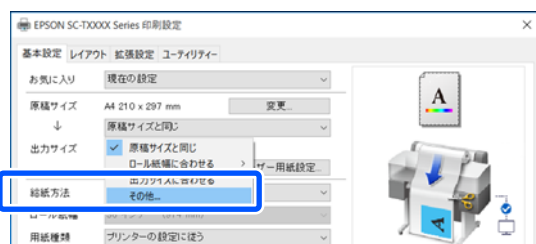
参考

ページ設定メニューがないアプリケーションソフトの場合は、[プリント]メニューでプリント画面を開くと用紙サイズの設定ができます。

2 プリンタードライバーの基本設定画面から出力サイズ入力画面を表示します。

Windows

「[その他...]」を選択し、表示された出力サイズ画面で「[サイズを指定する]」を選択します。



Mac

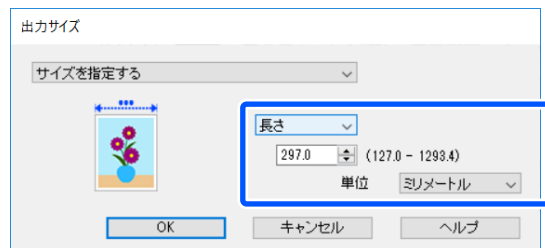
「[サイズを指定する]」を選択します。



3 サイズ指定の方法を、幅、長さ、または倍率から選択し、設定値を入力します。

印刷データの縦横比を維持した状態で、指定された幅、長さ、または倍率になるよう拡大/縮小されます。

Windows



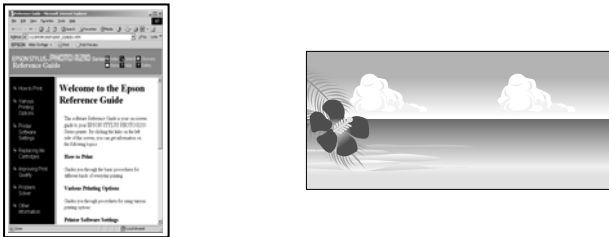
Mac



4 その他の設定を確認して印刷を行います。

定形外サイズの印刷

横断幕や垂れ幕、あるいは正方形のサイズといった定形外の用紙サイズに印刷するときのために、あらかじめこれらの用紙サイズをプリンタードライバーに登録することができます。登録した用紙サイズはアプリケーションソフトの「ページ設定」などから選択できるようになります。



設定できる用紙サイズは下表の通りです。

用紙幅	SC-T5150M/SC-T5150/ SC-T5150N	89～914mm
	SC-T3150M/SC-T3150/ SC-T3150N/SC-T2150	89～610mm
用紙長さ*	127～91000mm	

*：長尺印刷対応のアプリケーションソフトを使用すると、用紙長さ以上の印刷ができます。ただし、実際に印刷可能な長さは、アプリケーションソフトの仕様、本機にセットした用紙の長さ、コンピューターの環境などにより変わります。

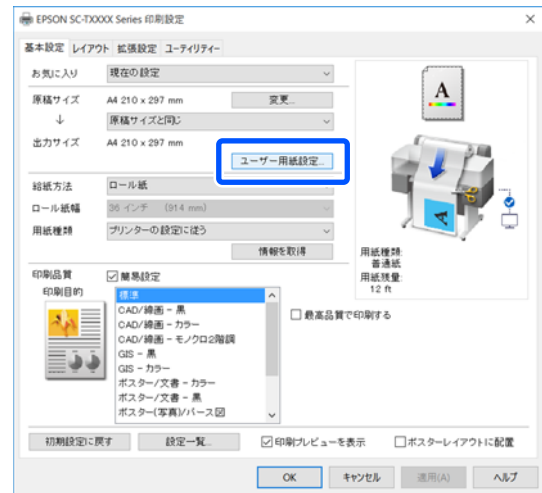
！重要

- 本機で印刷できる最小用紙サイズは、用紙幅 89 mm×用紙長さ 127 mm です。プリンタードライバーの「ユーザー用紙設定...」でこれより小さな値を設定したときは、不要な余白は切ってお使いください。
- Mac のカスタム用紙サイズでは、本機にセットできない大きな用紙サイズを設定できますが、正常に印刷できません。
- アプリケーションソフトによって出力可能サイズに制限があります。

Windows での設定

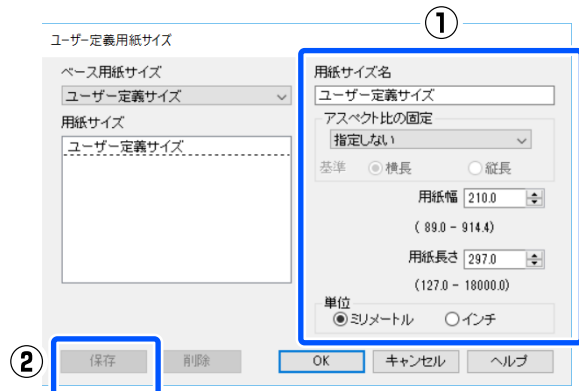
- 1 アプリケーションソフトからプリンタードライバーの基本設定画面を表示し、[ユーザー用紙設定...] をクリックします。

ユーザー定義用紙サイズ画面が表示されます。



- 2 ユーザー定義用紙サイズ画面で、使用する用紙サイズを設定して[保存]をクリックします。

- [用紙サイズ名] は、原稿サイズや出力サイズの選択肢として表示されるようになります。「400x500 mm」や「横断幕」など、判別しやすい名称にします。
- [ベース用紙サイズ] で、使用する用紙に近い定形サイズを選択すると、[用紙幅] / [用紙長さ] にその数値が表示されます。
- [アスペクト比の固定] で縦横の比率を選択して、[基準] で「横長」か「縦長」を選択すると、[用紙幅] か [用紙長さ] の入力だけでサイズが設定できます。



参考

- 保存した内容を変更するときは、画面左のリストから用紙サイズ名をクリックしてください。
- 保存した用紙サイズを削除するときは、画面左のリストから用紙サイズ名を選択して「削除」をクリックしてください。
- 保存できる用紙サイズは 100 個です。

- 3** **【OK】** をクリックして、ユーザー定義用紙サイズ画面を閉じます。プリンタードライバーの画面も閉じます。

これでユーザー定義サイズの登録完了です。

- 4** アプリケーションソフトのページサイズ設定などで登録した用紙サイズを選択してデータを作成します。

参考

登録した用紙サイズがアプリケーションソフトに表示されないときは、アプリケーションソフトの対応可能サイズを超えていないか確認してください。

- 5** データの作成が完了したら、印刷画面からプリンタードライバーの基本設定画面を表示します。

基本設定画面の用紙サイズに登録した用紙サイズが表示されます。

🔗 [「基本の使い方\(Windows\)」 45 ページ](#)

- 6** その他の設定を確認して印刷を行います。

Mac での設定

- 1** アプリケーションソフトのページ設定画面を開き、**【プリンタ】** に本機が選択されていることを確認して、**【用紙サイズ】** から **【カスタムサイズを管理...】** を選択します。

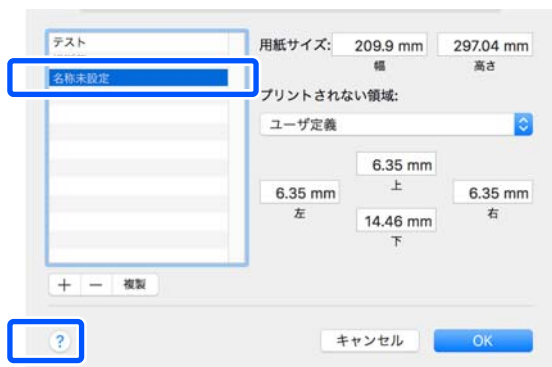
🔗 [「基本の使い方 \(Mac\)」 51 ページ](#)



参考

ページ設定メニューがないアプリケーションソフトの場合は、**【プリント】** メニューでプリント画面を開くと用紙サイズの設定が表示されます。

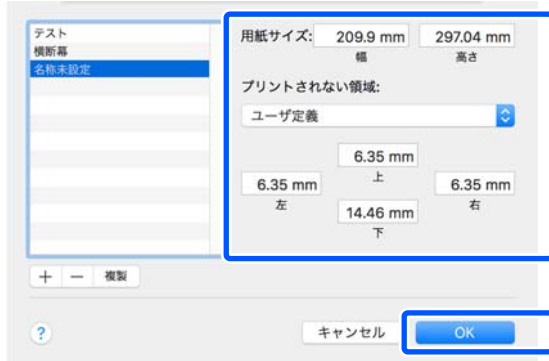
- 2** **【+】** をクリックし、用紙サイズ名を入力します。



- 3** **【用紙サイズ】** の **【幅】** と **【高さ】**、余白を入力して、**【OK】** をクリックします。

指定できるページサイズの範囲と余白の大きさは、お使いの機種や本機側での設定により異なります。

「印刷可能領域」 194 ページ



参考

- 保存した内容を変更したいときは、画面左のリストから用紙サイズ名をクリックしてください。
- 保存されている用紙サイズを複製するときは、画面左のリストから用紙サイズ名を選択して「複製」をクリックしてください。
- 保存されている用紙サイズを削除したいときは、画面左のリストから用紙サイズ名を選択して「-」をクリックしてください。
- OS のバージョンにより、カスタム用紙の設定方法が異なります。OS 付属のマニュアルやヘルプなどでご確認ください。

- 4 [OK] をクリックして、カスタム用紙サイズ画面を閉じます。プリンタードライバーの画面も [キャンセル] をクリックして閉じます。
- これでカスタム用紙サイズの登録完了です。

- 5 アプリケーションソフトのページサイズ設定などで登録した用紙サイズを選択してデータを作成します。

参考

登録した用紙サイズがアプリケーションソフトに表示されないときは、アプリケーションソフトの対応可能サイズを超えていないか確認してください。

- 6 データの作成が完了したら、印刷画面からプリンタードライバーの基本設定画面を表示します。
- 基本設定画面の原稿サイズに登録した用紙サイズが表示されます。
- 「基本の使い方 (Mac)」 51 ページ

- 7 その他の設定を確認して印刷を行います。

色補正して印刷

プリンタードライバーの印刷品質設定では、印刷目的ごとに以下の色補正方法から最適な方法が選択されるようになっています。

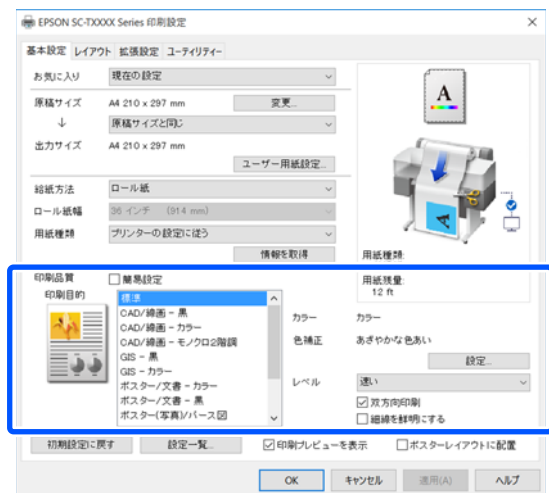
- EPSON 基準色 (sRGB)
sRGB 空間に最適化して色補正を行います。
- あざやかな色あい
sRGB 空間をベースにメリハリのある色補正を行います。
- 線画
線と背景との境界を不連続な部分として処理することで、線画への最適化を行います。
- GIS
GIS (Geographic Information System: 地理情報システム) の地形図などの印刷に最適な色補正を行います。
- ICM
画像データと印刷結果の色合わせのためのカラーマネジメントを行います (Windows のみ)。

「カラーマネジメント印刷」 69 ページ

- オフ(色補正なし)
プリンタードライバーによる色補正を行いません。アプリケーションソフトでカラーマネジメントを行うときなどに使用します。

「カラーマネジメント印刷」 69 ページ

「簡易設定」のチェックを外すと、上記のどの色補正方法が使われているかを確認できます。なお、[印刷目的]の[標準]は、現在選択されている用紙種類に最も適した設定になっています。



[設定] ボタンをクリックするとガンマ、明度、コントラスト、彩度、カラーバランスの微調整などができます。お使いのアプリケーションソフトに色補正機能がないときなどに使います。

参考

色補正方法として表示される項目は、使用している OS や選択している用紙によって異なります。

色補正方法を自分で選択したいときは、印刷目的リストの一番下にある「カスタム」を選択します。

Windows での設定

1 カラーマネジメント機能を持つアプリケーションソフトを使用するときは、アプリケーションソフトでカラー処理の方法を設定します。

カラーマネジメント機能に対応していないアプリケーションソフトを使用するときは、手順 2 から始めてください。

アプリケーションソフトの種類によって、下表の通りに設定してください。

Adobe Photoshop CS3 以降

Adobe Photoshop Elements 6 以降

Adobe Photoshop Lightroom 1 以降

OS	カラーマネジメントの設定
Windows 10、 Windows 8.1、 Windows 8、 Windows 7、 Windows Vista	プリンターによるカラー管理
Windows XP (Service Pack2 以降 かつ .NET3.0 以降)	
Windows XP (上記以外)	カラーマネジメントなし

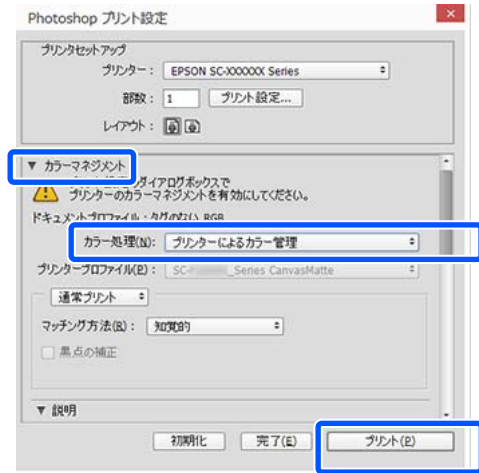
その他のアプリケーションソフトでは、「カラーマネジメントなし」に設定してください。

参考

各アプリケーションソフトの対応 OS は製品提供元のウェブサイトをご覧ください。

Adobe Photoshop CC の設定例
「プリント」画面を開きます。

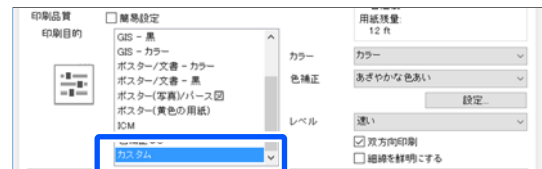
「カラーマネジメント」を選択し、「カラー処理」で「プリンターによるカラー管理」を選択して、「プリント」をクリックします。



2 プリンタードライバーの基本設定画面を表示し、「印刷品質」欄にある「簡易設定」のチェックを外します。

☞「基本の使い方(Windows)」45 ページ

3 印刷目的を選択します。自分で色補正方法を選択したいときは、リストの一番下にある「カスタム」を選択します。

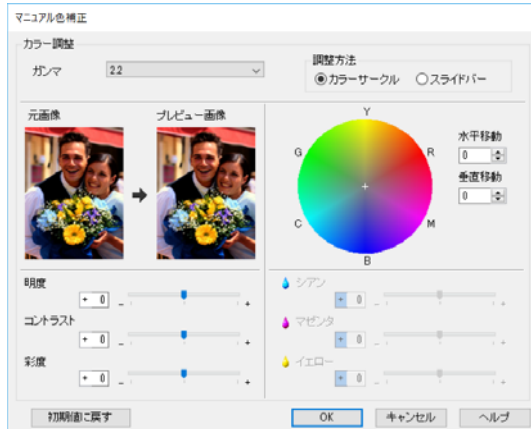


4 印刷目的で「カスタム」を選択したときは、カラーと色補正方法を選択します。



5 必要に応じて「設定」をクリックし、ガンマ、明度、コントラスト、彩度、カラーバランスなどを調整します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのヘルプをご覧ください。



参考

画面左側のサンプル画像で確認しながら補正値の調整ができます。また、「調整方法」の「カラーサークル」または「スライドバー」を選択してカラーバランスの微調整ができます。

6 その他の設定を確認して印刷を行います。

Mac での設定

1 カラーマネジメント機能を持つアプリケーションソフトを使用するときは、アプリケーションソフトでカラー処理の方法を設定します。

カラーマネジメント機能に対応していないアプリケーションソフトを使用するときは、手順 2 から始めてください。

以下のアプリケーションソフトでは、カラーマネジメントの設定を「プリンターによるカラー管理」にしてください。

Adobe Photoshop CS3 以降

Adobe Photoshop Elements 6 以降

Adobe Photoshop Lightroom 1 以降

その他のアプリケーションソフトでは、「カラーマネジメントなし」に設定してください。

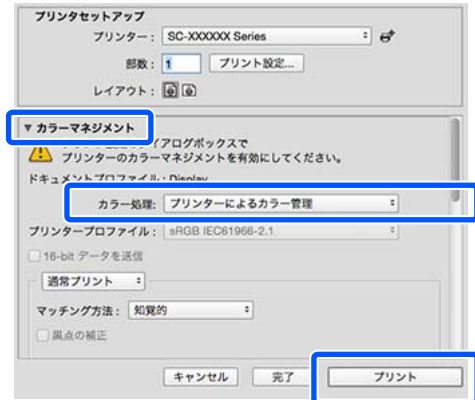
参考

各アプリケーションソフトの対応 OS は製品提供元のウェブサイトをご覧ください。

Adobe Photoshop CC の設定例

「プリント」画面を開きます。

「カラーマネジメント」を選択し、「カラー処理」で「プリンターによるカラー管理」を選択して、「プリント」をクリックします。



2 プリント画面を表示します。

📖 「基本の使い方 (Mac)」 51 ページ

3 一覧から「カラー・マッチング」を選択し、「EPSON Color Controls」をクリックします。

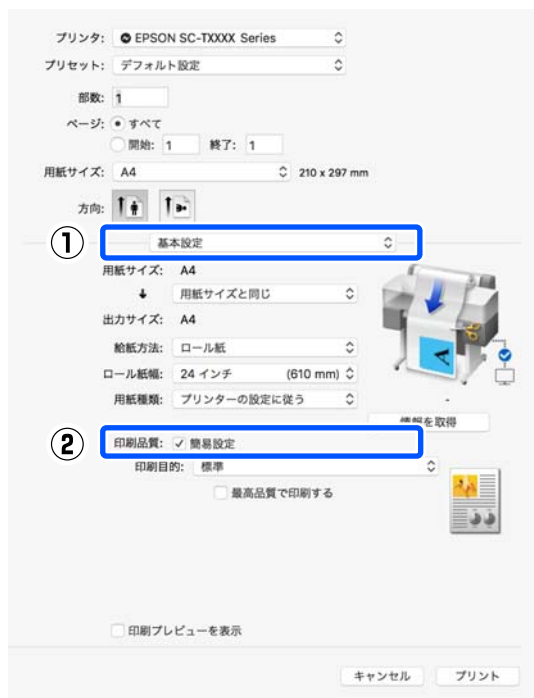


参考

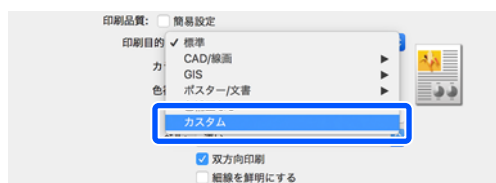
以下のアプリケーションソフトをお使いのときは、手順 1 の設定をしていないと「EPSON Color Controls」が選択できません。

- Adobe Photoshop CS3 以降
- Adobe Photoshop Lightroom 1 以降
- Adobe Photoshop Elements 6 以降

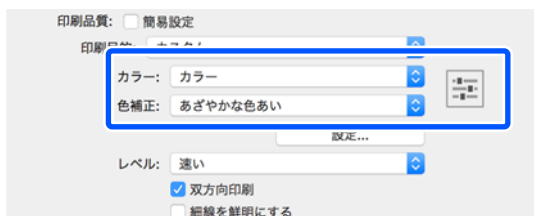
- 4 一覧から【基本設定】を選択し、【印刷品質】欄にある【簡易設定】のチェックを外します。



- 5 印刷目的を選択します。自分で色補正方法を選択したいときは、リストの一番下にある【カスタム】を選択します。



- 6 印刷目的で【カスタム】を選択したときは、カラーと色補正方法を選択します。



- 7 必要に応じて【設定】をクリックし、ガンマ、明度、コントラスト、彩度、カラーバランスなどを調整します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのヘルプをご覧ください。



- 8 その他の設定を確認して印刷を行います。

カラーマネージメント印刷

カラーマネージメントについて

同じ画像データでも、原画とディスプレイの表示、さらに本機の印刷結果で色合いが異なって見えることがあります。これは、スキャナーやデジタルカメラなどの入力機器が色を電子データとして取り込んだり、ディスプレイや本機などの出力機器が色データから実際の色に再現したりするときの特性が、それぞれで異なるために生じます。この入出力機器間で色変換するときの特性の違いをできるだけ補正する方法として、カラーマネージメントシステムがあります。カラーマネージメントシステムは、画像処理用のアプリケーションソフトのほか、Windows や Mac OS などの OS にも搭載されています。Windows には ICM、Mac OS X には ColorSync というカラーマネージメントシステムが搭載されています。

カラーマネージメントシステムでは、装置間の色合わせ（カラーマッチング）を行う方法として「プロファイル」と呼ばれる色補正情報の定義ファイルを使用します（ICC プロファイルと呼ばれることもあります）。入力側装置のプロファイルを入力プロファイル（またはソースプロファイル）、プリンター側をプリンタープロファイル（またはアウトプットプロファイル）と呼びます。本機のプリンタードライバーでは用紙種類ごとにプロファイルを用意しています。

入力装置で変換できる色の領域と出力装置で再現できる色の領域は異なっています。そのため、プロファイルを使って色合わせしても、合わせることでできない色領域が存在します。カラーマネージメントシステムでは、プロファイルの指定のほかに、色合わせができない領域の変換条件を「インテント」として指定します。インテントの名称や種類は、使用するカラーマネージメントシステムにより異なります。

入力装置と本機の間でカラーマネージメントしても、印刷結果とディスプレイの表示色を合わせることではできません。ディスプレイの表示と印刷結果の色合わせするためには、入力装置とディスプレイの間でもカラーマネージメントを行う必要があります。

カラーマネージメント印刷の設定

本機のプリンタードライバーを使用したカラーマネージメント印刷には、以下の 2 通りの方法があります。お使いになるアプリケーションソフトや OS などの条件や目的に合わせて最適な方法を選んで印刷してください。

アプリケーションソフトでカラーマネージメント設定を行う

カラーマネージメントに対応したアプリケーションソフトから印刷する方法です。全てのカラーマネージメント処理をアプリケーションソフトのカラーマネージメントシステムが行います。この方法は、異なる OS 環境で共通のアプリケーションソフトを使用し同様のカラーマネージメント印刷結果を得たいときにも有効です。

🔗 [「アプリケーションソフトでカラーマネージメント設定を行う」70 ページ](#)

プリンタードライバーでカラーマネージメント設定を行う

プリンタードライバーが OS のカラーマネージメントシステムを使用して、全てのカラーマネージメント処理を行います。プリンタードライバーでカラーマネージメント設定を行うには、以下の 2 通りの方法があります。

- ホスト ICM 補正 (Windows) /ColorSync (Mac OS X)
カラーマネージメントに対応したアプリケーションソフトから印刷するときに設定します。この方法は、同じ OS 環境で異なるアプリケーションソフトから印刷したときの印刷結果を近付けたいときにも有効です。
🔗 [「ホスト ICM 補正によるカラーマネージメント印刷 \(Windows\)」72 ページ](#)
🔗 [「ColorSync によるカラーマネージメント印刷 \(Mac\)」73 ページ](#)
- ドライバー ICM 補正 (Windows のみ)
カラーマネージメントに対応していないアプリケーションソフトからのカラーマネージメント印刷が可能になります。
🔗 [「ドライバー ICM 補正によるカラーマネージメント印刷 \(Windows のみ\)」74 ページ](#)

プロファイルの設定方法

3種類のカラーマネージメント印刷は、カラーマネージメントエンジンの利用方法が異なるため、入力プロファイル、プリンタープロファイル、インテント（マッチング方法）の設定方法が異なります。下表の通り、プリンタードライバーまたはアプリケーションソフトのどちらかで設定します。

	入力プロファイルの設定	プリンタープロファイルの設定	インテントの設定
ドライバー ICM 補正 (Windows)	プリンタードライバー	プリンタードライバー	プリンタードライバー
ホスト ICM 補正 (Windows)	アプリケーションソフト	プリンタードライバー	プリンタードライバー
ColorSync (Mac OS X)	アプリケーションソフト	プリンタードライバー	アプリケーションソフト
アプリケーションソフト	アプリケーションソフト	アプリケーションソフト	アプリケーションソフト

カラーマネージメント印刷時に必要な用紙ごとのプリンタープロファイルは、本機のプリンタードライバーとともにインストールされ、プリンタードライバーの設定画面で選択できます。

設定方法の詳細は、以下を参照してください。

☞ 「ドライバー ICM 補正によるカラーマネージメント印刷 (Windows のみ)」 74 ページ

☞ 「ホスト ICM 補正によるカラーマネージメント印刷 (Windows)」 72 ページ

☞ 「ColorSync によるカラーマネージメント印刷 (Mac)」 73 ページ

☞ 「アプリケーションソフトでカラーマネージメント設定を行う」 70 ページ

アプリケーションソフトでカラーマネージメント設定を行う

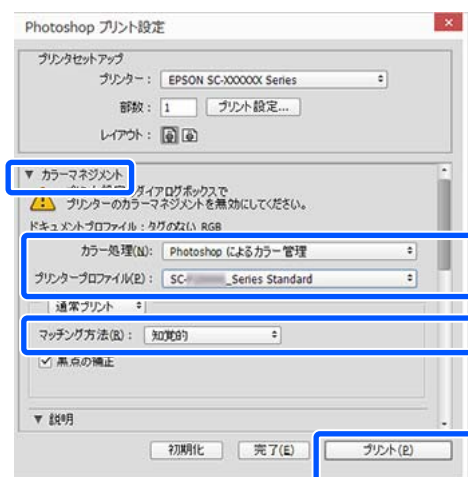
カラーマネージメントに対応したアプリケーションソフトを利用して印刷します。アプリケーションソフトでカラーマネージメントの設定をし、プリンタードライバーの色補正機能を無効にします。

1 アプリケーションソフトの設定をします。

Adobe Photoshop CC の設定例

〔プリント〕画面を開きます。

〔カラーマネージメント〕を選択し、〔カラー処理〕で〔Photoshop によるカラー管理〕を選択し、〔プリンタープロファイル〕と〔マッチング方法〕を選択して、〔プリント〕をクリックします。



2 プリンタードライバーの設定画面 (Windows) またはプリント画面 (Mac) を表示します。

続いて、プリンタードライバーの設定をします。

Windows の場合

☞ 「基本の使い方 (Windows)」 45 ページ

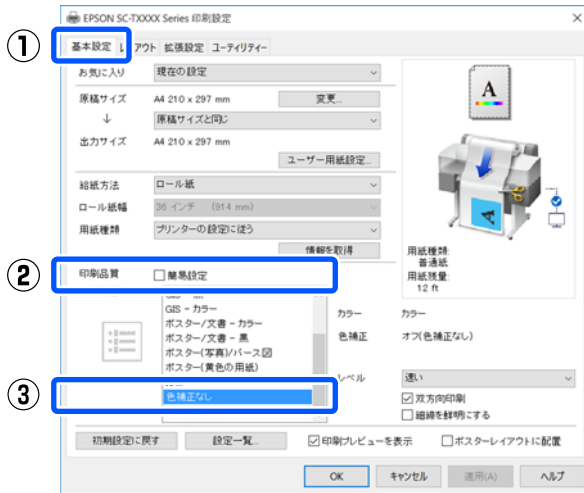
Mac の場合

☞ 「基本の使い方 (Mac)」 51 ページ

3 色補正をオフに設定します。

Windows の場合

〔基本設定〕画面の印刷品質欄にある〔簡易設定〕のチェックを外し、印刷目的のリストから〔色補正なし〕を選択します。



参考

Windows 7/Windows Vista/Windows XP (Service Pack2以降および.NET3.0) は、自動的に〔オフ(色補正なし)〕が選択されます。

Mac の場合

一覧から〔基本設定〕を選択し、印刷品質欄にある〔簡易設定〕のチェックを外して、印刷目的のリストから〔色補正なし〕を選択します。



4 その他の設定を確認して印刷を行います。

プリンタードライバーでカラー マネジメント設定を行う

ホスト ICM 補正によるカラーマネー ジメント印刷 (Windows)

画像データは、あらかじめ入カプロファイルが埋め込まれた状態のものを使用してください。また、アプリケーションソフトは、ICM に対応している必要があります。

1 アプリケーションソフトでカラー処理の方法を設定します。

アプリケーションソフトの種類によって、下表の通りに設定してください。

Adobe Photoshop CS3 以降

Adobe Photoshop Elements 6.0 以降

Adobe Photoshop Lightroom 1 以降

OS	カラーマネジメントの設定
Windows 8.1、 Windows 8、 Windows 7、 Windows Vista	プリンターによるカラー管理
Windows XP (Service Pack2 以降 かつ .NET3.0 以降)	
Windows XP (上記以外)	カラーマネジメントなし

その他のアプリケーションソフトでは、[カラーマネジメントなし] に設定してください。

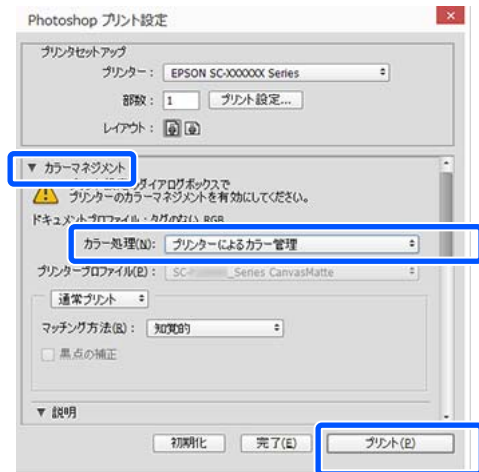
参考

各アプリケーションソフトの対応 OS は製品提供元のウェブサイトをご覧ください。

Adobe Photoshop CC の設定例

[プリント] 画面を開きます。

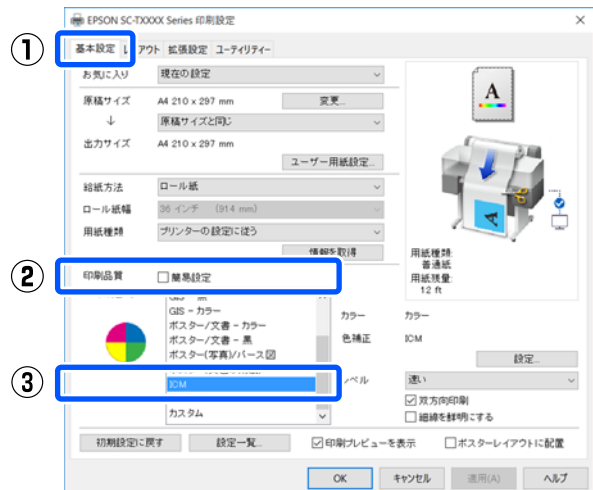
[カラーマネジメント] を選択し、[カラー処理] で [プリンターによるカラー管理] を選択して、[プリント] をクリックします。



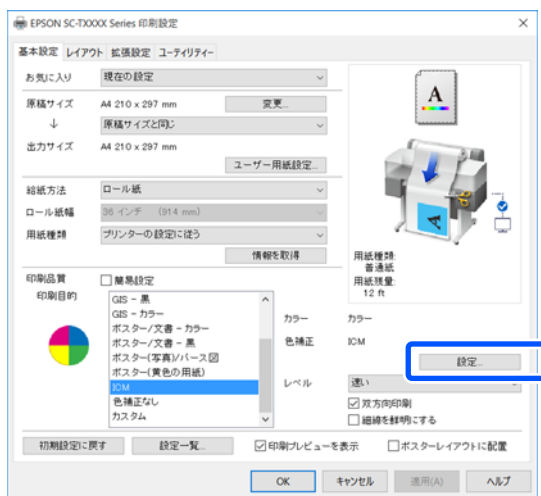
カラーマネジメント機能に対応していないアプリケーションソフトを使用するときは、手順 2 から始めてください。

2 プリンタードライバーの [基本設定] 画面の印刷品質欄にある [簡易設定] のチェックを外し、印刷目的のリストから [ICM] を選択します。

「基本の使い方(Windows)」45 ページ



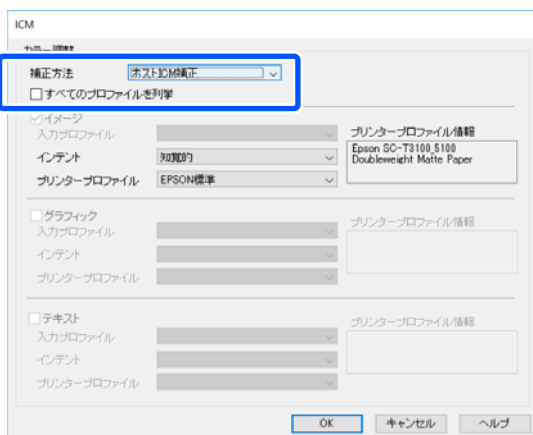
3 [設定] をクリックします。



4 [補正方法] で、[ホスト ICM 補正] を選択します。

詳細はプリンタードライバーのヘルプをご覧ください。

「基本設定」画面で選択されている「用紙種類」* に対応したプリンタープロファイルが自動的に指定され、「プリンタープロファイル情報」の欄に表示されます。プロファイルを変更したいときは、下段の「すべてのプロファイルを列挙」にチェックを付けます。



*: 基本設定画面で給紙方法を選択すると、本機側で設定されている用紙種類が自動的に設定されます。用紙種類は「プリンターの設定に従う」になり、右側に用紙種類名が表示されます。

5 その他の設定を確認して印刷を行います。

ColorSync によるカラーマネージメント印刷 (Mac)

画像データは、あらかじめ入力プロファイルが埋め込まれた状態のものを使用してください。また、アプリケーションソフトは、ColorSync に対応している必要があります。

参考

アプリケーションソフトによっては、[ColorSync] によるカラーマネージメント印刷は使用できません。

1 アプリケーションソフトで、カラーマネージメント機能が無効になるように設定します。

2 プリント画面を表示します。

📖 「基本の使い方 (Mac)」 51 ページ

3 一覧から「カラー・マッチング」を選択し、「ColorSync」をクリックします。



現在選択されている用紙種類* に対応したプリンタープロファイルが自動的に指定され、プロファイル欄の下に表示されます。プロファイルを変更したいときは、「プロファイル」のプルダウンメニューから目的のものを選択します。

*: 一覧から基本設定を選択して表示される画面で設定されています。給紙方法を選択すると、本機側で設定されている用紙種類が自動的に設定され、「プリンターの設定に従う」と表示されます。用紙種類名はその右側に表示されます。

4 その他の設定を確認して印刷を行います。

ドライバー ICM 補正によるカラーマネージメント印刷 (Windows のみ)

プリンタードライバー内部でプリンタープロファイルを使用してカラーマネージメント処理を行います。以下の2種類の色補正方法があります。

- ドライバー ICM 補正(簡易)
プロファイルとIntentの指定は画像データ全体で1種類を指定して処理します。
- ドライバー ICM 補正(詳細)
プリンタードライバーが画像データを [イメージ]、[グラフィック]、[テキスト] の3種類の領域に判別して、それぞれの領域で異なるプロファイルとIntentを指定して処理します。

カラーマネージメント機能を持つアプリケーションソフトを使用するときは

プリンタードライバーの設定を行う前にアプリケーションソフトでカラー処理の方法を設定します。

アプリケーションソフトの種類によって、下表の通りに設定してください。

Adobe Photoshop CS3 以降

Adobe Photoshop Elements 6.0 以降

Adobe Photoshop Lightroom 1 以降

OS	カラーマネージメントの設定
Windows 8.1、 Windows 8、 Windows 7、 Windows Vista	プリンターによるカラー管理
Windows XP (Service Pack2 以降かつ.NET3.0 以降)	
Windows XP (上記以外)	カラーマネージメントなし

その他のアプリケーションソフトでは、[カラーマネージメントなし] に設定してください。

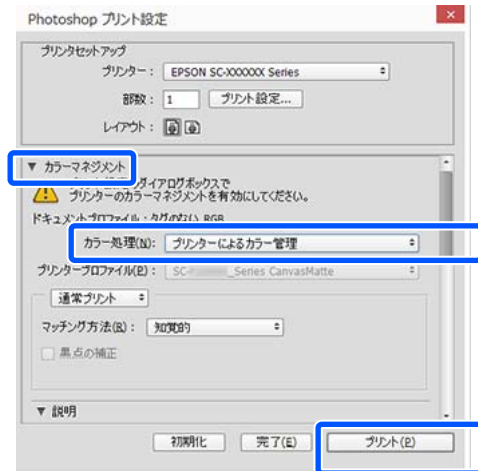
参考

各アプリケーションソフトの対応 OS は製品提供元のウェブサイトをご覧ください。

Adobe Photoshop CC の設定例

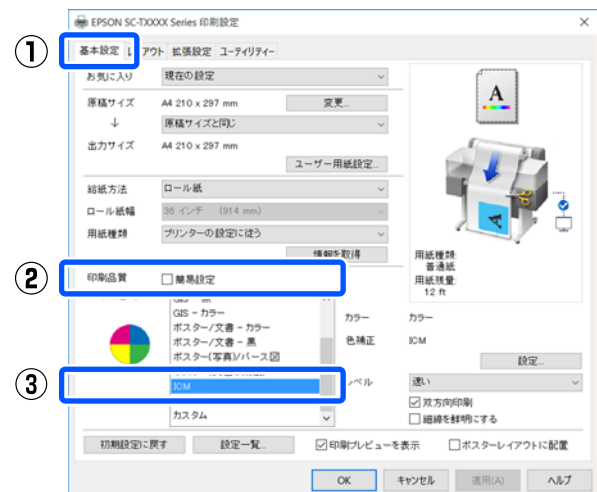
[プリント] 画面を開きます。

[カラーマネージメント] を選択し、[カラー処理] で [プリンターによるカラー管理] を選択して、[プリント] をクリックします。

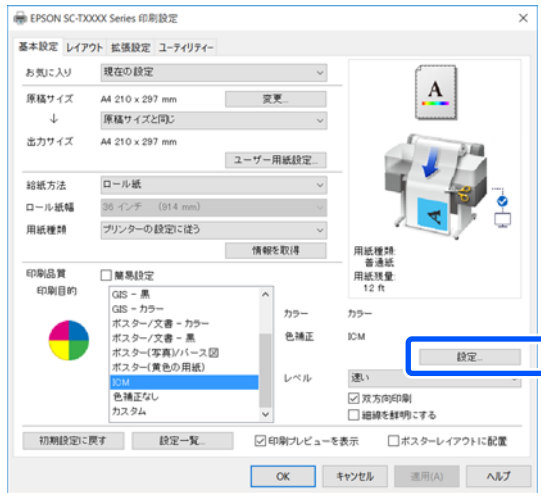


- 1 プリンタードライバーの [基本設定] 画面の印刷品質欄にある [簡易設定] のチェックを外し、印刷目的のリストから [ICM] を選択します。

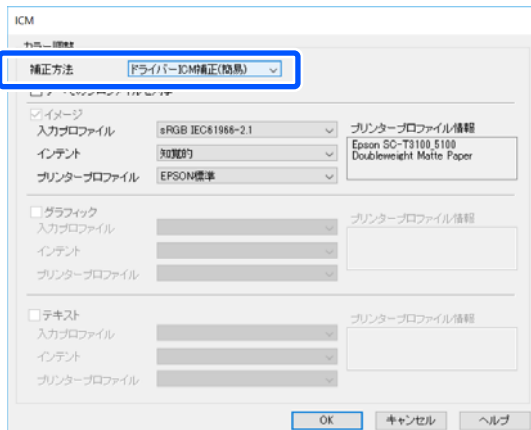
「基本の使い方(Windows)」45 ページ



2 [設定] をクリックします。



3 [ICM] 画面の [補正方法] で [ドライバー ICM 補正(簡易)] または [ドライバー ICM 補正(詳細)] を選択します。



[ドライバー ICM 補正(詳細)] を選択すると、写真などのイメージデータ、グラフィックデータ、テキストデータごとにプロファイルとインテントが指定できます。

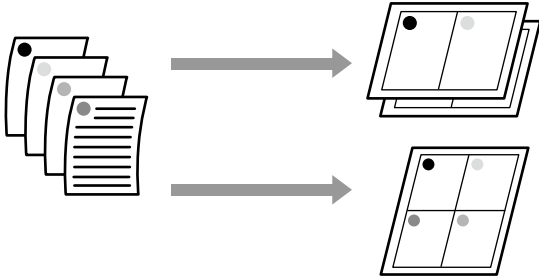
インテント	説明
彩度	彩度を保持して変換します。
知覚的	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用しているときに使用します。
相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用します。

インテント	説明
絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。したがって、元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使います。

4 その他の設定を確認して印刷を行います。

割り付け印刷

1 枚の用紙に 2 ページまたは 4 ページの連続したデータを割り付けて印刷できます

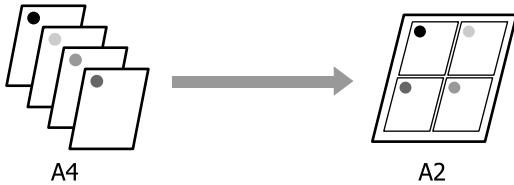


Windows での設定

参考

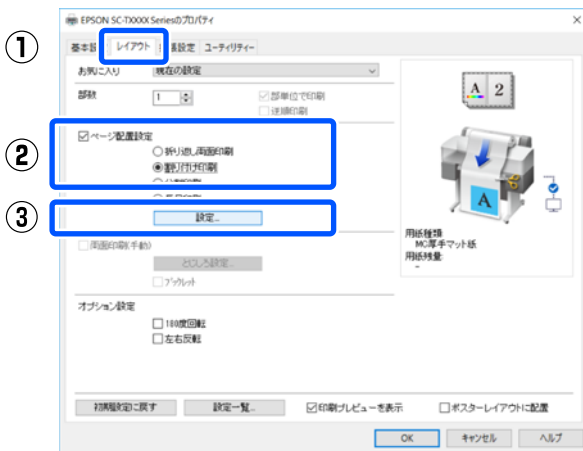
Windows では、拡大/縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用することで、印刷データと異なるサイズの用紙にも割り付けて印刷できます。

🔗 [「定形外サイズの印刷」63 ページ](#)



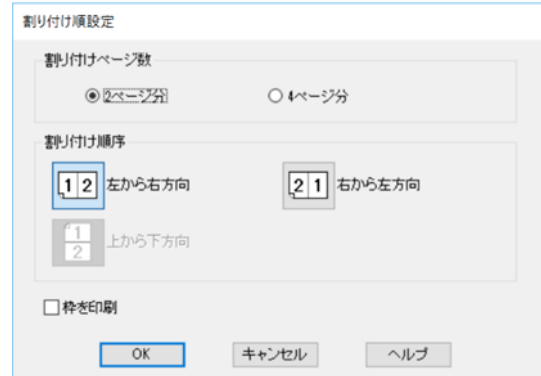
- 1 プリンタードライバーのレイアウト画面を表示し、[ページ配置設定] をチェックします。続けて [割り付け印刷] を選択して、[設定] ボタンをクリックします。

🔗 [「基本の使い方\(Windows\)」45 ページ](#)



- 2 割り付け順設定画面で、[割り付けページ数] と [割り付け順序] を設定します。

[枠を印刷] をチェックすると、割り付けたページに枠線が印刷されます。



- 3 その他の設定を確認して印刷を行います。

Mac での設定

- 1 プリント画面を表示し、一覧から [レイアウト] を選択し、割り付けるページ数などを設定します。

🔗 [「基本の使い方 \(Mac\)」51 ページ](#)



参考

[境界線] で割り付けたページの境界に枠線を印刷できます。

- 2 その他の設定を確認して印刷を行います。

手動両面印刷（Windowsのみ）

給紙方法でオートシートフィーダーが選択されているときのみ本機能が有効になります。ロール紙や単票紙のときは本機能は使えません。

偶数ページ印刷終了後に用紙を裏返してセットし直し、奇数ページを印刷することによって、両面に印刷できます。

両面印刷時のご注意

両面印刷を行うときは、以下の点に注意してください。

- 両面印刷に対応した用紙を使用してください。表裏の印刷品質に差の出ないエプソン製の両面上質普通紙のご使用をお勧めします。
- 用紙の種類や印刷するデータによっては、用紙の裏面にインクがにじむことがあります。
- 連続して両面印刷を行うと印刷品質の低下や用紙が詰まる原因となることがあります。印刷品質が低下するときは、プリンタードライバーでインク濃度を低くするか1枚ずつ印刷してください。
- 連続して両面印刷を行うと、本機の内部がインクで汚れることがあります。印刷後の用紙にローラーの汚れが付くときは、清掃を行ってください。

🔗「オートシートフィーダーから印刷したときにこすれ汚れが付く」177 ページ

参考

割り付け印刷と組み合わせて印刷すると、さらに用紙を節約できます。

🔗「割り付け印刷」76 ページ

印刷の設定手順

1

オートシートフィーダーに用紙をセットします。

🔗「オートシートフィーダーへの用紙のセット方法」34 ページ

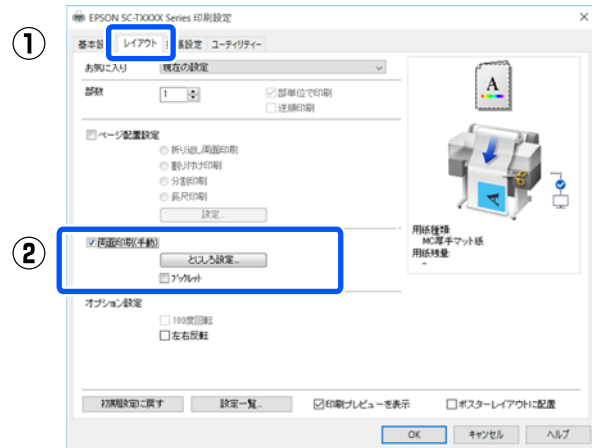
2

プリンタードライバーの基本設定画面を表示し、給紙方法で「オートシートフィーダー」を選択します。

🔗「基本の使い方(Windows)」45 ページ

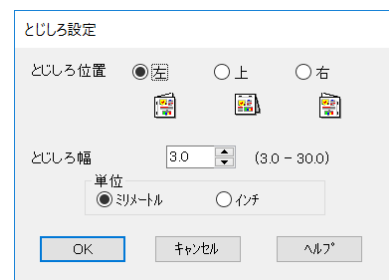
3

プリンタードライバーのレイアウト画面を表示し、[両面印刷(手動)] をチェックします。

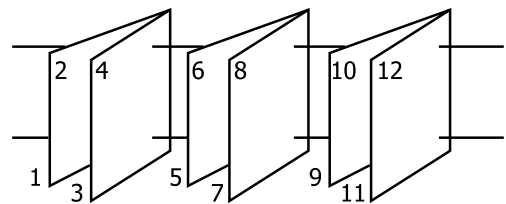


参考

- [とじしろ設定] をクリックすると[とじしろ位置]と[とじしろ]を設定できます。お使いのアプリケーションソフトによっては設定したとじしろ幅と実際の印刷結果が異なることがありますので、試し印刷をしてください。



- [ブックレット] をチェックすると、冊子に仕上げるように印刷できます。下図の例では、用紙を2つに折りたたんだときに内側になるページ（2、3、6、7、10、11 ページ）が先に印刷されます。



4

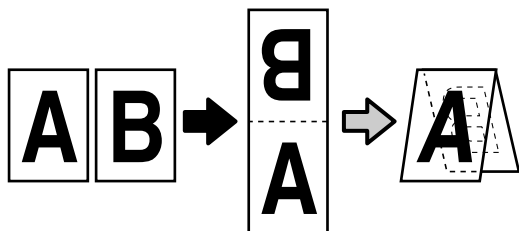
その他の設定を確認して印刷を行います。

5

奇数ページの印刷が終了して案内画面が表示されたら、画面の指示に従って用紙をセットし直し、[印刷再開] をクリックします。

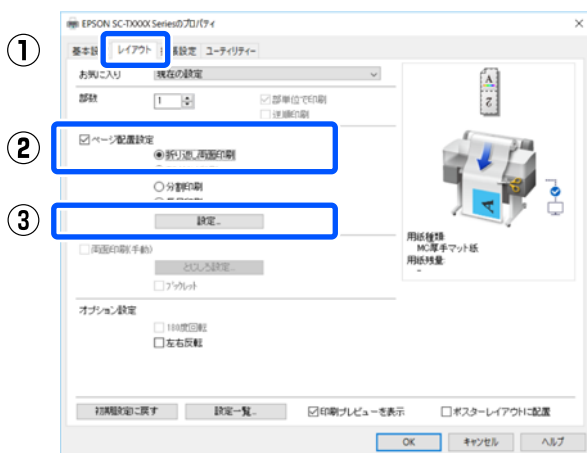
折り返し両面印刷 (Windows のみ)

連続した 2 ページのデータを 1 枚の用紙に印刷できます。2 ページ目のデータは 180° 反転され、1 ページ目とつながった状態で印刷されるので、折りたたむことで両面の印刷物にすることができます。

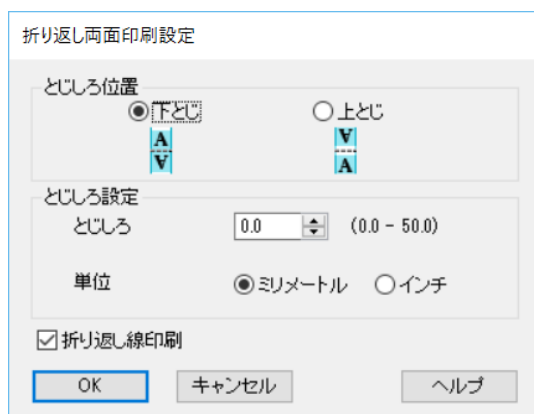


- 1 プリンタードライバーのレイアウト画面を表示し、[ページ配置設定] をチェックします。続けて [折り返し両面印刷] を選択して、[設定] ボタンをクリックします。

「基本の使い方(Windows)」 45 ページ



- 2 折り返し両面印刷設定画面で、[とじしろ位置] と [とじしろ] を設定します。



- 3 その他の設定を確認して印刷を行います。

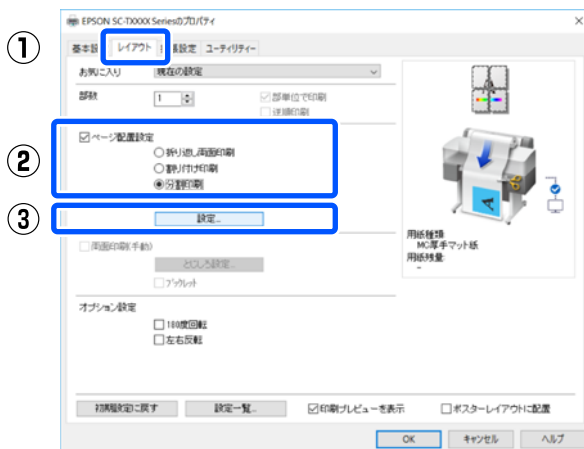
分割印刷 (Windows のみ)

1 ページのデータを複数枚の用紙に分割して印刷できます。出力紙をつなぎ合わせて、大きな印刷物（最大で 16 倍）にすることができます。

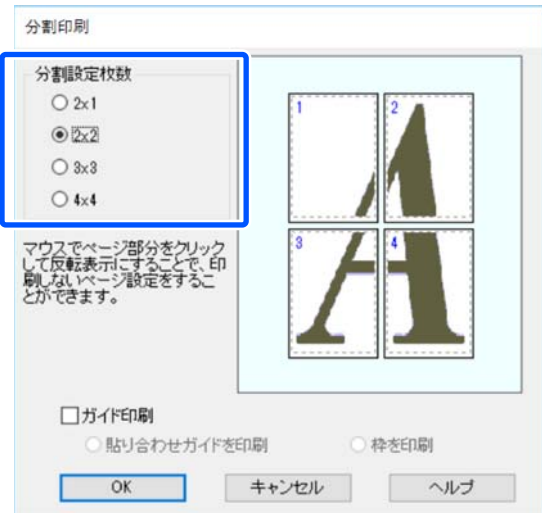


- 1 プリンタードライバーのレイアウト画面を表示し、[ページ配置設定] をチェックします。続けて [分割印刷] を選択して、[設定] ボタンをクリックします。

🔗 「基本の使い方(Windows)」 45 ページ



- 2 分割印刷画面で、[分割設定枚数] を設定します。



- 3 分割印刷された用紙を貼りあわせるときの目印になるガイドを印刷したいときは、[ガイド印刷] にチェックを入れます。



貼り合わせガイドを印刷

用紙を重ねて貼り合わせるためのガイドを印刷します。重ね合わせ分だけ仕上がりサイズが小さくなります。

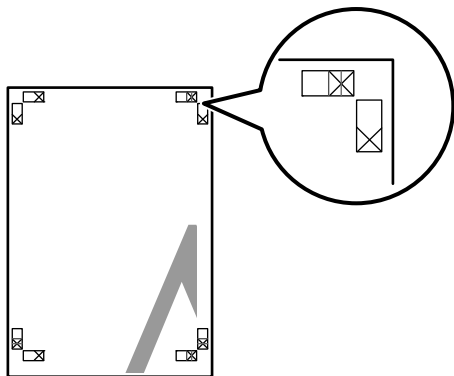
枠を印刷

用紙を重ねずに貼り合わせるための枠線を印刷します。

4 その他の設定を確認して印刷を行います。

割り付け印刷時の貼り合わせ方

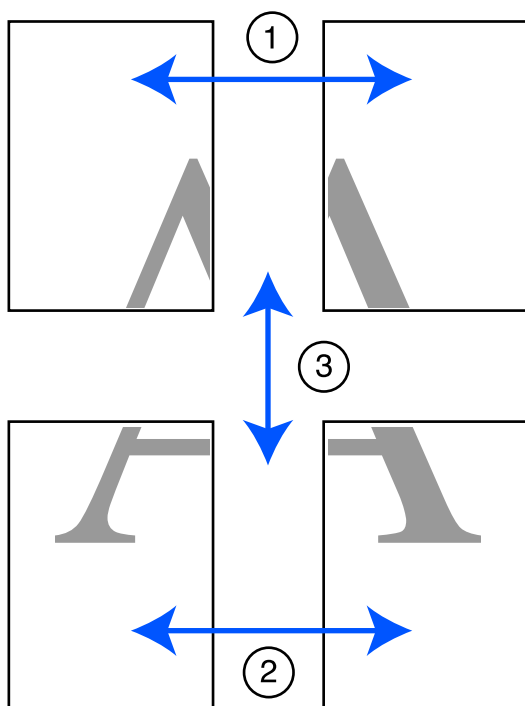
〔貼り合わせガイドを印刷〕を選択すると、下図のような貼り合わせガイド（×印の中心線）と切り取りガイド（×印と□印の接線）が印刷されます。



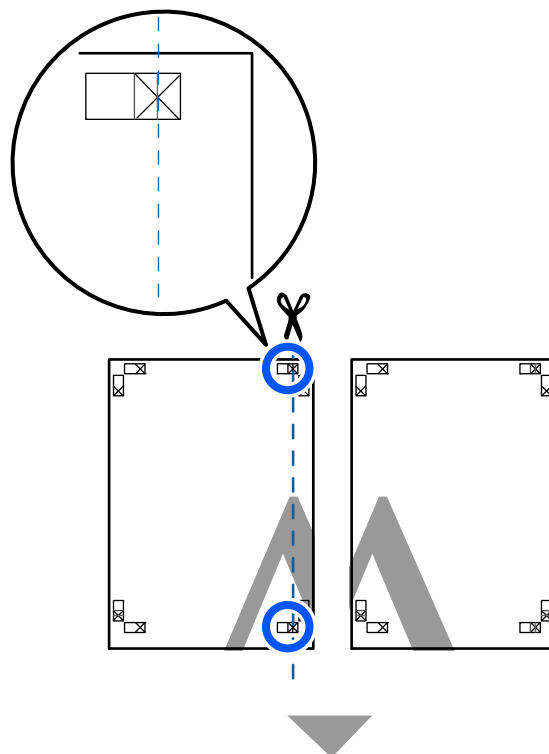
参考

カラー印刷では、貼り合わせガイドは青線で、切り取りガイドは赤線で印刷されますが、モノクロ印刷では、全て黒線になります。

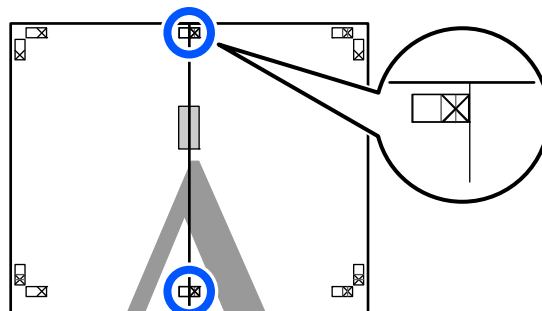
以降で、4枚を例に貼り合わせるときの手順を説明します。



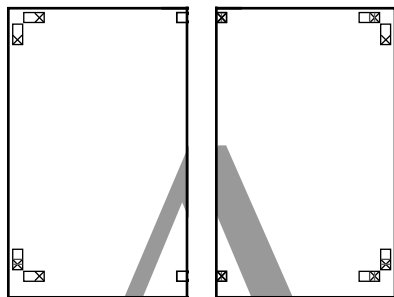
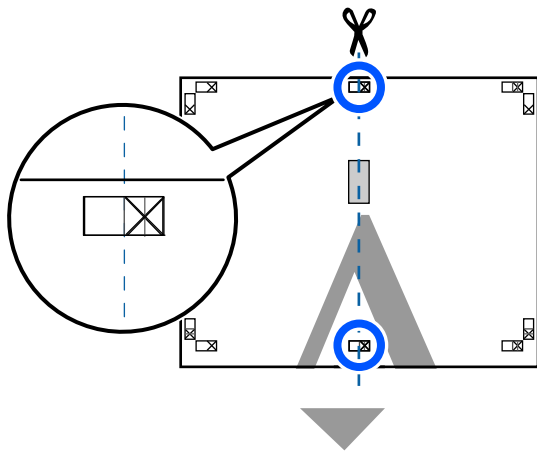
1 上段 2 枚の用紙を用意して、まず左側の用紙の不要部分を貼り合わせガイド（×印の中心線）を結ぶ線で切り落とします。



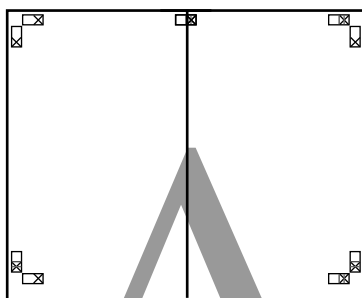
2 右側の用紙の上に左側の用紙を重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。



- 3** 2枚の用紙を重ねたまま、切り取りガイド（×印の左側）を結ぶ線で切断して、不要部分を取り去ります。

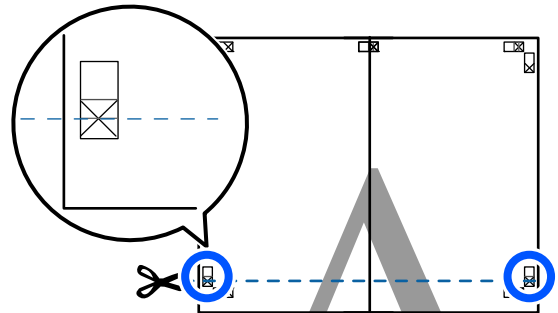


- 4** 切り離れた用紙を再度貼り合わせます。
裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせます。

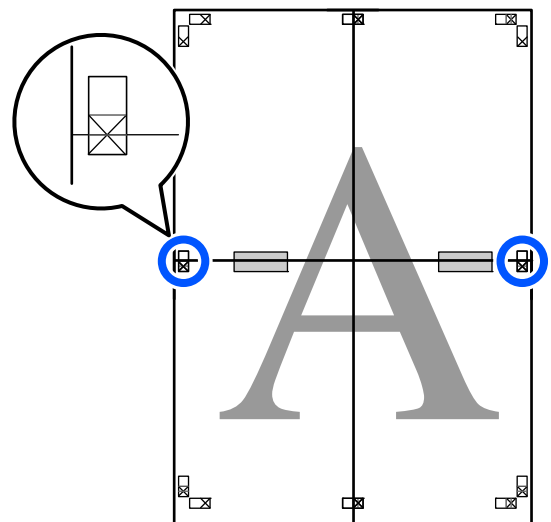


- 5** 下段の2枚の用紙も、手順1～4に従って貼り合わせます。

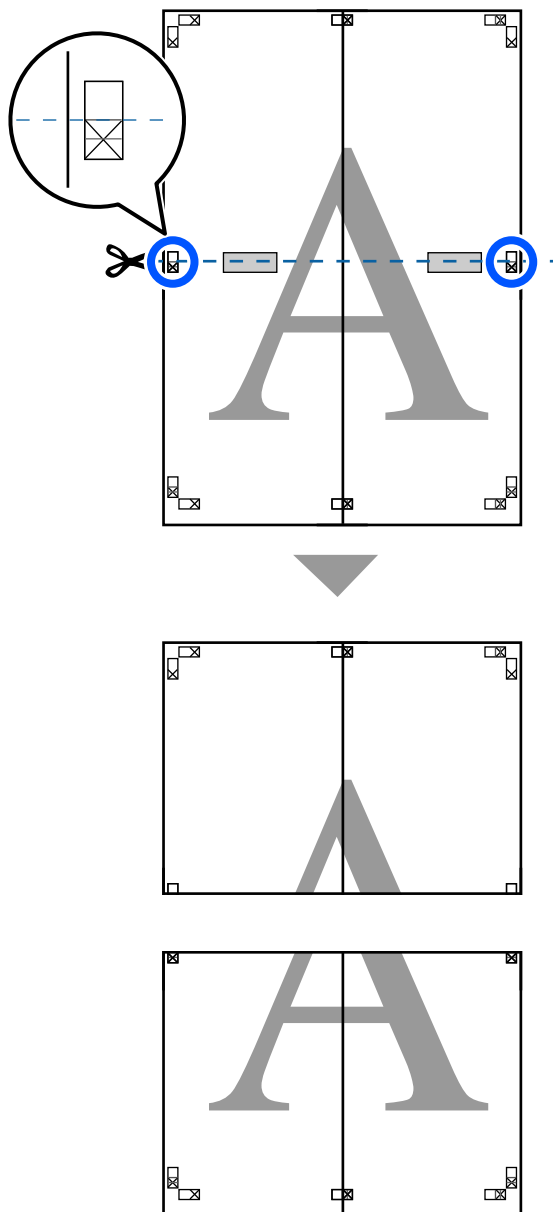
- 6** 上段の用紙の貼り合わせガイド（×印の中心）を結ぶ線で切り落とします。



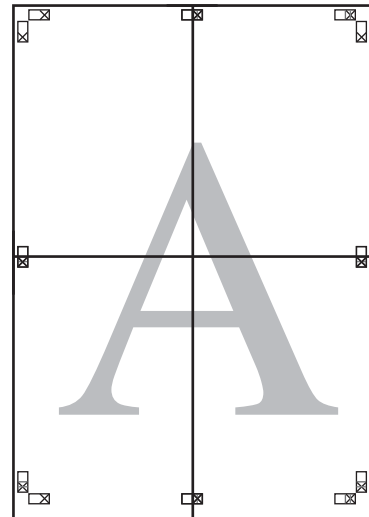
- 7** 下段の用紙の上に上段の用紙を重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。



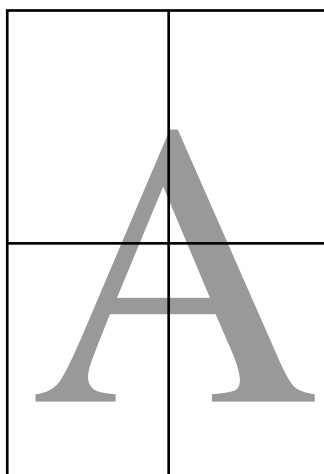
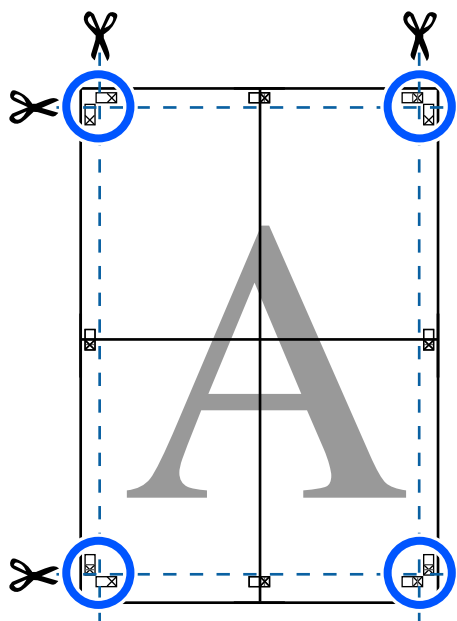
- 8** 2枚の用紙を重ねたまま、切り取りガイド（×印の上側）を結ぶ線で切断して、不要部分を取り去ります。



- 9** 上段と下段の用紙を貼り合わせます。
裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。



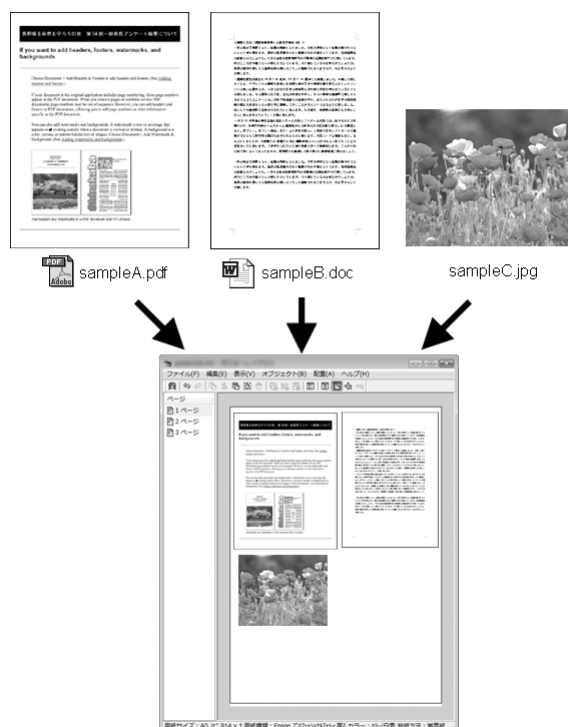
- 10 全ての用紙を貼り合わせたら、切り取りガイド（×印の内側）に合わせて余白を切り取ります。



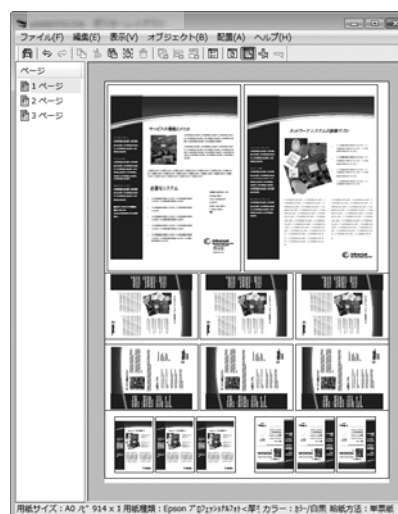
まとめて印刷（ポスターレイアウトに配置） （Windows のみ）

異なるアプリケーションソフトで作成した複数のデータを、自由にレイアウトして、まとめて印刷できます。印刷の作業効率や用紙の使用効率を上げることができます。

複数のデータをレイアウトした例



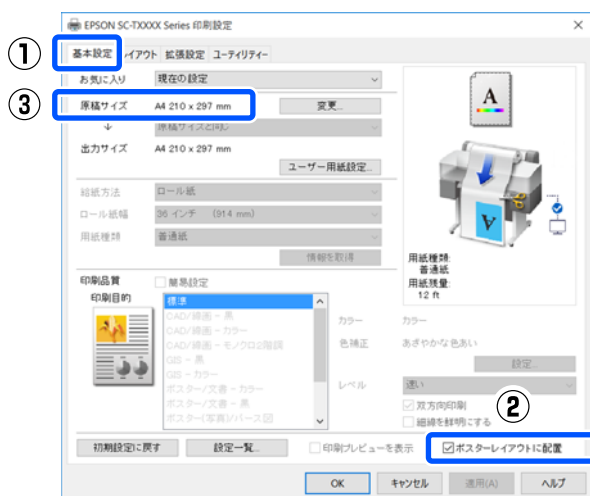
縦横自由にレイアウトした例



印刷の設定手順

- 1 印刷するファイルをアプリケーションソフトで開きます。
- 2 プリンタードライバの基本設定画面で【ポスターレイアウトに配置】にチェックし、原稿サイズにアプリケーションソフトで設定しているサイズが表示されていることを確認します。

 [「基本の使い方\(Windows\)」 45 ページ](#)



参考

「原稿サイズ」はポスターレイアウト画面上に配置されるサイズです。実際に印刷する用紙サイズは、手順6の画面で設定します。

- 3** **【OK】** をクリックして、アプリケーションソフトで印刷を行うと、ポスターレイアウト画面が開きます。

データは印刷されず、1 ページが 1 オブジェクトとして、ポスターレイアウト画面の用紙上に配置されます。

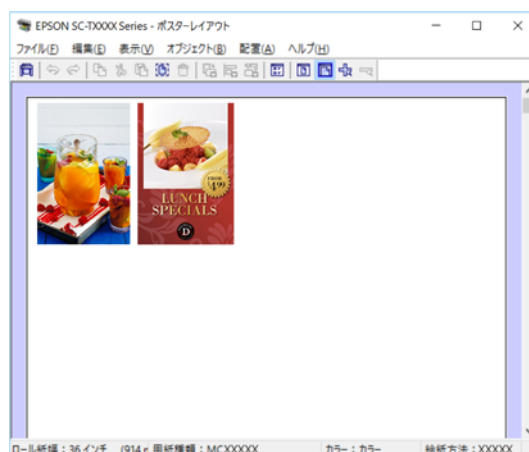
- 4** ポスターレイアウト画面を開いたまま、手順 **1**～**3** を繰り返して印刷データを全て配置します。
- ポスターレイアウト画面にオブジェクトが追加されます。

- 5** ポスターレイアウト画面でオブジェクトの配置を整えます。

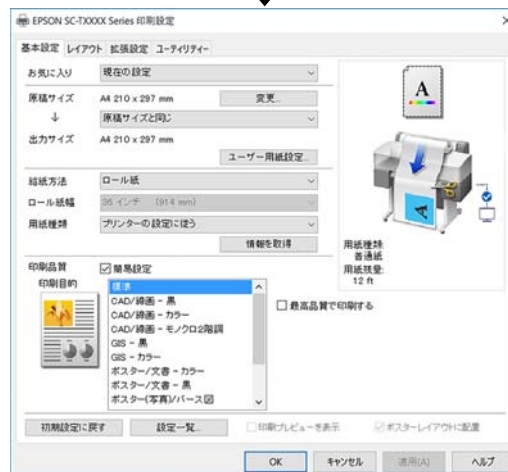
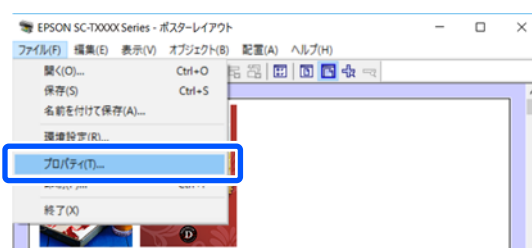
オブジェクトをドラッグして移動やサイズ変更ができるほか、ツールボタンや [オブジェクト] メニューで整列、回転ができます。

オブジェクト全体のサイズや配置は、[ファイル]メニューの[環境設定]や[配置]メニューで変更できます。

各機能の詳細は、ポスターレイアウト画面のヘルプをご覧ください。



- 6** 【ファイル】メニューの【プロパティ】をクリックし、プリンタードライバー画面で印刷の設定をします。



【用紙設定】を確認して、【印刷品質】を設定します。

- 7 ポスターレイアウト画面で【ファイル】メニューをクリックして、【印刷】をクリックします。

印刷が始まります。

設定の保存と呼び出し

ポスターレイアウト画面で配置・設定した内容はファイルとして保存できます。作業の途中で一旦終了するときにはファイルに保存し、後で呼び出して作業を継続できます。

保存方法

- 1 ポスターレイアウト画面で、【ファイル】メニューの【名前を付けて保存】の順にクリックします。
- 2 ファイル名を入力して、保存先を選択し【保存】をクリックします。
- 3 ポスターレイアウト画面を終了します。

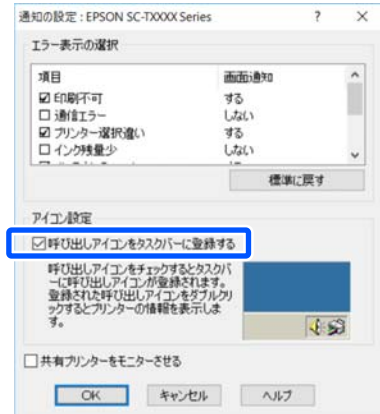
呼び出し方法

- 1 **Windows** タスクバーの本機のアイコン () を右クリックし、表示されたメニューで【ポスターレイアウト】をクリックします。
ポスターレイアウト画面が表示されます。

参考

Windows タスクバーに本機のアイコンが表示されていないとき

プリンタードライバーの【ユーティリティ】画面を開き、【通知の設定】をクリックします。通知の設定画面で【呼び出しアイコンをタスクバーに登録する】にチェックを入れます。



- 2 ポスターレイアウト画面で、【ファイル】メニュー-【開く】の順にクリックします。
- 3 ファイルの保存先を選択し、呼び出すファイルを開きます。

コンピューターから HP-GL/2 または HP RTL モードで印刷

本機は、HP-GL/2 (HP Designjet 750C 準拠)、HP RTL をエミュレーション*できます。エミュレーションして印刷するための本機の設定と CAD アプリケーションソフトでの設定について説明します。

* 全ての機能には対応しておりません。動作確認されていないアプリケーションソフトで使用する際は、事前の出力検証をお願いします。

！重要

印刷データが非常に大きい場合、正常に印刷できないことがあります。

参考

CAD 図面の印刷は、付属のプリンタードライバーの CAD/線画モードを使って印刷することもできます。より良い画質で印刷したいときは、プリンタードライバーから印刷することをお勧めします。

🔗 [「CAD 図面の印刷」 56 ページ](#)

本機の設定

本機の操作パネルで、HP-GL/2 または HP RTL モードで印刷するときの印刷設定を必要に応じて変更します。印刷設定には、給紙方法や余白などの基本の印刷設定（外部機器(PC)印刷設定）と、パレット設定などの HP-GL/2 モード固有の印刷設定（HP-GL/2 固有設定）があります。

基本の印刷設定

- 1 ホーム画面から [設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [外部機器(PC)印刷設定] の順に押します。

- 2 【給紙方法】を確認し、必要に応じて変更します。

メーカー設定値はロール紙です。HP-GL/2 または HP RTL の印刷データが送られてきたときに、ここで設定した給紙方法で用紙がセットされていないとエラーになります。

- 3 その他の項目も確認し、必要に応じて変更します。

外部機器(PC)印刷設定項目の説明は、以下をご覧ください。

🔗 [「本体設定 - プリンター設定」 129 ページ](#)

HP-GL/2 固有印刷設定

印刷データを回転させたい、線をマージしたい、アプリケーションソフトで設定しているパレット定義を変更したいなどの HP-GL2 固有の設定を変更したいときは以下の手順で行います。

- 1 ホーム画面から [設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [HP-GL/2 固有設定] の順に押します。

- 2 変更したい項目を押して、設定を変更します。

HP-GL/2 固有設定項目の説明は、以下をご覧ください。

🔗 [「本体設定 - プリンター設定」 129 ページ](#)

参考

HP-GL/2、HP RTL 印刷が正常に実行されないとき

本機は、送られた印刷データから、プリンタードライバーからの通常の印刷か、HP-GL/2 または HP RTL のエミュレーション印刷かを自動で判別して印刷モードを切り替えています。モードの切り替えが正しく行われずに印刷が正常に実行されないときは、以下のように設定してください。

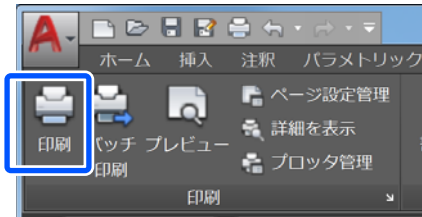
- コンピューターと本機を USB で接続しているとき
ホーム画面から [設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [印刷言語] - [USB からの印刷] の順に選択し、設定を [Auto] から [HP-GL/2] に変更する
- コンピューターと本機をネットワークで接続しているとき
ホーム画面から [設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [印刷言語] - [ネットワークからの印刷] の順に選択し、設定を [Auto] から [HP-GL/2] に変更する

HP-GL/2、HP RTL 印刷が終わって、通常のプリンタードライバーから印刷をするときは、設定を [Auto] に戻してください。

CAD アプリケーションソフトの設定

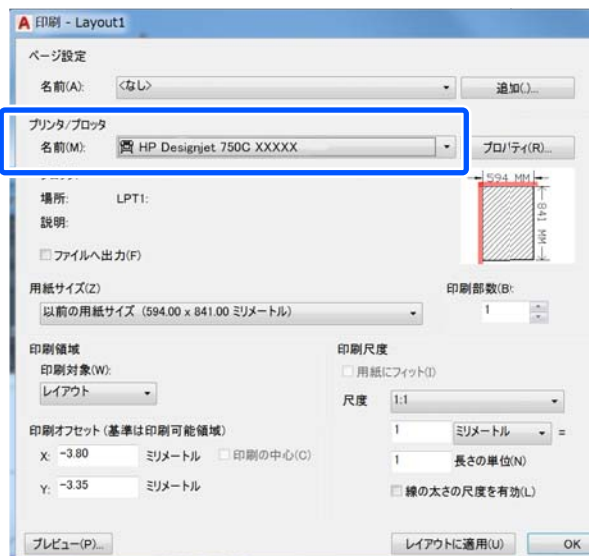
お使いの機種により以下の通り、出力機器の設定をしてください。ここでは AutoCAD2018 を例に説明します。

1 【印刷】 をクリックします。



2 【プリンタ/プロッタ】で、プロッターを設定します。

- SC-T5150M/SC-T5150/SC-T5150N:
HP Designjet 750C C3196A
- SC-T3150M/SC-T3150/SC-T3150N/SC-T2150:
HP Designjet 750C C3195A



ネットワークの接続方法の変更

本機は有線 LAN または無線 LAN に接続することができます。また、有線 LAN や無線 LAN の環境がなくてもスマートデバイスなどの機器と無線で直接接続する Wi-Fi Direct (シンプル AP) 接続にも対応しています。

有線 LAN と無線 LAN への同時接続はできません。Wi-Fi Direct 接続は、本機がネットワークに接続されているかわからないに関わらず可能です。

ここでは接続方法を切り替えるときの手順を説明します。

参考

ネットワーク設定の詳細については『システム管理者ガイド』(オンラインマニュアル)をご覧ください。

有線 LAN に変更する

- 1 ホーム画面で  を押します。

参考

アイコン形状や色は、接続状況によって変わります。
🔗 [「画面の見方と操作」14 ページ](#)

- 2 [接続方法の説明] を押します。

- 3 [有線 LAN の接続方法] を押します。

- 4 [設定を開始する] を押します。

アクセスポイントとの無線 LAN 接続を無効にする処理が開始されます。[無線 LAN 接続を無効にしました] というメッセージが表示されるまで待ちます。

- 5 お使いのルーターと本機を LAN ケーブルで接続します。

本機の LAN ポートの場所は以下をご覧ください。

🔗 [「背面」12 ページ](#)

無線 LAN に変更する

接続したいアクセスポイントの SSID (ネットワークの名称) とパスワードの情報が 필요합니다。事前に確認してください。なお、LAN ケーブルは接続したままでも無線 LAN に接続できます。

参考

お使いのアクセスポイントが WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応していると、SSID やパスワードを使わずに [プッシュボタンで設定(WPS)] や [PIN コード自動設定(WPS)] で接続できます。

🔗 [「本体設定 - ネットワーク設定」138 ページ](#)

- 1 ホーム画面で  を押します。

参考

アイコン形状や色は、接続状況によって変わります。
🔗 [「画面の見方と操作」14 ページ](#)

- 2 [ルーター] を押します。

- 3 [設定に進む] を押します。

有線 LAN 接続状態の詳細が表示されます。

- 4 [無線 LAN 接続に変更する] を押し、表示されたメッセージを確認して [はい] を押します。

- 5 [アクセスポイントを検索] を押します。

- 6 接続したい SSID を選択します。

接続したい SSID が表示されないときは、[再検索] を押して一覧を更新してください。それでも表示されないときは、[手動入力] を押して SSID を直接入力します。

- 7 [パスワード入力] を押して、パスワードを入力します。

参考

- パスワードは大文字と小文字を区別して入力してください。
- SSID を直接入力したときは、[パスワード] を [あり] にしてからパスワードを入力してください。

8 入力が終わったら **〔OK〕** を押します。

9 設定内容を確認して **〔設定を開始する〕** を押します。

10 **〔OK〕** を押して終了します。

接続に失敗したときは、**〔接続診断結果を印刷する〕** を選択してネットワーク接続診断レポートを印刷してください。レポートで対処方法を確認できます。

11 ネットワーク接続設定画面を閉じます。

無線で直接接続する (Wi-Fi Direct)

本機がネットワークに接続されていないときや、本機が接続されているネットワークにログオン権限がないときなどに一時的に本機と直接接続することができます。メーカー設定では、Wi-Fi Direct は無効になっています。有効にして接続するまでの手順を説明します。

参考

本機は、同時に 4 台までのスマートデバイスやコンピューターと接続することができます。4 台接続済みのときに新たに別の機器から接続したいときは、接続済みの機器側で本機との接続を切断してください。

1 ホーム画面で  を押します。

参考

アイコン形状や色は、接続状況によって変わります。
 [「画面の見方と操作」14 ページ](#)

2 **〔Wi-Fi Direct〕** を押します。

既に Wi-Fi Direct が有効になっているときは、ネットワーク (SSID) やパスワード、接続済み台数などが表示されます。手順 5 に進みます。

参考

表示されたネットワーク (SSID) やデバイス名などが画面右端で切れて一部見えなくなっているときは、その項目を押すと設定値全体が表示されます。

3 **〔設定に進む〕** を押します。

4 **〔設定を開始する〕** を押します。

Wi-Fi Direct が有効になり、ネットワーク (SSID) とパスワードが表示されます。

5 本機と接続したい機器で **Wi-Fi** 設定画面を開き、本機の画面に表示された **SSID** を選択して、同じく画面に表示されたパスワードを入力します。

6 接続ができれば、本機の画面で **〔閉じる〕** を押して終了します。

7 本機の画面で **〔閉じる〕** を押して、ネットワーク接続設定画面を閉じます。

接続した機器にプリンタードライバーがインストールされているときは、プリンタードライバーを使って印刷できます。

参考

本機の電源を切ると、接続済みの機器との接続が全て切断されます。本機の電源を入れて再度接続をするときは、手順 1 からやり直してください。

AirPrint を使う

AirPrint を使うと、ドライバーのインストールやソフトウェアのダウンロードをしなくても iPhone、iPad、iPod touch や Mac から簡単に無線で印刷できます。



参考

操作パネルでプリンター設定メニューの給紙装置設定の情報表示を無効にしていると、AirPrint は使えません。給紙装置設定の情報表示を有効にするには以下の関連リンクをご覧ください。

1 プリンターに印刷用紙をセットします。

2 プリンターを無線 **LAN** に接続します。以下のリンクをご覧ください。

<http://epson.sn>

3 お使いの機器をプリンターと同じ無線 **LAN** に接続します。

4 機器からプリンターに印刷します。

参考

詳しくはアップル社ウェブサイトの AirPrint のページをご覧ください。

プリンタードライバー を使用しない印刷 (SC-T5150M/ SC-T3150M のみ)

プリンタードライバーがインストールされていないコンピュータでもネットワークが繋がっていれば印刷できる方法や、USB フラッシュメモリー内のファイルを本機に装着して印刷する方法を説明します。

Web 経由のダイレクト印刷 (アップロード印刷)

機能概要

アップロード印刷はプリンタードライバーをインストールしていないコンピュータから Web Config を起動して印刷する機能です。

🔗 [「Web Config の使い方」25 ページ](#)

印刷したいファイルを選択して本機にアップロードするだけで印刷できます。お使いのブラウザがドラッグ&ドロップに対応していれば、複数のファイルを一括してアップロードして順次印刷できます。

アップロード印刷できるファイルは以下の通りです。

- JPEG
- HP-GL/2
- TIFF
- PDF (エプソン製インクジェットプリンターのスキャン機能で作成したデータのみ)

アップロード印刷の手順

1 本機に用紙をセットします。

🔗 [「ロール紙のセット方法」29 ページ](#)

🔗 [「オートシートフィーダーへの用紙のセット方法」34 ページ](#)

🔗 [「単票紙 \(1 枚\) のセット方法」37 ページ](#)

2 Web Config を起動します。

🔗 [「起動方法」25 ページ](#)

3 「印刷」タブを表示し、[アップロード印刷] をクリックします。



参考

「印刷」タブが表示されないときは、システム管理者に問い合わせてください。

4 印刷の設定をします。

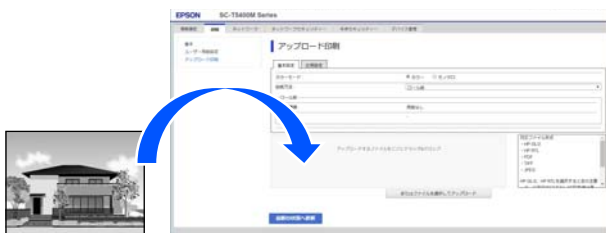
「基本設定」でカラーモードや給紙方法を選択します。



印刷品質などは「応用設定」から設定をします。



- 5 データをドラッグ&ドロップすると、印刷を開始します。



共有フォルダー内のファイルを印刷（フォルダー印刷）

機能概要

あらかじめ設定した、ネットワーク上の共有フォルダーのファイルを選択して印刷できます。
共有フォルダーの設定は、本機の画面または Web Configで行います。

📄 [「共有フォルダーの事前準備」 92 ページ](#)

フォルダー印刷できるファイルは以下の通りです。

- JPEG
- HP-GL/2
- TIFF
- PDF（エプソン製インクジェットプリンターのスキャン機能で作成したデータのみ）

共有フォルダーの事前準備

本機から設定

- 1 ホーム画面で「設定」を押します。

- 2 [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [共有フォルダー] の順に押します。

共有フォルダー設定画面が表示されます。

- 3 各項目を入力します。

- フォルダー名：共有フォルダーのネットワークパスを 255 文字以内で入力します。
- ユーザー名：コンピューターにログオンするユーザー名を入力します。
- パスワード：コンピューターにログオンするパスワードを入力します。

- 4 「設定開始」を押すと、共有フォルダーの設定は完了します。

Web Config から設定

- 1 Web Config を起動します。

📄 [「起動方法」 25 ページ](#)

- 2 [印刷] タブを表示し、[基本] をクリックします。

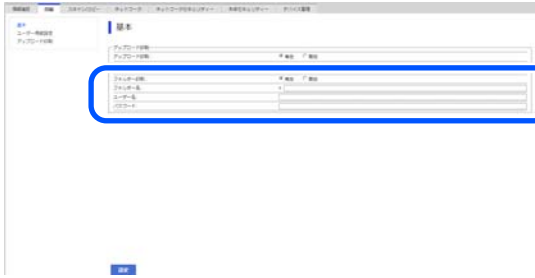


参考

【印刷】タブが表示されないときは、システム管理者に問い合わせてください。

3 【フォルダー印刷】の各項目を入力します。

- フォルダー印刷：有効を選択します。
- フォルダー名：共有フォルダーのネットワークパスを入力します。
- ユーザー名：コンピューターにログオンするユーザー名を入力します。
- パスワード：コンピューターにログオンするパスワードを入力します。



4 【設定】をクリックすると、共有フォルダーの設定は完了します。

フォルダー印刷の手順

本機の画面からフォルダー印刷する手順は、以下の通りです。

1 ホーム画面で【フォルダーから印刷】を押します。

しばらくして、共有フォルダー内のファイルのリストが表示されます。

2 印刷するファイルを 1 つ選択します。

3 【モノクロ】または【カラー】を選択します。

拡大・縮小設定などの応用設定をするとき
手順 4 に進みます。

応用設定をせず、等倍で印刷するとき
手順 5 に進みます。

4 【応用設定】タブを押します。

倍率で拡大・縮小の設定ができます。[オートフィット] を [オン] にすると、本機にセットされているロール紙の幅、または単票紙のサイズに合わせて自動で拡大して印刷します。

その他の設定項目の説明は、以下をご覧ください。

 [「フォルダーから印刷メニュー \(SC-T5150M/SC-T3150M のみ\)」 160 ページ](#)

参考

- HP-GL/2 ファイルでは、[ページ余白設定] - [フチなし] を選択したときは、[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [外部機器(PC)印刷設定] - [ページ余白設定] の [マージンでクリップ] または [オーバーサイズ] が適用されます。
- HP-GL/2 ファイルでは、[倍率] は選択できません、適用されません。

5 【印刷開始】ボタンを押します。

USB フラッシュメモリー内のファイルを直接印刷

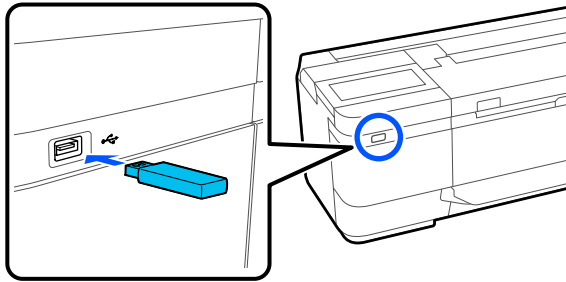
USB フラッシュメモリー*を本機に装着して、メモリーに保存されたファイルを本機から直接印刷できます。

*FAT または exFAT ファイルシステムに対応した USB フラッシュメモリーをお使いください。ただし、装着時にパスワード入力をするなどのセキュリティー機能が付いたものは使えません。

直接印刷できるファイルは以下の通りです。

- JPEG
- TIFF
- PDF (エプソン製インクジェットプリンターのスキャン機能で作成したデータのみ)

- 1 印刷データを保存した **USB フラッシュメモリー** を本機に装着します。



- 2 ホーム画面で **【外部メモリーから印刷】** を押します。

- 3 印刷するファイル形式に対応した印刷メニューを押します。

- 4 印刷するファイルを **1 つ** 選択します。

JPEG 印刷のとき

ファイルの画像を押して選択し、**【印刷へ進む】** を押します。

選択した画像にはチェックマークが付きます。**【全画面表示】** を押すと、選択した画像を拡大して確認できます。ファイルの並び順を変更するときは、**【↓↑】** を押します。

JPEG 印刷以外のとき

リストでファイル名を押して選択します。ファイルの並び順を変更するときは、**【↓↑】** を押します。

参考

Shift JIS 文字および半角英数字を使ったフォルダー名やファイル名を表示できます。
フォルダー名やファイル名に本機が表示できない文字があるときは「？」と表示されます。

- 5 **【モノクロ】** または **【カラー】** を選択します。

拡大・縮小設定などの応用設定をするとき
手順 6 に進みます。

応用設定をせず、等倍で印刷するとき
手順 7 に進みます。

- 6 **【応用設定】** タブを押します。

倍率で拡大・縮小の設定ができます。**【オートフィット】** を **【オン】** にすると、本機にセットされているロール紙の幅、または単票紙のサイズに合わせて自動で拡大して印刷します。

その他の設定項目の説明は、以下をご覧ください。

 **「外部メモリーから印刷メニュー (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)」** 147 ページ

参考

よく使う設定は、お気に入り設定として登録したり保存することができます。詳細は以下をご覧ください。

 **「お気に入り設定の使い方」** 16 ページ

- 7 部数の数字を押して、キーパッド画面で印刷部数を入力します。

参考

【プレビュー】 ボタンで印刷イメージを確認できます (JPEG 印刷、TIFF 印刷のみ)。

- 8 **【印刷開始】** ボタンを押します。

コピー (SC-T5150M/ SC-T3150M のみ)

原稿セット時のご注意

セットできる原稿は1枚です。

セットできる原稿のサイズと用紙種類、セットできない原稿は以下の通りです。

！重要

ホコリの付いた原稿をセットすると、ホコリがスキャナー内部に付着して、コピーやスキャンした画像の品質を低下させる原因となります。原稿をセットする前に、原稿のホコリを払ってください。

セットできる原稿のサイズ

原稿幅	： SC-T5150M: 148mm～915 mm (36 インチ) SC-T3150M: 148mm～610 mm (24 インチ)
原稿長さ	： 148mm～2720mm*
原稿厚さ	： 0.5mm 以下 (オプションのキャリアシート のときは 0.25mm 以下)

* スキャン (600dpi) とコピー (きれい、高精細) のみ最大長は 2672mm

セットできる原稿の用紙種類

- 普通紙
- 再生紙
- コート紙
- トレーシングペーパー
- フィルム
- 青焼き
- 印刷本紙

！重要

- トレーシングペーパーをセットしたときは、自動で幅を検出できません。操作パネルの画面で [原稿サイズ]・[読み取りサイズ] の設定をしてください。

☞ 「コピーメニュー (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)」 150 ページ

☞ 「スキャンメニュー (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)」 153 ページ

- 薄い原稿や傷つけたくない原稿をセットするときは、以下をご覧ください。

☞ 「薄い、破れやすい、傷つけたくない原稿をセットするとき」 96 ページ

セットできない原稿

以下のような原稿はセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。

- とじてある
- 反っている
- 裏がカーボンになっている
- ステープラーやクリップ、のりなどが付いている
- ルーズリーフなど多数の穴がある
- 不規則な形状・直角に裁断されていない
- 写真・シール・ラベルなどが貼ってある
- 透明
- 光沢がある
- 用紙が劣化している
- 破れている

薄い、破れやすい、傷つけない原稿をセットするとき

薄い原稿や傷付けたくない原稿はオプションのキャリアシートを使用します。

☞「消耗品とオプション」187 ページ

！重要

キャリアシート使用時の注意

キャリアシートを使用してスキャンすると、スキャン結果に原稿の紙の色（背景色）が残ったり、しわの影が出たりすることがあります。
気になるときは、[背景除去] で調整してみてください。

背景除去の方法

• コピーのとき

ホーム画面で [コピー] - [基本設定] - [詳細画質調整] - [背景除去] - [自動] で [オフ] を選択し、-4~4 でプラス方向に設定します。

☞「コピーメニュー (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)」150 ページ

• スキャンで保存先をメール、またはフォルダーにしているとき

ホーム画面で [スキャン] を選択し、保存先によって [メール]、[フォルダー] のいずれかを選択します。

[スキャン設定] - [詳細画質調整] - [背景除去] - [自動] で [オフ] を選択し、-4~4 でプラス方向に設定します。

☞「スキャンメニュー (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)」153 ページ

• スキャンで保存先を外部メモリーにしているとき

ホーム画面で [スキャン] - [応用設定] - [詳細画質調整] - [背景除去] - [自動] で [オフ] を選択し、-4~4 でプラス方向に設定します。

☞「スキャンメニュー (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)」153 ページ

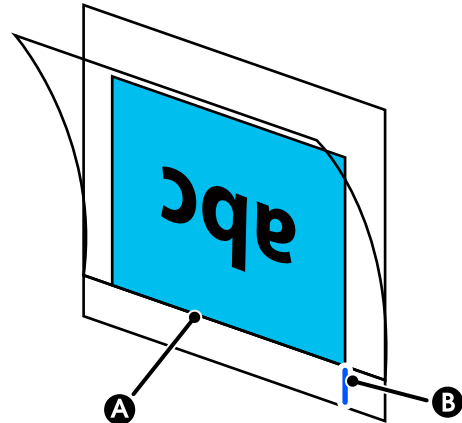
キャリアシートが必要な原稿の状態

- 傷付けたくない貴重原稿（貸与品、原本、古図面、古地図、美術品等）
- 表面・材質が脆弱なもの（コラージュ原稿、新聞、半紙等、クレパス絵画等）
- 透明・半透明フィルム

キャリアシートへの原稿セット時の注意

キャリアシートに原稿を挟むときは、図のようにセットします。

- キャリアシートの透明側に原稿の読み取り面をセットします。
- 原稿の先端を、キャリアシートの **A** 部に合わせます。
- 原稿の側面を、**B** の線に合わせます。



！重要

キャリアシートをセットしたときは、自動で幅を検出できません。操作パネルの画面で [原稿サイズ] または [読み取りサイズ] と [上端オフセット] の設定をしてください。

☞「コピーメニュー (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)」150 ページ

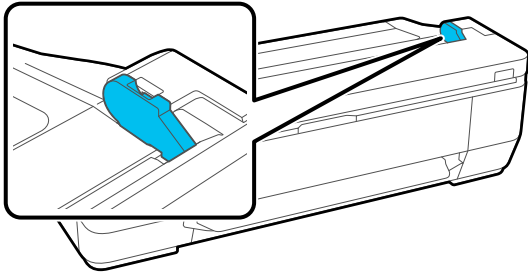
☞「スキャンメニュー (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)」153 ページ

原稿のセット方法

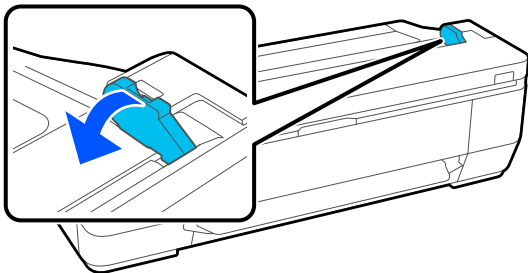
参考

1m以上の長い原稿は、読み取り中に原稿が傾かないように、手で支えてください。

1 原稿ガイドがセットされているかを確認します。



キャリアシートを使ってスキャンするときは、原稿ガイドを取り外します。

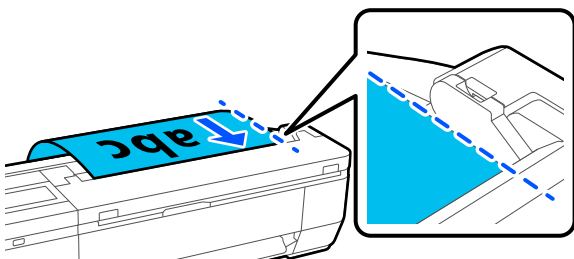


2 読み取る面を上に向け、原稿の右端を原稿ガイドに合わせて、給紙口に原稿の先端を挿入します。

！重要

原稿に巻きぐせや折り目が付いているときは、伸ばしてから原稿をセットしてください。
スキャン時に原稿が詰まったり、読み取りに失敗することがあります。

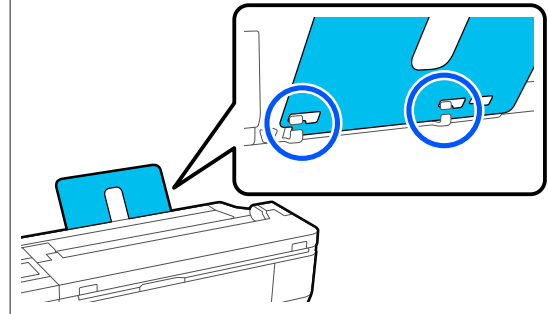
図の方向で原稿をセットしてください。



先端が給紙口の奥に突き当たると、自動的に原稿が読み取り開始位置まで給紙されます。自動給紙が始まったら手を放して、原稿の引き込み動作を妨げないでください。音が鳴ったら給紙完了です。

参考

- 原稿は両端に両手をそえてまっすぐ挿入してください。
- 原稿が薄紙のときは、原稿を左右に引っ張って原稿のしわを伸ばした状態で挿入してください。
- 本機には原稿の背面落下を防止する原稿サポートが付属されています。
必要があれば、原稿サポートを背面のケーブルホルダーにセットします。
電源ケーブルがケーブルホルダー取り付けられているときは、電源ケーブルを一度外してから原稿サポート取り付けてください。



コピーの手順

1 本機に用紙をセットします。

☞ 「用紙のセットと設定」 28 ページ

2 本機に原稿をセットします。

☞ 「原稿のセット方法」 97 ページ

3 ホーム画面で【コピー】を押します。

4 【基本設定】でカラーや印刷品質、濃度や倍率を設定します。

☞ 「コピーメニュー (SC-T5150M/SC-T3150Mのみ)」 150 ページ

原稿種類など詳細設定をするときは、[応用設定]から設定をします。

☞ 「コピーメニュー (SC-T5150M/SC-T3150Mのみ)」 150 ページ

オプションのキャリアシートを使用しているときは、[応用設定] で以下の設定が必要です。

- [原稿サイズ] をユーザー定義サイズで指定します。
- [上端オフセット] を 19mm に設定します。

参考

よく使う設定は、お気に入り設定として登録したり保存することができます。詳細は以下をご覧ください。
 [「お気に入り設定の使い方」16 ページ](#)

5 部数の数字を押して、キーパッド画面で印刷部数を入力します。

6 [コピー] ボタンを押すと原稿の読み取りが開始されます。

！重要

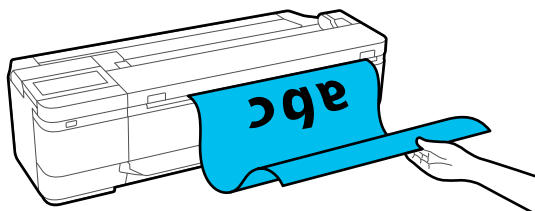
スキャナカバーを上から押したり、上に物を載せた状態でコピーしないでください。
コピー結果にゆがみが生じたり、原稿が詰まるおそれがあります。

読み取り中は、原稿が斜行しないよう両手で保持してください。



7 原稿の読み取りが完了したら、原稿を取り外します。

原稿を持ち、画面で [OK] ボタンを押して原稿を取り外します。



原稿の取り外しが完了すると、印刷を開始します。

スキャン (SC-T5150M/ SC-T3150M のみ)

機能概要

スキャンした画像データの保存先、送信は、以下の3通りあります。

フォルダー：スキャンした画像をネットワーク経由でフォルダーに保存します。宛先には、コンピューターに作成した共有フォルダー（SMB プロトコルを使用したもの）や FTP サーバー上のフォルダーが指定できます。事前に共有フォルダーまたは FTP サーバーの設定が必要です。

メール：スキャンした画像をプリンターから直接メールに添付して送信できます。事前にメールサーバーの登録と設定が必要です。

外部メモリー：スキャンした画像をプリンターにセットした USB フラッシュメモリーに保存できます。事前の設定は必要ありません。

スキャン前の準備

スキャンした画像をフォルダーに保存したり、メールで送信したりするには、事前に以下の設定を済ませてください。

- 共有フォルダー、FTP サーバーの設定
Web Config で設定します。詳細は『システム管理者ガイド』をご覧ください。
- メールサーバーの設定
Web Config で設定します。詳細は『システム管理者ガイド』をご覧ください。
- メール送付先アドレス、共有フォルダーのアドレス帳設定
本機の画面や Web Config から設定します。ここでは、本機の画面からの、共有フォルダーのアドレス帳設定を説明します。
Web Config での設定方法は『システム管理者ガイド』をご覧ください。

アドレス帳の作成

- 1 ホーム画面で [設定] を押します。
- 2 [アドレス帳管理] - [アドレス帳登録・変更] の順に押します。
- 3 [宛先登録] - [宛先を作成] - [フォルダー] の順に押します。

宛先登録画面が表示されます。

- 4 各項目の内容を確認して、必要な情報を入力します。

- 登録番号：アドレスの登録番号を設定します。
- 登録名：アドレス帳に表示される名称です（最大 30 文字）。
- よみがな（検索名）：アドレス帳の検索で使用します（最大 30 文字）。
- 通信モード：SMB を選択します。
- 保存先：共有フォルダーのネットワークパスを 255 文字以内で入力します。アルファベット、数字、記号を入力するときは、半角文字と全角文字を正しく指定してください。半角文字と全角文字の設定が間違っていると、共有フォルダーに保存できません。
- ユーザー名：コンピューターにログオンするユーザー名を入力します。
- パスワード：コンピューターにログオンするパスワードを入力します。
- 常用指定：アドレス を常用登録します。アドレス指定するときのトップ画面に表示されるようになります。

参考

コンピューターにパスワードを設定していないときは、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。

- 5** **【OK】を押すと、アドレス帳への共有フォルダーの登録は完了します。**

スキャンの手順

スキャンした画像をフォルダーに保存したり、メールで送信するには、事前に設定が必要です。

☞ [「スキャン前の準備」99 ページ](#)

スキャンして画像を共有フォルダーまたは FTP サーバーに保存

参考

事前に本機の【日付/時刻】と【時差】が正しく設定されていることを確認してください。操作パネルで【設定】-【本体設定】-【基本設定】-【日付/時刻設定】の順に選択します。

- 1** 原稿をセットします。

☞ [「原稿セット時のご注意」95 ページ](#)

☞ [「原稿のセット方法」97 ページ](#)

- 2** ホーム画面で【スキャン】を押します。

- 3** 【フォルダー】を押します。

保存先を指定する画面が表示されます。



- 4** 以下の 3 通りの方法のいずれかで、保存先を指定します。

- 常用登録した宛先を選択する：表示されているアイコンを押します。
- 直接入力：【直接入力】を押します。【通信モード】を選択し、【保存先（必須項目）】に保存先を入力します。必要に応じてその他を設定します。保存先は、以下の書式で入力します。

通信モードが SMB の場合（コンピューター上の共有フォルダーを使用する場合）：\\¥¥ホスト名（コンピューター名）¥¥フォルダーパス

通信モードが FTP の場合（FTP サーバーを使用する場合）：ftp://ホスト名（サーバー名）/フォルダーパス

- アドレス帳から選択：【アドレス帳】を押し、宛先を選択して、【閉じる】を押します。アドレス帳からフォルダーを検索できます。画面上部の検索ボックスに検索ワードを入れてください。

参考

☞ を押すと、フォルダー保存の履歴を印刷できます。

- 5** 【スキャン設定】を押して、スキャンの設定をします。

カラーモードやファイル形式などを選択します。

☞ [「スキャンメニュー（SC-T5150M/SC-T3150Mのみ）」153 ページ](#)

オプションのキャリアシートを使用しているときは、以下の設定が必要です。

- 【読み取りサイズ】をユーザー定義サイズで指定します。
- 【上端オフセット】を 19mm に設定します。

参考

よく使う設定は、お気に入り設定として登録したり保存することができます。詳細は以下をご覧ください。

☞ [「お気に入り設定の使い方」16 ページ](#)

- 6** 【保存】ボタンを押すとスキャンが開始されます。

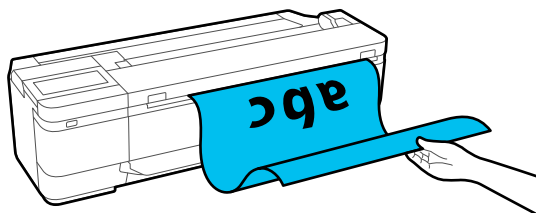
！重要

スキャナカバーを上から押したり、上に物を載せた状態でスキャンしないでください。スキャン結果にゆがみが生じたり、原稿が詰まるおそれがあります。

読み取り中は、原稿が斜行しないよう両手で保持してください。



- 7** スキャンが完了したら、原稿を取り外します。
原稿を持ち、画面で [OK] ボタンを押して原稿を取り外します。

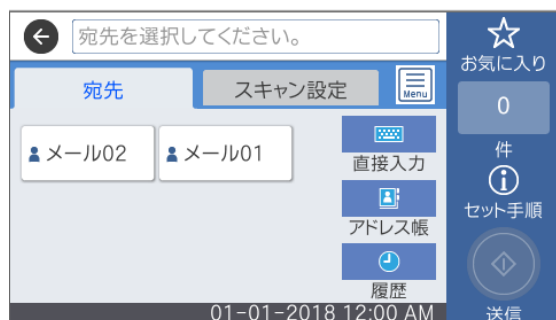


スキャンして画像をメールに添付

- 1** 原稿をセットします。
☞ 「原稿セット時のご注意」 95 ページ
☞ 「原稿のセット方法」 97 ページ

- 2** ホーム画面で [スキャン] を押します。

- 3** [メール] を押します。
宛先を指定する画面が表示されます。



- 4** 以下の 4 通りの方法のいずれかで、宛先を指定します。
- 常用登録した宛先を選択する：表示されているアイコンを押します。
 - 直接入力：[直接入力] を押して宛先を入力し、[OK] を押します。
 - アドレス帳から選択：[アドレス帳] を押し、宛先またはグループを選択して、[閉じる] を押します。
アドレス帳から宛先を検索できます。画面上部の検索ボックスに検索ワードを入れてください。

- 履歴から選択：[履歴] を押し、宛先を選択して、[閉じる] を押します。

参考

- 選択した宛先の数画面の右側に表示されます。メールは最大 10 件の宛先（アドレスまたはグループ）に送信できます。
宛先にグループが含まれるときは、グループ内のアドレスも合計して最大 200 件のアドレスに送信できます。
- 画面上部のボックスを押すと、選択したアドレスの一覧を確認できます。
- [Menu] を押すと、メールサーバーの設定を変更できます。

- 5** [スキャン設定] を押して、スキャンの設定をします。

カラーモードやファイル形式などを選択します。
☞ 「スキャンメニュー (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)」 153 ページ

オプションのキャリアシートを使用しているときは、以下の設定が必要です。

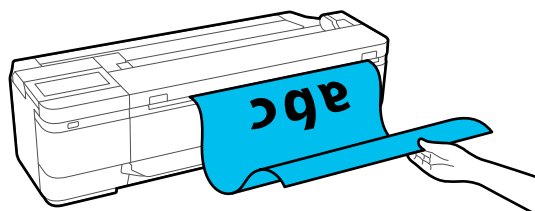
- [読み取りサイズ] を定形サイズ等から指定します。
- [上端オフセット] を 19mm に設定します。

参考

よく使う設定は、お気に入り設定として登録したり保存することができます。詳細は以下をご覧ください。
☞ 「お気に入り設定の使い方」 16 ページ

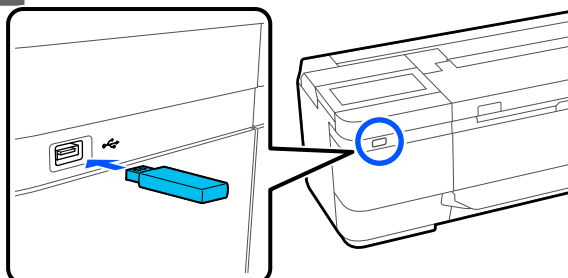
- 6** [保存] ボタンを押すとスキャンが開始されます。

- 7** スキャンが完了したら、原稿を取り外します。
原稿を持ち、画面で [OK] ボタンを押して原稿を取り外します。



スキャンして画像を外部メモリーに保存

- 1 USB フラッシュメモリーを本機に装着します。



- 2 原稿をセットします。

🔗 [「原稿セット時のご注意」 95 ページ](#)

🔗 [「原稿のセット方法」 97 ページ](#)

- 3 ホーム画面で [スキャン] を押します。

- 4 [外部メモリー] を押します。

- 5 [基本設定] で、カラーモードやファイル形式などを設定します。

🔗 [「スキャンメニュー \(SC-T5150M/SC-T3150M のみ\)」 153 ページ](#)

読み取り濃度を設定するときは、[応用設定] から設定をします。

🔗 [「コピーメニュー \(SC-T5150M/SC-T3150M のみ\)」 150 ページ](#)

オプションのキャリアシートを使用しているときは、以下の設定が必要です。

- [読み取りサイズ] を定形サイズ等から指定します。
- [上端オフセット] を 19mm に設定します。

参考

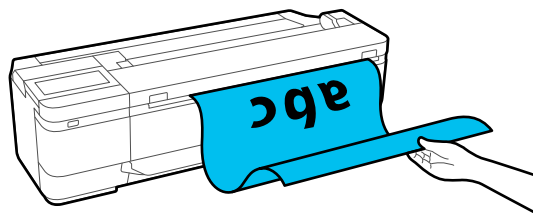
よく使う設定は、お気に入り設定として登録したり保存することができます。詳細は以下をご覧ください。

🔗 [「お気に入り設定の使い方」 16 ページ](#)

- 6 [保存] ボタンを押すとスキャンが開始されます。

- 7 スキャンが完了したら、原稿を取り外します。

原稿を持ち、画面で [OK] ボタンを押して原稿を取り外します。



A3,A4 スキャナーを使った拡大コピー (SC-T5150M/ SC-T3150M 以外)

本機にエプソン製 A3、A4 スキャナーを接続すると、コンピューターを介さずに原稿を簡単に拡大コピーできます。

対応スキャナー

- DS-531
- DS-530
- DS-6500
- DS-60000

最新の対応スキャナーの情報は、エプソンのウェブサイトでご確認ください。

<https://www.epson.jp>

対応サイズ

原稿サイズ*1	出力サイズ
2L 判	A2
L 判	JIS B2
ハガキ	A1
A5	JIS B1*2
B5	A0*2
A4	ユーザー定義サイズ*3
B4	
A3	

*1 接続するスキャナーの仕様により異なる

*2 SC-T3150/SC-T3150N/SC-T2150 は非対応

*3 幅 89～914mm (SC-T3150/SC-T3150N/SC-T2150 は 610 mm まで)

対応用紙

ロール紙のみです。単票紙への拡大コピーはできません。

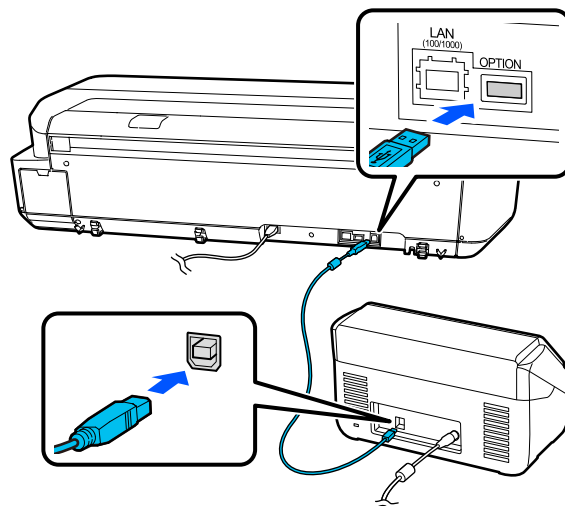
スキャナーの接続

- 1 本機とスキャナーをそれぞれ使用できる状態にします。

スキャナーのセットアップは、スキャナーに付属のマニュアルをご覧ください。

- 2 本機とスキャナーの電源を切ります。

- 3 スキャナーに付属の USB ケーブルで、スキャナーと本機を接続します。



！重要

スキャナーは直接本機に接続してください。直接接続しないと、拡大コピー機能は使用できません。

拡大コピーの手順

- 1 本機とスキャナーの電源を入れます。

電源を入れる順番は問いません。

- 2 拡大コピー機能に対応したロール紙を本機にセットします。

☞ 「ロール紙のセット方法」 29 ページ

- 3 スキャナーの原稿台またはオートドキュメントフィーダー（以降、ADF と記載します）に原稿をセットします。

☞ 「原稿セット時のご注意」 104 ページ

スキャナーの使い方は、スキャナーに付属のマニュアルをご覧ください。

4 ホーム画面で[拡大コピー]を押します。

拡大コピー画面が表示されます。

参考

ホーム画面に[拡大コピー]が表示されないときは以下をご確認ください。

- 本機とスキャナーを接続している USB ケーブルのコネクターがしっかり差し込まれているか
- スキャナーの電源が入っているか
- スキャナーが拡大コピー対応機種か

5 [原稿サイズ]で、スキャナーにセットした原稿のサイズを選択し、[倍率]で拡大の設定をします。

[オートフィット]を[オン]にすると、本機にセットされているロール紙の幅に合わせて自動で拡大して印刷します。

！重要

原稿や拡大倍率によっては、画質が劣化したり、スジが見えたりすることがあります。スジが見えるときは、用紙調整をしてみてください。

🔗「用紙設定の最適化(用紙調整)」43 ページ
改善しない場合は、スキャナーのマニュアルを参照してスキャナー内部のクリーニングをしてください。

参考

よく使う設定は、お気に入り設定として登録したり保存することができます。詳細は以下をご覧ください。
🔗「お気に入り設定の使い方」16 ページ

6 コピー部数の数字を押して、キーパッド画面でコピー部数を入力します。

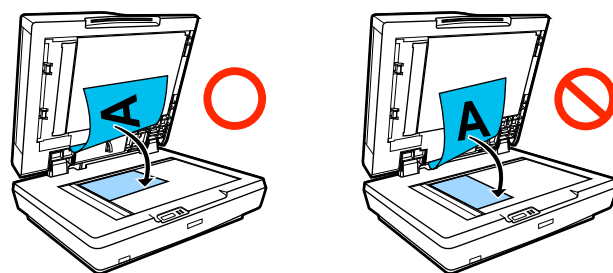
7 色ボタンを押すとコピーが始まります。

スキャナーの色ボタンを押してもコピーが始まります。

原稿セット時のご注意

スキャナーに拡大コピー対象の原稿をセットする際は、印刷品質低下や正しくスキャンされない原因となりますので、以下の点に注意してください。

- DS-530/DS-531 は両面同時読み取りスキャナーですが、拡大コピーでは原稿の両面スキャンはできません。ADF にコピーしたい面を下にしてセットしてください。
- 原稿は必ず横置きでセットしてください。



- 原稿台と ADF の両方に原稿があるときは、ADF に置いた原稿をスキャンします。
原稿台使用時は ADF には用紙を置かないでください。

- 以下のときは、ADF は使用できません。
 - 倍率で [JIS B1] または [A0] を選択し、複数枚コピーをするとき
 - 原稿が L 判またはハガキサイズのと
 - 原稿がハガキや写真などの厚手の用紙のと

- 原稿台に原稿をセットして、複数部数コピーすると、原稿スキャンが毎回入ることがあります。
複数部数コピーするときは、指定した部数分の印刷が終了するまで原稿カバーを開けないでください。

- 何枚も続けてコピーするときは、ADF に原稿をセットしてください。

- 何枚かを続けてスキャンして複数部数を設定すると、以下のように各ページ単位で印刷されます。
例) 2 枚の原稿を 2 部コピーしたときの出力順



メニューの使い方

メニュー一覧

メニューで設定・実行できる項目と各設定値は以下の通りです。各項目の詳細は参照ページをご覧ください。

用紙設定

用紙設定のメニューは、用紙がセットされていると表示されます。

各項目の詳細  [「用紙設定メニュー」 122 ページ](#)

設定項目		設定値
ロール紙		
取り外し		取り外し方法を表示
用紙送り/カット		戻す、送る、カット
用紙調整		開始
用紙の詳細設定		
ブラテンギャップ設定		1.6、2.1、2.6 (用紙種類でユーザー用紙を選択しているときに表示されます。)
先端/後端余白		標準、先端 3mm/後端 3mm、先端 15mm/後端 15mm、先端 45mm/後端 15mm
バックテンション		自動、標準、高い、より高い
乾燥時間		
バスごとの乾燥時間		0～10.0 秒
ページごとの乾燥時間		0～60 分
自動カット		オン、オフ
残量管理		
残量管理設定		オン、オフ
残量		5.0～150.0 m
残量警告		1.0～15.0 m
用紙種類の変更		
用紙種類		
普通紙		対応する用紙名を表示
コート紙<その他>		
写真用紙		
その他		

設定項目	設定値
オートシートフィーダー	
用紙調整	開始
用紙種類・用紙サイズの変更	
用紙種類	
普通紙	対応する用紙名を表示
コート紙<その他>	
写真用紙	
その他	
用紙サイズ	対応する用紙サイズを表示
単票紙（1 枚）	
取り外し	用紙を排紙
用紙調整	開始
用紙種類・用紙サイズの変更	
用紙種類	
普通紙	対応する用紙名を表示
コート紙<その他>	
写真用紙	
その他	
用紙サイズ	
A 系列	対応する用紙サイズを表示
US-ANSI	
US-ARCH	
B 系列 (ISO)	
B 系列 (JIS)	
その他	
ユーザー定義サイズ	用紙サイズ入力画面を表示

プリンター状態

各項目の詳細  「プリンター状態メニュー」 126 ページ

設定項目	設定値
消耗品情報	消耗品の大半その残量と型番を表示
メッセージ一覧	本機の状態を伝えるメッセージの一覧を表示
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示

メニューの使い方

設定項目	設定値
本体ステータスシートの印刷	
プリンター情報シート	印刷開始

設定

* の付いた項目は、SC-T5150M/SC-T3150M のみ表示されます。

設定項目	設定値
本体設定	
基本設定（各項目の詳細  「 本体設定 - 基本設定 」 127 ページ）	
画面の明るさ設定	1～9
音の設定*	
ミュート	オン、オフ
操作音	0～10
エラー音	0～10
音の種類	パターン 1、パターン 2
音の設定(SC-T5150M/SC-T3150M 以外)	
ミュート	オン、オフ
通常時	
操作音	0～10
エラー音	0～10
音の種類	パターン 1、パターン 2
スリープ移行時間設定	1～60 分
スリープ復帰方法	
タッチパネルで復帰	する、しない、時間指定（0:00～23:45 の間で 15 分刻み）
自動電源オフ	設定しない、30 分後、1 時間後、2 時間後、4 時間後、8 時間後、12 時間後
ブレーカー連動起動	オン、オフ
日付/時刻設定	
日付/時刻	日付: 年.月.日、月.日.年、日.月.年 時刻: 12h、24h
時差	-12:45～+13:45 (15 分刻み)
言語選択/Language	対応言語を表示
無操作タイマー設定	オン、オフ
キーボード（SC-T5150M/SC-T3150M 以外）	QWERTY、AZERTY、QWERTZ
長さ単位	m、ft / in

メニューの使い方

設定項目		設定値
プリンター設定（各項目の詳細  「本体設定 - プリンター設定」 129 ページ）		
給紙装置設定		
エラー通知		
用紙サイズエラー	オン、オフ	
用紙種類エラー	オン、オフ	
ロール紙設定		
斜行エラー検出	オン、オフ	
切り取り線印刷	オン、オフ	
印刷後動作	用紙保持、排紙	
ユーザー用紙設定 (01～10 のユーザー用紙名が表示され、いずれかを押すと設定項目が表示されます。)		
登録名称の変更	登録名称入力画面を表示	
参照用紙種類の変更		
普通紙	対応する用紙名を表示	
マットペーパー		
フォトペーパー		
CAD 専用		
その他		
用紙の詳細設定		
ブラテングャップ設定	1.6、2.1、2.6	
先端/後端余白	標準、先端 3mm/後端 3mm、先端 15mm/後端 15mm、先端 45mm/後端 15mm	
バックテンション	自動、標準、高い、より高い	
乾燥時間		
パスごとの乾燥時間	0.0～10.0 秒	
ページごとの乾燥時間	0.0～60 分	
自動カット	オン、オフ	
設定初期化	はい、いいえ	
印刷言語		
USB からの印刷	Auto、HP-GL/2	
ネットワークからの印刷	Auto、HP-GL/2	

メニューの使い方

設定項目		設定値
外部機器(PC)印刷設定		
給紙方法		ロール紙、オートシートフィーダー、単票紙（1枚）
印刷品質		標準、はやい、きれい、高精細
カラーモード		カラー、モノクロ
ページ余白設定		マージンでクリップ、オーバーサイズ
ページ余白量		四辺 3mm、四辺 5mm
スムージング		オン、オフ
基準出力サイズ		
自動		-
A 系列		対応する用紙サイズを表示
US-ANSI		
US-ARCH		
B 系列 (ISO)		
B 系列 (JIS)		
その他		
ユーザー定義サイズ		用紙サイズ入力画面を表示
解像度		標準、300dpi、600dpi、1200dpi
色補正(共通)		EPSON 基準色(sRGB)、あざやかな色合い、GIS、線画、オフ(色補正なし)
HP-GL/2 固有設定		
回転		0°、90°、180°、270°
原点設定		左端、中央
ミラー印刷		オン、オフ
線のマージ		オン、オフ
色補正(HP-GL/2)		EPSON 基準色(sRGB)、あざやかな色合い、GIS、線画、オフ(色補正なし)
パレット選択		ソフトウェア、デフォルト、パレット A、パレット B
カラーパレット印刷		印刷開始
パレット定義		
パレット A		ペン幅とペン色を設定する画面を表示
パレット B		
HP-GL/2 固有設定初期化		はい、いいえ
外部メモリー設定*		
外部メモリー		有効、無効

メニューの使い方

設定項目		設定値
こすれ軽減		しない、する
双方向印刷		する、しない
コンピューターの USB 接続		有効、無効
USB I/F タイムアウト時間設定		20～600 秒
ネットワーク設定（各項目の詳細  「本体設定 - ネットワーク設定」138 ページ）		
無線 LAN 接続設定		
ルーター		
アクセスポイントとつなぐ		無線 LAN 接続無効のとき：[アクセスポイントとつなぐ] メニューを表示 無線 LAN 接続済みのとき：接続状態や設定情報を表示
アクセスポイントを検索		
プッシュボタンで設定(WPS)		
その他		
PIN コード自動設定(WPS)		
カンタン自動設定		
無線 LAN を無効にする		
Wi-Fi Direct		
スマートデバイスと直接つなぐ		Wi-Fi Direct 無効のとき：[スマートデバイスと直接つなぐ] ウィザードを表示 Wi-Fi Direct 有効のとき：設定情報と接続済み台数を表示
接続名を変更する *		
パスワードを変更する		
Wi-Fi Direct を無効にする		
スマートデバイス情報を削除する（SC-T5150/SC-T5150N/SC-T3150/SC-T3150N/SC-T2150のみ）		
初期設定に戻す *		
有線 LAN 接続設定		設定を開始する （無線 LAN に接続済みのときに表示されます。）
ネットワーク情報		
有線・無線接続状態		現在の接続設定などを表示
Wi-Fi Direct 接続状態		
メールサーバー設定情報 *		設定項目を表示
ステータスシート印刷		印刷開始
接続診断		ネットワーク接続診断を開始

メニューの使い方

設定項目		設定値
詳細設定		
デバイス名	設定変更画面を表示	
TCP/IP		
プロキシサーバー		
メールサーバー *	[本体設定] - [スキャン設定] - [メールサーバー] を表示	
共有フォルダー *	設定変更画面を表示	
IPv6 アドレス	有効、無効	
Link Speed & Duplex	自動、10BASE-T Half Duplex、10BASE-T Full Duplex、100BASE-TX Half Duplex、100BASE-TX Full Duplex	
HTTP を HTTPS にリダイレクト	有効、無効	
IPsec/IP フィルタリングの無効化	設定開始 (有効になっているときに表示されます。)	
IEEE802.1X の無効化		
iBeacon 対応機器からの探索 *	有効、無効	
スキャン設定 * (各項目の詳細  「 本体設定 - スキャン設定 (SC-T5150M/SC-T3150M のみ) 」 141 ページ)		
読み取り前宛先確認	オン、オフ	
メールサーバー		
サーバー設定	オフ、POP before SMTP、SMTP 認証	
コネクションテスト	テストを開始	
原稿読み取り設定		
原稿排出確認	オン、オフ	
原稿傾き補正	オン、オフ	
原稿送り補正	-1.00～1.00	
つなぎ目のスムージング	オン、オフ	
つなぎ目補正	-5～5	
管理者用設定 (各項目の詳細  「 本体設定 - 管理者用設定 」 143 ページ)		
アドレス帳管理 *		
アドレス帳登録・変更	アドレス帳の登録・変更画面を表示	
常用管理		
メール	アドレスを常用登録する画面を表示	
フォルダー	アドレスを常用登録する画面を表示	
アドレス帳印刷		
全ての宛先の印刷	印刷範囲を指定して印刷	
Eメールの宛先の印刷	印刷範囲を指定して印刷	
フォルダーの宛先の印刷	印刷範囲を指定して印刷	

メニューの使い方

設定項目		設定値
	アドレス帳表示方法設定	タイル表示、リスト表示
	アドレス帳検索設定	前方一致、後方一致、含む
セキュリティ設定		
	機能制限*	
	ジョブ履歴表示	オフ、オン
	アドレス帳の登録・変更許可	オフ、オン
	スキャン to メール機能 宛先履歴表示	オフ、オン
	スキャン to メール機能 送信履歴表示	オフ、オン
	言語選択の変更許可	オフ、オン
	こすれ軽減の変更許可	オフ、オン
	宛先情報の保護	オフ、オン
	利用者制限*	オフ、オン
	管理者設定	
	管理者パスワード	新規設定、変更、設定クリア
	管理者ロック	オフ、オン
初期設定に戻す		
	ネットワーク設定	はい、いいえ
	コピー設定*	はい、いいえ
	スキャン設定*	はい、いいえ
	全て初期化	はい、いいえ
	ファームウェアのアップデート	
	アップデート	確認開始
	定期通知設定	オフ、オン
消耗品情報		消耗品の大量その残量と型番を表示

メニューの使い方

設定項目	設定値
プリンターのお手入れ（各項目の詳細  「 プリンターのお手入れ 」 145 ページ）	
印刷トラブル解決	給紙装置、開始
プリントヘッドのノズルチェック	給紙装置、開始
プリントヘッドのクリーニング	開始
内部ローラークリーニング	開始
インクカートリッジ交換	開始
メンテナンスボックス交換	手順を表示
カッター交換	開始
強力ヘッドクリーニング	開始
インク排出/充填	開始
言語選択/Language	対応言語を表示
情報確認/印刷（各項目の詳細  「 情報確認/印刷 」 146 ページ）	
本体ステータスシートの印刷	
プリンター情報シート	印刷開始
ネットワーク	〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔ネットワーク情報〕 を表示
アドレス帳管理*	〔本体設定〕 - 〔管理者用設定〕 - 〔アドレス帳管理〕 を表示

拡大コピー(SC-T5150M/SC-T3150M 以外)

エプソン製の A3 または A4 スキャナーを本機に接続すると表示されます。このメニューで倍率などを設定し、スキャナーで読み取った原稿を拡大して印刷することができます。

各項目の詳細  「[拡大コピーメニュー\(SC-T5150M/SC-T3150M 以外\)](#)」 146 ページ

設定項目	設定値
部	1～99 部
カラーモード	モノクロ、カラー
原稿サイズ	A4、A5、A3、B5、B4、ハガキ、L 判、2L 判、
倍率	
オートフィット	オン、オフ
任意倍率	等倍、A0*、JIS B1*、A1、JIS B2、A2、ユーザー定義サイズ * SC-T5150/SC-T5150N のみ表示されます。
濃度	-4～4
印刷品質	はやい、きれい

外部メモリーから印刷（SC-T5150M/SC-T3150M のみ）

USB フラッシュメモリーを本機に装着すると表示されます。以下は、ファイルごとの印刷メニュー選択後に表示される
 [基本設定] と [応用設定] のメニューです。

各項目の詳細  「外部メモリーから印刷メニュー（SC-T5150M/SC-T3150M のみ）」 147 ページ

設定項目		設定値
基本設定		
部		1 ～ 99 部
給紙方法		ロール紙、オートシートフィーダー、単票紙（1 枚）
カラーモード		モノクロ、カラー
応用設定		
印刷品質		標準、はやい、きれい、高精細
ページ余白設定		マージンでクリップ、オーバーサイズ
双方向印刷		する、しない
倍率		
オートフィット		オン、オフ
任意倍率		等倍、A4、A3、A3 ノビ、A2、A2 ノビ、A1、A1 ノビ、Letter、Legal、US B (11x17in)、US C (17x22in)、US D (22x34in)、ARCH A (9x12in)、ARCH B (12x18in)、ARCH C (18x24in)、ARCH D (24x36in)、ISO B4、ISO B3、ISO B2、JIS B4、JIS B3、JIS B2、610 x 762 mm、30 x 40 cm、40 x 60 cm、50 x 70 cm、60 x 90 cm、ユーザー定義サイズ
色補正（共通）		ポスター(写真)/パース図、ポスター/文書、GIS、CAD/線画、オフ(色補正なし)

コピー (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)

各項目の詳細  「コピーメニュー (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)」 150 ページ

設定項目		設定値
基本設定		
部		1 ～ 99 部
カラーモード		モノクロ、カラー
印刷品質		はやい、きれい、高精細
濃度		-4～4
給紙方法		ロール紙、オートシートフィーダー、単票紙（1枚）
倍率		
オートフィット		オン、オフ
任意倍率		等倍、ISO A4→A0、ISO A3→A0、ISO A4→A1、ISO A2→A0、ISO A3→A1、ISO A1→A0、ISO A2→A1、ISO A0→A1、ISO A1→A2、ISO A0→A2、ISO A1→A3、ISO A0→A3、ISO A1→A4、ISO A0→A4、US ANSI/ARCH A→E、US ANSI/ARCH B→E、US ANSI/ARCH A→D、US ANSI/ARCH C→E、US ANSI/ARCH B→D、US ANSI/ARCH D→E、US ANSI/ARCH C→D、US ANSI/ARCH E→D、US ANSI/ARCH D→C、US ANSI/ARCH E→C、US ANSI/ARCH D→B、US ANSI/ARCH E→B、US ANSI/ARCH D→A、US ANSI/ARCH E→A
原稿種類		文字・線画、トレーシングペーパー、青焼き

設定項目		設定値
応用設定		
原稿サイズ		
自動検知		-
ISO A		対応する原稿サイズを表示
US-ANSI		
US-ARCH		
JIS B		
ISO B		
ユーザー定義サイズ		原稿サイズ入力画面を表示
上端オフセット		0.0～100.0mm 0.00～3.94inch
ページ余白設定		マージンでクリップ、オーバーサイズ
詳細画質調整		
コントラスト		-4～4
シャープネス		-4～4
背景除去		
自動		オン、オフ
-4～4		-
双方向印刷		する、しない
設定クリア		はい、いいえ

スキャン (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)

各項目の詳細  「スキャンメニュー (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)」 153 ページ

設定項目	設定値
フォルダー	
宛先	保存先選択画面を表示
スキャン設定	
カラーモード	モノクロ、カラー
ファイル形式	
ファイル形式	JPEG、PDF、PDF/A、TIFF (マルチページ)
圧縮率	高圧縮、標準圧縮、低圧縮
PDF 設定	
文書を開くパスワード	
パスワード設定	設定しない、設定する
パスワード	パスワードを入力
権限パスワード	
パスワード設定	設定しない、設定する
パスワード	パスワードを入力
印刷許可	許可する、許可しない
編集許可	許可する、許可しない
解像度	200dpi、300dpi、400dpi、600dpi
読み取りサイズ	
自動検知	-
ISO A	対応する読み取りサイズを表示
US-ANSI	
US-ARCH	
JIS B	
ISO B	
ユーザー定義サイズ	読み取りサイズ入力画面を表示
上端オフセット	0.0～100.0mm 0.00～3.94inch
原稿種類	文字・線画、トレーシングペーパー、青焼き
濃度	-4～4

メニューの使い方

設定項目		設定値
詳細画質調整		
コントラスト		-4～4
シャープネス		-4～4
背景除去		
自動		オン、オフ
-4～4		-
ファイル名		
ファイルヘッダー		ファイルヘッダーを入力
日付を入れる		オン、オフ
時刻を入れる		オン、オフ
設定クリア		はい、いいえ
メール		
宛先		宛先選択画面を表示
スキャン設定		
カラーモード		モノクロ、カラー
ファイル形式		
ファイル形式		JPEG、PDF、PDF/A、TIFF（マルチページ）
圧縮率		高圧縮、標準圧縮、低圧縮
PDF 設定		
文書を開くパスワード		
パスワード設定		設定しない、設定する
パスワード		パスワードを入力
権限パスワード		
パスワード設定		設定しない、設定する
パスワード		パスワードを入力
印刷許可		許可する、許可しない
編集許可		許可する、許可しない
解像度		200dpi、300dpi、400dpi、600dpi

メニューの使い方

設定項目		設定値
読み取りサイズ		
自動検知		-
ISO A		対応する読み取りサイズを表示
US-ANSI		
US-ARCH		
JIS B		
ISO B		
ユーザー定義サイズ		読み取りサイズ入力画面を表示
上端オフセット		0.0～100.0mm 0.00～3.94inch
原稿種類		文字・線画、トレーシングペーパー、青焼き
濃度		-4～4
詳細画質調整		
コントラスト		-4～4
シャープネス		-4～4
背景除去		-4～4
自動		オン、オフ
-4～4		-
件名		件名を入力
添付最大ファイルサイズ		1MB、2MB、5MB、10MB、20MB、30MB
ファイル名		
ファイルヘッダー		ファイルヘッダーを入力
日付を入れる		オン、オフ
時刻を入れる		オン、オフ
設定クリア		はい、いいえ

メニューの使い方

設定項目		設定値
外部メモリー		
基本設定		
カラーモード		モノクロ、カラー
ファイル形式		
ファイル形式		JPEG、PDF、PDF/A、TIFF（マルチページ）
圧縮率		高圧縮、標準圧縮、低圧縮
PDF 設定		
文書を開くパスワード		
パスワード設定		設定しない、設定する
パスワード		パスワードを入力
権限パスワード		
パスワード設定		設定しない、設定する
パスワード		パスワードを入力
印刷許可		許可する、許可しない
編集許可		許可する、許可しない
解像度		200dpi、300dpi、400dpi、600dpi
読み取りサイズ		
自動検知		-
ISO A		対応する読み取りサイズを表示
US-ANSI		
US-ARCH		
JIS B		
ISO B		
ユーザー定義サイズ		読み取りサイズ入力画面を表示
上端オフセット		0.0～100.0mm 0.00～3.94inch
原稿種類		文字・線画、トレーシングペーパー、青焼き

設定項目		設定値
応用設定		
濃度		-4～4
詳細画質調整		
コントラスト		-4～4
シャープネス		-4～4
背景除去		
自動		オン、オフ
-4～4		-
ファイル名		
ファイルヘッダー		ファイルヘッダーを入力
日付を入れる		オン、オフ
時刻を入れる		オン、オフ
設定クリア		はい、いいえ

フォルダーから印刷（SC-T5150M/SC-T3150M のみ）

各項目の詳細  「[フォルダーから印刷メニュー（SC-T5150M/SC-T3150M のみ）](#)」 160 ページ

設定項目		設定値
基本設定		
給紙方法		ロール紙、オートシートフィーダー、単票紙（1枚）
カラーモード		モノクロ、カラー
応用設定		
印刷品質		はやい、きれい、高精細
ページ余白設定		マージンでクリップ、オーバーサイズ
双方向印刷		する、しない
色補正(共通)		EPSON 基準色(sRGB)、あざやかな色合い、GIS、線画、オフ(色補正なし)
倍率		
オートフィット		オン、オフ
任意倍率		25%-1024%
定形サイズヘフィット		等倍、ユーザー定義サイズ

用紙設定メニュー

ロール紙メニュー

- 用紙設定のメニューは、用紙がセットされていると表示されます。
- [用紙調整] の調整結果や、[用紙の詳細設定] および [残量管理] での設定は、[用紙種類] にある用紙種類ごとに保存されます。調整や設定変更をすると、現在選択している用紙種類の設定として電源を切っても保持されます。

* はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
取り外し		本機内部から排紙するまでロール紙を巻き戻します。 🔗 「ロール紙の取り外し方」 32 ページ
用紙送り/カット	戻す	戻すと送るで用紙を任意の位置に移動します。カットを押すと内蔵カッターで用紙がカットされます。 🔗 「ロール紙のカット」 31 ページ
	送る	
	カット	
用紙調整	開始	印刷結果に問題があるときや、ユーザー用紙設定の登録をしたときに実施します。 [開始] を押すと調整パターンが印刷されます。以降は画面の指示に従って調整を行います。 調整結果は、選択している用紙種類の設定として保存されます。 🔗 「用紙設定の最適化（用紙調整）」 43 ページ
用紙の詳細設定		
ブラテングャップ設定	1.6	[用紙種類] で [ユーザー用紙] を選択しているときに表示されます。 ユーザー用紙登録時に [参照用紙種類の変更] で選択した用紙のブラテングャップ設定（プリントヘッドと用紙の間隔）になっているため、通常は変更する必要はありません。印刷結果がこすれて汚れるときは、広げる設定（数値が大きい設定値）に変更します。
	2.1	
	2.6	
先端/後端余白	標準*	標準にすると、プリンタードライバーの印刷目的に応じて以下のように先端/後端余白が設定されます。 • CAD/線画: 3 mm/3 mm • その他: 30 mm/30 mm 左右の余白は、どの設定にしても 3 mm で変わりません。印刷結果の先端部分に汚れが出るときは、先端の余白が広い設定にして印刷してみてください。 🔗 「印刷可能領域」 194 ページ
	先 端 3mm/ 後 端 3mm	
	先 端 15mm/ 後 端 15mm	
	先 端 45mm/ 後 端 15mm	
バックテンション	自動*	印刷中に用紙にしわが発生するときは、[高い] や [より高い] に設定します。
	標準	
	高い	
	より高い	

メニューの使い方

設定項目		設定値	説明
乾燥時間			
	パスごとの乾燥時間	0.0～10.0 秒（0.0*）	プリントヘッドの移動（パス）を停止させてインクの乾燥を補助するための時間を 0.0～10.0 秒の範囲で設定します。用紙によっては、インクが乾燥しにくいことがあります。印刷結果にインク垂れやにじみが生じるときは、乾燥時間を長めに設定してください。時間を長く設定するほど、印刷時間が長くなります。
	ページごとの乾燥時間	0.0～60 分（0.0*）	
自動カット	オン*	オフ	ロール紙に 1 ページ印刷するごとに内蔵カッターで自動的にカットする（オン） / しない（オフ） を選択します。オンにすると、用紙セット時に先端が水平でないときの先端カットも自動で行います。プリンタードライバーで印刷するときは、プリンタードライバーの設定が有効になります。  「ロール紙のカット」 31 ページ
残量管理			
残量管理設定	オン	オフ*	セットしているロール紙の残量を表示・記録する（オン） / しない（オフ） を選択します。[オン] にすると [残量] と [残量警告] が有効になります。  「ロール紙の場合」 39 ページ
	オフ*		
残量	5.0～150.0 m（30*）	1.0～15.0 m（5.0*）	[残量] でセットしているロール紙の全長を入力すると、本機のホーム画面やプリンタードライバーの画面にロール紙残量の目安が表示されます。 [残量警告] には、ロール紙の残量がどのくらいになったら警告を表示するかを設定します。設定は 0.1 m 単位で行えます。
残量警告			
用紙種類の変更			
用紙種類	普通紙*	コート紙<その他>	セットしている用紙の種類を選択します。[その他] 以外の 3 つの選択肢には、最近選択した用紙種類が表示されます。目的の用紙種類が表示されていないときは、[その他] を押して表示させ、選択します。  「ロール紙の場合」 39 ページ
	コート紙<その他>		
	写真用紙		
	その他		

オートシートフィーダーメニュー

用紙設定のメニューは、用紙がセットされていると表示されます。

*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
用紙調整	開始	印刷結果に問題があるときや、ユーザー用紙設定の登録をしたときに実施します。 【開始】を押すと調整パターンが印刷されます。以降は画面の指示に従って調整を行います。 調整結果は、選択している用紙種類の設定として保存されます。 🔗 「用紙設定の最適化（用紙調整）」 43 ページ
用紙種類・用紙サイズの変更		
用紙種類	普通紙*	セットしている用紙の種類を選択します。[その他] 以外の 3 つの選択肢には、最近選択した用紙種類が表示されます。目的の用紙種類が表示されていないときは、[その他] を押して表示させ、選択します。 🔗 「オートシートフィーダー/単票紙（1 枚）の場合」 40 ページ
	コート紙<その他>	
	写真用紙	
	その他	
用紙サイズ	A4	セットしている用紙のサイズを選択します。 目的のサイズが選択肢にないときは、[ユーザー定義サイズ] を選択して、用紙の幅と長さを入力します。
	A3	
	JIS B4	
	ISO B4	
	Letter (8 1/2x11in)	
	Legal (8 1/2x14in)	
	US B (11x17in)	
	ARCH A (9x12in)	
	ユーザー定義サイズ	

単票紙（1枚）メニュー

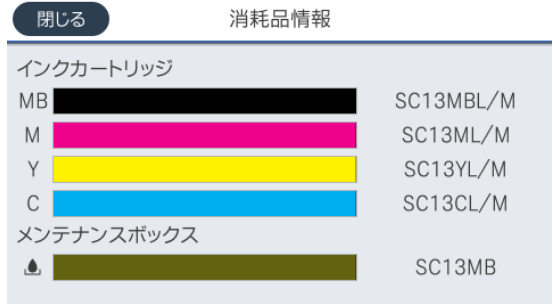
用紙設定のメニューは、用紙がセットされていると表示されます。

*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
取り外し		セットした単票紙（1枚）を印刷せずに取り外したいときに押します。押すと手前に排紙されます。 🔗 「単票紙（1枚）の取り外し方」 38 ページ
用紙調整	開始	印刷結果に問題があるときや、ユーザー用紙設定の登録をしたときに実施します。 [開始] を押すと調整パターンが印刷されます。以降は画面の指示に従って調整を行います。 調整結果は、選択している用紙種類の設定として保存されます。 🔗 「用紙設定の最適化（用紙調整）」 43 ページ
用紙種類・用紙サイズの変更		
用紙種類	普通紙*	セットしている用紙の種類を選択します。[その他] 以外の 3 つの選択肢には、最近選択した用紙種類が表示されます。目的の用紙種類が表示されていないときは、[その他] を押して表示させ、選択します。 🔗 「オートシートフィーダー/単票紙（1枚）の場合」 40 ページ
	コート紙<その他>	
	写真用紙	
	その他	
用紙サイズ	A 系列	セットしている用紙のサイズを選択します。 目的のサイズが選択肢にないときは、[ユーザー定義サイズ] を選択して、用紙の幅と長さを入力します。
	US-ANSI	
	US-ARCH	
	B 系列 (ISO)	
	B 系列 (JIS)	
	その他	
	ユーザー定義サイズ	

プリンター状態メニュー

*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
消耗品情報		インクカートリッジ各色の残量の目安と型番、およびメンテナンスボックスの空き容量の目安と型番を表示します。  バーが短いほど、空き容量が少ないことを示します。が表示されていても、交換の案内が表示されるまで印刷できます。ただし、その色の新しいインクカートリッジ、または新しいメンテナンスボックスを早目に用意してください。 なお、バーの横に表示されるインク色の略号の意味は以下の通りです。 • MB: マットブラック • M: マゼンタ • Y: イエロー • C: シアン
メッセージ一覧		本機の状態を伝えるメッセージの一覧を表示します。一覧からメッセージを選択すると、詳細情報などが表示されます。
ファームウェアバージョン		本機のファームウェアのバージョンを表示します。
本体ステータスシートの印刷		
プリンター情報シート		現在の本機の設定状態の一覧が印刷されます。個々の情報を一括して確認できます。

設定メニュー

本体設定

本体設定 - 基本設定

*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
画面の明るさ設定	1～9 (9*)	画面の明るさを調整します。
音の設定 (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)		
ミュート	オン	[オン] にすると、操作パネルの画面でメニューなどを押したときの音や、用紙セット時に給紙口に挿入したときに操作確認音を鳴らしません。
	オフ*	
操作音	0～10 (5*)	操作パネルの画面でメニューなどを押したときの音や、用紙セット時に給紙口に挿入したときの操作確認音の大きさを設定します。
エラー音	0～10 (5*)	エラーを通知する音の大きさを設定します。
音の種類	パターン 1*	操作パネルの画面でメニューなどを押したときの音や、用紙セット時に給紙口に挿入したときの操作確認音の種類を設定します。
	パターン 2	
音の設定(SC-T5150M/SC-T3150M 以外)		
ミュート	オン	[オン] にすると、操作パネルの画面でメニューなどを押したときの音や、用紙セット時に給紙口に挿入したときに操作確認音を鳴らしません。
	オフ*	
通常時		
操作音	0～10 (5*)	操作パネルの画面でメニューなどを押したときの音や、用紙セット時に給紙口に挿入したときの操作確認音の大きさを設定します。
	エラー音	
音の種類	パターン 1*	操作パネルの画面でメニューなどを押したときの音や、用紙セット時に給紙口に挿入したときの操作確認音の種類を設定します。
	パターン 2	
スリープ移行時間設定	1 ～ 60 分 (15*)	エラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信や操作パネルなどの操作が何も行われない状態が続いたときは、自動的にスリープモードに移行します。本設定では、スリープモードに移行するまでの時間を選択します。 🔗 「省電力の設定」23 ページ
スリープ復帰方法		
タッチパネルで復帰	する*	スリープモード中の画面操作でスリープモードから復帰するかどうかを設定します。[しない] 選択時は、電源ボタンを押すとスリープモードから復帰します。 [時間指定] を選択すると、画面操作でスリープモードから復帰する時間帯を 0:00～23:45 の間で 15 分刻みで指定できます。
	しない	
	時間指定 (6:00～21:00*)	

メニューの使い方

設定項目	設定値	説明
自動電源オフ	設定しない*	エラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信や操作パネルなどの操作が何も行われない状態が続くとき、電源が切れるまでの時間を選択して自動で本機の電源を切ることができます。  「省電力の設定」23 ページ
	30 分後	
	1 時間後	
	2 時間後	
	4 時間後	
	8 時間後	
	12 時間後	
ブレーカー連動起動	オン*	ブレーカーのスイッチを入れたときに連動して本機の電源を入れる（オン）、入れない（オフ）を選択します。
	オフ	
日付/時刻設定		
日付/時刻	-	現在の日時と時間を入力します。
時差	-12:45～+13:45 (0.00 *)	協定世界時（UTC）との時差を 15 分刻みで設定します。 時差があるネットワーク環境で本機を管理するときなどに必要に応じて設定します。
言語選択/Language	日本語 *	操作パネルの画面の表記言語を選択します。
	English	
	French	
	Italian	
	German	
	Portuguese	
	Spanish	
	Dutch	
	Russian	
	Polish	
	Korean	
	Simplified Chinese	
	Traditional Chinese	
無操作タイマー設定	オン*	[オン] にすると、ホーム画面以外の画面表示中に一定時間何も操作しないと、メッセージを表示してホーム画面に戻ります。
	オフ	
キーボード (SC-T5150M/SC-T3150M 以外)	QWERTY *	ユーザー用紙の登録名称を入力するときなどに表示される文字入力画面のキー配列を選択します。
	AZERTY	
	QWERTZ	

設定項目	設定値	説明
長さ単位	m*	ロール紙の長さなどを表示するときの長さの単位を選択します。
	ft / in	

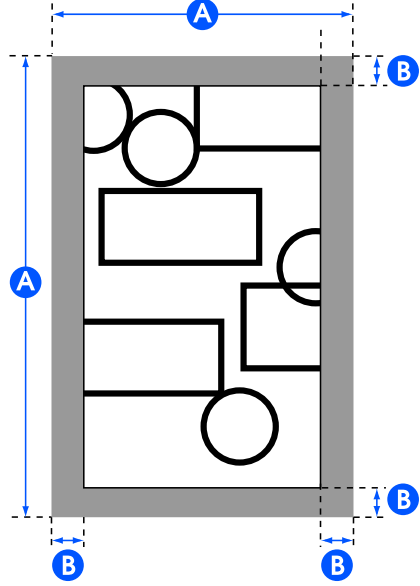
本体設定 - プリンター設定

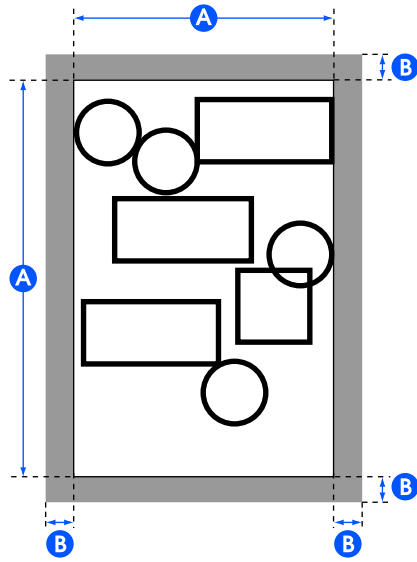
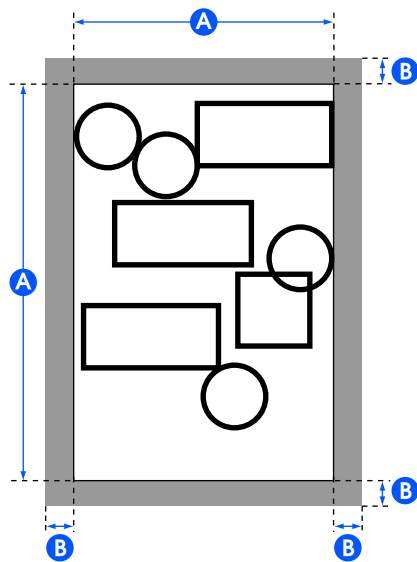
*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
給紙装置設定		
エラー通知		
用紙サイズエラー	オン*	【オン】にすると、本機に送られてきた印刷ジョブの出力サイズまたは用紙種類の設定が、本機で設定されているものと異なるときにエラーメッセージを表示します。
	オフ	
用紙種類エラー	オン*	
	オフ	
ロール紙設定		
斜行エラー検出	オン*	用紙が斜めにセットされたときに、操作パネルの画面にエラーを表示して印刷を中止する（オン） / 中止せずに続行する（オフ）を選択します。斜めにセットされると、用紙詰まりの原因となりますので、通常はオンでを使用することをお勧めします。
	オフ	
切り取り線印刷	オン	自動カットがオフのときに、ロール紙に切り取り線を印刷する（オン） / 印刷しない（オフ）を選択します。自動カットがオンのときや単票紙には印刷されません。 ただし、コンピューターで指定したロール紙幅が本機にセットしているロール紙幅よりも小さいときは、自動カットの設定に関わらず縦の切り取り線が印刷されます。 プリンタードライバーで印刷するときは、プリンタードライバーの設定が有効になります。
	オフ*	
印刷後動作	用紙保持*	印刷後に、単票紙または自動カットされたロール紙の後端を、排紙口で保持するか（用紙保持） / 完全に排出するか（排紙）を選択します。用紙が排出されて落下したときに印刷面に傷がつくことを防ぐため、通常は【用紙保持】にしておくことをお勧めします。 【用紙保持】のときは、用紙が落下しないよう手で用紙端を持って本機から引き出します。
	排紙	

設定項目	設定値	説明
ユーザー用紙設定 01～10 の登録番号のいずれかを押すと設定項目が表示されます。		
登録名称の変更		登録するユーザー用紙設定の名称の登録・変更をします。ここで登録した名称が「用紙種類」のリストに表示されます。 押すとキーボード画面が表示されます。名称は、20 文字まで入力できます。キーボードの囲みのボタンを押すと以下のように画面を切り替えます。  左下のアイコンを押すたびに入力方法が以下のように切り替わります。 あ：ローマ字入力/ひらがな入力 AB：アルファベット入力 1#：数字、記号入力 フルキーキーボードのキー配列を変更したいときは、基本設定メニューの「キーボード」で行います。 📄 「本体設定 - 基本設定」 127 ページ
参照用紙種類の変更	普通紙* マットペーパー フォトペーパー CAD 専用 その他	使用する用紙に最も近い種類を選択します。
用紙の詳細設定		
ブラテンギャップ設定	1.6 2.1 2.6	「参照用紙種類の変更」で選択した用紙のブラテンギャップ設定（プリントヘッドと用紙の間隔）になっているため、通常は変更する必要はありません。印刷結果がこすれて汚れるときは、広げる設定（数値が大きい設定値）に変更します。
先端/後端余白	標準* 先端 3mm/後端 3mm 先端 15mm/後端 15mm 先端 45mm/後端 15mm	標準にすると、プリンタードライバーの印刷目的に応じて以下のように先端/後端余白が設定されます。 • CAD 線画：3 mm/3 mm • その他：30 mm/30 mm 左右の余白は、どの設定にしても 3 mm で変わりません。印刷結果の先端部分に汚れが出るときは、先端の余白が広い設定にして印刷してみてください。 📄 「印刷可能領域」 194 ページ
バックテンション	自動* 標準 高い より高い	印刷中に用紙にしわが発生するときは、「高い」や「より高い」を選択します。

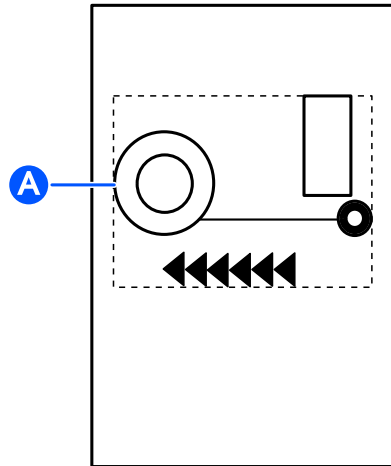
設定項目		設定値	説明
乾燥時間			
	パスごとの乾燥時間	0.0～10.0 秒 (0.0*)	プリントヘッドの移動（パス）を停止させてインクの乾燥を補助するための時間を 0.0～10.0 秒の範囲で設定します。用紙によっては、インクが乾燥しにくいことがあります。印刷結果にインク垂れやにじみが生じるときは、乾燥時間を長めに設定してください。時間を長く設定するほど、印刷時間が長くなります。
	ページごとの乾燥時間	0.0～60 分 (0.0*)	1 ページ印刷後にインクが乾燥するまで用紙送りを停止する時間を 0～60 分の範囲で設定します。インク濃度や用紙によっては、インクが乾燥しにくいことがあります。印刷結果にインク垂れやにじみが生じるときは、乾燥時間を長めに設定してください。時間を長く設定するほど、印刷時間は長くなります。
	自動カット	オン*	ロール紙に 1 ページ印刷することにより自動的にカットする（オン） / しない（オフ）を選択します。オンにすると、用紙セット時に先端が水平でないときの先端カットも自動で行います。プリンタードライバーで印刷するときは、プリンタードライバーの設定が有効になります。  「ロール紙のカット」 31 ページ
		オフ	
設定初期化			選択したユーザー用紙設定の内容をメーカー設定値に戻します。
印刷言語			
USB からの印刷	Auto*	HP-GL/2	通常は Auto のままお使いください。CAD アプリケーションソフトやプロッターから HP-GL/2 または HP RTL の印刷データが送られてくると、自動で判別して HP-GL/2 モードに切り替わります。HP-GL/2 モードの印刷が正常に実行されないときや、常に HP-GL/2 や HP RTL で印刷するときは、[HP-GL/2] に設定してください。
ネットワークからの印刷	Auto*	HP-GL/2	

設定項目	設定値	説明
外部機器(PC)印刷設定		
給紙方法	ロール紙*	給紙方法を選択します。設定した給紙方法通りに用紙をセットしていないと、印刷時にエラーになります。
	オートシートフィーダー	
	単票紙（1枚）	
印刷品質	標準*	印刷品質を選択します。[標準] は、[給紙方法] で選択した用紙の用紙種類設定に適した品質モードで印刷します。
	はやい	
	きれい	
	高精細	
カラーモード	カラー*	カラー印刷するかモノクロに変換して印刷するかを選択します。
	モノクロ	
ページ余白設定	マージンでクリップ*	基準出力サイズの設定により、データの PS コマンドによるハードクリップ領域または基準出力サイズで選択したサイズ（下図の A の領域）の内側にページ余白量で選択した値（下図の B の領域）を付加します。余白部分に印刷オブジェクトが存在するときは、切り取られて印刷されません。 

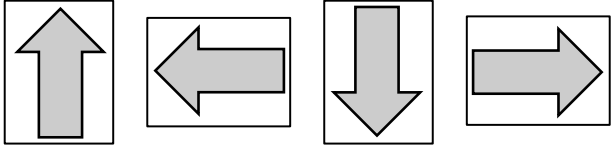
設定項目	設定値	説明
	オーバーサイズ	基準出力サイズの設定により、以下の通り余白が付加される位置が異なります。 • 自動に設定したとき データの PS コマンドによるハードクリップ領域（下図の A の領域）の外側に、ページ余白量で選択した値（下図の B の領域）を付加します。  • 定形サイズやユーザー定義サイズに設定したとき 基準出力サイズで選択したサイズ（下図の A の領域）の外側に、ページ余白量で選択した値（下図の B の領域）を付加します。実際の出力サイズは、選択したサイズ（下図の A の領域）よりも余白が大きくなります。 

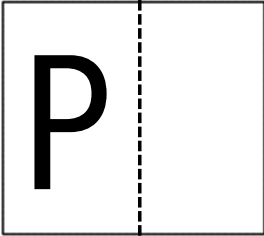
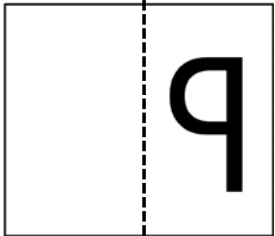
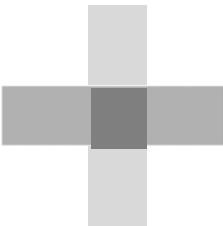
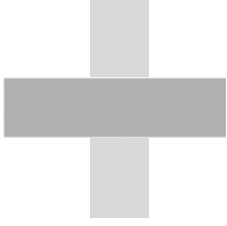
メニューの使い方

設定項目	設定値	説明
ページ余白量	四辺 3mm *	上下左右の余白の値を選択します。 単票紙は、設定に関わらず上下左右の余白が 3 mm になります。
	四辺 5mm	
スムージング	オン	[解像度] を [標準] に設定していて、送られてきた印刷データに解像度の指定がないときに本設定が有効になります。[オン] にすると、[給紙方法] で選択した用紙の用紙種類設定で対応できる最高解像度で印刷しますが、データによっては、印刷時間が長くなったり、メモリー不足で印刷に失敗する場合があります。
	オフ*	
基準出力サイズ	自動*	データの PS コマンドによるハードクリップ領域が基準出力サイズになります。実際の出力サイズは、[ページ余白設定] により異なります。データに PS コマンドが含まれていないときは、印刷オブジェクトを含む最小の矩形（下図の A の領域）が基準出力サイズになります。
	A 系列	選択している [給紙方法] で対応する定形サイズが表示されますので、基準出力サイズを選択します。実際の出力サイズは、ページ余白設定により異なります。 単票紙をセットしているときは、データに PS コマンドが含まれていないときに限り、本設定が有効となります。PS コマンドが含まれていると、本設定は無効となり、PS コマンドによるハードクリップ領域が基準出力サイズになります。
	US-ANSI	
	US-ARCH	
	B 系列 (ISO)	
	B 系列 (JIS)	
	その他	
	ユーザー定義サイズ	定形外のサイズで出力するときに選択します。選択後、用紙幅と用紙長さを設定します。設定は、0.1mm 単位で行えます。 実際の出力サイズは、ページ余白設定により異なります。



メニューの使い方

設定項目	設定値	説明
解像度	標準 *	送られてきた印刷データに解像度の指定がないときは、本設定が有効になります。[標準] は、[給紙方法] で選択した用紙の用紙種類設定と、[印刷品質] 設定に応じた解像度で印刷します。
	300dpi	
	600dpi	
	1200dpi	
色補正(共通)	EPSON 基準色(sRGB)	sRGB 空間に最適化して色補正をします。
	あざやかな色合い *	sRGB 空間をベースに、メリハリのある色補正をします。
	GIS	GIS (Geographic Information System : 地理情報システム) の地形図などの印刷に最適な色補正をします。
	線画	CAD 図面などの線描画主体のデータに適した色補正をします。
	オフ(色補正なし)	色補正をしません。
HP-GL/2 固有設定 (HP-GL/2 または HP RTL モード固有の印刷設定をします。)		
回転	0° *	作図したデータの座標を反時計回りに 90° 単位で回転して印刷できます。ただし、RTL で描画したオブジェクトは回転しません。本設定と RO コマンドの両方で回転が指定されたときは、両方の値の合算値分回転します。ただし、RO コマンドで回転するのはオブジェクト（下図の矢印の部分）のみで、描画領域（下図の四角の部分）は回転しません。この結果、描画領域からはみ出した部分のオブジェクトは印刷されません。 0° 90° 180° 270° 
	90°	
	180°	
	270°	
原点設定	左端 *	データの座標原点を指定します。
	中央	

設定項目	設定値	説明
ミラー印刷	オン	出力サイズの幅の中心を基準線にして、左右反転（鏡に映した状態）して印刷する（オン） / 左右反転しないで印刷する（オフ）を選択します。 OFF  ON  回転で角度を設定しているときは、回転した結果に対して左右反転します。
	オフ*	
線のマージ	オン	イメージ内での重なった線の交差部分をデータの MC コマンドに従ってマージする（オン） / 交差部分では、後から印刷した線を前面に出す（オフ）かを選択します。 ON  OFF 
	オフ*	
色補正(HP-GL/2)	EPSON 基準色(sRGB)	sRGB 空間に最適化して色補正をします。
	あざやかな色合い	sRGB 空間をベースに、メリハリのある色補正をします。
	GIS	GIS（Geographic Information System：地理情報システム）の地形図などの印刷に最適な色補正をします。
	線画*	CAD 図面などの線描画主体のデータに適した色補正をします。
	オフ(色補正なし)	色補正をしません。

メニューの使い方

設定項目	設定値	説明
パレット選択	ソフトウェア*	論理ペンの色や太さが設定された以下のパレットを選択します。 - ソフトウェア: アプリケーションソフトで設定したペン指定に従って印刷し、本機の内蔵パレットは無視されます。 - デフォルト: あらかじめ設定されている本機の内蔵パレットの設定に従って印刷されます。パレットの設定内容は変更できません。内蔵パレットには、ペン幅 0.35mm で 256 色の論理ペンが設定されています。 - パレット A/パレット B: パレット定義で任意に設定した内蔵パレットの設定に従って印刷されます。パレット定義を行わないとデフォルト選択時と同じ結果になります。 デフォルト/パレット A/パレット B 設定時は、アプリケーションソフトで設定したペン指定は無視されます。 選択したパレットの設定は、[カラーパレット印刷] で印刷して確認できます。
	デフォルト	
	パレット A	
	パレット B	
カラーパレット印刷	印刷開始	[パレット選択] で選択されているパレットの設定内容を A3 サイズで印刷します。ペン色の色番号に対応する色の確認ができます。
パレット定義		
パレット A		
ペン 0～ペン 15		
ペン幅		0.13～12.00 mm
ペン色		0～255
[パレット選択] で [パレット A] を選択すると、ここで定義した設定に従って印刷されます。 16 種類の論理ペンに対して、それぞれペン幅と色を任意に設定して独自の内蔵パレットを定義できます。ペン番号を選択し各ペンに対してペン幅とペン色を定義します。 ペン色の色番号に対応する色は、[カラーパレット印刷] で印刷して確認できます。		
パレット B		
ペン 0～ペン 15		
ペン幅		0.13～12.00 mm
ペン色		0～255
[パレット選択] で [パレット B] を選択すると、ここで定義した設定に従って印刷されます。 設定内容はパレット A と同様です。		
HP-GL/2 固有設定初期化	いいえ	[はい] を選択すると、HP-GL/2 固有設定の全ての設定をメーカー設定値に戻します。
	はい	
外部メモリー設定 (SC-T5150M/ SC-T3150M のみ)	有効*	USB フラッシュメモリーを本機に接続して、メモリー内のデータを本機から直接印刷することを許可する (有効) / 許可しない (無効) を選択します。
	無効	
こすれ軽減	しない*	厚い用紙を使用するとプリントヘッドが印刷面をこすってしまうことがあります。このようなときは、[する] に設定します。[する] に設定すると、プラテンギャップ (プリントヘッドと用紙の間隔) が広がります。ただし、すでにプラテンギャップが最大になっているときは、本設定を [する] にしても無効となります。
	する	
双方向印刷	する*	[する] にすると、プリントヘッドが左右どちらの方向に移動するときも印刷します。[しない] にすると罫線のズレが改善されますがありますが、印刷に時間がかかります。
	しない	
コンピューターの USB 接続	有効*	[有効] にすると、USB 接続されたコンピューターからのアクセスを許可します。[無効] にすると、アクセスを許可しません。
	無効	

設定項目	設定値	説明
USB I/F タイムアウト時間 設定	20～600 秒（60*）	USB で本機とコンピューターを接続しているときに、印刷が途中で終了する場合は時間が長くなるように設定を変更してください。

本体設定 - ネットワーク設定

*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
無線 LAN 接続設定		
ルーター（アクセスポイントとつなぐ）		未接続・無効のとき グレーで表示されます。押してさらに次の画面で「設定に進む」を押すと、「アクセスポイントを検索」などのメニューが表示され接続操作が行えます。 接続済みのとき 押すと、接続状態や設定情報が表示されます。「設定を変更する」を押すと、「アクセスポイントを検索」などのメニューが表示され、アクセスポイントの切り替えができます。 🔗 「無線 LAN に変更する」88 ページ
アクセスポイントを検索		検知されたアクセスポイントの SSID の一覧が表示されます。一覧から接続したい SSID を選択して接続します。
プッシュボタンで設定(WPS)		お使いのアクセスポイントが WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応していると、このメニューで接続操作が行えます。SSID やパスワードは不要です。本メニュー選択後にアクセスポイントのプッシュボタンを点滅するまで押し続け、再び本機の画面で「設定を開始する」を押すと接続されます。
その他		
PIN コード自動設定(WPS)		お使いのアクセスポイントが WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応していると、このメニューで接続操作が行えます。押すと、PIN コードと「設定を開始する」が表示されます。表示された PIN コードを 2 分以内にコンピューターからアクセスポイントに入力し、「設定を開始する」を押すと接続されます。
カンタン自動設定		ソフトウェアディスクからソフトウェアをインストールし、ウィザード画面に従って本機との接続をするときに使用するメニューです。
無線 LAN を無効にする		実行すると無線 LAN 接続が初期化され切断されます。無線 LAN で接続トラブルが発生したときに、このメニューを実行して再度接続をすることで問題が解決することがあります。

メニューの使い方

設定項目		設定値	説明
Wi-Fi Direct (スマートデバイスと直接つなぐ)			未接続・無効のとき グレイで表示されます。押してさらに次の画面で「設定に進む」を押すと、「設定を開始する」が表示されます。「設定を開始する」を押すと、Wi-Fi Direct が有効になり本機の SSID とパスワードが表示されます。 接続済みのとき 押すと、本機の SSID とパスワード、接続済み台数などが表示されます。「設定を変更する」を押すと、「パスワードを変更する」などのメニューが表示されます。 🔗 「無線で直接接続する (Wi-Fi Direct)」 89 ページ
接続名を変更する (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)			プリンターに接続する Wi-Fi Direct の接続 (SSID) を任意の値に変更します。接続名 (SSID) を変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。接続名を変更した場合は、接続する機器から新しい接続名 (SSID) で接続し直してください。
パスワードを変更する			Wi-Fi Direct のパスワードを変更できます。パスワードを変更すると接続中のコンピューターやスマートデバイスとの接続が全て切断されます。
Wi-Fi Direct を無効にする			実行すると、Wi-Fi Direct で接続中のコンピューターやスマートデバイスとの接続が全て切断されます。特定の機器だけ切断したいときは、対象の機器で本機との接続を切断してください。
スマートデバイス情報を削除する (SC-T5150/SC-T5150N/SC-T3150/SC-T3150N/SC-T2150 のみ)			スマートデバイス用のメニューです。スマートデバイスの Wi-Fi Direct 機能を使って本機と接続するときは、本機の画面に接続を許可するか拒否するかを選択する画面が表示されます。拒否を選択すると、次回以降もそのデバイスと接続できません。拒否をしたデバイスで接続をしたいときは、このメニューを実行して登録されたデバイス情報を削除します。
初期設定に戻す (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)			Wi-Fi Direct 設定の全てをメーカー設定値に戻します。また、プリンターが保持しているスマートデバイスの Wi-Fi Direct 機能を使った接続情報の登録を削除します。
有線 LAN 接続設定			無線 LAN 接続を有線 LAN 接続に変更したいときに押します。「設定を開始する」を押すと、無線 LAN 接続を無効にします。 🔗 「有線 LAN に変更する」 88 ページ
ネットワーク情報			
有線・無線接続状態			現在の通信状態や、IP アドレスなどの接続設定が表示されます。
Wi-Fi Direct 接続状態			現在の接続台数や、SSID などの接続設定が表示されます。
メールサーバー設定情報 (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)			現在の認証方法や認証アカウントなどが表示されます。設定を変更することもできます。
ステータスシート印刷			現在のネットワーク接続の詳細情報を印刷します。
接続診断			本機のネットワーク接続状況を確認して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。接続に問題があるときは診断結果に従って対処してください。
詳細設定			
デバイス名			ネットワーク上で使用する本機の名称を設定します。
TCP/IP	自動設定*		本機の IP アドレスをルーターなどの DHCP 機能で自動設定します。
	手動設定		本機に固定 IP アドレスを割り当てるときに選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどの必要情報を入力して設定します。詳しくは『システム管理者ガイド』をご覧ください。

メニューの使い方

設定項目	設定値	説明
プロキシサーバー	使用する	イントラネットからインターネットへの接続にプロキシサーバーを利用して、ファームウェアの更新など、本機が直接インターネットにアクセスする機能を使うときは、[使用する] にして、サーバー名やポート番号を設定します。
	使用しない*	
メールサーバー（SC-T5150M/SC-T3150M のみ）		[本体設定] - [スキャン設定] - [メールサーバー] で表示する内容と同じです。
共有フォルダー（SC-T5150M/SC-T3150M のみ）		フォルダー印刷をしたいときに使用します。フォルダー印刷をする前に、共有フォルダーを設定する必要があります。 🔗 「共有フォルダー内のファイルを印刷（フォルダー印刷）」 92 ページ
IPv6 アドレス	有効*	IPv6 機能を有効にするか、無効にするかを選択します。
	無効	
Link Speed & Duplex	自動*	通常は [自動] にしておきます。
	10BASE-T Half Duplex	
	10BASE-T Full Duplex	
	100BASE-TX Half Duplex	
	100BASE-TX Full Duplex	
HTTP を HTTPS にリダイレクト	有効*	HTTP の HTTPS への自動リダイレクト機能を有効にするか、無効にするかを選択します。
	無効	
IPsec/IP フィルタリングの無効化	有効	IPsec/IP フィルタリング機能を有効にするときは、Web Config で設定します。 詳しくは『システム管理者ガイド』をご覧ください。
	無効*	
IEEE802.1X の無効化	有効	IEEE802.1X 機能を有効にするときは、Web Config で設定します。 詳しくは『システム管理者ガイド』をご覧ください。
	無効*	
iBeacon 対応機器からの探索（SC-T5150M/SC-T3150M のみ）	有効*	iBeacon 対応機器からの探索の有効、無効を設定します。有効にすると iBeacon 対応機器からの探索ができるようになります。
	無効	

本体設定 - スキャン設定 (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)

*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
読み取り前宛先確認	オン	[オン] にすると、スキャン時の原稿を読み取る前に宛先を確認できます。
	オフ*	
メールサーバー		
サーバー設定	オフ	メールサーバーを設定しないときに選択します。
	POP before SMTP	メール送信する前に POP3 サーバー（メール受信サーバー）で認証をします。選択した場合は POP3 サーバーの設定をしてください。
	SMTP 認証	メール送信時に SMTP サーバー（メール送信サーバー）で認証をします。メールサーバーが SMTP 認証に対応している必要があります。
コネクションテスト		メールサーバーとの接続が確認できます。
原稿読み取り設定		
原稿排出確認	オン*	[オン] にすると、原稿読み取り後に原稿を排紙口で保持し、取り外しを確認する画面が表示されます。原稿読み取り後に原稿をそのまま排紙したいときには [オフ] にします。
	オフ	
原稿傾き補正	オン*	スキャンした画像の傾きを自動で補正して保存します。補正の範囲は原点～914.4mm の幅です。 [原稿サイズ]、[読み取りサイズ] を [自動検知] に設定したときのみ有効になります。
	オフ	
原稿送り補正	-1.00～1.00 (0*)	コピーやスキャンしたファイルの印刷結果と原稿の長さが合っていないと感じるときに行います。出来上がりの長さを縮めたいときはマイナス方向に、長くしたいときはプラス方向に設定します。長さの差は、印刷で使用する用紙の種類により生じることがあります。  「原稿送り補正」 185 ページ

設定項目	設定値	説明
つなぎ目のスムージング	オン	同じ色をスキャンした結果、下図のように左右に色の違い（段差）がみられるときに本設定を「オン」にすると軽減されることがあります。 「オフ」  「オン」  設定を「オン」にすると、下図のようにスキャンのつなぎ目にかかる線がぼやけたり、かすれたりすることがあります。気になるときは、本設定を「オフ」にするか「つなぎ目補正」を試してみてください。 🔗 「つなぎ目補正」 185 ページ 「オフ」  「オン」 
	オフ*	
つなぎ目補正	-5～5 (0*)	スキャンした結果がずれたとき、つなぎ目の位置を修正します。 🔗 「つなぎ目補正」 185 ページ

本体設定 - 管理者用設定

*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
アドレス帳管理（SC-T5150M/SC-T3150M のみ）		
アドレス帳登録・変更		スキャン toE メール機能、スキャン to フォルダー機能で使うアドレスを登録、削除します。
常用管理		
メール		各項目の頻繁に使うアドレスを登録して簡単にアクセスできるようにします。また、アドレスの並び順を変えることができます。
	フォルダー	
アドレス帳印刷		
全ての宛先の印刷		各宛先のアドレス帳を印刷します。
	Eメールの宛先の印刷	
	フォルダーの宛先の印刷	
アドレス帳表示方法設定	タイル表示*	アドレス帳の表示方法を変更します。
	リスト表示	
アドレス帳検索設定	前方一致*	アドレス帳の検索方法を変更します。
	後方一致	
	含む	
セキュリティ設定		
機能制限（SC-T5150M/SC-T3150M のみ）		
ジョブ履歴表示	オフ	個別に管理者が表示や設定変更を許可できます。
	オン*	
アドレス帳の登録・変更許可	オフ*	
	オン	
スキャン to メール機能 宛先履歴表示	オフ	
	オン*	
スキャン to メール機能 送信履歴表示	オフ	
	オン*	
言語選択の変更許可	オフ	
	オン*	
こすれ軽減の変更許可	オフ*	
	オン	
宛先情報の保護	オフ*	
	オン	

メニューの使い方

設定項目	設定値	説明
利用者制限（SC-T5150M/SC-T3150Mのみ）	オフ*	利用者制限はプリンターにユーザーアカウントを登録して機能と紐付け、ユーザーが利用できる機能を制御できます。管理者が利用者を制限したいときに「オン」にします。あらかじめユーザーアカウントを作成する必要があります。 ユーザーアカウントの作成は Web Config で設定します。詳細は『システム管理者ガイド』をご覧ください。
	オン	
管理者設定		
管理者パスワード	新規設定	管理者ロック機能を使うときに、「新規設定」を押して、管理者パスワードを設定します。すでに設定済みのパスワードを変更するときは、「変更」を押して新しいパスワードを設定します。 パスワードを設定して「管理者ロック」を「オン」にすると、ネットワーク設定などの特定の設定メニューの表示時にパスワード入力が求められます。 正しく入力しないとそれらのメニューが表示できないため、担当以外の方が意図せず設定を変更するようになりかねません。 パスワードは忘れないように管理してください。 設定したパスワードを忘れたときは、エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。📞「お問い合わせ先」206 ページ
	変更	
	設定クリア	
管理者ロック	オフ*	「オン」にすると、特定のメニューを選択したときに管理者パスワードの入力が求められ、パスワードを入力しないと設定変更や機能の実行ができなくなります。管理者ロック機能が有効になるのは主に以下の項目です。オンにするときは、先に管理者パスワードを設定してください。 - スリープ移行時間設定 - 自動電源オフ - ブレーカー連動起動 - 日付/時刻設定 - 無操作タイマー設定 - 印刷言語 - 外部機器（PC）印刷設定 - コンピューターの USB 接続 - USB I/F タイムアウト時間設定 - ネットワーク設定 - 強力ヘッドクリーニング - インク排出/充填
	オン	
初期設定に戻す		
ネットワーク設定	はい	「はい」を押すと、ネットワーク設定を全てメーカー設定値に戻します。
	いいえ	
コピー設定（SC-T5150M/SC-T3150Mのみ）	はい	「はい」を押すと、コピー設定を全てメーカー設定値に戻します。
	いいえ	
スキャン設定（SC-T5150M/SC-T3150Mのみ）	はい	「はい」を押すと、スキャン設定を全てメーカー設定値に戻します。
	いいえ	
全て初期化	はい	「はい」を押すと、設定メニューの日付/時刻設定、長さ単位と言語選択/Language を除く全ての設定をメーカー設定値に戻します。
	いいえ	

設定項目	設定値	説明
ファームウェアのアップデート		
アップデート		この機能を実行するには、本機がインターネットに接続できるネットワークに接続されている必要があります。[確認開始]を押すと、エプソンのウェブサイトアクセスして、新しいファームウェアがあるかどうか検索を開始します。新しいファームウェアが見つかったと表示されたときは、画面の指示に従ってファームウェアを更新してください。更新にかかる時間は約5分です。ただし、ネットワーク環境などによりそれ以上かかる場合もあります。更新中は本機の電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。故障するおそれがあります。
定期通知設定	オフ*	[オン]にすると、新しいファームウェアがあるかどうかを自動で定期的に確認します。新しいファームウェアが見つかったと、電源を入れたときなどにメッセージが表示されます。
	オン	

プリンターのお手入れ

設定項目	設定値	説明
印刷トラブル解決	給紙装置	用紙設定メニューの[用紙調整]と同じ調整を行います。本メニューから実行するときは、最初の画面で給紙方法を選択してください。 🔗 「用紙設定の最適化（用紙調整）」 43 ページ
	開始	
プリントヘッドのノズルチェック	給紙装置	ノズルの目詰まりが発生しているかチェックパターンを印刷して確認します。 🔗 「プリントヘッドの目詰まりチェックとクリーニング」 162 ページ
	開始	
プリントヘッドのクリーニング	開始	印刷したチェックパターンにかすれや欠けがあるときに実行します。 🔗 「プリントヘッドの目詰まりチェックとクリーニング」 162 ページ
内部ローラークリーニング	開始	オートシートフィーダーから印刷したときに印刷面に汚れが出るときに実行します。 🔗 「オートシートフィーダーから印刷したときにこすれ汚れが付く」 177 ページ
インクカートリッジ交換	開始	[開始]を押すと、プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動して交換作業が行える状態になります。交換手順が画面に表示されるので、確認しながら作業を行えます。 🔗 「インクカートリッジの交換」 163 ページ
メンテナンスボックス交換	手順を表示	交換手順を確認しながらメンテナンスボックスを交換するときに選択します。交換作業に慣れて手順を確認する必要がないときはこのメニューを選択せずに交換作業をしてもかまいません。 🔗 「メンテナンスボックスの交換」 166 ページ
カッター交換	開始	用紙がきれいに切り取れなくなったなどで、カッターを交換するときに選択します。画面の指示に従って交換します。 🔗 「カッターの交換」 167 ページ
強力ヘッドクリーニング	開始	チェックパターンのかすれや欠けが[プリントヘッドのクリーニング]を続けて3回実行しても改善されないときに実行します。 🔗 「強力ヘッドクリーニング」 163 ページ
インク排出/充填	開始	環境温度が-10℃以下になるとプリントヘッドが故障するおそれがあります。室内または輸送時の環境温度が-10℃以下になると想定されるときに実施します。 [開始]を押し、画面の指示に従ってインクを排出します。 作業が終了すると、自動で電源が切れます。 🔗 「室内や輸送時の環境が-10℃以下になるときの対応」 197 ページ

情報確認/印刷

設定項目	設定値	説明
本体ステータスシートの印刷		
プリンター情報シート		現在の本機の設定状態の一覧が印刷されます。個々の情報を一括して確認できます。
ネットワーク		現在のネットワーク設定の内容を表示します。表示内容は、[本体設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報] で表示する内容と同じです。

拡大コピーメニュー(SC-T5150M/SC-T3150M 以外)

エプソン製の A3 または A4 スキャナーを本機に接続すると表示されます。このメニューで倍率などを設定し、スキャナーで読み取った原稿を拡大して印刷することができます。

[🔗 「A3,A4 スキャナーを使った拡大コピー\(SC-T5150M/SC-T3150M 以外\)」 103 ページ](#)

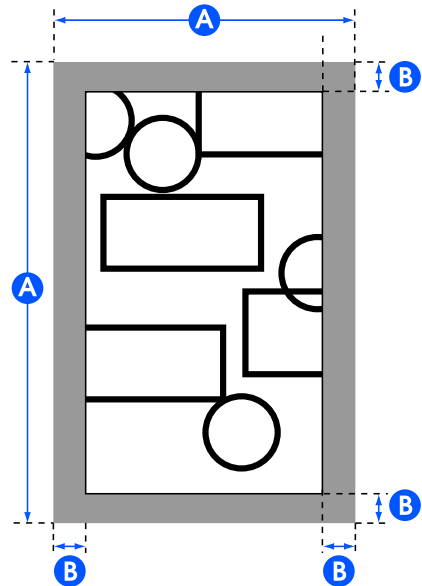
*はメーカー設定値です。

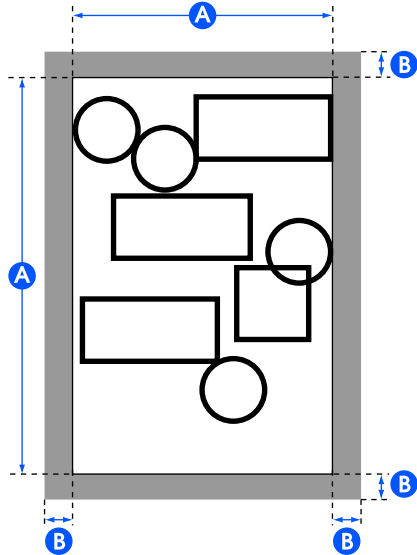
設定項目	設定値	説明
部	1～99	コピー部数を指定します。
カラーモード	モノクロ	拡大コピーをカラーで行うかモノクロで行うかを選択します。
	カラー*	
原稿サイズ	A4 A5 A3 B5 B4 ハガキ L 判 2L 判	スキャナーにセットした原稿のサイズを選択します。お使いのスキャナーにより、表示されるサイズが異なります。ここに表示されるサイズ以外の原稿は使用できません。
倍率		
オートフィット	オン*	[オン] にすると、原稿の短辺を、本機にセットされているロール紙の幅に合わせて拡大コピーします。 原稿の短辺がロール紙の幅より大きいときは、等倍でコピーされます。本機がロール紙の幅を検出できていないと、コピー開始ボタンを押したときにエラーになります。
	オフ	
任意倍率	等倍 A0 JIS B1 A1 JIS B2 A2 ユーザー定義サイズ	出力サイズを選択します。各サイズの左側には、選択した原稿サイズから何パーセント拡大されるかが表示されます。 A0、B1 は、SC-T5150M/SC-T5150/SC-T5150N のみ表示されます。 一覧に目的のサイズが無いときは、[ユーザー定義サイズ] で任意のサイズを設定します。
濃度	-4～4 (0*)	コピー結果の濃度を調節します。
印刷品質	はやい	画質と印刷速度の兼ね合いでコピー品質を選択します。
	きれい	

外部メモリーから印刷メニュー（SC-T5150M/SC-T3150M のみ）

USB フラッシュメモリーを本機に装着すると表示されます。ここでは、ファイルごとの印刷メニュー選択後に表示される〔基本設定〕と〔応用設定〕のメニューについて説明します。

🔗 [「USB フラッシュメモリー内のファイルを直接印刷」 93 ページ](#)

設定項目	設定値	説明
基本設定		
部	1～99	印刷部数を指定します。
給紙方法	ロール紙*	給紙方法を選択します。設定した給紙方法通りに用紙をセットしていないと、印刷時にエラーになります。
	オートシートフィーダー	
	単票紙（1枚）	
カラーモード	モノクロ	カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを選択します。
	カラー*	
応用設定		
印刷品質	標準	印刷品質を選択します。
	はやい*	
	きれい	
	高精細	
ページ余白設定	マージンでクリップ*	倍率設定で設定された出力サイズ（下図の A の領域）の内側に、余白（下図の B の領域）を付加します。余白部分に印刷オブジェクトが存在するときは、切り取られて印刷されません。 

設定項目	設定値	説明
	オーバーサイズ	倍率設定で設定された出力サイズ（下図の A の領域）の外側に、余白（下図の B の領域）を付加します。実際の出力サイズは、設定された出力サイズ（下図の A の領域）よりも余白分大きくなります。 
双方向印刷	する*	「する」にすると、プリントヘッドが左右どちらの方向に移動するときも印刷します。「しない」にすると罫線のズレが改善されることがありますが、印刷に時間がかかります。
	しない	
色補正	ポスター(写真)/パース図	写真を用いたポスターやパース図を自然な色合いで印刷します。
	ポスター/文書*	イラストと文字が混在するポスターを鮮やかな色合いで印刷します。
	GIS	地図をくっきりと印刷します。
	CAD/線画	文字や細い線をくっきり印刷します。
	オフ(色補正なし)	色補正をしません。

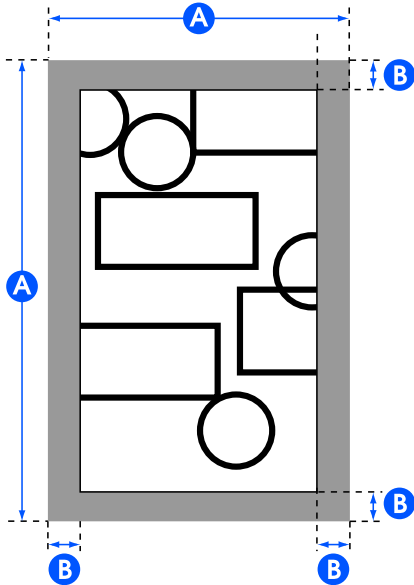
メニューの使い方

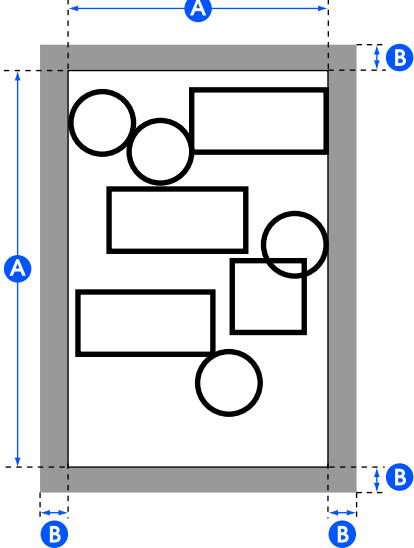
設定項目	設定値	説明
倍率		
オートフィット	オン	〔オン〕にすると、原稿の短辺を、本機にセットされている用紙の幅に合わせて印刷します。 原稿の短辺が用紙の幅より大きいときは、等倍で印刷されます。 基本設定の給紙方法で設定した通りに用紙がセットされていないと〔オン〕に設定できません。また、〔オン〕に設定後、用紙の交換やセットをせずに給紙方法の設定を変更すると、メーカー設定の等倍に戻ります。 本機が用紙の幅を検出できていないと、印刷開始ボタンを押したときにエラーになります。
	オフ*	
任意倍率	等倍*、 A4、A3、A3 ノビ、 A2、A2 ノビ、 A1、A1 ノビ、 A0、A0 ノビ、 Letter、Legal、 US B (11x17in)、 US C (17x22in)、 US D (22x34in)、 US E (34x44in)、 ARCH A (9x12in)、 ARCH B (12x18in)、 ARCH C (18x24in)、 ARCH D (24x36in)、 ARCH E1 (30x42in)、 ARCH E (36x48in)、 ISO B4、ISO B3、ISO B2、 ISO B1、JIS B4、JIS B3、 JIS B2、JIS B1、 610 x 762 mm、 762 x 1016 mm、 914 x 1118 mm、 30 x 40 cm、 40 x 60 cm、 50 x 70 cm、 60 x 90 cm、 70 x 100 cm、 ユーザー定義サイズ	出力サイズを選択します。各サイズの左側には、選択した原稿サイズから何パーセント拡大されるかが表示されます。一覧に目的のサイズが無いときは、〔ユーザー定義サイズ〕で任意のサイズを設定します。

コピーメニュー（SC-T5150M/SC-T3150M のみ）

*はメーカー設定値です。

設定項目		設定値	説明
基本設定			
部	1～99 部	コピー部数を指定します。	
カラーモード	モノクロ	カラーでコピーするかモノクロでコピーするかを選択します。	
	カラー*		
印刷品質	はやい*	印刷品質を選択します。	
	きれい		
	高精細		
濃度	-4～4 (0*)	コピー結果の濃度を選択します。-は薄く+は濃くなります。	
給紙方法	ロール紙*	コピー印刷を行う給紙方法を選択します。	
	オートシートフィーダー		
	単票紙 (1 枚)		
倍率			
オートフィット	オン	[オン] にすると、原稿の短辺を、本機にセットされているロール紙の幅に合わせて拡大コピーします。 原稿の短辺がロール紙の幅より大きいときは、等倍でコピーされます。 本機がロール紙の幅を検出できていないと、コピー開始ボタンを押したときにエラーになります。	
	オフ*		
任意倍率	等 倍、ISO A4→A0、ISO A3→A0、ISO A4→A1、ISO A2→A0、ISO A3→A1、ISO A1→A0、ISO A2→A1、ISO A0→A1、ISO A1→A2、ISO A0→A2、ISO A1→A3、ISO A0→A3、ISO A1→A4、ISO A0→A4、US ANSI/ARCH A→E、US ANSI/ARCH B→E、US ANSI/ARCH A→D、US ANSI/ARCH C→E、US ANSI/ARCH B→D、US ANSI/ARCH D→E、US ANSI/ARCH C→D、US ANSI/ARCH E→D、US ANSI/ARCH D→C、US ANSI/ARCH E→C、US ANSI/ARCH D→B、US ANSI/ARCH E→B、US ANSI/ARCH D→A、US ANSI/ARCH E→A	出力サイズを選択します。	

設定項目	設定値	説明
原稿種類	文字・線画*	一般的な普通紙に印刷された図面のコピー・スキャンに適しています。また、画像を含むポスターなどにも適しています。
	トレーシングペーパー	トレーシングペーパーに印刷された図面のコピー・スキャンに適しています。 トレーシングペーパーの地色を低減します。
	青焼き	青焼き印刷された図面のコピー・スキャンに適しています。 青焼きの地色を低減します。
応用設定		
原稿サイズ		
自動検知	-	通常は、[自動検知] のまま使用します。ただし、原稿によっては、 [自動検知] に設定していても正しく幅検出できないことがあります。 また、トレーシングペーパーやオプションのキャリアシートは自動で検知されません。このようなときは、定形サイズ等から任意に幅を指定してください。目的のサイズが選択肢にないときは、ユーザー定義サイズを選択して、原稿の幅と長さを入力してください。
ISO A	対応する原稿サイズを表示	
US-ANSI		
US-ARCH		
JIS B		
ISO B		
ユーザー定義サイズ	原稿サイズ入力画面を表示	
上端オフセット	0.0～100.0mm (0.0*) 0.00～3.94inch (0.00*)	原稿の上端の余白部分をコピーしたくないときに、上端をずらしてコピーできます。コピーを開始したい上端からの長さを数値で入力します。 キャリアシートをセットしたときは、数値を 19mm に設定してください。
ページ余白設定	マージンでクリップ*	倍率設定で設定された出力サイズ（下図の A の領域）の内側に、余白（下図の B の領域）を付加します。余白部分に原稿のオブジェクトが存在するときは、切り取られてコピーされません。 

設定項目	設定値	説明
	オーバーサイズ	倍率設定で設定された出力サイズ（下図の A の領域）の外側に、余白（下図の B の領域）を付加します。実際の出力サイズは、設定された出力サイズ（下図の A の領域）よりも余白分大きくなります。 
詳細画質調整		
コントラスト	-4～4 (0*)	コントラストを設定します。-は弱く+は強くなります。
シャープネス	-4～4 (0*)	シャープネスを設定します。-は弱く+は強くなります。
背景除去		
自動	オン*	［オン］にすると、再生紙のような白色度の低い背景を除去します。色付きの原稿や薄い用紙の原稿をスキャンしたとき写り込んだ背景を除去したいときは、［オフ］を選択し、-4～4の調整値を設定します。-は弱く+は強くなります。
	オフ	
-4～4	-	
双方向印刷	する*	［する］にすると、プリントヘッドが左右どちらの方向に移動するときも印刷します。［しない］にすると罫線のズレが改善されますが、印刷に時間がかかります。
	しない	
設定クリア	はい	［はい］を押すと、基本設定、応用設定を全てメーカー設定値に戻します。
	いいえ	

スキャンメニュー（SC-T5150M/SC-T3150M のみ）

*はメーカー設定値です。

設定項目		設定値	説明
フォルダー			
宛先	保存先選択画面を表示	スキャンした画像の保存先を指定します。 常用登録した宛先、またはアドレス帳に登録した宛先から保存先を指定します。アドレス帳に宛先が登録されていないときは、[直接入力]を押して、保存先を編集します。	
スキャン設定			
カラーモード	モノクロ	カラーでスキャンするかモノクロでスキャンするかを選択します。	
	カラー*		
ファイル形式			
ファイル形式	JPEG	スキャンした画像の保存ファイル形式を選択します。	
	PDF*		
	PDF/A		
	TIFF（マルチページ）		
圧縮率	高圧縮	スキャンした画像を保存するときの圧縮率を選択します。	
	標準圧縮*		
	低圧縮		
PDF 設定			
文書を開くパスワード		ファイル形式を [PDF] にすると、PDF のセキュリティが設定できます。 開くときにパスワードが必要な PDF ファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要な PDF ファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。	
パスワード設定	設定しない*		
	設定する		
パスワード	パスワードを入力		
権限パスワード			
パスワード設定	設定しない*		
	設定する		
パスワード	パスワードを入力		
印刷許可	許可する*		
	許可しない		
編集許可	許可する*		
	許可しない		

メニューの使い方

設定項目		設定値	説明
解像度		200dpi	スキャン時の解像度を選択します。
		300dpi*	
		400dpi	
		600dpi	
読み取りサイズ			
自動検知	-	通常は、[自動検知] のまま使用します。ただし、原稿によっては、[自動検知] に設定していても正しく幅検出できないことがあります。また、トレーシングペーパーやオプションのキャリアシートは自動で検知されません。このようなときは、定形サイズ等から任意に幅を指定してください。目的のサイズが選択肢にないときは、ユーザー定義サイズを選択して、原稿の幅と長さを入力してください。	
ISO A	対応する読み取りサイズを表示		
US-ANSI			
US-ARCH			
JIS B			
ISO B			
ユーザー定義サイズ	読み取りサイズ入力画面を表示		
上端オフセット	0.0～100.0mm (0.0*) 0.00～3.94inch (0.00*)	原稿の上端の余白部分をスキャンしたくないときに、上端をずらしてスキャンできます。スキャンを開始したい上端からの長さを数値で入力します。 キャリアシートをセットしたときは、数値を 19mm に設定してください。	
原稿種類	文字・線画*	一般的な普通紙に印刷された図面のコピー・スキャンに適しています。 また、画像を含むポスターなどにも適しています。	
	トレーシングペーパー	トレーシングペーパーに印刷された図面のコピー・スキャンに適しています。 トレーシングペーパーの地色を低減します。	
	青焼き	青焼き印刷された図面のコピー・スキャンに適しています。 青焼きの地色を低減します。	
濃度	-4～4 (0*)	スキャン濃度を選択します。-は薄く+は濃くなります。	
詳細画質調整			
コントラスト	-4～4 (0*)	コントラストを設定します。-は弱く+は強くなります。	
シャープネス	-4～4 (0*)	シャープネスを設定します。-は弱く+は強くなります。	
背景除去			
自動	オン*	[オン] にすると、再生紙や新聞紙のような白色度の低い背景を除去します。 色付きの原稿や薄い用紙の原稿をスキャンしたとき写り込んだ背景を除去したいときは、[オフ] を選択し、-4～4 の調整値を設定します。-は弱く+は強くなります。	
	オフ		
-4～4	-		

メニューの使い方

設定項目		設定値	説明
	ファイル名		
	ファイルヘッダー	ファイルヘッダーを入力	画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字または記号で入力します。
	日付を入れる	オン*	ファイル名に日付を追加します。
		オフ	
	時刻を入れる	オン*	ファイル名に時間を追加します。
		オフ	
	設定クリア	はい	[はい] を押すと、スキャン設定を全てメーカー設定値に戻します。
いいえ			
メール			
宛先		保存先選択画面を表示	スキャンした画像の宛先を指定します。 常用登録した宛先、またはアドレス帳に登録した宛先から指定します。 アドレス帳に宛先が登録されていないときは、[直接入力] を押して、宛先を入力します。
スキャン設定			
カラーモード	モノクロ	カラーでスキャンするかモノクロでスキャンするかを選択します。	
	カラー*		
ファイル形式			
ファイル形式	JPEG	スキャンした画像の保存ファイル形式を選択します。	
	PDF*		
	PDF/A		
	TIFF（マルチページ）		
圧縮率	高圧縮	スキャンした画像を保存するときの圧縮率を選択します。	
	標準圧縮*		
	低圧縮		

設定項目		設定値	説明
PDF 設定			
文書を開くパスワード		ファイル形式を [PDF] にすると、PDF のセキュリティが設定できます。 開くときにパスワードが必要な PDF ファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要な PDF ファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。	
パスワード設定	設定しない*		
	設定する		
パスワード	パスワードを入力		
権限パスワード			
パスワード設定	設定しない*		
	設定する		
パスワード	パスワードを入力		
印刷許可	許可する*		
	許可しない		
編集許可	許可する*		
	許可しない		
解像度	200dpi	スキャン時の解像度を選択します。	
	300dpi*		
	400dpi		
	600dpi		
読み取りサイズ			
自動検知	-	通常は、[自動検知] のまま使用します。ただし、原稿によっては、[自動検知] に設定していても正しく幅検出できないことがあります。また、トレーシングペーパーやオプションのキャリアシートは自動で検知されません。このようなときは、定形サイズ等から任意に幅を指定してください。目的のサイズが選択肢にないときは、ユーザー定義サイズを選択して、原稿の幅と長さを入力してください。	
ISO A	対応する読み取りサイズを表示		
US-ANSI			
US-ARCH			
JIS B			
ISO B			
ユーザー定義サイズ	読み取りサイズ入力画面を表示		
上端オフセット	0.0～100.0mm (0.0*) 0.00～3.94inch (0.00*)	原稿の上端の余白部分をスキャンしたくないときに、上端をずらしてスキャンできます。スキャンを開始したい上端からの長さを数値で入力します。 キャリアシートをセットしたときは、数値を 19mm に設定してください。	

メニューの使い方

設定項目		設定値	説明
原稿種類		文字・線画*	一般的な普通紙に印刷された図面のコピー・スキャンに適しています。 また、画像を含むポスターなどにも適しています。
		トレーシングペーパー	トレーシングペーパーに印刷された図面のコピー・スキャンに適しています。 トレーシングペーパーの地色を低減します。
		青焼き	青焼き印刷された図面のコピー・スキャンに適しています。 青焼きの地色を低減します。
濃度		-4～4 (0*)	スキャン濃度を選択します。-は薄く＋は濃くなります。
詳細画質調整			
	コントラスト	-4～4 (0*)	コントラストを設定します。-は弱く＋は強くなります。
	シャープネス	-4～4 (0*)	シャープネスを設定します。-は弱く＋は強くなります。
	背景除去		
	自動	オン*	〔オン〕にすると、再生紙や新聞紙のような白色度の低い背景を除去します。 色付きの原稿や薄い用紙の原稿をスキャンしたとき写り込んだ背景を除去したいときは、〔オフ〕を選択し、-4～4の調整値を設定します。-は弱く＋は強くなります。
		オフ	
-4～4	-		
件名	件名を入力	メールの件名を半角英数字または記号で入力します。	
添付最大ファイルサイズ	1MB	メールに添付するファイルの最大サイズを選択します。	
	2MB		
	5MB		
	10MB		
	20MB		
	30MB*		
ファイル名			
	ファイルヘッダー	ファイルヘッダーを入力	画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字または記号で入力します。
	日付を入れる	オン*	ファイル名に日付を追加します。
		オフ	
	時刻を入れる	オン*	ファイル名に時間を追加します。
		オフ	
設定クリア	はい	〔はい〕を押すと、スキャン設定を全てメーカー設定値に戻します。	
	いいえ		

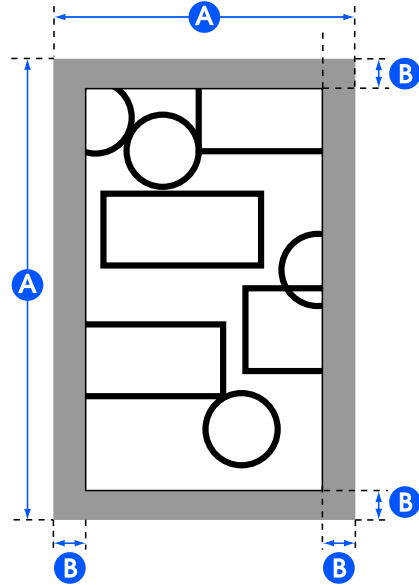
設定項目		設定値	説明
外部メモリー			
基本設定			
カラーモード	モノクロ	カラーでスキャンするかモノクロでスキャンするかを選択します。	
	カラー*		
ファイル形式			
ファイル形式	JPEG	スキャンした画像の保存ファイル形式を選択します。	
	PDF*		
	PDF/A		
	TIFF（マルチページ）		
圧縮率	高圧縮	スキャンした画像を保存するときの圧縮率を選択します。	
	標準圧縮*		
	低圧縮		
PDF 設定			
文書を開くパスワード		ファイル形式を [PDF] にすると、PDF のセキュリティが設定できません。 開くときにパスワードが必要な PDF ファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要な PDF ファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。	
パスワード設定	設定しない*		
	設定する		
パスワード	パスワードを入力		
権限パスワード			
パスワード設定	設定しない*		
	設定する		
パスワード	パスワードを入力		
印刷許可	許可する*		
	許可しない		
編集許可	許可する*		
	許可しない		
解像度	200dpi		スキャン時の解像度を選択します。
	300dpi*		
	400dpi		
	600dpi		

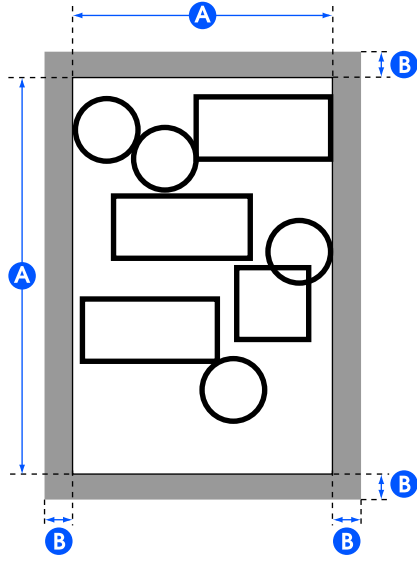
メニューの使い方

設定項目		設定値	説明
読み取りサイズ			
自動検知	-	通常は、[自動検知] のまま使用します。ただし、原稿によっては、[自動検知] に設定していても正しく幅検出できないことがあります。また、トレーシングペーパーやオプションのキャリアシートは自動で検知されません。このようなときは、定形サイズ等から任意に幅を指定してください。目的のサイズが選択肢にないときは、ユーザー定義サイズを選択して、原稿の幅と長さを入力してください。	
ISO A	対応する読み取りサイズを表示		
US-ANSI			
US-ARCH			
JIS B			
ISO B			
ユーザー定義サイズ	読み取りサイズ入力画面を表示		
上端オフセット	0.0～100.0mm (0.0*) 0.00～3.94inch (0.00*)	原稿の上端の余白部分をスキャンしたくないときに、上端をずらしてスキャンできます。スキャンを開始したい上端からの長さを数値で入力します。 キャリアシートをセットしたときは、数値を 19mm に設定してください。	
原稿種類	文字・線画*	一般的な普通紙に印刷された図面のコピー・スキャンに適しています。また、画像を含むポスターなどにも適しています。	
	トレーシングペーパー	トレーシングペーパーに印刷された図面のコピー・スキャンに適しています。 トレーシングペーパーの地色を低減します。	
	青焼き	青焼き印刷された図面のコピー・スキャンに適しています。 青焼きの地色を低減します。	
応用設定			
濃度	-4～4 (0*)	スキャン濃度を選択します。-は薄く+は濃くなります。	
詳細画質調整			
コントラスト	-4～4 (0*)	コントラストを設定します。-は弱く+は強くなります。	
シャープネス	-4～4 (0*)	シャープネスを設定します。-は弱く+は強くなります。	
背景除去			
自動	オン*	[オン] にすると、再生紙や新聞紙のような白色度の低い背景を除去します。 色付きの原稿や薄い用紙の原稿をスキャンしたとき写り込んだ背景を除去したいときは、[オフ] を選択し、-4～4 の調整値を設定します。-は弱く+は強くなります。	
	オフ		
	-4～4		-
ファイル名			
ファイルヘッダー	ファイルヘッダーを入力	画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字または記号で入力します。	
日付を入れる	オン*	ファイル名に日付を追加します。	
	オフ		
時刻を入れる	オン*	ファイル名に時間を追加します。	
	オフ		
設定クリア	はい	[はい] を押すと、基本設定、応用設定を全てメーカー設定値に戻します。	
	いいえ		

フォルダーから印刷メニュー（SC-T5150M/ SC-T3150M のみ）

* はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
基本設定		
給紙方法	ロール紙*	給紙方法を選択します。設定した給紙方法通りに用紙をセットしていないと、印刷時にエラーになります。
	オートシートフィーダー	
	単票紙（1枚）	
カラーモード	モノクロ	カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを選択します。
	カラー*	
応用設定		
印刷品質	はやい*	印刷品質を選択します。
	きれい	
	高精細	
ページ余白設定	マージンでクリップ*	倍率設定で設定された出力サイズ（下図の A の領域）の内側に、余白（下図の B の領域）を付加します。余白部分に印刷オブジェクトが存在するときは、切り取られて印刷されません。 

設定項目	設定値	説明
	オーバーサイズ	倍率設定で設定された出力サイズ（下図の A の領域）の外側に、余白（下図の B の領域）を付加します。実際の出力サイズは、設定された出力サイズ（下図の A の領域）よりも余白分大きくなります。 
双方向印刷	する*	「する」にすると、プリントヘッドが左右どちらの方向に移動するときも印刷します。「しない」にすると罫線のズレが改善されることがありますが、印刷に時間がかかります。
	しない	
色補正(共通)	EPSON 基準色(sRGB)	sRGB 空間に最適化して色補正をします。
	あざやかな色合い*	sRGB 空間をベースに、メリハリのある色補正をします。
	GIS	GIS（Geographic Information System: 地理情報システム）の地形図などの印刷に最適な色補正をします。
	線画	CAD 図面などの線描画主体のデータに適した色補正をします。
	オフ(色補正なし)	色補正をしません。
倍率		
オートフィット	オン	「オン」にすると、原稿の短辺を、本機にセットされている用紙の幅に合わせて印刷します。 原稿の短辺が用紙の幅より大きいときは、等倍で印刷されます。 基本設定の給紙方法で設定した通りに用紙がセットされていないと「オン」に設定できません。また、「オン」に設定後、用紙の交換やセットをせずに給紙方法の設定を変更すると、メーカー設定の等倍に戻ります。本機が用紙の幅を検出できていないと、印刷開始ボタンを押したときにエラーになります。
	オフ*	
任意倍率	25%-1024%	出力サイズを選択します。等倍以外のときは、ユーザー定義サイズで任意のサイズを設定します。
定形サイズヘフィット	等倍*、ユーザー定義サイズ	

メンテナンス

プリントヘッドの目詰まり解消

印刷結果にスジやムラがある、文字がかすれる、画像が明らかに変な色で印刷されるときは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。ノズルのチェックを行い、目詰まりしていたらプリントヘッドのクリーニングを行います。続けて3回クリーニングをしても目詰まりが解消されないときは、強力ヘッドクリーニングを行います。

クリーニングを行う前に以下をご確認ください。

- プリントヘッドのクリーニングではインクが消費されます。
印刷結果に問題があり、かつノズルチェックで目詰まりが確認されたとき以外は必要ありません。
強力ヘッドクリーニングは、プリントヘッドのクリーニングよりもインクを多く消費します。
- インク残量が少ないときは、事前に新品のインクボトルを準備してください。
- メンテナンスボックスの空き容量が少ないときは、事前に新品のメンテナンスボックスを準備してください。

プリントヘッドの目詰まりチェックとクリーニング

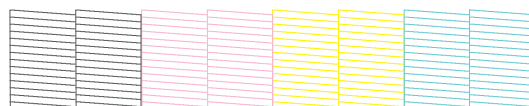
1 ホーム画面から、[設定] - [プリンターのお手入れ] - [プリントヘッドのノズルチェック] の順に押します。

2 [開始] を押すとチェックパターンの印刷が始まります。

開始画面に表示されている給紙方法を変更するときは [給紙装置] を押してください。

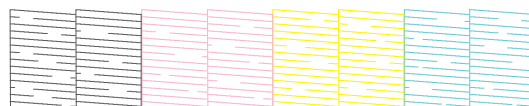
3 以下を参考にして、印刷されたチェックパターンを確認します。

目詰まりしていないときの例



パターンが欠けていないときは目詰まりしていません。○を押して目詰まりチェックを終了します。

目詰まりしているときの例



パターンが欠けているときは、✕を押すと [プリントヘッドのクリーニング] 画面が表示されます。次の手順に進んでください。

4 [開始] を押すとクリーニングが始まります。

クリーニングが終了すると [ノズルチェックパターンを印刷しますか?] と表示されます。[はい] を押すと手順2に戻ります。手順2～4を繰り返してノズルの目詰まりが解消されたか確認します。

プリントヘッドのクリーニングを続けて3回実行しても目詰まりが解消されないときは、[強力ヘッドクリーニング] を行ってください。

強力ヘッドクリーニング

強力ヘッドクリーニングは、プリントヘッドのクリーニングを続けて3回行っても目詰まりが解消されないときに行います。

1 ホーム画面から、[設定] - [プリンターのお手入れ] - [強力ヘッドクリーニング] の順に押します。

2 [開始] を押すとクリーニングが始まります。
クリーニングが終了すると [ノズルチェックパターンを印刷しますか?] と表示されます。[はい] を押して次の画面で [開始] を押すとチェックパターンが印刷されます。ノズルの目詰まりが解消されたか確認してください。

強力ヘッドクリーニングをしても目詰まりが解消しないときは、本機の電源を切って一晩以上放置してください。時間を置くことによって、目詰まりしているインクが溶解することがあります。

それでも改善されないときは、お買い求めの販売店またはエプソンのお問い合わせ窓口にご連絡ください。

📞 「お問い合わせ先」 206 ページ

消耗品の交換

使用済み消耗品の処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

回収

エプソンは使用済み純正インクカートリッジ、メンテナンスボックスの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。

回収サービスの詳細は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.epson.jp/recycle/>

廃棄

事業所など業務でお使いのときは、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

一般家庭でお使いのときは、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

インクカートリッジの交換

1色でもインク残量が限界値以下になると、印刷はできません。

印刷途中でインク残量が限界値以下になったときは、そのインクカートリッジを交換すれば印刷は続行されます。インクの残量が少なくなったインクカートリッジを使い続けると、印刷途中でインクカートリッジの交換が必要になることがあります。印刷途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。許容できないときは、事前に新品のインクカートリッジと交換して印刷することをお勧めします。取り外したインクカートリッジは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。ただし、再装着の際は、本機の信頼性を確保するためにインクが消費されるため、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。

本機で利用できるインクカートリッジ 📞 「消耗品とオプション」 187 ページ

⚠ 注意

スキャナーユニットの開閉の際は、ユニットと本体との接合部（継ぎ目）に手を近付けないでください。指や手を挟んで、けがをするおそれがあります。

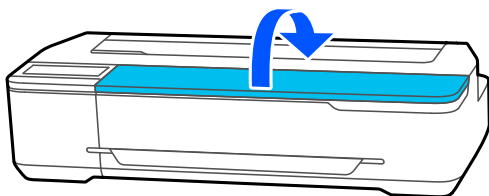
！重要

本機の性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、本機本体や印刷品質に悪影響が出るなど、本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- 1 ホーム画面から、[設定] - [プリンターのお手入れ] - [インクカートリッジ交換] の順に押します。

- 2 [開始] を押して前面カバーを開けます。
SC-T5150M/SC-T3150M のときは、[開始] を押してスキャナーユニットを開けます。

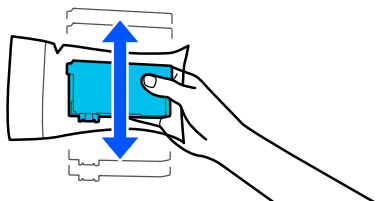
プリントヘッドがインクカートリッジの交換位置まで移動します。



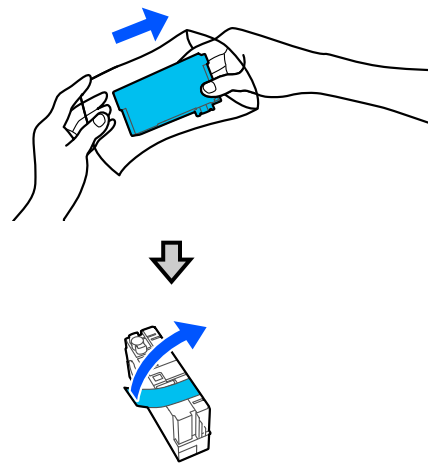
！重要

プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。

- 3 新しいインクカートリッジを図のように持って上下に 20 回程度（約 10 秒間）振ります。

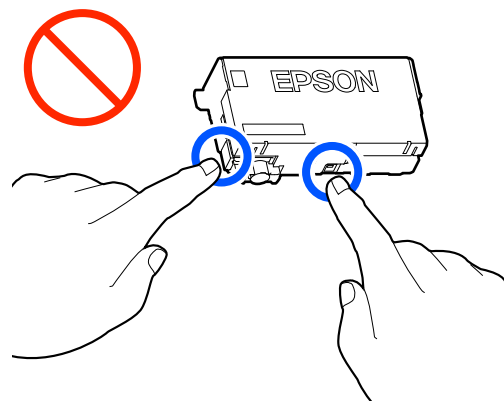


- 4 新しいインクカートリッジを袋から取り出し、テープ（黄色）のみを剥がします。

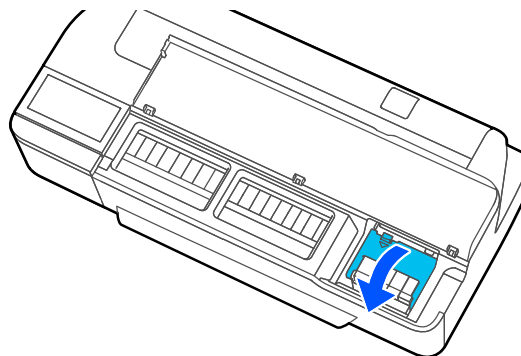


！重要

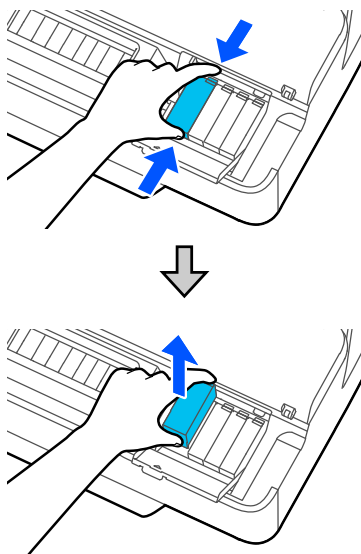
イラストで示した部分には触らないでください。正常に印刷ができなくなるおそれがあります。



- 5 カートリッジカバーを開けます。



6 交換するインクカートリッジを取り外します。

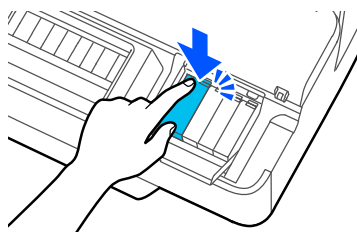


！重要

取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

7 新しいインクカートリッジを、ラベルを上にして垂直に差し込みます。

[押] の部分をしっかり押し込んでください。



別の色のインクカートリッジも交換するときは、手順3～7（手順5を除く）を行います。

！重要

インクカートリッジは、全スロットに装着してください。全スロットに装着していないと印刷できません。

8 カートリッジカバーと前面カバーを閉めます。
SC-T5150M/SC-T3150M のときは、カートリッジカバーとスキャナーユニットを閉めます。

インク充填が始まります。[交換が終了しました。]と表示されたら終了です。

！重要

インク充填中は電源を切らないでください。充填が不十分で印刷できなくなるおそれがあります。

メンテナンスボックスの交換

「メンテナンスボックスの空き容量がなくなりました。」と表示されたらメンテナンスボックスを交換してください。

「メンテナンスボックスの交換時期が近づいています。」と表示されたときは、新しいメンテナンスボックスを用意してください。交換の案内が表示されるまで印刷できます。

本機で利用できるメンテナンスボックス  「消耗品とオプション」 187 ページ

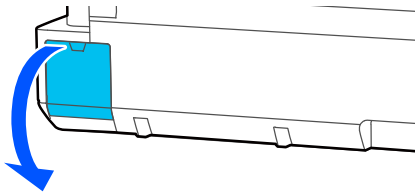
！重要

印刷中はメンテナンスボックスの交換をしないでください。廃インクが漏れることがあります。

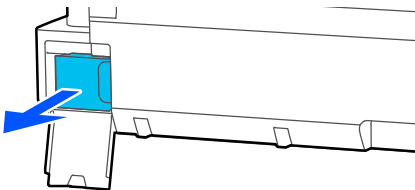
参考

画面で交換方法の手順を見ながら作業できます。手順を見るには、ホーム画面から「設定」 - 「プリンターのお手入れ」 - 「メンテナンスボックス交換」の順に押します。

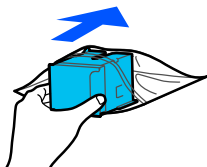
- 1 プリンター背面のメンテナンスボックスカバーを開けます。



- 2 メンテナンスボックスを引き出します。



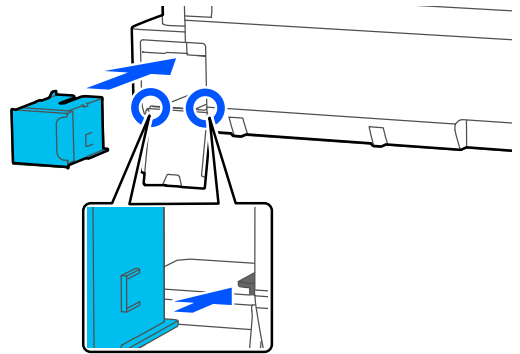
- 3 新しいメンテナンスボックスに付属の透明な袋に、使用済みメンテナンスボックスを入れてファスナーを閉めます。



！重要

ファスナーを閉めて密閉するまでメンテナンスボックスを傾けないでください。インクが漏れることがあります。

- 4 新しいメンテナンスボックスの溝を挿入箇所のレールに合わせて突き当たるまで挿入します。



！重要

メンテナンスボックスのICチップに触らないでください。正常な動作・印刷ができなくなるおそれがあります。

- 5 メンテナンスボックスカバーを閉めます。

カッターの交換

用紙がきれいに切り取れなくなったり、カット部に毛羽立ちなどが発生したりしたら、カッターを交換してください。

本機で使えるカッター  「消耗品とオプション」
187 ページ

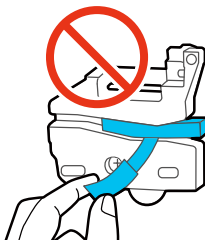
カッターの交換にはプラスドライバーを使用します。プラスドライバーを手元に用意してから作業を開始してください。

⚠ 注意

カッターは子どもの手の届く場所に保管しないでください。カッターの刃でけがをするおそれがあります。カッターを交換するときは、取り扱いに注意してください。

！重要

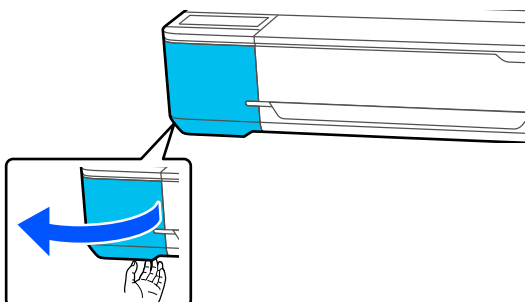
- カッターを落としたり硬い物に当てたりすると刃が欠けることがあります。
- 新品のカッターに挟まっている保護材とシートは刃の保護用です。取り除かずに交換作業をしてください。



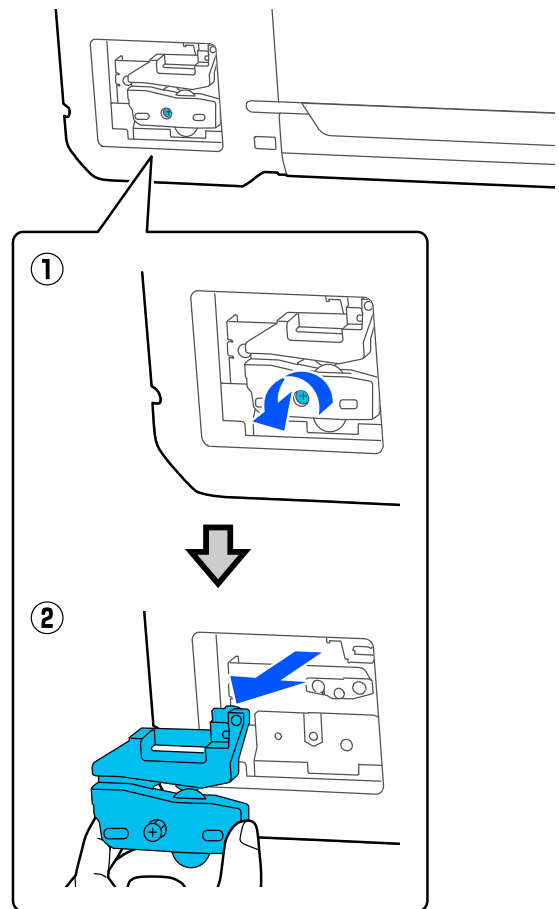
- 1 ホーム画面から、[設定] - [プリンターのお手入れ] - [カッター交換] の順に押します。

カッター交換画面が表示されます。

- 2 [開始] を押してカッターカバーを開けます。



- 3 プラスドライバーでカッターを固定しているネジ 1 本を完全に緩めて、カッターをまっすぐ抜き取ります。

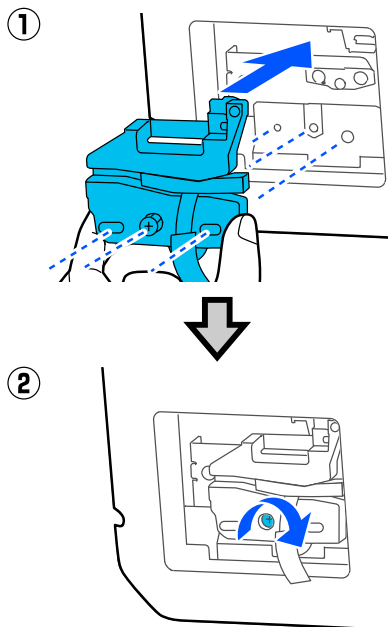


参考

使用済みのカッターは、袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

4 新しいカッターを取り付けます。

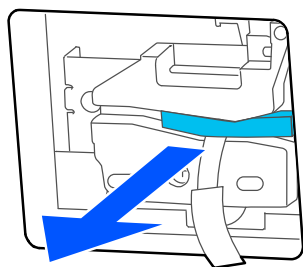
本機側のピンとカッターの穴を合わせて差し込み、プラスドライバーで固定ネジをしっかりと締めます。



！重要

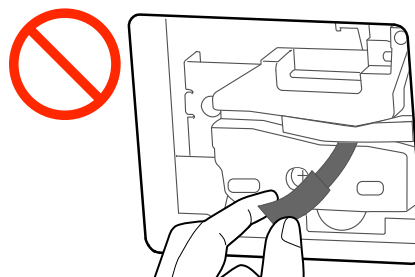
ネジはしっかりと締めてください。カッターが固定されていないと、カット位置がずれたり曲がったりすることがあります。

5 図の保護材を取り外します。



！重要

保護シートは引っ張って取らないでください。



6 [OK] を押します。

カッターが動き、刃に挟まっていた保護シートが外れます。外れた保護シートは必ず取り除いてください。

7 カッターカバーを閉めます。

困ったときは

メッセージが表示されたとき

以下のメッセージが表示されたら、対処方法の記載を確認し必要な処置をしてください。

メッセージ	対処方法
インクカートリッジが認識できません。セットし直してください。	- インクカートリッジを装着し直してください。装着し直しても同じエラーが発生するときは、新しいインクカートリッジと交換してください（不良インクカートリッジは装着しないでください）。 🔗 「インクカートリッジの交換」 163 ページ - 結露している可能性があります。3 時間以上室温で放置してから装着し直してください。 🔗 「インクカートリッジ取り扱い上のご注意」 20 ページ
インクが少なくなりました。	インクが残り少なくなりました。新しいインクカートリッジを用意してください。交換の案内が表示されるまで印刷できます。 🔗 「消耗品とオプション」 187 ページ
メンテナンスボックスの装着状態を確認してください。	メンテナンスボックスを装着し直してください。装着し直しても同じエラーが発生するときは、新しいメンテナンスボックスと交換してください（不良メンテナンスボックスは装着しないでください）。 🔗 「メンテナンスボックスの交換」 166 ページ
メンテナンスボックスの空き容量が不足しているためクリーニングできません。交換の案内が表示されるまで印刷できます。	プリントヘッドのクリーニングで排出される廃インクを溜める分の空き容量がメンテナンスボックスに無いため、クリーニングを実行できません。クリーニングを実行するには新しいメンテナンスボックスに交換してください。取り外したメンテナンスボックスは、クリーニング終了後に再度装着して使用できます。 🔗 「メンテナンスボックスの交換」 166 ページ
原稿が斜めに給紙されたか、原稿サイズを検知できませんでした。原稿をセットし直してください。	- 原稿が斜めになっていないかを確認し、原稿をセットし直してください。 - 長方形でない原稿や先端が直線でない原稿のときは、自動検知できません。 [読み取りサイズ] を [自動検知] から定形サイズ等に変更してください。 - 何回も同じエラーが出るときは以下の項目を確認してください。 [原稿サイズ] または [読み取りサイズ] が [自動検知] に設定されている場合、原稿サイズを正しく読み取らないことがあります。[原稿サイズ] または [読み取りサイズ] を設定してください。 - セットできない原稿を使用している可能性があります。セットできない原稿は以下をご覧ください。 🔗 「セットできない原稿」 95 ページ
コマンドエラー プリンタードライバーの設定を確認してください。	[中止] を押して印刷を中断してください。本機に対応したプリンタードライバーを使用しているか確認してください。
スキャナーエラー 対処方法はマニュアルをご覧ください。	- スキャナーの輸送用固定ロックを解除して、本機とスキャナーの電源を入れ直してください。 - 数回、電源を入れ直してください。エラーが解除されたら、そのまま使えます。 再び同じエラーが発生するときは、お買い求めの販売店またはエプソンのお問い合わせ窓口ご連絡してください。🔗 「お問い合わせ先」 206 ページ

メッセージ	対処方法
Recovery Mode	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 ①コンピューターとプリンターを USB 接続します。 (リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません) ②エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。アップデートの方法についてはファームウェアのダウンロードページをご覧ください。

メンテナンスコール/プリンターエラーが発生したときは

エラーメッセージ	対処方法
メンテナンスコール 部品寿命間近/部品寿命到達 XXXXXXXX	本機の交換部品の交換時期が近付きました。 すぐにお買い求めの販売店またはエプソン修理のお申込窓口にご連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXX」(メンテナンスコール番号)を必ず伝えてください。 エプソン修理のお申込窓口の連絡先  「お問い合わせ先」206 ページ メンテナンスエラーは部品を交換しないと解除されません。そのまま使い続けると、サービスコールが発生します。
プリンターエラー プリンターエラーが発生しました。電源を入れ直してください。詳しくはマニュアルをごらんください。 XXXXXX	電源を切り、電源コードをコンセントと本機の電源コネクターから抜いて、接続し直します。本機の電源を数回入れ直します。 再び同じ番号のプリンターエラーが表示される場合は、お買い求めの販売店またはエプソン修理のお申込窓口にご連絡してください。連絡の際には、「XXXXXX」(プリンターエラー番号)を必ず伝えてください。 エプソン修理のお申込窓口の連絡先  「お問い合わせ先」206 ページ

トラブルシューティング

印刷できない（プリンターが動かない）

電源が入らない

- **電源プラグがコンセントまたは本機から抜けていませんか？**
差し込みが浅くないか、斜めになっていないかを確認し、しっかりと差し込んでください。

- **コンセントに問題がありませんか？**
ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

自動的に電源が切れる

- **自動電源オフを設定していませんか？**
自動的に電源を切りたくないときは設定を「設定しない」にしてください。
☞ [「本体設定 - 基本設定」 127 ページ](#)

プリンタードライバーが正しくインストールされていない（Windows）

- **【デバイスとプリンター】 / 【プリンタ】 / 【プリンタと FAX】 フォルダーに本機のアイコンはありますか？**
 - アイコンがある
プリンタードライバーはインストールされています。次項の「プリンターとコンピューターの接続に異常がある」を確認します。
 - アイコンがない
プリンタードライバーが正常にインストールされていません。プリンタードライバーをインストールしてください。

- **印刷するポートの設定が使用する本機の接続先と合っていますか？**
印刷先のポートを確認します。プリンターのプロパティ画面で【ポート】タブをクリックし、【印刷するポート】を確認します。
 - USB: [USB] xxx（x はポート番号を表す数字）
 - ネットワーク接続: 適切な IP アドレスなど表示がない場合はプリンタードライバーが正しくインストールされていません。プリンタードライバーを削除して、インストールし直してください。
☞ [「ソフトウェアの削除」 27 ページ](#)

プリンタードライバーが正しくインストールされていない（Mac）

- **本機がプリンターリストに追加されていますか？**
アップルメニュー - 【システム環境設定】 - 【プリントとスキャン】（または【プリントとファクス】）の順にクリックします。
プリンター名が表示されないときは、プリンターを追加してください。
☞ [「本機専用プリンタードライバーの選択方法」 53 ページ](#)

プリンターとコンピューターの接続に異常がある

- **ケーブルが外れていませんか？**
プリンター側のポートとコンピューター側のコネクタにインターフェースケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

- **コンピューターの仕様が、それぞれのケーブルの接続条件を満たしていますか？**
インターフェースケーブルの型番・仕様を確認し、コンピューターの種類や本機の仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。
☞ [「システム条件」 199 ページ](#)

- **USB ハブを使用している場合、使い方は正しいですか？**
USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機はコンピューターに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。お使いのハブによっては動作が不安定になることがあります。動作が不安定なときは、コンピューターの USB コネクタに USB ケーブルを直接接続してください。

- **USB ハブが正しく認識されていますか？**
コンピューターで USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピューターの USB ポートから、USB ハブを全て外してから、本機の USB ポートとコンピューターの USB ポートを直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、USB ハブのメーカーにお問い合わせください。

ネットワーク環境下で印刷ができない

- **ネットワークの設定は正しいですか？**
ネットワークの設定については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

- **本機とコンピューターを USB 接続して、印刷してみてください。**
USB の接続で印刷ができるのであれば、ネットワークの設定に問題があります。
システム管理者に相談するか、お使いのシステムのマニュアルをご覧ください。

iPhone や iPad から印刷できない

- **以下を確認してください。**
 - iPhone や iPad をプリンターと同じネットワーク (SSID) に接続してください。
 - Web Config で AirPrint の設定を有効にしてください。
[🔗「Web Config の使い方」25 ページ](#)

プリンター側でエラーが発生している

- **操作パネルの画面のメッセージで確認します。**
[🔗「メッセージが表示されたとき」169 ページ](#)

印刷が中断されている

- **印刷キューのステータスが「一時停止」になっていませんか？ (Windows)**
印刷途中で印刷を中断したときや何らかのトラブルで印刷が停止したときは、印刷キューのステータスが「一時停止」になります。このままの状態では印刷を実行しても印刷されません。
[デバイスとプリンター] / [プリンタ] / [プリンタと FAX] フォルダーの本機のアイコンをダブルクリックし、プリンターが一時停止状態の場合は [プリンタ] メニューの「一時停止」をクリックしてチェックを外します。
- **印刷のステータスが「一時停止」になっていませんか？ (Mac)**
ご使用のプリンターの印刷状況を確認する画面を表示して、一時停止の状態でないことをご確認ください。
① [アップル] メニュー - [システム環境設定] - [プリントとスキャン] (または [プリントとファクス]) - [プリントキューを開く] の順にクリックします。
② 状況が「一時停止中」と表示されているプリンターがあるときは、そのプリンターをダブルクリックします。
③ [プリンタを再開] をクリックします。

あてはまるトラブル状態がない

- **プリンタードライバーのトラブルか、アプリケーションソフトのトラブルか判断してください。 (Windows)**
プリンタードライバーから印字テストすることにより、本機とコンピューターの接続、およびプリンタードライバーの設定が正しいかどうかを確認できます。
① 本機が印刷可能状態であること (電源が入っていること) を確認し、本機に A4 サイズ以上の用紙をセットします。
② [デバイスとプリンター] / [プリンタ] / [プリンタと FAX] フォルダーを開きます。
③ 本機のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] を選択します。
④ プロパティ画面で [全般] タブを選択し、[テストページの印刷] をクリックします。

しばらくすると、テストページの印刷が始まります。
 - テストページが正しく印刷されたときは、本機とコンピューターの設定は正常です。続いて本書の次の確認項目へ進んでください。
 - テストページが正しく印刷されないときは、本書のここまでの項目を再度確認してください。
[🔗「印刷できない \(プリンターが動かない\)」171 ページ](#)
 テストページに記載されている「ドライバーバージョン」とは Windows 内部のドライバーのバージョンです。お客様がインストールされた当社のプリンタードライバーのバージョンとは異なります。

プリンターは動くが印刷されない

プリンタードライバーから印刷できない

- **Mac のプリンタードライバーで「印刷プレビュー」を選択していませんか？**
アプリケーションソフトによっては「印刷プレビュー」を有効にしていると、印刷できない場合があります。お使いのアプリケーションソフトによっては、印刷開始時にエラーメッセージが表示されることがあります。印刷設定画面で「印刷プレビュー」を無効にしてください。

その他

- **本機の動作確認をしてください。**
ノズルチェックパターンを印刷してください。
[🔗「プリントヘッドの目詰まりチェックとクリーニング」162 ページ](#)
ノズルチェックパターンが印刷できれば、プリンターは故障していません。次項をご確認ください。

■ **操作パネルの画面に【モーター自動調整中】というメッセージが表示されていませんか？**

内部のモーターを調整していますので、電源を切らずにそのままお待ちください。

印刷品質/印刷結果のトラブル

以下のような印刷品質トラブルが起きたときは、このページのフローに従って対処します。

横または、縦のスジが入る

罫線が二重になる・文字がゆがむ

しわ・こすれ・色ムラが生じる



enthalten alle
Aufdruck. W
↓ 5008 "Regel



用紙の確認

- 本機で使用する用紙か、また用紙にしわや折り目、反りがなければ確認してください。
 - ☞ [「エプソン製専用紙」 187 ページ](#)
 - ☞ [「使用可能な市販用紙」 192 ページ](#)
 - ☞ [「用紙セット時のご注意」 28 ページ](#)
- 用紙種類の設定がセットした用紙に合っているか確認し、違っていたら変更してください。
 - ☞ [「セットした用紙の設定」 39 ページ](#)



印刷結果が改善されないとき

用紙調整の実施

- セットしている用紙に合わせて用紙設定が最適化されます。
- ☞ [「用紙設定の最適化（用紙調整）」 43 ページ](#)



印刷結果が改善されないとき

プリントヘッドの目詰まり 確認とクリーニングの実施

- プリントヘッドのノズルが目詰まりしていないか確認し、目詰まりしていたらクリーニングをしてください。
- ☞ [「プリントヘッドの目詰まりチェックとクリーニング」 162 ページ](#)



続けて 3 回繰り返してもノズルの目詰まりが改善されないとき

強力ヘッドクリーニングの 実施

- 「強力ヘッドクリーニング」を実施してください。
- ☞ [「強力ヘッドクリーニング」 163 ページ](#)

その他の印刷品質トラブルや解決方法については次ページ以降をご覧ください。

インクがボタ落ちする



■ プリントヘッドのノズルが詰まっていますか？

プリントヘッドのクリーニングをしてください。本機のメニューで、[設定] - [プリンターのお手入れ] - [プリントヘッドのクリーニング] の順に押します。

図面の細かい線などが印刷されない

■ 解像度などの設定は適切ですか？

以下の対処方法をお試しください。

- お使いのアプリケーションソフトで解像度を 600dpi に設定する。
- データの用紙サイズがプリンタードライバーの原稿サイズで正しく設定されているか確認し、違っていたら正しいサイズに変更する。
- PDF のときは、PDF を作成した元データから直接印刷する。
- プリンタードライバーで [スムージング (文字/輪郭)] にチェックを入れる。
[スムージング (文字/輪郭)] は、基本設定画面の印刷品質欄で簡易設定のチェックを外すと表示されます。

オートシートフィーダーから印刷したときに縦ムラが発生する

■ オートシートフィーダーのローラーが汚れていませんか？

ローラーの汚れが原因で印刷結果に縦方向の色ムラが発生することがあります。ローラーを清掃してみてください。光沢紙に縦ムラが発生するときは、オートシートフィーダーではなく、単票紙 (1 枚) から 1 枚ずつ給紙して印刷することをお勧めします。

☞「オートシートフィーダーから印刷したときにこすれ汚れが付く」177 ページ

☞「単票紙 (1 枚) のセット方法」37 ページ

色味がおかしい/薄い/濃い

色味がおかしい/ 薄い/ 濃い場合は、以下のフローに従って対応してください。

☞「印刷品質/印刷結果のトラブル」174 ページ

それでも解決しないときは以下の項目を確認してください。

■ 【インク濃度】の設定は適切ですか？

線画図面の線などが薄いと感じるときは、プリンタードライバーの拡張設定画面で [用紙調整] をクリックし、インクの濃度を上げてみてください。

逆にトレーシングペーパーでインクが濃すぎるときはインク濃度を下げるか、本機の用紙種類の設定で [トレーシングペーパー<薄手>] を選択して印刷してみてください。

■ インクカートリッジは推奨品（当社純正品）を使用していますか？

本機は、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インク残量が正常に検出できなくなったりして色合いが変わることがあります。必ず正しいインクカートリッジを使用してください。

■ 古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が低下します。新しいインクカートリッジに交換してください。インクカートリッジは、個装箱に記載されている有効期限内（本機に装着後は 6 カ月以内）に使い切ることをお勧めします。

■ 印刷品質設定を変更してみましたか？

プリンタードライバーの [基本設定] - [印刷品質] で、[最高品質で印刷する] にチェックを入れて印刷してみてください。チェックが入っていないときは速度優先になっており、速度と引き替えに印刷品質が多少低下することがあります。

■ カラーマネジメントしていますか？

カラーマネジメントをしてみてください。

☞「カラーマネジメント印刷」69 ページ

■ ディスプレイの表示と印刷結果を比較していませんか？

ディスプレイ表示と本機で印刷したときの色とでは、発色方法が異なるため、色合いに差異が生じます。

■ 印刷中に前面カバーを開けませんでしたか？

印刷中に前面カバーを開けると、プリントヘッドが緊急停止するため色ムラが発生します。印刷中は前面カバーを開けないでください。

他機種と色味が異なる

- **製品の特性により機種ごとに色味が異なります。**
使用するインクやプリンタードライバー、プリンタープロファイルなどが機種ごとに異なるため、印刷結果の色味も機種ごとに異なります。
プリンタードライバーで色補正方法や、ガンマの設定値を同じにすることで、色味を近づけることができます。
🔗 [「色補正して印刷」 65 ページ](#)

印刷位置がずれる/はみ出す

- **印刷範囲を指定していますか？**
アプリケーションソフトやプリンターの設定で印刷範囲の確認をしてください。

- **【原稿サイズ】の設定は正しいですか？**
セットした用紙のサイズと、プリンタードライバーの【原稿サイズ】または【用紙サイズ】が合っていないと、印刷位置がずれたり、データの一部が印刷されなかったりします。印刷設定を確認してください。

- **用紙が斜行していませんか？**
プリンター設定メニューの【斜行エラー検出】が【オフ】になっていると用紙が斜行していても印刷してしまう、印刷領域からはみ出します。プリンター設定メニューで【斜行エラー検出】を【オン】に設定してください。
🔗 [「本体設定 - プリンター設定」 129 ページ](#)

- **ロール紙の余白設定を広く設定していませんか？**
ロール紙の【用紙の詳細設定】 - 【先端/後端余白】メニューで設定している余白よりも狭い余白をアプリケーションソフトで設定しているときは、本機の設定が優先されます。
🔗 [「ロール紙メニュー」 122 ページ](#)

罫線が左右にガタガタになる

- **用紙調整をしましたか？**
用紙に合った用紙種類の設定が選択されていることを確認し、用紙調整を実施してください。
🔗 [「セットした用紙の設定」 39 ページ](#)
🔗 [「用紙設定の最適化（用紙調整）」 43 ページ](#)

- **用紙調整をしても同じ現象が起こりますか？**

プリンタードライバーの基本設定画面で、印刷品質欄-【簡易設定】のチェックを外します。【レベル】 - 【高精細】を選択し、【双方向印刷】のチェックを外して印刷してください。
ただし印刷に時間がかかることがあります。
双方向印刷はプリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するもので、プリントヘッドのズレ（ギャップ）があると罫線がずれて印刷されることがあります。

印刷面がこすれる/汚れる

- **用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？**

本機で使用できる仕様の用紙かどうかを確認してください。
🔗 [「エプソン製専用紙一覧」 189 ページ](#)
🔗 [「使用可能な市販用紙」 192 ページ](#)

- **用紙にしわや折り目がありませんか？**
古い用紙や折り目のある用紙は使用しないでください。新しい用紙を使用してください。

- **用紙が波打ったり、反ったりしていませんか？**

用紙が温度や湿度などの環境の変化により波打ったり反ったりすると、こすれの原因になります。以下の点を守ってください。

- 用紙は、印刷直前にセットする。
- 波打ったり反ったりした用紙を使用しない。
ロール紙は、波打ったり反ったりしている部分を切り取って、セットし直してください。
単票紙は、新しい用紙をお使いください。
🔗 [「用紙セット時のご注意」 28 ページ](#)

- **プリントヘッドが印刷面をこすっていますか？**

こすれ軽減機能を有効にして印刷してみてください。ホーム画面から【設定】 - 【プリンター設定】 - 【こすれ軽減】 - 【する】の順に押し設定します。
こすれ軽減機能を有効にしてもこすれが改善しないときは、ユーザー用紙として登録し、プラテンギャップ設定を数値が一番大きい設定値に変更してみてください。
ユーザー用紙の登録は、【設定】 - 【本体設定】 - 【プリンター設定】 - 【ユーザー用紙設定】で行います。
🔗 [「本体設定 - プリンター設定」 129 ページ](#)
プラテンギャップ設定は、ホーム画面のロール紙情報欄-【用紙の詳細設定】 - 【プラテンギャップ設定】で行います。
🔗 [「ロール紙メニュー」 122 ページ](#)

■ **プリントヘッドが用紙の先端をこすっていませんか？**

ロール紙で先端にこすれ汚れが発生するときは、ホーム画面のロール紙情報欄 - [用紙の詳細設定] - [先端/後端余白] の順に押し、先端が 45 mm の設定に変更して印刷してみてください。

■ **プリントヘッドが用紙の後端をこすっていませんか？**

用紙によっては使用環境や保存環境、印刷データの内容によって印刷面の下端がこすれて跡が残ることがあります。このようなときは、後端の余白を多めに取ってデータを作成してください。

ロール紙でも単票紙でも印刷面に同じようなこすれ汚れが付く

以下の手順で普通紙を給排紙してローラーの汚れをふき取ります。

1 本機の電源を入れて、最大印刷幅のロール紙をセットします。

🔗 [「ロール紙のセット方法」29 ページ](#)

2 ホーム画面から [用紙設定] - [ロール紙] - [用紙送り/カット] の順に押します。

3 用紙に汚れが付かなくなるまで (送る) ボタンを押し続けます。

 (送る) ボタンを押している間、紙送りされます。用紙に汚れが付かなくなったら、ローラーの清掃は終了です。

4 (カット) ボタンを押して用紙をカットします。

オートシートフィーダーから印刷したときにこすれ汚れが付く

オートシートフィーダーから給紙して印刷したときに、印刷面に汚れが付いたり、色ムラが発生することがあります。特に光沢紙を使用したときに発生します。光沢紙で縦方向に汚れが付くときは、オートシートフィーダーではなく、単票紙 (1 枚) から 1 枚ずつ給紙して印刷することをお勧めします。

🔗 [「単票紙 \(1 枚\) のセット方法」37 ページ](#)

以下の手順で普通紙を給排紙してオートシートフィーダーのローラーの汚れをふき取ります。

1 本機の電源を入れて、オートシートフィーダーに A3 サイズの普通紙を数枚セットします。

🔗 [「オートシートフィーダーへの用紙のセット方法」34 ページ](#)

2 ホーム画面から、[設定] - [プリンターのお手入れ] - [内部ローラークリーニング] の順に押します。

3 [開始] を押します。

用紙が排紙されます。

4 排紙された用紙に汚れが付いているか確認します。

- 汚れがあるとき：用紙に汚れが付かなくなるまで繰り返し [再実行] を押します。
- 汚れがないとき：[終了] を押してローラーのクリーニングを終了します。

用紙にしわが発生する

■ **一般の室温環境下で使用していますか？**

エプソン製の専用紙は一般の室温環境下 (温度: 15 ~ 25℃、湿度 40 ~ 60%) で使用してください。また、エプソン製以外の薄紙など使用方法に注意が必要な用紙については、用紙のマニュアルをご覧ください。

■ **ロール紙の両端とフランジの間に隙間がありませんか？**

ロール紙の両端にスピンドルのフランジが隙間なくぴったりと装着されているか確認してください。隙間があると用紙が斜めに給紙されてしわになることがあります。

🔗 [「ロール紙のセット方法」29 ページ](#)

■ **用紙調整をしましたか？**

用紙種類の設定がお使いの用紙に合っていることを確認して、用紙調整を実施してください。

🔗 [「セットした用紙の設定」39 ページ](#)

🔗 [「用紙設定の最適化 \(用紙調整\)」43 ページ](#)

■ ロール紙のバックテンションが弱くありませんか？

ロール紙でしわが発生するときは、バックテンションを高く設定してみてください。ロール紙情報欄 - [用紙の詳細設定] - [バックテンション] で [高い] または [より高い] を選択します。

印刷した用紙の裏側が汚れる

■ 印刷面のインクは乾いていますか？

印刷の濃さや用紙種類によっては、インクが乾きにくいことがあります。印刷面が乾いてから用紙を重ねてください。

また、本機の [ロール紙] - [用紙の詳細設定] - [乾燥時間] - [ページごとの乾燥時間] で乾燥時間を長めに設定すると、印字後の処理（排紙・カット）を停止させ、自然に乾燥するのを待つことができます。

☞ [「ロール紙メニュー」122 ページ](#)

文字・線・画像がにじむ

■ 【用紙種類】の設定は正しいですか？

本機で設定されている用紙種類がお使いの用紙に合っているか、またプリンタードライバーの用紙種類設定が [プリンターの設定に従う] になっているか確認してください。用紙ごとにインクの吐出量をコントロールしているため、セットした用紙と異なる設定で印刷すると、インクが過剰な状態で印刷されることがあります。

☞ [「セットした用紙の設定」39 ページ](#)

■ 【インク濃度】の設定は適切ですか？

プリンタードライバーの拡張設定画面で [用紙調整] をクリックし、インクの濃度を下げてください。用紙によって、インクが過剰な状態で印刷されることがあります。ブラックとカラーの濃度を同じように下げることをお勧めします。

■ トレーシングペーパーに印刷していますか？

インクが出すぎるときは、プリンタードライバーの拡張設定画面で [用紙調整] をクリックし、インク濃度を下げてください。または、[用紙種類] を [トレーシングペーパー<薄手>] に変更することで、改善されることがあります。

給紙ミス/排紙のトラブル

給紙・排紙がうまくできない

■ 用紙のセット位置は正しいですか？

用紙を正しい位置にセットしてください。

☞ [「ロール紙のセット方法」29 ページ](#)

☞ [「オートシートフィーダーへの用紙のセット方法」34 ページ](#)

☞ [「単票紙（1枚）のセット方法」37 ページ](#)

■ 用紙のセット方向は正しいですか？

単票紙は、縦長にセットします。正しい向きにセットしないと、用紙が認識されず、エラーが発生することがあります。

☞ [「オートシートフィーダーへの用紙のセット方法」34 ページ](#)

☞ [「単票紙（1枚）のセット方法」37 ページ](#)

■ 用紙にしわや折り目がありませんか？

古い用紙や折り目のある用紙は使用しないでください。新しい用紙を使用してください。

■ 用紙が湿気を含んでいませんか？

湿気を含んだ用紙は使用しないでください。また、エプソン製の専用紙は、使う分だけ袋から出してください。長期間放置しておくと、用紙が反ったり、湿気を含んだりして正常に給紙できない原因となります。

■ 用紙が波打ったり、反ったりしていませんか？

用紙が温度や湿度などの環境の変化により波打ったり反ったりすると、用紙サイズを正しく検知できないことがあります。

以下の点を守ってください。

- 用紙は、印刷直前にセットする。
- 波打ったり反ったりした用紙を使用しない。
ロール紙は、波打ったり反ったりしている部分を切り取って、セットし直してください。
単票紙は、新しい用紙をお使いください。

☞ [「用紙セット時のご注意」28 ページ](#)

■ ロール紙の両端が不ぞろいになっていませんか？

左右の端が不ぞろいなロール紙をセットすると、用紙送り不良が生じ印刷中に用紙が蛇行する原因となります。端がそろるように巻き直してから使用するか、問題のないロール紙を使用してください。

☞ [「用紙セット時のご注意」28 ページ](#)

■ **用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？**

本機で利用できる仕様の用紙が確認してください。

☞ 「エプソン製専用紙」 187 ページ

☞ 「使用可能な市販用紙」 192 ページ

■ **一般の室温環境下で使用していますか？**

エプソン製の専用紙は一般の室温環境下（温度：15～25℃、湿度 40～60％）で使用してください。また、エプソン製以外の用紙については、用紙のマニュアルをご覧ください。

■ **用紙が詰まっていますか？**

本機の前面カバーを開け、本機に異物が入っていないか、紙詰まりがないかを調べてください。用紙が詰まっているときは、以降の「ロール紙が詰まった」、「単票紙が詰まった」をご覧ください。を取り除いてください。

排紙バスケット内に入らない・しわが寄る・折れる

■ **インク密度の高い印刷データや室温が高めの環境で印刷していませんか？**

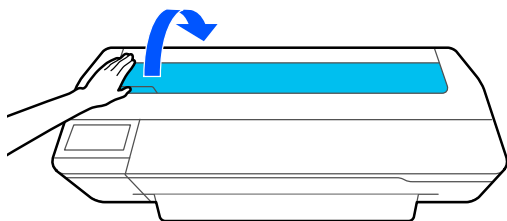
印刷するデータや使用環境によっては、正しく排紙バスケットに収容できないことがあります。状態により、以下の対処をしてください。

- ・排紙バスケット内に用紙が入らないとき：排紙された用紙を手で排紙バスケット内に軽く押し込んでください。
- ・自動カット後用紙が折れる：手動カットに切り替えて、カット直後に用紙の両端を手で受けとってください。
- ・用紙にしわが寄りうまく収容できない：排紙バスケットを収納した状態で印刷します。排紙された用紙が床と接触する前に、排紙口付近で用紙両端を手で持ち、そのまま軽く持ち上げた状態で、印刷が終了するまで保持してください。

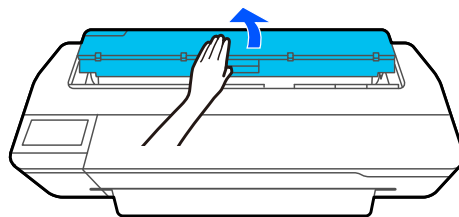
ロール紙が詰まった

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

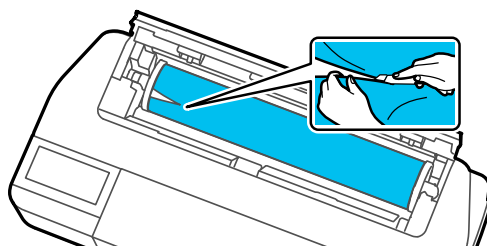
1 単票紙カバーを開けます。



2 中央のロックを解除してロール紙カバーを開けます。

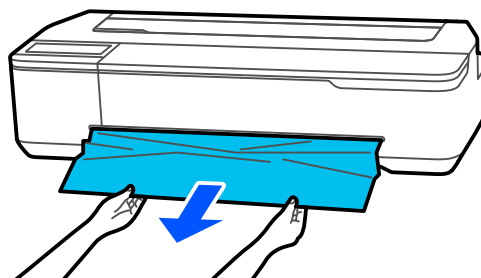


3 用紙の破れたりしわになったりしている部分の上部を市販のカッターで切り取ります。

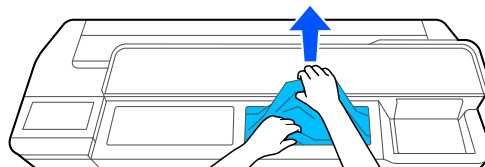


4 ロール紙カバーと単票紙カバーを閉めます。

5 前面に用紙が出ているときは、用紙を両手で持って、ゆっくりと手前に引っ張って取り出します。



6 前面カバーを開け、詰まっている用紙を取り除いて前面カバーを閉めます。



！重要

プリントヘッドに触れないでください。プリントヘッドに手を触れると静電気の影響で誤動作することがあります。

- 7** 画面に「電源を入れ直してください。」と表示されたときは、本機の電源を切ってから、入れ直してください。

用紙を取り除き終わったら、用紙をセットし直して印刷を再開します。

🔗 [「ロール紙のセット方法」29 ページ](#)

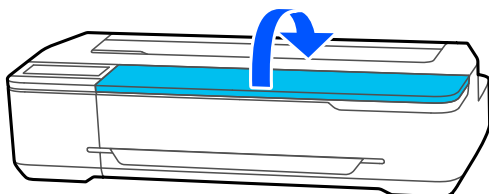
！重要

ロール紙は、再セットする前に先端をまっすぐ水平になるようにカットしてください。波打ったりしわになっている部分はカットしてください。
先端にしわなどがあると、給紙ができなかったり、紙詰まりになったりします。

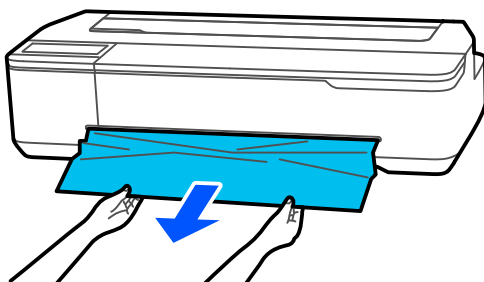
単票紙が詰まった

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

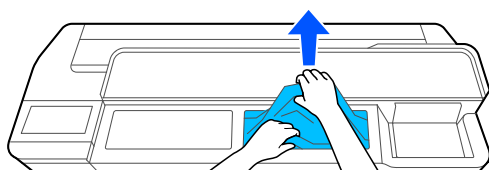
- 1** 前面カバーを開けます。



- 2** 前面に用紙が出ているときは、用紙を両手で持って、ゆっくりと手前に引っ張って取り出します。



- 3** 詰まった用紙を取り除き、前面カバーを閉めます。



！重要

プリントヘッドに触れないでください。プリントヘッドに手を触れると静電気の影響で誤動作することがあります。

- 4** 画面に「電源を入れ直してください。」と表示されたときは、本機の電源を切ってから、入れ直してください。

用紙を取り除き終わったら、用紙をセットし直して印刷を再開します。

🔗 [「オートシートフィーダーへの用紙のセット方法」34 ページ](#)

🔗 [「単票紙（1枚）のセット方法」37 ページ](#)

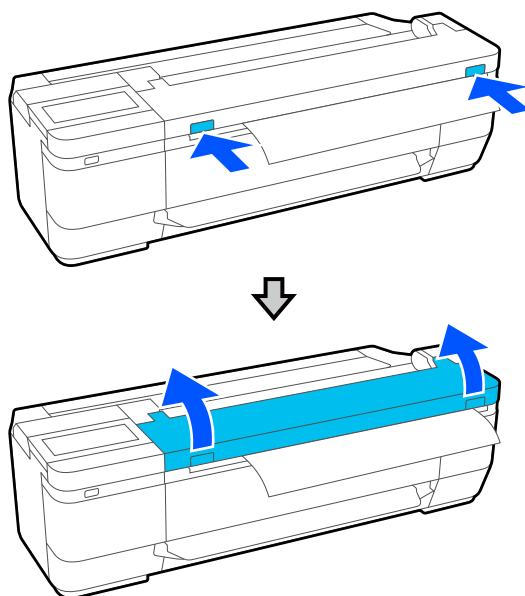
原稿が詰まった（SC-T5150M/SC-T3150Mのみ）

以下の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

⚠ 注意

スキャナーカバーの開閉の際は、カバーと本体との接合部（継ぎ目）に手を近付けないでください。指や手を挟んで、けがをするおそれがあります。

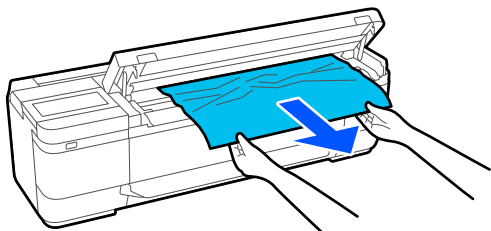
- 1** スキャナーカバーを開けます。



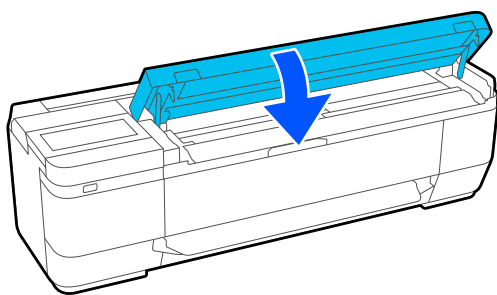
！重要

スキャナーカバーには寄りかかったり、物を置いたりしないでください。

- 2** 詰まった原稿を取り除きます。



- 3** スキャナーカバーを閉めます。



その他

操作パネルの画面表示が消える

- **スリープモードになっていませんか？**
印刷ジョブを受信したり、操作パネルの画面を押すと解除されます。スリープモードに移行する時間は基本設定メニューで変更できます。
🔗 [「本体設定 - 基本設定」 127 ページ](#)

モノクロモードで印刷、もしくは黒データで印刷しているがカラーのインクの減りが早い

- **カラーインクは、モノクロモードや黒データの印刷でも消費されることがあります。**
- **プリントヘッドクリーニングではカラーインクも消費されています。**
[プリントヘッドのクリーニング] や [強力ヘッドクリーニング] を実行すると、モノクロモードを選択していても全色のインクが消費されます。

用紙がきれいに切り取れない

- **カッターを交換してください。**
用紙がきれいに切り取れなくなったときやカット部が毛羽立つときには、カッターを交換してください。
🔗 [「カッターの交換」 167 ページ](#)

本体内部が光っている

- **この状態は故障ではありません。**
プリンター内部のランプです。

管理者パスワードを忘れた

- 設定した管理者パスワードを忘れたときは、エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。
🔗 [「お問い合わせ先」 206 ページ](#)

自動でプリントヘッドのクリーニングが実施される

- 良好な印刷を保つために、電源を入れたときや印刷開始前などに自動でプリントヘッドのクリーニングが実施されることがあります。

停電などで本機の電源が切れた

- **本機の電源を入れ直してください。**
正常に電源を切らないと、プリントヘッドがキャッピングされないことがあります。キャッピングせずに長時間放置すると、印刷不良の原因となります。
本機の電源を入れ直して、しばらくすると自動的にキャッピングが行われます。

コピー/スキャン時のトラブル (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)

スキャン・コピー時にスジが入る



以下の手順で、スキャナー内部の清掃をしてください。スキャナーのガラス面や白い板にホコリや汚れが付いていると、コピー結果やスキャン画像に不要なスジや線が付く原因となります。

汚れがひどいときは、オプションのクリーニングキットを使用してください。クリーニングクロスに少量のクリーナーを含ませて汚れを拭き取ります。

🔗「消耗品とオプション」187 ページ

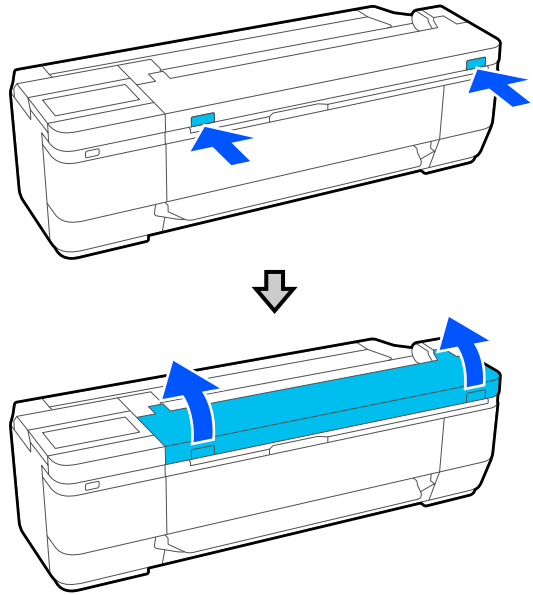
⚠ 注意

スキャナーカバーの開閉の際は、カバーと本体との接合部（継ぎ目）に手を近付けないでください。指や手を挟んで、けがをするおそれがあります。

❗ 重要

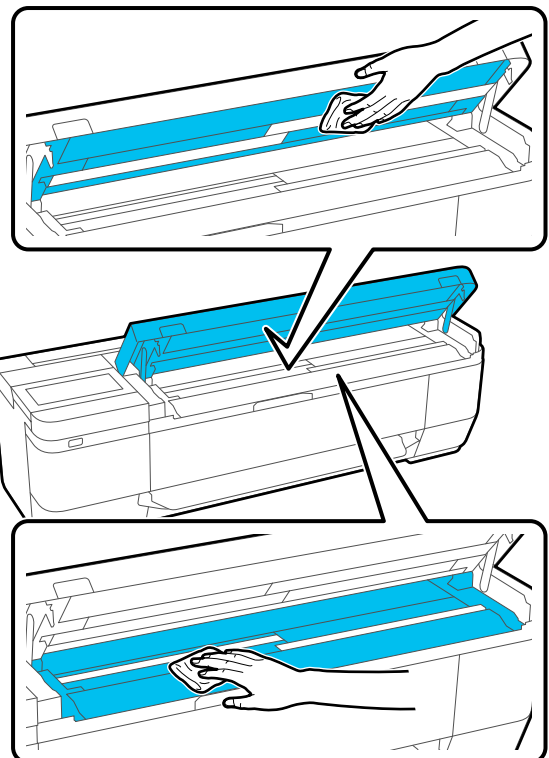
- アルコールやシンナーなどの揮発性薬品は使用しないでください。変形や変色のおそれがあります。
- スキャナーに液体をかけたり、潤滑剤などを直接スプレーしたりしないでください。装置や回路が損傷して、正常に動作しなくなるおそれがあります。

1 スキャナーカバーを開けます。



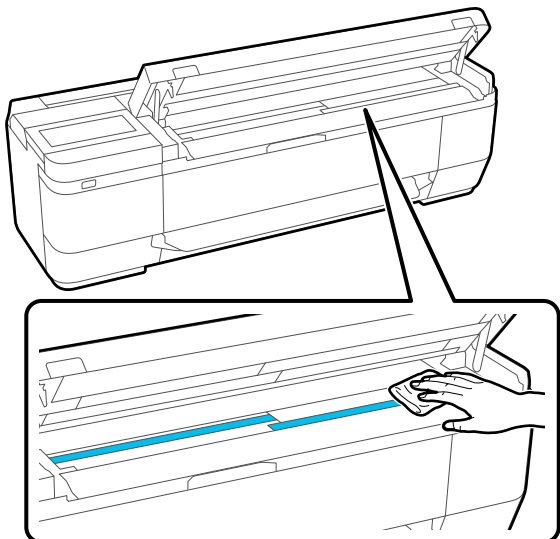
2 柔らかい布を使って、ホコリや汚れ、紙粉（白い粉のようなもの）を拭き取ります。

下図の水色の部分を丁寧に拭きます。



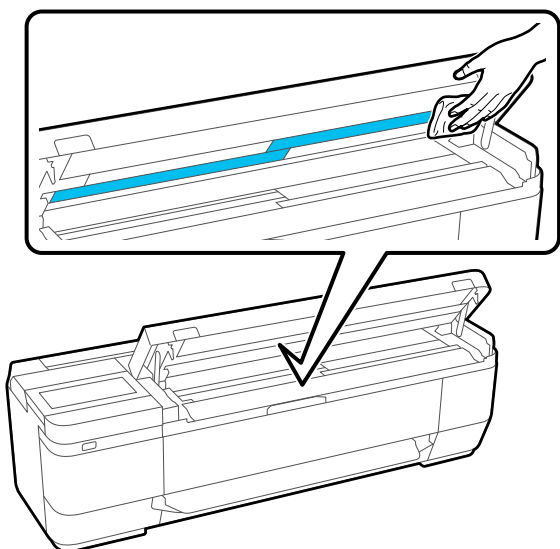
- 3** 柔らかい布のきれいな面またはクリーニングキットを使って、白い板（下図の水色の部分）を丁寧に拭きます。

SC-T5150M には白い板が 3 カ所あります。全て清掃してください。



- 4** 柔らかい布のきれいな面またはクリーニングキットを使って、ガラス面を拭きます。

SC-T5150M にはガラス面が 3 カ所あります。全て清掃してください。



！重要

- ガラス面に強い力をかけないでください。
- ブラシや硬いものを使用しないでください。ガラス面に傷が付くと、スキャン品質に影響します。
- ガラス面にクリーナーを直接スプレーしないでください。

- 5** 清掃が終了したらスキャナーカバーを閉めます。

！重要

ホコリが侵入するのを防ぐため、清掃終了直後にスキャナーカバーを閉めてください。

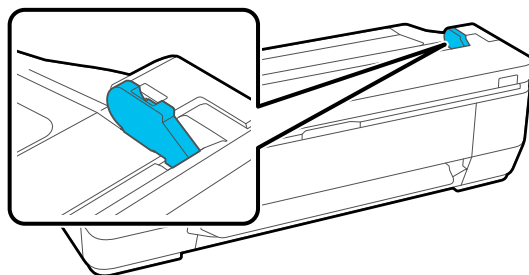
原稿の給紙がうまくできない

原稿の右側のセット位置が合っていないと、給紙がうまくできません。

オプションのキャリアシートを使用しないときは、原稿ガイドが必要です。原稿ガイドがセットされているか確認してください。

オプションのキャリアシートを使用するときは、原稿ガイドを取り外します。

オプションのキャリアシートを使用しないとき



原稿ガイドがセットされているときは、以下の項目を確認してください。それでも給紙がうまくできないときは、

〔原稿サイズ〕または〔読み取りサイズ〕を〔自動検知〕から定形サイズ等に変更してください。

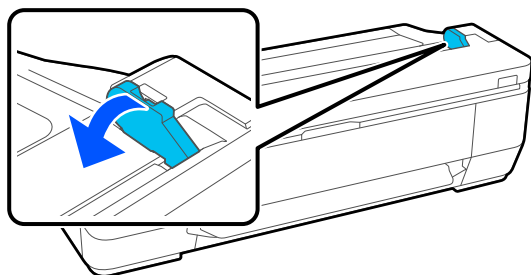
- **原稿が斜めにセットされていませんか？**
原稿をセットし直してください。原稿が斜めにセットされていると給紙がうまくできません。

- **原稿が折れていませんか？**
原稿の折れている部分を戻してください
〔原稿サイズ〕 / 〔読み取りサイズ〕で〔自動検知〕を設定しているときに、原稿が折れていると、原稿の幅が正しく読み取れないことがあるため、給紙がうまくできないことがあります。

- **スキャナー内部を清掃してください。**
[原稿サイズ] / [読み取りサイズ] で [自動検知] を設定しているときに、原稿の幅が正しく読み取れないことがあるため、給紙がうまくできないことがあります。スキャナー内部の清掃方法 [「スキャン・コピー時にスジが入る」182 ページ](#)

- **セットできない原稿を使用している可能性があります。**
セットできない原稿は以下をご覧ください。
[「セットできない原稿」95 ページ](#)

オプションのキャリアシートを使用しているとき



原稿ガイドを取り外してから、原稿をセットします。

- **原稿が斜めにセットされていませんか？**
原稿をセットし直してください。原稿が斜めにセットされていると給紙がうまくできません。

原稿サイズまたは読み取りサイズが正しく認識されない/スキャンした画像が欠ける

- **[原稿サイズ] または [読み取りサイズ] が [自動検知] に設定されていませんか？**
[原稿サイズ] または [読み取りサイズ] を [自動検知] に設定していると原稿サイズを正しく読み取らないことがあります。[原稿サイズ] または [読み取りサイズ] を設定してください。

- **スキャナー内部の清掃をしてください。**
スキャナーのガラス面や白い板にホコリや汚れが付いていると、原稿サイズが正しく認識されない場合があります。以下の項目をご覧ください。同じ手順で清掃してください。
[「スキャン・コピー時にスジが入る」182 ページ](#)

コピー結果がロール紙幅に拡大されない

- **コピー倍率が [オートフィット] - [オン] に設定されていませんか？**
コピーメニューの [倍率] で [オートフィット] を [オン] に設定していると、スキャナーが原稿サイズを正しく読み取らずロール紙幅に合わせた印刷結果にならないことがあります。[応用設定] - [原稿サイズ] でセットした原稿のサイズを指定してください。

スキャンした画像がずれる

- **原稿のセット方向を変えてください。**
原稿のセット方向を変えるとスキャン結果が改善することがあります。

- **原稿がカールしていませんか？**
原稿がカールしているときは、原稿を伸ばして平らにしてからスキャンしてください。

- **[つなぎ目補正] をしてみてください。**
[つなぎ目補正] をすると、スキャン結果が改善することがあります。
[「つなぎ目補正」185 ページ](#)

- **オプションのキャリアシートを使用してみてください。**
キャリアシートに原稿を挟むとしわが伸ばされて、スキャン結果が改善することがあります。

スキャンした画像がぼやける

- **[つなぎ目のスムージング] を [オン] にしていませんか？**
[つなぎ目のスムージング] を [オン] にしていると、スキャンのつなぎ目で文字や線がぼやけることがあります。気になるときは、ホーム画面から [設定] - [スキャン設定] - [原稿読み取り設定] - [つなぎ目のスムージング] の順に押し、設定を [オフ] にしてください。

- **[つなぎ目補正] をしてみてください。**
スキャンのつなぎ目がズレていると、つなぎ目にかかった文字や線がぼやけたりかすれたりすることがあります。
[「つなぎ目補正」185 ページ](#)

スキャンした画像に原稿の色（背景色）が残る、しわの影が出る

■ オプションのキャリアシートを使用していないませんか？

キャリアシートを使用してスキャンすると、スキャン結果に背景色が残ったり、しわの影が出ることがあります。気になるときは、以下の手順で「背景除去」を調整してみてください。

• コピーのとき

ホーム画面で「コピー」 - 「基本設定」 - 「詳細画質調整」 - 「背景除去」 - 「自動」で「オフ」を選択し、-4〜4でプラス方向に設定します。

📖 「コピーメニュー（SC-T5150M/SC-T3150Mのみ）」150 ページ

• スキャンで保存先をメール、またはフォルダーにしているとき

ホーム画面で「スキャン」を選択し、保存先によって「メール」、「フォルダー」のいずれかを選択します。「スキャン設定」 - 「詳細画質調整」 - 「背景除去」 - 「自動」で「オフ」を選択し、-4〜4でプラス方向に設定します。

📖 「スキャンメニュー（SC-T5150M/SC-T3150Mのみ）」153 ページ

• スキャンで保存先を外部メモリーにしているとき

ホーム画面で「スキャン」 - 「応用設定」 - 「詳細画質調整」 - 「背景除去」 - 「自動」で「オフ」を選択し、-4〜4でプラス方向に設定します。

📖 「スキャンメニュー（SC-T5150M/SC-T3150Mのみ）」153 ページ

原稿送り補正

コピーやスキャンしたファイルの印刷結果や原稿の長さが合っていないと感じるときは、以下の手順で原稿送り補正を行います。出来上がりの長さを縮めたいときはマイナス方向に、長くしたいときはプラス方向に設定します。長さの差は、印刷で使用する用紙の種類により生じることがあります。

1 ホーム画面で「設定」を押します。

2 「本体設定」 - 「スキャン設定」 - 「原稿読み取り設定」 - 「原稿送り補正」の順に押します。

補正值設定画面が表示されます。補正值は%表示です。

3 「-」、「+」を押して目的の補正值を表示させるか、補正值入力部を押して、キーパッド画面で補正值を入力します。

補正值は以下のように割り出します。

例) 原稿の長さ：50cm、印刷結果：50.1cm のとき
 $50/50.1 \times 100 - 100 = -0.1996$ 小数点第2位で四捨五入
 補正值：-0.2

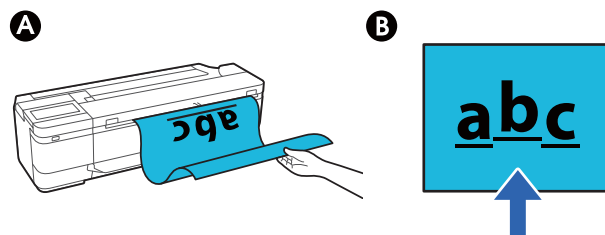
4 「OK」を押します。

つなぎ目補正

下図のように原稿（A）に対し、Bのようにスキャン画像にずれが発生しているときは、以下の手順でつなぎ目補正を行います。

なお、原稿にしわや厚みムラがあるときは、「つなぎ目補正」をしても、つなぎ目のずれが起こることがあります。

B 内の矢印は原稿送り方向を示しています。



1 ホーム画面で「設定」を押します。

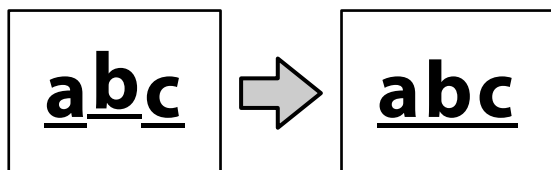
2 「本体設定」 - 「スキャン設定」 - 「原稿読み取り設定」 - 「つなぎ目補正」の順に押します。

補正值設定画面が表示されます。

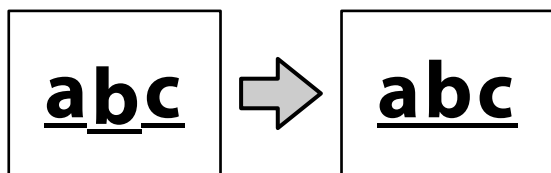
3 「-」、「+」を押して目的の補正值を表示させるか、補正值入力部を押して、キーパッド画面で補正值を入力します。

補正值を1つずらすと等倍で約0.1mm ずれが補正されます。

原稿送り方向に対してスキャン結果が上にずれていたとき
補正値をプラス方向に設定します。



原稿送り方向に対してスキャン結果が下にずれていたとき
補正値をマイナス方向に設定します。



4

【OK】を押します。

お問い合わせいただく前に

トラブルが発生したときは、以下をご確認いただくと解消できることがあります。

エプソンのウェブサイトの Q&A

エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) では、お問い合わせの多い内容を Q&A 形式でご紹介しています。トラブルや疑問の解消にお役立てください。

プリンタードライバーのバージョンアップ

プリンタードライバーをバージョンアップすると今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。できるだけ最新のプリンタードライバーをお使いいただくことをお勧めします。

最新のプリンタードライバーは、エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) からダウンロードできます。

ファームウェアのバージョンアップ

エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) では最新のファームウェアのバージョンアップ情報を提供しています。

トラブルが解消されないときは

「困ったときは」の内容やエプソンのウェブサイトを確認をしても、トラブルが解消されないときは、本機の動作確認をした上でトラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先に連絡ください。

☞ 「サービス・サポートのご案内」 204 ページ

付録

消耗品とオプション

本機で利用できる消耗品、オプションは以下の通りです。(2019年7月現在)
最新の情報は、エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) をご覧ください。

エプソン製専用紙

🔗 [「エプソン製専用紙一覧」 189 ページ](#)

インクカートリッジ

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

🔗 [「インクカートリッジの交換」 163 ページ](#)

色名	型番		
	80ml	50ml	26ml
マットブラック	SC13MBL	SC13MBM	-
シアン	-	SC13CL	SC13CM
マゼンタ	-	SC13ML	SC13MM
イエロー	-	SC13YL	SC13YM

その他

商品名	型番	備考
メンテナンスボックス	SC13MB	メンテナンスボックスが空き容量不足になったときの交換用メンテナンスボックスです。 🔗 「メンテナンスボックスの交換」 166 ページ
ペーパーカッター替え刃	SCSPB4	🔗 「カッターの交換」 167 ページ
専用スタンド (36)	SC36STD3	SC-T5150N 専用のスタンドです。排紙バスケットも含まれています。
専用スタンド (24)	SC24STD3	SC-T3150M/SC-T3150N/SC-T2150 専用のスタンドです。排紙バスケットも含まれています。
ロール紙スピンドル (36)	SCT36RPSD2	SC-T5150M/SC-T5150/SC-T5150N 付属のロール紙スピンドルと同等品です。
ロール紙スピンドル (24)	SCF55RPSD	SC-T3150M/SC-T3150/SC-T3150N/SC-T2150 付属のロール紙スピンドルと同等品です。

付録

商品名	型番	備考
排紙スタッカー (SC-T2150 のみ)	SCSTK	☞「排紙スタッカー（普通紙用）の取り付けと取り外し」 34 ページ
キャリアシート A1 ノビ (SC-T3150M のみ)	SCCSA1	コピーやスキャン時に、薄い原稿や傷付けたくない原稿を セットするときに使用します。 ☞「薄い、破れやすい、傷付けたくない原稿をセットする とき」96 ページ
キャリアシート A0 ノビ (SC-T5150M のみ)	SCCSA02	
クリーニングキット	DSCLKIT1	スキャナーの内部を清掃するときに使用します。 ☞「スキャン・コピー時にスジが入る」182 ページ

使用可能な用紙

高品質な印刷結果を得るために、以下のエプソン製専用紙の使用をお勧めします。対応する市販用紙の仕様については以下をご覧ください。

 [「使用可能な市販用紙」192 ページ](#)

エプソン製専用紙一覧

本機で使用可能なエプソン製の専用紙は以下の通りです。(2018 年 4 月現在)。

参考

下表の用紙名称がプリンタードライバーや本機のメニューの用紙種類設定で表示されます。一部の用紙名称は省略されていることがあります。

例)「プロフェッショナルフォトペーパー<薄手光沢>」を「プロフェッショナルフォト<薄手光沢>」に省略など。

ロール紙

用紙名称欄の () 内は、Adobe Photoshop や Adobe Illustrator などに表示される ICC プロファイル名です。

用紙名称	サイズ	型番
普通紙ロール<厚手> (Epson SC-T3100_5100 Plain Paper Thick)	420 mm/A2 515 mm/B2 594 mm/A1 610 mm/24 インチ 728 mm/B1 * 841 mm/A0 * 914 mm/36 インチ *	EPPP90A2 EPPP90B2 EPPP90A1 EPPP9024 EPPP90B1 EPPP90A0 EPPP9036
普通紙ロール<薄手> (Epson SC-T3100_5100 Plain Paper Thin)	420 mm/A2 594 mm/A1 841 mm/A0 *	EPPP64A2 EPPP64A1 EPPP64A0
PX マット紙ロール<薄手> (Epson SC-T3100_5100 Singleweight Matte Paper)	420 mm/A2 515 mm/B2 594 mm/A1 610 mm/24 インチ 728 mm/B1 * 914 mm/36 インチ *	PXMCA2R9 PXMCB2R9 PXMCA1R9 PXMC24R9 PXMCB1R9 PXMCA36R9
MC 厚手マット紙ロール (Epson SC-T3100_5100 Doubleweight Matte Paper)	594 mm/A1 610 mm/24 インチ 728 mm/B1 * 914 mm/36 インチ *	MCSPA1R4 MCSP24R4 MCSPB1R4 MCSP36R4
プロフェッショナルフォトペーパー<薄手光沢> (Epson SC-T3100_5100 Premium Glossy Photo Paper 170)	420 mm/A2 594 mm/A1 610 mm/24 インチ 728 mm/B1 * 914 mm/36 インチ *	PXMCA2R12 PXMCA1R12 PXMC24R12 PXMCB1R12 PXMCA36R12
プロフェッショナルフォトペーパー<薄手半光沢> (Epson SC-T3100_5100 Premium Semigloss Photo Paper 170)	420 mm/A2 594 mm/A1 610 mm/24 インチ 728 mm/B1 * 914 mm/36 インチ *	PXMCA2R13 PXMCA1R13 PXMC24R13 PXMCB1R13 PXMCA36R13

用紙名称	サイズ	型番
マット合成紙ロールのり付 (Epson SC-T3100_5100 Enhanced Adhesive Synthetic Paper)	610 mm/24 インチ 914 mm/36 インチ*	EPMS24K EPMS36K
マット合成紙ロールのり付弱粘着 (Epson SC-T3100_5100 Enhanced Low Adhesive Synthetic Paper)	610 mm/24 インチ 914 mm/36 インチ*	EPMS24J EPMS36J
MC/PM クロスロール<防災> (Epson SC-T3100_5100 MC PM Cloth)	610 mm/24 インチ 914 mm/36 インチ*	MCPM24R1 MCPM36R1
光沢フィルム 2 ロール (Epson SC-T3100_5100 Glossy Film2)	610 mm/24 インチ 914 mm/36 インチ*	PMSP24R8 PMSP36R8

* SC-T5150M/SC-T5150/SC-T5150N のみ対応

単票紙

用紙名称欄の () 内は、Adobe Photoshop や Adobe Illustrator などに表示される ICC プロファイル名です。

用紙名称	サイズ	オートシートフィーダー		型番
		対応	セット可能枚数	
両面上質普通紙 (Epson SC-T3100_5100 Generic Plain Paper)	A4	○	10	KA4250NPDR
	A3	○	10	KA3250NPDR
スーパーファイン紙 (Epson SC-T3100_5100 Photo Quality Inkjet Paper)	A4	○	5	KA4100SFR (100 枚入) KA4250SFR (250 枚入)
	A3	○	5	KA3100SFR
	A3 ノビ	-	-	KA3N100SFR
	A2	-	-	KA230NSF
フォトマット紙／顔料専用 (Epson SC-T3100_5100 Archival Matte Paper)	A4	○	5	KA450MM
	A3	○	5	KA320MM
	A3 ノビ	-	-	KA3N20MM
	A2	-	-	KA250MM
写真用紙ライト<薄手光沢> (Epson SC-T3100_5100 Photo Paper Glossy)	A4	○	5	KA420SLU (20 枚入) KA450SLU (50 枚入) KA4100SLU (100 枚入)
	A3	○	5	KA320SLU
	A3 ノビ	-	-	KA3N20SLU

付録

用紙名称	サイズ	オートシートフィーダー		型番
		対応	セット可能枚数	
写真用紙＜光沢＞ (Epson SC-T3100_5100 Premium Glossy Photo Paper)	A4	○	5	KA420PSKR (20 枚入) KA450PSKR (50 枚入) KA4100PSKR (100 枚入) KA4250PSKR (250 枚入)
	A3	○	5	KA320PSKR
	A3 ノビ	-	-	KA3N20PSKR
	A2	-	-	KA225PSK
写真用紙＜絹目調＞ (Epson SC-T3100_5100 Premium Semigloss Photo Paper)	A4	○	5	KA420MSHR
	A3	○	5	KA320MSHR
	A3 ノビ	-	-	KA3N20MSHR
	A2	-	-	KA225MSH

使用可能な市販用紙

本機で利用できるエプソン製以外の用紙の仕様は以下の通りです。

！重要

- しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのある用紙は使用しないでください。
- 表に記載している用紙種類に該当する市販用紙は、以下の規格に沿っていれば本機にセットして通紙できますが、印刷品質を保証するものではありません。
- 表に記載のない用紙種類の市販用紙は、以下の規格に沿っていれば本機にセットできますが、通紙および印刷品質を保証するものではありません。

ロール紙

用紙種類	普通紙、コート紙、フォトペーパー、トレーシングペーパー、マットフィルム、青写真用紙*
紙管サイズ（芯径）	2 インチ
ロール紙外径	119 mm 以下
用紙幅	SC-T5150M/SC-T5150/SC-T5150N: 297 ～ 914 mm（36 インチ） SC-T3150M/SC-T3150/SC-T3150N/SC-T2150: 297 ～ 610 mm（24 インチ）
用紙厚さ	0.05～0.21 mm
ロール重量	SC-T5150M/SC-T5150/SC-T5150N: 5.9kg 以下 SC-T3150M/SC-T3150/SC-T3150N/SC-T2150: 4.2kg 以下

単票紙（オートシートフィーダー）

用紙種類	普通紙、コート紙、フォトペーパー、青写真用紙*
用紙サイズ	A4～A3
用紙厚さ	0.12～0.27 mm

オートシートフィーダーにセットできる枚数は、普通紙で 50 枚まで、その他の用紙で 5 枚までです。

ただし用紙の厚みによっては、上記枚数以下でセットしても給紙に失敗する場合があります。その場合は、セット枚数を減らしてください。

単票紙（1 枚）

用紙種類	普通紙、コート紙、フォトペーパー、トレーシングペーパー、マットフィルム、青写真用紙*
用紙幅	SC-T5150M/SC-T5150/SC-T5150N: 210 ～ 914 mm（36 インチ） SC-T3150M/SC-T3150/SC-T3150N/SC-T2150: 210 ～ 610 mm（24 インチ）
用紙長	279.4 mm (Letter) ～ 1,189 mm
用紙厚さ	0.12～0.27 mm

* 青写真用紙を選択すると、印刷データを青に変換し印刷を行います。青焼き(青地に青い線)の印刷を行うことができます。青地の紙は、薄青色上質紙(約 60～80g/m²)を使用してください。

市販用紙に印刷する前に

市販用紙をお使いのときは、用紙セット時の用紙種類設定を以下から選択してください。

- 普通紙
- コート紙<その他>
- フォトペーパー<その他>
- トレーシングペーパー
- トレーシングペーパー<薄手>
- マットフィルム
- 青写真用紙

印刷結果にスジが入ったり、しわやこすれ、色むらが出たりするときは「用紙調整」をしてください。

 [「用紙設定の最適化（用紙調整）」 43 ページ](#)

合成紙、クロス系、フィルム系の市販用紙をお使いのとき

印刷する前に、以下のいずれかを行ってください。

- 用紙種類設定を新たに追加（ユーザー用紙として登録）し、用紙調整をする
ホーム画面から「設定」 - 「本体設定」 - 「プリンター設定」 - 「ユーザー用紙設定」の順に押し、ユーザー用紙の登録をします。登録後に用紙調整を行ってください。用紙調整結果が新たに追加した用紙種類の設定として保存されます。
ユーザー用紙設定について詳しくは以下のメニューの説明をご覧ください。

 [「本体設定 - プリンター設定」 129 ページ](#)

- 用紙種類設定を以下のエプソン製専用紙用の設定から選択し、用紙調整をする
マット合成紙ロール<のり付>、マット合成紙ロール<のり付弱>、MC/PM クロス<防災>、光沢フィルム 2
用紙調整により、エプソン製専用紙のための用紙設定がお使いの用紙に合った設定に上書きされます。

 [「用紙設定の最適化（用紙調整）」 43 ページ](#)

参考

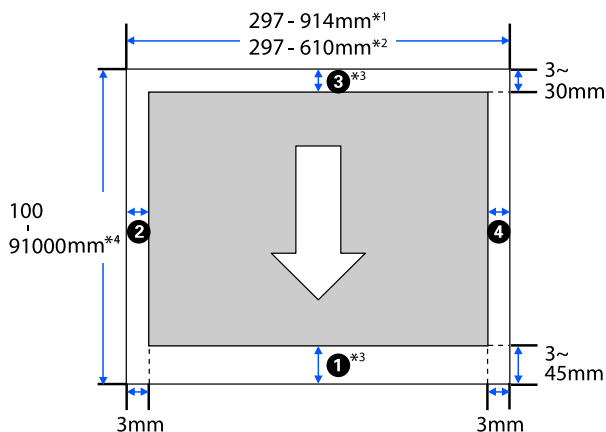
用紙を大量に購入する際は、事前に本機でその用紙に印刷したときの仕上がり具合を確認しておくことをお勧めします。

印刷可能領域

本機で印刷できる領域の説明をします。
アプリケーションソフトの印刷領域設定が、以下の本機の印刷可能領域を超えているときは、はみ出した部分は印刷されません。

ロール紙

下図のグレーの部分が印刷可能領域です。
イラスト内の矢印は、排紙方向を示しています。



*1 SC-T5150M/SC-T5150/SC-T5150N

*2 SC-T3150M/SC-T3150/SC-T3150N/SC-T2150

*3 プリンタードライバーの [レイアウト] 画面で [長尺印刷] を選択すると、用紙上下の余白が 0mm になります。

*4 ただし、実際に印刷可能な長さは、アプリケーションソフトの仕様、本機にセットした用紙の長さ、プリンタードライバーの設定、コンピューターの環境などにより変わります。

ロール紙の余白は、メニューの [先端/後端余白] の設定値によって下表のように異なります。

[先端/後端余白] の設定 「ロール紙メニュー」 122 ページ

メーカー設定値は [標準] です。

[先端/後端余白] の設定	余白の値
標準	①,③=30 mm *
	②,④=3 mm
先端 3mm/後端 3mm	①,③=3 mm
	②,④=3 mm

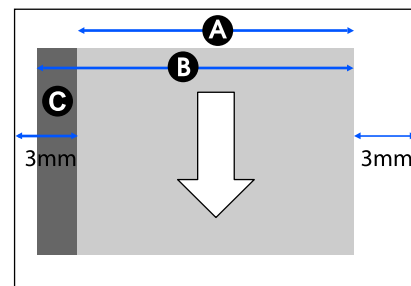
[先端/後端余白] の設定	余白の値
先端 15mm/後端 15mm	①,③=15 mm
	②,④=3 mm
先端 45mm/後端 15mm	①=45 mm
	③=15 mm
	②,④=3 mm
四辺 3mm	①,②,③,④=3 mm
四辺 5mm	①,②,③,④=5 mm

* 以下の 2 つの条件に当てはまるときに [標準] が選択されていると、先端と後端の余白は 3 mm になります。

- 用紙種類設定が以下のいずれかになっている
PX マット紙<薄手>、コート紙<その他>、普通紙、普通紙<薄手>、普通紙<厚手>、トレーシングペーパー、トレーシングペーパー<薄手>、マットフィルム、青写真用紙
- プリンタードライバーの印刷目的で以下のいずれかを選択している
CAD/線画 - 黒、CAD/線画 - カラー、CAD/線画 - モノクロ 2 階調

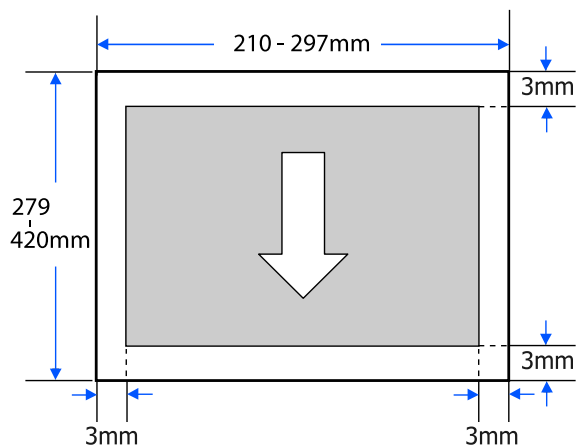
！重要

- ロール紙の最終端が芯から外れるときは印刷が乱れます。最終端が印刷領域に掛からないようにしてください。
- 印刷可能領域の幅 **A** が印刷データの幅 **B** よりも小さいときは、印刷可能領域の幅からはみ出す部分 **C** は印刷されません。



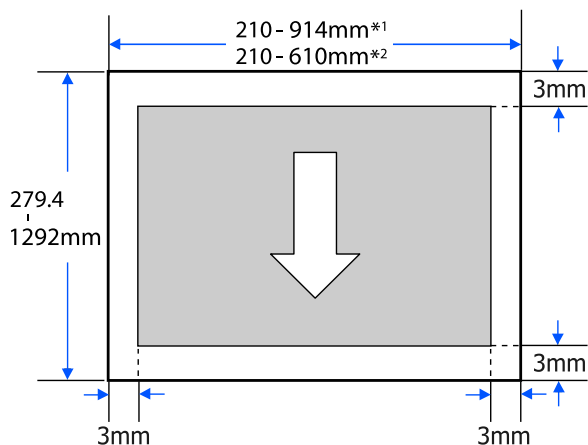
単票紙（オートシートフィーダー）

下図のグレーの部分が印刷可能領域です。イラスト内の矢印は、排紙方向を示しています。



単票紙（1枚）

下図のグレーの部分が印刷可能領域です。イラスト内の矢印は、排紙方向を示しています。



*1 SC-T5150M/SC-T5150/SC-T5150N

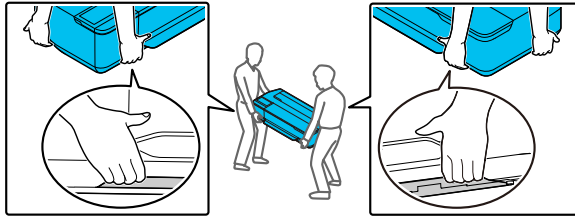
*2 SC-T3150M/SC-T3150/SC-T3150N/SC-T2150

本機の移動・輸送

ここでは、本機を移動または輸送する方法について説明します。

⚠ 注意

- 本製品は重いので、1人で運ばないでください。梱包や移動の際は2人以上で運んでください。
- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
- 本製品を持ち上げる際は、下図のように、左右の指定の箇所に手を掛けて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、本製品が落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。



- 本製品を移動する際は、前後左右に10度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。

! 重要

環境温度が-10℃以下になるとプリントヘッドが故障するおそれがあります。
移動・輸送時の環境温度が-10℃以下になると想定されるときは、電源を切る前にインク排出をしてください。
詳細な手順は、以下をご覧ください。

☞ [「室内や輸送時の環境が-10℃以下になる時の対応」197ページ](#)

同じ建物内の別の場所に移動する

移動前の準備

同じ建物内の別の場所など、短距離の移動をさせるときの準備を説明します。別の階や建物に移動するときは、以下をご覧ください。

☞ [「輸送するとき」197ページ](#)

スタンド付きモデルは、移動区間に段差や凹凸がなければキャスターを転がして移動できますが、以下の点に注意してください。

⚠ 注意

スタンド付きモデルは、転倒などによる事故を防ぐために以下の事項を守って移動してください。

- キャスターを固定したまま移動させない
- 段差や凹凸のある場所を避ける
- 移動後は必ずキャスターをロックしてから使用する

! 重要

インクカートリッジは、必ず装着した状態で移動・輸送してください。インクカートリッジを取り外すと、ノズルが目詰まりして印刷できなくなったり、インクが漏れたりするおそれがあります。

- 1 本機から用紙を全て取り外します。排紙スタッカーを取り付けているときは取り外します。
- 2 本機のカバー類を全て閉めます。スタンド付きモデルは、排紙バスケットも閉じます。
- 3 本機の電源を切り、電源コードやLANケーブルなどの全てのケーブル類を本機から外します。
- 4 スタンド付きモデルは、キャスターのロックを解除します。

移動後の作業

移動後に本機を使用するための準備作業を説明します。

- 1 電源コードを接続し、本機の電源を入れます。
- 2 プリントヘッドのノズルが目詰まりしていないか確認し、目詰まりしていたらプリントヘッドのクリーニングをします。

☞ [「プリントヘッドの目詰まりチェックとクリーニング」162ページ](#)

輸送するとき

本機を輸送するときは、お買い求めの販売店またはエプソンインフォメーションセンターにご相談ください。

☞「お問い合わせ先」206 ページ

室内や輸送時の環境が-10℃以下になるときの対応

環境温度が-10℃以下になるとプリントヘッドが故障するおそれがあります。-10℃以下になると想定されるときは、事前に以下の手順でインク排出をしてください。

⚠ 注意

スキャナーカバーの開閉の際は、カバーと本体との接合部（継ぎ目）に手を近づけないでください。指や手を挟んで、けがをするおそれがあります。

！重要

実施すると、排出されたインクがメンテナンスボックスに溜まるため、メンテナンスボックスに十分な空き容量が必要です。空き容量が少ないときは、交換用のメンテナンスボックスを用意してから始めてください。

- 1 用紙がセットされているときは全て取り外します。

☞「ロール紙の取り外し方」32 ページ

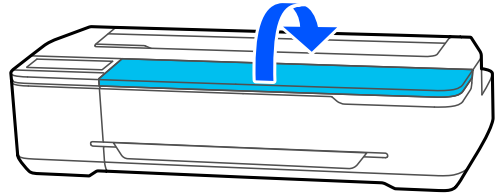
☞「単票紙（1枚）の取り外し方」38 ページ

- 2 ホーム画面から、[設定] - [プリンターのお手入れ] - [インク排出/充填] の順に押します。

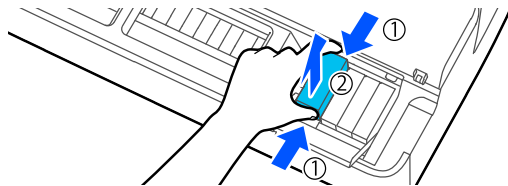
- 3 [開始] を押します。

インクカートリッジが交換位置に移動します。

- 4 前面カバーを開けます。
SC-T5150M/SC-T3150M のときは、スキャナーユニットを開けます。



- 5 カートリッジカバーを開けて、全てのインクカートリッジを取り外します。



インク排出後にインクカートリッジを再装着します。取り外したインクカートリッジはインク供給孔部を下にするか横にして近くに置いてください。

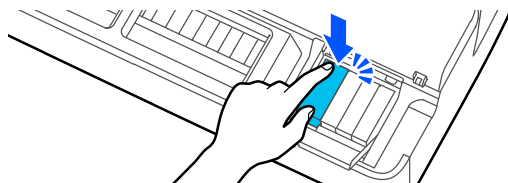
- 6 カートリッジカバーと前面カバーを閉めます。
前面カバーを閉めるとインクの排出が始まります。

！重要

インク排出中にカバー類を開けたり、電源を切ったりしないでください。

- 7 [前面カバーを開け、全てのインクカートリッジをセットしてください] と表示されたら、再び前面カバーとカートリッジカバーを開けます。

- 8 手順 5 で取り外したインクカートリッジを全てセットします。



- 9** カートリッジカバーと前面カバーを閉めます。
SC-T5150M/SC-T3150M のときは、カートリッジカバーとスキャナーユニットを閉めます。

前面カバーを閉めると本機の電源が自動で切れます。

以降は以下を参照して移動または輸送の準備をしてください。

 「同じ建物内の別の場所に移動する」 196 ページ

 「輸送するとき」 197 ページ

！重要

〔本機の使用を再開するときに、XXX の新しいインクカートリッジが必要です〕というメッセージが表示されたときは、XXX 部分に表示された色のインクカートリッジを次回本機を使用するまでに準備してください。次回電源を入れたときに、インク充填（プリントヘッドノズルの先端部分までインクを満たして印刷できる状態にする準備）をするため、インク充填に必要な量のインクがないと、交換するまで本機が使用できる状態になりません。

システム条件

各ソフトウェアは、以下の環境で使用できます。(2020 年 11 月現在)

対応 OS 等は、変更されることがあります。

最新の情報は、エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) をご覧ください。

プリンタードライバー

Windows

オペレーティングシステム	Windows 10 / Windows 10 x64 Windows 8.1 / Windows 8.1 x64 Windows 8 / Windows 8 x64 Windows 7 / Windows 7 x64 Windows Vista / Windows Vista x64 Windows XP SP3 以降 / Windows XP x64 SP2 以降 Windows Server 2019 Windows Server 2016 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2008 Windows Server 2003 R2 Windows Server 2003 SP2 以降
CPU	Intel Core2 Duo 3.05 GHz 以上
空きメモリー領域	1 GB 以上
ハードディスク (インストール時空き容量)	32 GB 以上
ディスプレイ解像度	WXGA (1280×800) 以上
本機との接続方法*	USB 接続、有線または無線 LAN 接続

* 対応する接続方法の詳細 (インターフェイスの仕様) は以下を参照

 [「仕様一覧」201 ページ](#)

Mac

オペレーティングシステム	Mac OS X v10.6.8 以降
CPU	Intel Core2 Duo 3.05 GHz 以上
空きメモリー領域	4 GB 以上
ハードディスク (インストール時空き容量)	32 GB 以上
ディスプレイ解像度	WXGA+ (1440×900) 以上
本機との接続方法*	USB 接続、有線または無線 LAN 接続

* 対応する接続方法の詳細 (インターフェイスの仕様) は以下を参照

 [「仕様一覧」201 ページ](#)

Web Config

Windows

ブラウザ	Internet Explorer 11、Microsoft Edge、Firefox* ¹ 、Chrome* ¹
本機との接続方法* ²	有線または無線 LAN 接続

*1 最新バージョンを使用

*2 ネットワークインターフェースの詳細は以下を参照

 [「仕様一覧」201 ページ](#)

Mac

ブラウザ	Safari* ¹ 、Firefox* ¹ 、Chrome* ¹
本機との接続方法* ²	有線または無線 LAN 接続

*1 最新バージョンを使用

*2 ネットワークインターフェースの詳細は以下を参照

 [「仕様一覧」201 ページ](#)

仕様一覧

表中では機種名を以下の通り記載しています。

(A): SC-T5150M

(B): SC-T3150M

(C): SC-T5150

(D): SC-T3150

(E): SC-T5150N

(F): SC-T3150N/SC-T2150

本体仕様	
印字方式	オンデマンドインクジェット方式
ノズル配列	800 ノズル×4 色 (マットブラック、シアン、マゼンタ、イエロー)
解像度 (最大)	2400×1200 dpi
コントロールコード	ESC/P2、ESC/P ラスター (コマンドは非公開)、HP-GL/2、HP RTL、P/L
内蔵メモリー	(A)・(B): 1.0 GB+8.0 GB (スキャナーデータ処理用) (A)・(B)以外: 1.0 GB
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60 Hz
定格電流	1.4 A
消費電力	
動作時	(A): 約 26W (B): 約 24W (A)・(B)以外: 約 28W
レディー時	(A): 約 12W (B): 約 11W (A)・(B)以外: 約 8W
スリープモード時	(A)・(B): 約 2.0W (A)・(B)以外: 約 1.6W
電源オフ時	約 0.2 W
温度	
動作時	10～35℃
保管時 (開梱前)	-20～60℃ (60℃の場合 120 時間以内、40℃の場合 1 カ月以内)
保管時 (開梱後)	インク充填時: -10～40℃ (40℃の場合 1 カ月以内) インク排出時*1: -20～25℃ (25℃の場合 1 カ月以内)
湿度	

本体仕様	
動作時	20～80% (40～60%を推奨。結露しないこと)
保管時	5～85% (結露しないこと)
動作温度・動作湿度範囲 (斜線部: 推奨)	
外形サイズ (幅×奥行×高さ)	
最大時*2	(A): 1268×982×1017 mm (B): 970×948×334 mm (C): 1268×982×913 mm (D): 970×982×913 mm (E): 1268×811×230 mm (F): 970×811×230 mm
収納時	(A): 1268×696×975 mm (B): 970×505×292 mm (C): 1268×696×913 mm (D): 970×696×913 mm (E): 1268×505×230 mm (F): 970×505×230 mm
質量*3	(A): 約 55 kg (B): 約 34 kg (C): 約 46 kg (D): 約 38 kg (E): 約 33 kg (F): 約 27 kg

*1 インク排出は、プリンターのお手入れメニューの「インク排出/充填」で行います

📖『ユーザーズガイド』(オンラインマニュアル)

*2 排紙スタッカーを取り付けて排紙バスケットを開いた状態。

SC-T5150M/SC-T3150M は原稿サポートも取り付けられた状態。

*3 インクカートリッジと排紙スタッカー含まず

! 重要

本機は、標高 2000m 以下でお使いください。

本体スキャナー部仕様*1		
スキャナータイプ	片面読取り式カラーシートフィードスキャナー	
センサー	CIS	
有効画素数 (主走査方向)	SC-T5150M: 21600 画素 (600dpi) SC-T3150M: 14400 画素 (600dpi)	
原稿サイズ	最大	SC-T5150M: 914.4 mm x 2720 mm*2 SC-T3150M: 609.6 mm x 2720 mm*2
	最小	148.0 mm x 148.0 mm
原稿厚さ	0.06 mm ~ 0.50 mm	
給紙方向	スキャンする面を上向きにセット	
排紙方向	スキャンした面を上向きに排紙	
用紙セット枚数	1 枚	
スキャン解像度	600 dpi (主走査) 600 dpi (副走査)	
出力解像度	200、300、400、600 dpi	
階調	カラー ・ 30 bit 入力 (RGB 各色 10 bit 入力) ・ 24 bit 出力 (RGB 各色 8 bit 出力) グレースケール ・ 10 bit 入力 ・ 8 bit 出力 白黒 ・ 10 bit 入力 ・ 1 bit 出力	
光源	RGB3 色 LED	

* 1 SC-T5150M/SC-T3150M のみ

* 2 スキャン (600dpi) とコピー (きれい、高精細) のみ最大長は 2672mm

インターフェイス仕様	
コンピューター接続用 USB ポート	SuperSpeed USB
Option ポート (SC-T5150M/SC-T3150M 以外の拡大コピー接続用)	Hi-Speed USB
USB メモリーポート (SC-T5150M/SC-T3150M のみ)	

インターフェイス仕様	
USB フラッシュメモリー*1	Hi-Speed USB
ファイルシステム	FAT、FAT32、exFAT
ファイル形式	JPEG、TIFF、PDF*2
有線 LAN*3 準拠規格	IEEE802.3i (10BASE-T) IEEE802.3u (100BASE-TX) IEEE802.3ab (1000BASE-T) IEEE802.3az (Energy Efficient Ethernet)*4
無線 LAN	
準拠規格	IEEE802.11b/g/n*5
周波数範囲	2.4 GHz
接続モード	インフラストラクチャー Wi-Fi Direct (シンプル AP)*6
無線セキュリティ*7	WEP (64/128bit) WPA-PSK (TKIP) WPA2-PSK (AES)*8 WPA3-SAE (AES) WPA2/WPA3-Enterprise
ネットワーク印刷プロトコル/機能*9	EpsonNet Print (Windows) Standard TCP/IP (Windows) WSD 印刷 (Windows) Bonjour (Mac) IPP 印刷 (Mac) AirPrint (iOS, Mac) FTP クライアントからの印刷
セキュリティ規格/プロトコル	SSL/TLS (HTTPS サーバー/クライアント機能、IPPS) IEEE802.1X IPsec/IP フィルタリング SMTPS (STARTTLS、SSL/TLS) SNMPv3 SMB3.1.1 FTPS (Explicit モード)*10

* 1 セキュリティ機能付きの USB フラッシュメモリーは使用不可

* 2 SC-T5150M/SC-T3150M のみ。エプソン製インクジェットプリンターのスキャン機能で作成したデータのみ対応。ただし、以下のファイルは非対応。
・ EPSON Scan、Epson Scan2 等のアプリケーションで作成したデータ
・ 複数ページの場合、異なる向きやサイズのページが含まれているもの

* 3 カテゴリー 5 以上の STP (シールドツイストペア) ケーブルを使用すること。ただし、IEEE802.3ab (1000BASE-T) では、カテゴリー 5e 以上の STP (シールドツイストペア) ケーブルを使用すること。

* 4 IEEE802.3az に対応した接続機器が必要

* 5 IEEE802.11n は、20MHz 帯域幅 (HT20) のみ対応

* 6 IEEE802.11b は非対応

* 7 WPA3-SAE(AES) と WPA3-Enterprise は、SC-T5150M/SC-T3150M のみ対応

- * 8 WPA2 規格に準拠し、WPA/WPA2 Personal 規格に対応
 * 9 EpsonNet Print は、IPv4 のみ対応。他は IPv4 と IPv6 の両方に対応
 * 10 SC-T5150M/SC-T3150M のスキャン機能のみ

インク仕様	
形態	専用インクカートリッジ
顔料インク	マットブラック、シアン、マゼンタ、イエロー
有効期限	個装箱、カートリッジに記載された期限（常温で保管）
印刷品質保証期限	6 カ月（開封後）
保管温度	
梱包保管時	-20～40℃（-20℃の場合 4 日以内、40℃の場合 1 カ月以内）
本機装着時	-20～40℃（-20℃の場合 4 日以内、40℃の場合 1 カ月以内）
梱包輸送時	-20～60℃（-20℃の場合 4 日以内、40℃の場合 1 カ月以内、60℃の場合 72 時間以内）
カートリッジ外形サイズ（幅×長さ×高さ）	
80 ml	41.0×97.0×49.5* mm
50 ml / 26 ml	27.0×97.0×49.5* mm

* 突起部含まず

！重要

- インクは-13℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。凍結したときは、室温（25℃）で 3 時間以上掛けて解凍してから使用してください。
- インクを詰め替えないでください。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。

[🔗 「お問い合わせ先」 206 ページ](#)

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

[🔗 「困ったときは」 169 ページ](#)

保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- 修理のお申込窓口

[🔗 「お問い合わせ先」 206 ページ](#)

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細は、お買い求めの販売店またはエプソン修理のお申込窓口までお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 年間保守契約をされている場合は、定期交換部品代のみ有償（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料も有償）です。
- 本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	• 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 • 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	無償	有償 （出張料+技術料+部品代） 修理完了後、その都度お支払いください。

* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は、保守対象外となります。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障がどうかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応 - スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 - トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単 - ウェブサイトで必要事項を登録、またはエプソンサービスパック登録書をファクスするだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 - エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

お問い合わせ先

アフターサポート・サービスのご案内

お問い合わせの前に

サポート情報サイト

最新ソフトウェア、製品マニュアルなど、製品のサポート情報満載のサイトです。

epson.jp/support/



FAQ（よくあるご質問）

困ったときの対処方法を分かり易く説明しています。

epson.jp/faq/



製品に関するご質問・ご相談/運用支援

営業日、営業時間の詳細はサポート情報サイトでご確認ください。



メールで相談する

epson.jp/mail/



電話で相談する

エプソンインフォメーションセンター
050-3155-8066

修理のお申し込み

対象製品など修理メニューの詳細はウェブサイトでご確認ください。

epson.jp/shuri/



出張修理サービス

ご指定の場所へサービスエンジニアを派遣し、その場で修理するサービスです。

Web で申し込む
epson.jp/119/

電話で申し込む
050-3155-8600



引取修理サービス

ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです（有償）。

Web で申し込む
epson.jp/door/

電話で申し込む
050-3155-7150



消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店またはエプソンダイレクトショップでお買い求めください。



エプソンダイレクトショップ
epson.jp/shop/



ご購入相談・ご注文窓口
0120-956-285

会員制情報提供サイト(MyEPSON)

ユーザー登録していただくと、お客様に商品の最新情報や活用のためのヒントをお届けいたします。

myepson.jp/

ショールーム

最新のエプソン商品を実際にお試しいただけます。

epson.jp/showall/



上記 050 で始まる電話番号は KDDI 株式会社の電話サービス KDDI 光ダイレクトを利用しています。本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー

セイコーエプソン 株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス(インク) 2022.03

製品に関する諸注意と適合規格

本製品とオプション品、添付のソフトウェアに関する諸注意と適合規格は以下の通りです。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品の譲渡と廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、ネットワーク設定などの情報を消去してください。操作パネルの〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔管理者設定〕 - 〔初期設定に戻す〕 - 〔全て初期化〕で消去できます。

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

揮発性物質の放散

本製品はエコマークの環境ラベルに定められた揮発性物質の放散基準を満たしています。ただし、使い始めなどに臭いが気になるときは換気してお使いください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C61000-3-2 に適合しています。

本製品の使用時におけるセキュリティに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

本製品などの無線 LAN 製品では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、以下の通信内容を盗み見られる可能性があります。
 - ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
 - メールの内容
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような行為をされてしまう可能性があります。
 - 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 - コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合は、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

電波に関するご注意（SC-T5150M/SC-T3150M）

- 機器認定
本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名 : J26H006
- 認証番号 : 003-170262

• 周波数

本製品は 2.4GHz 帯の 2.400GHz から 2.4835GHz まで使用できますが、他の無線機器と同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意して使用してください。

本製品の使用上の注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、販売店にご連絡頂き、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、エプソンのインフォメーションセンターまでお問合せください。

参考

- 本製品は Wi-Fi Alliance の承認を受けた無線機器です。他メーカーの Wi-Fi 承認済みの無線機器と通信が可能です。Wi-Fi 対応製品の詳細は Wi-Fi Alliance のホームページをご参照ください。
<http://www.wi-fi.org>
- この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS、OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

2.4 DS/OF 4

電波に関するご注意（SC-T5150M/SC-T3150M 以外）

- 機器認定
本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。
 - 設備名 : WLU6320-D69(RoHS)
 - 認証番号 : 204-330030

•周波数

本製品は 2.4GHz 帯の 2.400GHz から 2.497GHz まで使用できますが、他の無線機器と同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意して使用してください。

本製品の使用上の注意

本製品の使用周波数は、2.4GHz 帯です。この周波数では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、使用周波数を変更するかまたは本製品の運用を停止（無線の発射を停止）してください。
- 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、エプソンのインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

参考

- 本製品は Wi-Fi Alliance の承認を受けた無線機器です。他メーカーの Wi-Fi 承認済み無線機器とも通信が可能です。Wi-Fi 対応製品の詳細は Wi-Fi Alliance のホームページをご参照ください。
<http://www.wi-fi.org>
- この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS、OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

2.4 DS/OF 4